

鏡

1. 工事名

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事
工事地名	東京都八王子市大船町地先～東京都八王子市寺田町地先

副所長(技)	課 長	係 長	担 当

2. 工事内容

1) 発注年月	令和 8 年 4 月	1 2) 設 計 年 月	令和 8 年 5 月
2) 事務所名	相武国道事務所 工務課	1 3) 機械損料一括補正	0 労務費一括割増 0%
3) 工事番号	2026041007	1 4) 単価適用年月	2026 年 5 月
4) 契約区分	国債（翌債を含む）の分任官	1 5) 歩掛適用年月	2026 年 5 月
5) 変更回数	0 回	1 6) 前請負工事費	0
6) 主 工 種	舗装工事	1 7) 前請負代金額	0
7) 工 事 量		1 8) 調 整 区 分	0
8) 工 期	313 日間 自 令和 8 年 6 月 22 日 (当初) 至 令和 9 年 4 月 30 日 (0 回変更) 至 年 月 日	1 9) 共通仮設費対象額	
9) 施 工 県	東京都	2 0) 現場管理費対象額	
1 0) 地 区	八王子地区	2 1) 一般管理費等対象額	
1 1) 河川・路線	八王子南バイパス	2 2) 処 分 費 等	8, 509, 266
		2 3) 公 告 日	令和 8 年 4 月 13 日
		2 4) 入 札 締 切 日	年 月 日

3. 予算科目

1) 予算科目：	2) 目：	3) 目の細分：	4) 事業名：

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装			式	1		159,105,826			
道路土工 【側道部】			式	1		16,094,015			
掘削工			式	1		976,250			
掘削		土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	2,500	390.5	976,250			単-1号
路体盛土工			式	1		797,699			
路体(築堤)盛土		4.0m以上	m3	400	261.9	104,760			単-2号
路体(築堤)盛土 (中分盛土)		2.5m未満	m3	40	7,157	286,280			単-3号
路体(築堤)盛土 (中分盛土)		4.0m以上	m3	300	261.9	78,570			単-4号
路体(築堤)盛土 (歩道盛土)		2.5m未満	m3	2	7,157	14,314			単-5号
路体(築堤)盛土 (歩道盛土)		2.5m以上4.0m未満	m3	30	916.5	27,495			単-6号
路体(築堤)盛土 (路帯外盛土)		2.5m未満	m3	40	7,157	286,280			単-7号
路床盛土工			式	1		48,216			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
路床盛土	4.0m以上	m3	120	401.8	48,216			単-8号	
残土処理工		式	1		14,271,850				
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,810	2,033	3,679,730			単-9号	
土質改良	バックホウ攪拌 改良材フレコンバック 添加量60kg/m3	m3	1,810	2,092	3,786,520			単-10号	
残土等処分		m3	1,810	3,760	6,805,600			単-11号	
擁壁工		式	1		9,310,805				
作業土工		式	1		1,192,925				
床掘り	土砂	m3	850	260.9	221,765			単-12号	
埋戻し	土砂	m3	420	2,167	910,140			単-13号	
基面整正		m2	113	540	61,020			単-14号	
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1		8,117,880				
重力式擁壁 【第2号小型擁壁】	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	m3	59	80,000	4,720,000			単-15号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
裏込め排水 【第2号小型擁壁】		RC-40	m3	15	7, 129	106, 935			単-16号
重力式擁壁 【重力式擁壁】		2m以上5m以下 18-8-25 (高炉)	m3	45	72, 340	3, 255, 300			単-17号
裏込め排水 【重力式擁壁】		RC-40	m3	5	7, 129	35, 645			単-18号
舗装工			式	1		39, 008, 034			
アスファルト舗装工 (ICT)			式	1		29, 853, 954			
下層路盤(車道・路肩部) (ICT)		再生クラッシャー RC-40 仕 上り厚 200mm	m2	4, 140	593. 9	2, 458, 746			単-19号
上層路盤(車道・路肩部) (ICT)		再生粒度調整碎石 RM- 40 仕上り厚 150mm	m2	4, 140	575. 2	2, 381, 328			単-20号
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材 (4 0) 仕上り厚 80mm	m2	4, 140	2, 608	10, 797, 120			単-21号
基層(車道・路肩部)		再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 3. 0m超	m2	4, 140	1, 705	7, 058, 700			単-22号
表層(車道・路肩部)		再生密粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 3. 0m超	m2	4, 140	1, 729	7, 158, 060			単-23号
アスファルト舗装工 (歩道舗装)			式	1		9, 154, 080			
フィルター層		再生砂 仕上り厚 100 mm	m2	2, 400	1, 177	2, 824, 800			単-24号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
下層路盤(歩道部)	再生クワツジャラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	2,400	933.2	2,239,680			単-25号	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13)舗装厚 40mm 1.4m以上	m2	2,400	1,704	4,089,600			単-26号	
排水構造物工		式	1		47,499,720				
作業土工		式	1		2,778,410				
床掘り	土砂	m3	1,100	260.9	286,990			単-27号	
埋戻し	1.0m以上4.0m未満	m3	160	2,167	346,720			単-28号	
埋戻し	1.0m未満	m3	480	3,576	1,716,480			単-29号	
基面整正		m2	793	540	428,220			単-30号	
側溝工		式	1		32,799,960				
L形側溝 (標準タイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	21	17,410	365,610			単-31号	
L形側溝 (切下げタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	11	16,470	181,170			単-32号	
L形側溝 (すり付けタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	19,030	19,030			単-33号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
L形側溝 (B)		幅 87 c m 高さ 15 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	67	14, 660	982, 220			単-34号
L形側溝 (C)		幅 69.8 c m 高さ 6 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	8	11, 000	88, 000			単-35号
管 (函) 渠型側溝 (スリット型側溝)		300×300	m	208	17, 240	3, 585, 920			単-36号
管 (函) 渠型側溝 (スリット型側溝)		300×700	m	31	45, 110	1, 398, 410			単-37号
管 (函) 渠型側溝 (街渠縦断管)		300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	465	26, 740	12, 434, 100			単-38号
管 (函) 渠型側溝 (街渠縦断管)		300×400 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	7	31, 610	221, 270			単-39号
管 (函) 渠型側溝 (街渠縦断管)		300×500 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	10	34, 370	343, 700			単-40号
管 (函) 渠型側溝 (街渠縦断管集水部)		300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	12	33, 610	403, 320			単-41号
管 (函) 渠型側溝 (中分用)		300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m	95	30, 960	2, 941, 200			単-42号
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋無し)		PU1-300×300	m	24	11, 450	274, 800			単-43号
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)		PU2-300×300	m	17	15, 500	263, 500			単-44号
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)		PU-2-300×400	m	32	16, 900	540, 800			単-45号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
プレキャストU型側溝	PU1-300×700	m	19	31,550	599,450			単-46号	
U型水路	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	4	63,350	253,400			単-47号	
U型水路(蓋付き)	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	17	93,880	1,595,960			単-48号	
1号函渠工	18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	129	48,900	6,308,100			単-49号	
管渠工		式	1		5,376,390				
ヒューム管 (B形管) (P1-RC1-D300)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	27	21,860	590,220			単-50号	
ヒューム管 (B形管) (P1-RC1-D400)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	10	27,840	278,400			単-51号	
鉄筋コンクリート台付管	D300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	70	19,430	1,360,100			単-52号	
鉄筋コンクリート台付管	D400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	57	27,470	1,565,790			単-53号	
鉄筋コンクリート台付管	D450 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	23	29,590	680,570			単-54号	
鉄筋コンクリート台付管	D500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	5	31,900	159,500			単-55号	
鉄筋コンクリート台付管	D600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	9	42,200	379,800			単-56号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鉄筋コンクリート台付管 (CSB φ 400)		D400	m	11	32,910	362,010			単-57号
集水桝・マンホール工			式	1		6,544,960			
現場打ち集水桝 (G1-B500-L500-H900)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	2	104,900	209,800			単-58号
現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H700)		現場打材 18-8-25(高 炉)W/C=指定なし 法面 作業補正無	箇所	3	113,900	341,700			単-59号
現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H800)		現場打材 18-8-25(高 炉)W/C=指定なし 法面 作業補正無	箇所	1	117,600	117,600			単-60号
現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H900)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	3	121,900	365,700			単-61号
現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H1200)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	1	170,600	170,600			単-62号
現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H700)		現場打材 18-8-25(高 炉)W/C=指定なし 法面 作業補正無	箇所	1	122,800	122,800			単-63号
現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H1200)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	1	189,000	189,000			単-64号
現場打ち集水桝 (G1-B700-L700-H1700)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	1	256,900	256,900			単-65号
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H950)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	1	231,600	231,600			単-66号
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1600)		現場打材 18-8-25(高 炉) 法面作業補正無	箇所	1	352,900	352,900			単-67号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1800)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	379,000	758,000			単-68号
現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H500)		現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	78,570	78,570			単-69号
現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H1600)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	179,500	179,500			単-70号
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H700)		現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	103,100	103,100			単-71号
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H900)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	115,000	115,000			単-72号
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1000)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	118,700	237,400			単-73号
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1200)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	168,900	168,900			単-74号
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1600)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	219,100	219,100			単-75号
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H950)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	149,700	149,700			単-76号
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1000)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	154,700	154,700			単-77号
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1400)		現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	247,500	247,500			単-78号
プレキャスト街渠桝 (A)		300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	8	68,420	547,360			単-79号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
プレキャスト街渠柵 (A)		300×400 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	箇所	7	72, 620	508, 340			単-80号
プレキャスト街渠柵 (A)		300×500 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	箇所	1	77, 320	77, 320			単-81号
プレキャスト街渠柵 (A)		500×600 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	箇所	1	104, 300	104, 300			単-82号
プレキャスト街渠柵 (C)		300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	箇所	1	68, 310	68, 310			単-83号
プレキャスト集水柵		300×300	箇所	1	62, 930	62, 930			単-84号
プレキャスト集水柵		300×400	箇所	1	67, 830	67, 830			単-85号
1号人孔		H=2. 6m	箇所	1	338, 500	338, 500			単-86号
縁石工			式	1		16, 488, 924			
作業土工			式	1		836, 742			
床掘り		土砂	m3	180	260. 9	46, 962			単-87号
埋戻し		土砂	m3	160	3, 576	572, 160			単-88号
基面整正			m2	403	540	217, 620			単-89号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
縁石工			式	1		15,652,182			
歩車道境界ブロック (1) (一般部)		B種(180/230×250×600) 両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	362	11,790	4,267,980			単-90号
歩車道境界ブロック (2) (一般部)		B種(180/205×250×600) 片面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	47	10,550	495,850			単-91号
歩車道境界ブロック (3) (一般部)		B種(180/205×250×600) 片面	m	99	6,847	677,853			単-92号
歩車道境界ブロック (4) (一般部)		B種(180/230×250×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	103	9,060	933,180			単-93号
歩車道境界ブロック (出入部)		B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	12,220	12,220			単-94号
歩車道境界ブロック (すり付け部)		B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	12,220	12,220			単-95号
歩車道境界ブロック (擁壁部)		B種(180/230×250×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	3	8,239	24,717			単-96号
歩車道境界ブロック (中分部)		C種(180/210×300×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	368	11,390	4,191,520			単-97号
地先境界ブロック		A種(120×120×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	250	7,286	1,821,500			単-98号
植樹ブロック		150×180×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	357	9,006	3,215,142			単-99号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防護柵工			式	1		6,457,250			
防止柵工			式	1		6,457,250			
基礎ブロック, 鋼管基礎		基礎ブロック □200 H 450	基	186	4,575	850,950			単-100号
金網・支柱(立入防止柵)		H=2.0m	m	370	12,590	4,658,300			単-101号
転落(横断)防止柵 (擁壁設置用)		柵高 1.1m コンクリート建込	m	80	11,850	948,000			単-102号
区画線工			式	1		1,311,257			
区画線工			式	1		1,311,257			
溶融式区画線 (外側線-境界線)		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	710	435.5	309,205			単-103号
溶融式区画線 (外側線-境界線)		溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	280	466.3	130,564			単-104号
溶融式区画線 (外側線-境界線トット)		溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	36	466.3	16,786			単-105号
溶融式区画線 (外側線-境界線トット)		溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	6	742.1	4,452			単-106号
溶融式区画線 (セブラー-停止線-横断)		溶融式手動 セブラー 45cm 厚1.5mm 排水性舗装 無	m	580	1,097	636,260			単-107号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
溶融式区画線 (矢印・文字)		溶融式手動 矢印・記号 ・文字 15cm換算 厚1.5 mm 排水性舗装無	m	210	1,019	213,990			単-108号
構造物撤去工			式	1		4,989,068			
作業土工			式	1		558,417			
床掘り		土砂	m3	230	260.9	60,007			単-109号
埋戻し		土砂	m3	230	2,167	498,410			単-110号
構造物取壊し工			式	1		921,513			
コンクリート構造物取壊し (排水構造物)		無筋構造物 機械施工	m3	0.3	11,890	3,567			単-111号
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	51	771	39,321			単-112号
舗装版破砕		アスファルト舗装版 舗装版 厚 15 c m	m2	3,750	234.3	878,625			単-113号
排水構造物撤去工			式	1		258,282			
ヒューム管撤去		400mm	m	5	594.5	2,972			単-114号
暗渠排水管撤去 【塩ビ管 φ 300】		撤去	m	21	448.1	9,410			単-115号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
マンホール撤去 (再利用)H=2. 4m	2000Kg/基以下	基	1	57, 260	57, 260			単-116号	
鉄筋コンクリート台付管 (再利用CSB)		m	16	11, 790	188, 640			単-117号	
運搬処理工		式	1		3, 250, 856				
殻運搬	アスファルト殻	m3	475	3, 285	1, 560, 375			単-118号	
殻運搬 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3	0. 3	2, 302	690			単-119号	
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	m3	1	3, 750	3, 750			単-120号	
殻処分	アスファルト殻	m3	475	3, 525	1, 674, 375			単-121号	
殻処分 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3	0. 3	5, 555	1, 666			単-122号	
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	m3	1	10, 000	10, 000			単-123号	
仮設工 【電線共同溝】		式	1		321, 480				
土留・仮締切工		式	1		321, 480				
軽量鋼矢板	LSP-2型 (t＝4mm)	m	65	4, 116	267, 540			単-124号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
軽量鋼矢板賃料		LSP-2型 (t=4mm)	式	1	53,940	53,940			単-125号
舗装版撤去工			式	1		176,265			
舗装版破碎工			式	1		176,265			
殻運搬		アスファルト殻	m3	5	2,502	12,510			単-126号
殻処分		アスファルト殻	m3	5	3,525	17,625			単-127号
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	96	771	74,016			単-128号
舗装版破碎		アスファルト 15cm以下	m2	51	1,414	72,114			単-129号
舗装工 【電線共同溝】			式	1		509,031			
アスファルト舗装工			式	1		509,031			
下層路盤(歩道部)		再生クワッチャラン RC-40 仕上り厚 300mm	m2	51	2,041	104,091			単-130号
上層路盤(歩道部)		再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 250mm	m2	51	2,065	105,315			単-131号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	51	2,971	151,521			単-132号	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	51	2,904	148,104			単-133号	
開削土工 【電線共同溝】		式	1		1,328,860				
掘削工		式	1		816,480				
開削掘削	土砂	m3	180	4,536	816,480			単-134号	
埋戻し工		式	1		512,380				
埋戻し・締固め	流用土 土砂	m3	50	5,495	274,750			単-135号	
埋戻し・締固め	再生砂 中埋砂	m3	30	7,921	237,630			単-136号	
電線共同溝工		式	1		11,384,917				
管路工(管路部)		式	1		2,692,917				
埋設管路 (1)	FEP 径 130mm	m	58	5,344	309,952			単-137号	

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
埋設管路 (2)		FEP 径 100mm	m	58	4,561	264,538			単-138号
埋設管路 (3)		PV 径 75mm	m	153	4,259	651,627			単-139号
埋設管路 (4)		PV 径 50mm	m	419	3,291	1,378,929			単-140号
埋設表示シート (1)		W=600mm 2倍 水抜き穴有	m	31	801.8	24,855			単-141号
埋設表示シート (2)		W=400mm 2倍 水抜き穴有	m	117	538.6	63,016			単-142号
プレキャストボックス工(特殊部)			式	1		8,692,000			
特殊部I型 【D1】 【U1】		BOX 1200×1800×3500 道路横断部	個	2	2,051,000	4,102,000			単-143号
特殊部I型 【D2】		BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個	1	2,299,000	2,299,000			単-144号
特殊部I型 【U2】		BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個	1	2,291,000	2,291,000			単-145号
仮設工			式	1		4,226,200			
交通管理工			式	1		4,226,200			
交通誘導警備員			人日	226	18,700	4,226,200			単-146号

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接工事費			式	1		159, 105, 826			
共通仮設費			式	1		23, 736, 187			
共通仮設費			式	1		3, 461, 187			
運搬費			式	1		30, 762			
仮設材運搬費			t	2. 37	12, 980	30, 762			単-147号
技術管理費			式	1		870, 425			
土質試験費			検体	1	183, 200	183, 200			単-148号
システム初期費 (ICT)			式	1		623, 000			内-1号
道路施設基本データ作成費用			式	1		64, 225			内-2号
現場環境改善費 (率計上)			式	1		2, 560, 000			
共通仮設費 (率計上)			式	1		20, 275, 000			
純工事費			式	1		182, 842, 013			

設計内訳書

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場管理費			式	1		50,474,000			
工事原価			式	1		233,316,013			
一般管理費等			式	1		37,843,987			
工事価格			式	1		271,160,000			
消費税相当額			式	1		27,116,000			
工事費計			式	1		298,276,000			

一式当たり内訳書

システム初期費 (ICT)
第 1号内訳書

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
システム初期費 (I C T)	モータクレーダ	式	1		623, 000			
合 計					623, 000			

一式当たり内訳書

道路施設基本データ作成費用

第 2号内訳書

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本データ作成費用	技術員：1.75人	式	1		64, 225			
合 計					64, 225			

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一1号	掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	単位	m3	数量		1	単価 390. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 オープンカット 無し 無し 5,000m3未満	m 3	1	390. 5	390. 5		
計						390. 5		
単価						390. 5	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一2号	路体(築堤)盛土	4. 0m以上	単位	m3	数量		1	単価 261. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路体（築堤）盛土		4. 0m以上 20,000m3未満 無し	m 3	1	261. 9	261. 9		
計						261. 9		
単価						261. 9	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一3号	路体(築堤)盛土 (中分盛土)	2. 5m未満	単位	m3	数量	1	単価	7, 157
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路体（築堤）盛土		2. 5m未満	m 3	1	7, 157	7, 157		
計						7, 157		
単価						7, 157	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一4号	路体(築堤)盛土 (中分盛土)	4. 0m以上	単位	m3	数量	1	単価	261. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路体（築堤）盛土		4. 0m以上 20, 000m3未満 無し	m 3	1	261. 9	261. 9		
計						261. 9		
単価						261. 9	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一5号	路体(築堤)盛土 (歩道盛土)	2. 5m未満	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	路体 (築堤) 盛土	2. 5m未満	m 3	1	7, 157	7, 157		
	計					7, 157		
	単価					7, 157	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一6号	路体(築堤)盛土 (歩道盛土)	2. 5m以上4. 0m未満	単位	m3	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	路体 (築堤) 盛土	2. 5m以上4. 0m未満	m 3	1	916. 5	916. 5		
	計					916. 5		
	単価					916. 5	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一7号	路体(築堤)盛土 (路帯外盛土)	2. 5m未満	単位	m3	数量		単価	
						1		7, 157
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路体 (築堤) 盛土		2. 5m未満						
			m 3	1	7, 157	7, 157		
計						7, 157		
単価						7, 157	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一8号	路床盛土	4. 0m以上	単位	m3	数量		単価	
						1		401. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
路床盛土		4. 0m以上 20, 000m3未満 無し						
			m 3	1	401. 8	401. 8		
計						401. 8		
単価						401. 8	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一9号	土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	2, 033
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
土砂等運搬		標準 バックホウ バケット容量0. 8m3 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 11. 0km以下	m 3	1	2, 033	2, 033		
計						2, 033		
単価						2, 033	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一10号	土質改良	パック拌 改良材フレコンパック 添加量60kg/m3	単位	m3	数量	100	単価	2, 092
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【施工費】								
土質改良(石灰改良)		パック拌 改良材フレコンパック 添加量 60kg/m3	m3	100	609. 7	60, 970		
【材料費】								
生石灰		フレコンパック	t	6	24, 700	148, 200		
計						209, 170		
単価						2, 092	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一11号	残土等処分		単位	m3	数量	1	単価	3, 760
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
残土等処分 【処分費3, 760円】			m 3	1	3, 760	3, 760		
計						3, 760		
単価						3, 760	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一12号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	260. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	260. 9	260. 9		
計						260. 9		
単価						260. 9	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一13号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量	1	単価	2, 167
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2, 167	2, 167		
計						2, 167		
単価						2, 167	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一14号	基面整正		単位	m2	数量	1	単価	540
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	540	540		
計						540		
単価						540	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一15号	重力式擁壁 【第2号小型擁壁】	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	単位	m3	数量		単価	
						1		80, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
重力式擁壁		1mを超え2m未満 18-8-25(高炉) 有り 無し 一般養生	m 3	1	80, 000	80, 000		
計						80, 000		
単価						80, 000	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一16号	裏込め排水 【第2号小型擁壁】	RC-40	単位	m3	数量		単価	
						1		7, 129
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
裏込砕石		再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 3	1	7, 129	7, 129		
計						7, 129		
単価						7, 129	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一17号	重力式擁壁 【重力式擁壁】	2m以上5m以下 18-8-25(高炉)	単位	m3	数量		単価	
						1		72, 340
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
重力式擁壁		2m以上5m以下 18-8-25(高炉) 有り 無し 一般養生 延長無し	m 3	1	72, 340	72, 340		
計						72, 340		
単価						72, 340	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一18号	裏込め排水 【重力式擁壁】	RC-40	単位	m3	数量		単価	
						1		7, 129
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
裏込砕石		再生クラッシュ 40～0 全ての費用	m 3	1	7, 129	7, 129		
計						7, 129		
単価						7, 129	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一19号	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200mm	単位	m2	数量	1	単価	593. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤（車道・路肩部）（I C T）		200mm 1層施工 再生クラッシュラン RC-40	m 2	1	593. 9	593. 9		
計						593. 9		
単価						593. 9	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一20号	上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 150mm	単位	m2	数量	1	単価	575. 2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤（車道・路肩部）（I C T）		150mm 1層施工 再生粒度調整碎石 RM-40	m 2	1	575. 2	575. 2		
計						575. 2		
単価						575. 2	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一21号	上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	単位	m2	数量		単価	
						1		2, 608
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	上層路盤（車道・路肩部）	再生瀝青安定処理材（40） 3.0m超 80mm プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	2, 608	2, 608		
	計					2, 608		
	単価					2, 608	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一22号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量		単価	
						1		1, 705
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基層（車道・路肩部）	3.0m超 50mm 再生粗粒度アスコン（20） タックコート PK-4 全ての費用	m 2	1	1, 705	1, 705		
	計					1, 705		
	単価					1, 705	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一23号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	単位	m2	数量		単価	
						1		1,729
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		3.0m超 50mm 再生密粒度アスコン (20) タックコート PK-4 全ての費用	m 2	1	1,729	1,729		
計						1,729		
単価						1,729	円/m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一24号	フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
						1		1,177
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
フィルター層		100mm以上120mm未満	m 2	1	1,177	1,177		
計						1,177		
単価						1,177	円/m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－25号	下層路盤(歩道部)	再生クランラン RC-40 仕上り厚 100mm	単位	m2	数量		単価	
						1		933. 2
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
下層路盤（歩道部）		100mm 1層施工 再生クランラン RC-40 全ての費用	m 2	1	933. 2	933. 2		
計						933. 2		
単価						933. 2	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－26号	表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1. 4m以上	単位	m2	数量		単価	
						1		1, 704
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層（歩道部）		1. 4m以上 40mm 再生密粒度アスコン（1 3） プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	1, 704	1, 704		
計						1, 704		
単価						1, 704	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一27号	床掘り	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		260. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	260. 9	260. 9		
計						260. 9		
単価						260. 9	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一28号	埋戻し	1. 0m以上4. 0m未満	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 167
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2, 167	2, 167		
計						2, 167		
単価						2, 167	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－29号	埋戻し	1. 0m未満	単位	m3	数量		単価	
						1		3, 576
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m未満	m 3	1	3, 576	3, 576		
計						3, 576		
単価						3, 576	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－30号	基面整正		単位	m2	数量		単価	
						1		540
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	540	540		
計						540		
単価						540	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-31号	L形側溝 (標準タイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	17, 410
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	1. 61	40, 330	64, 931. 3		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	4. 1	9, 955	40, 815. 5		
歩車道境界ブロック		設置 各種 (600mm以下、50kg以上100kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	6, 835	68, 350		
計						174, 096. 8		
単価						17, 410	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-32号	L形側溝 (切下げタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	16, 470
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	1. 61	40, 330	64, 931. 3		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	4. 1	9, 955	40, 815. 5		
歩車道境界ブロック		設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	5, 891	58, 910		
計						164, 656. 8		
単価						16, 470	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-33号	L形側溝 (すり付けタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	19, 030
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	1. 61	40, 330	64, 931. 3		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	4. 1	9, 955	40, 815. 5		
歩車道境界ブロック		設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	8, 452	84, 520		
計						190, 266. 8		
単価						19, 030	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一34号	L形側溝 (B)	幅 87 c m 高さ 15 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	14, 660
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 98	40, 330	39, 523. 4		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 7	9, 955	26, 878. 5		
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg以上100kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	5	6, 835	34, 175		
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	5	9, 195	45, 975		
計						146, 551. 9		
単価						14, 660	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-35号	L形側溝 (C)	幅 69.8 c m 高さ 6 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	11, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 8	40, 330	32, 264		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2. 1	9, 955	20, 905. 5		
歩車道境界ブロック		設置 各種 (600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	5, 676	56, 760		
計						109, 929. 5		
単価						11, 000	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－36号	管(函)渠型側溝 (スリット型側溝)	300×300	単位	m	数量	10	単価	17, 240
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管（函）渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	17, 240	172, 400		
計						172, 400		
単価						17, 240	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－37号	管(函)渠型側溝 (スリット型側溝)	300×700	単位	m	数量	10	単価	45, 110
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管（函）渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	45, 110	451, 100		
計						451, 100		
単価						45, 110	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-38号	管(函)渠型側溝 (街渠縦断管)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	26, 740
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管(函)渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	22, 270	222, 700		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 65	38, 040	24, 726		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2	9, 955	19, 910		
計						267, 336		
単価						26, 740	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－39号	管(函)渠型側溝 (街渠縦断管)	300×400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	31, 610
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管 (函) 渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	27, 140	271, 400		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 65	38, 040	24, 726		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2	9, 955	19, 910		
計						316, 036		
単価						31, 610	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一40号	管(函)渠型側溝(街渠縦断管)	300×500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	34, 370
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	管 (函) 渠型側溝	据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	29, 900	299, 000		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 65	38, 040	24, 726		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	2	9, 955	19, 910		
	計					343, 636		
	単価					34, 370	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一41号	管(函)渠型側溝(街渠縦断管集水部)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	33, 610
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管 (函) 渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	29, 140	291, 400		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 65	38, 040	24, 726		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2	9, 955	19, 910		
計						336, 036		
単価						33, 610	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一42号	管(函)渠型側溝 (中分用)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	30, 960
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管 (函) 渠型側溝		据付 各種 200mm以上300mm以下 有り 全ての費用	m	10	26, 990	269, 900		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 52	38, 040	19, 780. 8		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	2	9, 955	19, 910		
計						309, 590. 8		
単価						30, 960	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一43号	プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋無し)	PU1-300×300	単位	m	数量	10	単価	11, 450
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 鉄筋コンクリートU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40～0	m	10	11, 450	114, 500		
計						114, 500		
単価						11, 450	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一44号	プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)	PU2-300×300	単位	m	数量	10	単価	15, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372 300A 300×300×2000 無し 無し 有り	m	10	11, 470	114, 700		
蓋版		据付け 無し 道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372 300 41. 2×9. 5×50 無し 無し	枚	20	2, 013	40, 260		
計						154, 960		
単価						15, 500	円／m	

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数		2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一45号	プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)	PU-2-300×400	単位	m	数量	10	単価	16, 900	
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
U型側溝		据付け 無し 無し 道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372 300B 300×400×2000 無し 無し 有り	m	10	12, 870	128, 700			
蓋版		据付け 無し 道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 JIS A 5372 300 41. 2×9. 5×50 無し 無し	枚	20	2, 013	40, 260			
計						168, 960			
単価						16, 900	円／m		

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一46号	プレキャストU型側溝	PU1-300×700	単位	m	数量	10	単価	31, 550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40〜0 0. 55m3/10m	m	10	31, 550	315, 500		
計						315, 500		
単価						31, 550	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一47号	U型水路	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	63, 350
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝		据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40～0	m	10	59, 300	593, 000		
コンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	1. 2	33, 740	40, 488		
計						633, 488		
単価						63, 350	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一48号	U型水路(蓋付き)	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	93, 880
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	U型側溝	据付け 無し 無し 側溝(各種) L=2000mm 1000を超え2000kg/個以下 無し 無し 有り 再生クラッシュラン 40～0	m	10	67, 580	675, 800		
	コンクリート蓋据付	800用 L1000	枚	10	946. 2	9, 462		
	材料費(枚) コンクリート蓋 800用 L1000		枚	10	21, 300	213, 000		
	コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	1. 2	33, 740	40, 488		
	計					938, 750		
	単価					93, 880	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一49号	1号函渠工	18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	128. 5	単価 48, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ボックスカルバート		据付 2. 0m/個 0<B≤1. 25 0<H≤1. 25 基礎碎石+均しコンクリート 無し 標準	m	120. 5	19, 320	2, 328, 060	
ボックスカルバート		400×400×2000	個	60. 25	59, 400	3, 578, 850	
自由勾配側溝 400×500		無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生コンクリート(各種) 0. 31m3/10m 有り 再生クラッシュラン 40～0 0. 61m3/10m	m	2	18, 160	36, 320	
自由勾配側溝 400×600		無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生コンクリート(各種) 0. 32m3/10m 有り 再生クラッシュラン 40～0 0. 63m3/10m	m	4	19, 350	77, 400	
自由勾配側溝 400×700		無し L=2000mm 1000kg/個以下 無し 生コンクリート(各種) 0. 32m3/10m 有り 再生クラッシュラン 40～0 0. 63m3/10m	m	2	22, 150	44, 300	
蓋版 (コンクリート蓋)		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	8	3, 640	29, 120	
蓋版 (グレーチング)		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	8	23, 670	189, 360	
計						6, 283, 410	
単価						48, 900	円/m

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一50号	ヒューム管(B形管) (P1-RC1-D300)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	21, 860
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ヒューム管 (B形管)		据付 300mm 90° 巻き 有り 外圧管1種 各種 全ての費用	m	10	21, 860	218, 600		
計						218, 600		
単価						21, 860	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一51号	ヒューム管(B形管) (P1-RC1-D400)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	27, 840
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
ヒューム管 (B形管)		据付 400mm 90° 巻き 有り 外圧管1種 各種 全ての費用	m	10	27, 840	278, 400		
計						278, 400		
単価						27, 840	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一52号	鉄筋コンクリート台付管	D300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	19, 430
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート台付管	据付 300mm 2m/個 全ての費用	m	10	16, 520	165, 200		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 44	38, 040	16, 737. 6		
	型枠	一般型枠 均しコンクリート	m 2	2	5, 575	11, 150		
	空練モルタル 材料（1：3）	高炉	m 3	0. 05	22, 260	1, 113		
	計					194, 200. 6		
	単価					19, 430	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-53号	鉄筋コンクリート台付管	D400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	27, 470
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート台付管	据付 400mm 2. 5m/個 全ての費用	m	10	24, 240	242, 400		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 52	38, 040	19, 780. 8		
	型枠	一般型枠 均しコンクリート	m 2	2	5, 575	11, 150		
	空練モルタル 材料（1：3）	高炉	m 3	0. 06	22, 260	1, 335. 6		
	計					274, 666. 4		
	単価					27, 470	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一54号	鉄筋コンクリート台付管	D450 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	29, 590
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート台付管	据付 450mm 2. 5m/個 全ての費用	m	10	26, 180	261, 800		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 56	38, 040	21, 302. 4		
	型枠	一般型枠 均しコンクリート	m 2	2	5, 575	11, 150		
	空練モルタル 材料（1：3）	高炉	m 3	0. 07	22, 260	1, 558. 2		
	計					295, 810. 6		
	単価					29, 590	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一55号	鉄筋コンクリート台付管	D500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	31, 900
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート台付管	据付 500mm 2. 5m/個 全ての費用	m	10	28, 320	283, 200		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 6	38, 040	22, 824		
	型枠	一般型枠 均しコンクリート	m 2	2	5, 575	11, 150		
	空練モルタル 材料（1：3）	高炉	m 3	0. 08	22, 260	1, 780. 8		
	計					318, 954. 8		
	単価					31, 900	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-56号	鉄筋コンクリート台付管	D600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	42, 200
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート台付管	据付 600mm 2. 5m/個 全ての費用	m	10	35, 900	359, 000		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 65	38, 040	24, 726		
	型枠	一般型枠 均しコンクリート	m 2	6. 5	5, 575	36, 237. 5		
	空練モルタル 材料（1：3）	高炉	m 3	0. 09	22, 260	2, 003. 4		
	計					421, 966. 9		
	単価					42, 200	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-57号	鉄筋コンクリート台付管 (CSB φ 400)	D400	単位	m	数量	10	単価	32, 910
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋コンクリート台付管		据付 400mm 2. 4m/個 全ての費用	m	10	8, 541	85, 410		
モルタル		1 : 3	m 3	0. 144	28, 000	4, 032		
遠心ボックスカルバート		I型400 400×2400	m	10	23, 958	239, 580		
計						329, 022		
単価						32, 910	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－58号	現場打ち集水桝 (G1-B500-L500-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	104, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 43m3を超え0. 46m3以下 パヅクホ(クレーン機能付)打設	箇所	10	76, 060	760, 600		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	28, 770	287, 700		
計						1, 048, 300		
単価						104, 900	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－59号	現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H700)	現場打材 18-8-25(高炉) W/C=指定なし 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	113, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		各種 0. 43m3を超え0. 46m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	10	75, 350	753, 500		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	38, 470	384, 700		
計						1, 138, 200		
単価						113, 900	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一60号	現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H800)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	117, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		各種 0. 46m3を超え0. 49m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	10	79, 040	790, 400		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	38, 470	384, 700		
計						1, 175, 100		
単価						117, 600	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一61号	現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	121, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 49m3を超え0. 52m3以下 パ ッ ク ホ ン (クレーン機能付) 打設	箇所	10	83, 550	835, 500		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	38, 270	382, 700		
計						1, 218, 200		
単価						121, 900	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一62号	現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	170, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 87m3を超え0. 92m3以下 パッキン(クレーン機能付) 打設	箇所	10	132, 300	1, 323, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	38, 270	382, 700		
計						1, 705, 700		
単価						170, 600	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一63号	現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H700)	現場打材 18-8-25(高炉) W/C=指定なし 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	122, 800
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		各種 0. 46m3を超え0. 49m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	10	79, 040	790, 400		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	43, 670	436, 700		
計						1, 227, 100		
単価						122, 800	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一64号	現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	189, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 97m3を超え1. 03m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	145, 300	1, 453, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	43, 670	436, 700		
計						1, 889, 700		
単価						189, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一65号	現場打ち集水桝 (G1-B700-L700-H1700)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	256, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 1. 36m3を超え1. 44m3以下 ハックホ(クレーン機能付)打設	箇所	10	207, 900	2, 079, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	37, 070	370, 700		
足掛金具		D19 W300	本	40	2, 970	118, 800		
計						2, 568, 500		
単価						256, 900	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一66号	現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	231, 600
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 69m3を超え0. 73m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	109, 100	1, 091, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	122, 500	1, 225, 000		
計						2, 316, 000		
単価						231, 600	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一67号	現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	352, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 1. 44m3を超え1. 52m3以下 ハックホ(クレーン機能付)打設	箇所	10	218, 500	2, 185, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	122, 500	1, 225, 000		
足掛金具		D19 W300	本	40	2, 970	118, 800		
計						3, 528, 800		
単価						352, 900	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一68号	現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1800)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	379, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 1. 61m3を超え1. 70m3以下 ハックボリ(クレーン機能付)打設	箇所	10	241, 600	2, 416, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	122, 500	1, 225, 000		
足掛金具		D19 W300	本	50	2, 970	148, 500		
計						3, 789, 500		
単価						379, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－69号	現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H500)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正 無	単位	箇所	数量	10	単価	78, 570
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		各種 0. 28m3を超え0. 30m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	10	56, 300	563, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	22, 270	222, 700		
計						785, 700		
単価						78, 570	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一70号	現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	179, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 97m3を超え1. 03m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	145, 300	1, 453, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	22, 270	222, 700		
足掛金具		D19 W300	本	40	2, 970	118, 800		
計						1, 794, 500		
単価						179, 500	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一71号	現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	103, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		各種 0. 43m3を超え0. 46m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	10	75, 350	753, 500		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	27, 670	276, 700		
計						1, 030, 200		
単価						103, 100	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一72号	現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	115, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 52m3を超え0. 55m3以下 パ ッ ク ホ ン (クレーン機能付) 打設	箇所	10	87, 280	872, 800		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	27, 670	276, 700		
計						1, 149, 500		
単価						115, 000	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一73号	現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	118, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 55m3を超え0. 58m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	91, 020	910, 200		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	27, 670	276, 700		
計						1, 186, 900		
単価						118, 700	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一74号	現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	168, 900
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 87m3を超え0. 92m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	132, 300	1, 323, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	27, 670	276, 700		
足掛金具		D19 W300	本	30	2, 970	89, 100		
計						1, 688, 800		
単価						168, 900	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一75号	現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	219, 100
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 1. 15m3を超え1. 22m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	179, 500	1, 795, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	27, 670	276, 700		
足掛金具		D19 W300	本	40	2, 970	118, 800		
計						2, 190, 500		
単価						219, 100	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一76号	現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	149, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 69m3を超え0. 73m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	109, 100	1, 091, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	40, 570	405, 700		
計						1, 496, 700		
単価						149, 700	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一77号	現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	154, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 0. 73m3を超え0. 77m3以下 パッキン(クレーン機能付)打設	箇所	10	114, 100	1, 141, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	40, 570	405, 700		
計						1, 546, 700		
単価						154, 700	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一78号	現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1400)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	247, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		18-8-25(高炉) 1. 29m3を超え1. 36m3以下 ハックホ(クレーン機能付)打設	箇所	10	198, 000	1, 980, 000		
蓋版		据付け 無し 蓋版(各種) 40を超え170kg/枚以下 無し 無し	枚	10	40, 570	405, 700		
足掛金具		D19 W300	本	30	2, 970	89, 100		
計						2, 474, 800		
単価						247, 500	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一79号	プレキャスト街渠桝 (A)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	箇所	数量	10	単価	68, 420
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	プレキャスト集水桝	据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	10	8, 089	80, 890		
	プレキャスト集水桝 (材料費)		基	10	54, 100	541, 000		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 72	38, 040	27, 388. 8		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	3. 5	9, 955	34, 842. 5		
	計					684, 121. 3		
	単価					68, 420	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-80号	プレキャスト街渠桝 (A)	300×400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	箇所	数量	10	単価	72, 620
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	プレキャスト集水桝	据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	10	8, 089	80, 890		
	プレキャスト集水桝 (材料費)		基	10	58, 300	583, 000		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 72	38, 040	27, 388. 8		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	3. 5	9, 955	34, 842. 5		
	計					726, 121. 3		
	単価					72, 620	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-81号	プレキャスト街渠桝 (A)	300×500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	箇所	数量	10	単価	77, 320
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水桝		据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	10	8, 089	80, 890		
プレキャスト集水桝 (材料費)			基	10	63, 000	630, 000		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 72	38, 040	27, 388. 8		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	3. 5	9, 955	34, 842. 5		
計						773, 121. 3		
単価						77, 320	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-82号	プレキャスト街渠桝 (A)	500×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	箇所	数量	10	単価	104, 300
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水桝		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	10	10, 030	100, 300		
プレキャスト集水桝 (材料費)			基	10	87, 100	871, 000		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 88	38, 040	33, 475. 2		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	3. 8	9, 955	37, 829		
計						1, 042, 604. 2		
単価						104, 300	円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-83号	プレキャスト街渠桝 (C)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	箇所	数量	10	単価	68, 310
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	プレキャスト集水桝	据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	10	8, 089	80, 890		
	プレキャスト集水桝 (材料費)		基	10	54, 400	544, 000		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用	m 3	0. 64	38, 040	24, 345. 6		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	3. 4	9, 955	33, 847		
	計					683, 082. 6		
	単価					68, 310	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単-84号	プレキャスト集水桝	300×300	単位	箇所	数量	10	単価	62, 930
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水桝		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	10	10, 030	100, 300		
プレキャスト集水桝 (材料費)			基	10	52, 900	529, 000		
計						629, 300		
単価						62, 930	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単-85号	プレキャスト集水桝	300×400	単位	箇所	数量	10	単価	67, 830
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャスト集水桝		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	10	10, 030	100, 300		
プレキャスト集水桝 (材料費)			基	10	57, 800	578, 000		
計						678, 300		
単価						67, 830	円／箇所	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－86号	1号人孔	H=2. 6m	単位	箇所	数量	1	単価	338, 500
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャストマンホール		据付 2000kg/基以下 有り (円形断面) 全ての費用	基	1	338, 500	338, 500		
計						338, 500		
単価						338, 500	円／箇所	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－87号	床掘り	土砂	単位	m3	数量	1	単価	260. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	260. 9	260. 9		
計						260. 9		
単価						260. 9	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－88号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		3, 576
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m未満	m 3	1	3, 576	3, 576		
計						3, 576		
単価						3, 576	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－89号	基面整正		単位	m2	数量		単価	
						1		540
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基面整正			m 2	1	540	540		
計						540		
単価						540	円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一90号	歩車道境界ブロック (1) (一般部)	B種(180/230×250×600) 両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	11, 790
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg以上100kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	5	6, 835	34, 175		
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	5	9, 195	45, 975		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 41	40, 330	16, 535. 3		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	1. 6	9, 955	15, 928		
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	3. 8	1, 367	5, 194. 6		
計						117, 807. 9		
単価						11, 790	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-91号	歩車道境界ブロック (2) (一般部)	B種(180/205×250×600) 片面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	10, 550
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 B種(180/205×250×600) 無し 無し	m	10	6, 847	68, 470		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 4	40, 330	16, 132		
基礎碎石		7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	3. 6	1, 367	4, 921. 2		
型枠		一般型枠 小型構造物	m 2	1. 6	9, 955	15, 928		
計						105, 451. 2		
単価						10, 550	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-92号	歩車道境界ブロック (3) (一般部)	B種(180/205×250×600) 片面	単位	m	数量	10	単価	6, 847
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 B種(180/205×250×600) 無し 無し	m	10	6, 847	68, 470		
計						68, 470		
単価						6, 847	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-93号	歩車道境界ブロック (4) (一般部)	B種 (180/230×250×600) 両面 18-8-25 (高炉) W/C=指定 なし	単位	m	数量	10	単価	9, 060
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ブロック	設置 各種 (600mm以下、50kg以上100kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	6, 835	68, 350		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 215	40, 330	8, 670. 95		
	基礎碎石	7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40〜0 全ての費用	m 2	2. 65	1, 367	3, 622. 55		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	1	9, 955	9, 955		
	計					90, 598. 5		
	単価					9, 060	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一94号	歩車道境界ブロック (出入部)	B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	12, 220
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	8, 452	84, 520		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 41	40, 330	16, 535. 3		
	基礎碎石	7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	3. 8	1, 367	5, 194. 6		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	1. 6	9, 955	15, 928		
	計					122, 177. 9		
	単価					12, 220	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一95号	歩車道境界ブロック (すり付け部)	B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	12, 220
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ブロック	設置 各種(600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 無し 無し	m	10	8, 452	84, 520		
	コンクリート	小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0. 41	40, 330	16, 535. 3		
	基礎碎石	7. 5cmを超え12. 5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	3. 8	1, 367	5, 194. 6		
	型枠	一般型枠 小型構造物	m 2	1. 6	9, 955	15, 928		
	計					122, 177. 9		
	単価					12, 220	円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一96号	歩車道境界ブロック (擁壁部)	B種(180/230×250×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定 なし	単位	m	数量	10	単価	8,239
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg以上100kg未満) 1.65個/m 無し 無し	m	10	6,835	68,350		
コンクリート		小型構造物 人力打設 各種 一般養生 無し 全ての費用	m 3	0.26	40,330	10,485.8		
基礎碎石		7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシュラン 40～0 全ての費用	m 2	2.6	1,367	3,554.2		
計						82,390		
単価						8,239	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一97号	歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (中分部)	C種(180/210×300×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	11, 390
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 C種(180/210×300×600) 再生ｸﾗｯｼﾔｰﾝ RC-40 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 無し	m	10	11, 390	113, 900		
計						113, 900		
単価						11, 390	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一98号	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A種(120×120×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	7, 286
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
地先境界ブロック		設置 A種(120×120×600) 再生ｸﾗｯｼﾔｰﾝ RC-40 生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種) 無し	m	10	7, 286	72, 860		
計						72, 860		
単価						7, 286	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単-99号	植樹ブロック	150×180×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	単位	m	数量	10	単価	9, 006
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置 各種(600mm以下、50kg未満) 1. 65個/m 再生クラッシュ RC-40 生コンクリート(各種) 無し	m	10	9, 006	90, 060		
計						90, 060		
単価						9, 006	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単-100号	基礎ブロック, 鋼管基礎	基礎ブロック □200 H450	単位	基	数量	1	単価	4, 575
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎ブロック, 鋼管基礎		基礎ブロック 金網柵 無し 全ての費用	基	1	4, 575	4, 575		
計						4, 575		
単価						4, 575	円/基	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一101号	金網・支柱(立入防止柵)	H=2. 0m	単位	m	数量	1	単価	12, 590
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
金網・支柱（立入防止柵）		基礎ﾌﾞﾛｯｸ 2m	m	1	3, 723	3, 723		
金網・支柱（立入防止柵）（材料費）			m	1	8, 860	8, 860		
金網：浸漬塗装、支柱：粉体塗装								
計						12, 583		
単価						12, 590	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一102号	転落(横断)防止柵 (擁壁設置用)	柵高 1.1m コンクリート建込	単位	m	数量	1	単価	11, 850
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵 (横断・転落防止柵) 設置工		コンクリート建込 ビーム式・パネル式 3m 100m未満 無	m	1	11, 850	11, 850		
【転落防止柵 H1100 景観色】								
計						11, 850		
単価						11, 850	円/m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一103号	溶融式区画線 (外側線-境界線)	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	435. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 15cm 無し 1. 5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	435. 5	435. 5		
計						435. 5		
単価						435. 5	円/m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一104号	溶融式区画線 (外側線-境界線)	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	466. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	466. 3	466. 3		
計						466. 3		
単価						466. 3	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一105号	溶融式区画線 (外側線-境界線トット)	溶融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価	466. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 破線 15cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	466. 3	466. 3		
計						466. 3		
単価						466. 3	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一106号	溶融式区画線 (外側線-境界線トット)	溶融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 742. 1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 実線 30cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	742. 1	742. 1	
計						742. 1	
単価						742. 1	円／m

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一107号	溶融式区画線 (ゼブラ-停止線-横断)	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	単位	m	数量	1	単価 1, 097
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し 溶融式手動 無し ゼブラ 45cm 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装 全ての費用	m	1	1, 097	1, 097	
計						1, 097	
単価						1, 097	円／m

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一108号	溶融式区画線 (矢印・文字)	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水 性舗装無	単位	m	数量		1	単価 1, 019
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し 溶融式手動 無し 矢印・記号・文字 15cm換算 無し 1.5mm 無し 無し 含有量15～18% 白 アスファルト舗装	m	1	1, 019	1, 019		
計						1, 019		
単価						1, 019	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一109号	床掘り	土砂	単位	m3	数量		1	単価 260. 9
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		土砂 標準 無し 無し	m 3	1	260. 9	260. 9		
計						260. 9		
単価						260. 9	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－110号	埋戻し	土砂	単位	m3	数量		単価	
						1		2, 167
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		最大埋戻幅1m以上4m未満	m 3	1	2, 167	2, 167		
計						2, 167		
単価						2, 167	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－111号	コンクリート構造物取壊し (排水構造物)	無筋構造物 機械施工	単位	m3	数量		単価	
						1		11, 890
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	m 3	1	11, 890	11, 890		
計						11, 890		
単価						11, 890	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一112号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量		単価	
						1		771
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	771	771		
計						771		
単価						771	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一113号	舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15 c m	単位	m2	数量		単価	
						1		234. 3
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版 無し 不要 15cm以下 有り 全ての費用	m 2	1	234. 3	234. 3		
計						234. 3		
単価						234. 3	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－114号	ヒューム管撤去	400mm	単位	m	数量	1	単価	594. 5
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	m 3	0. 05	11, 890	594. 5		
計						594. 5		
単価						594. 5	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－115号	暗渠排水管撤去 【塩ビ管 φ 300】	撤去	単位	m	数量	1	単価	448. 1
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
暗渠排水管		撤去 直管 200～400mm	m	1	448. 1	448. 1		
計						448. 1		
単価						448. 1	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一116号	マンホール撤去 (再利用)H=2. 4m	2000Kg/基以下	単位	基	数量	1	単価	57, 260
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
プレキャストマンホール		据付・撤去 2000kg/基以下 有り(円形断面) 全ての費用	基	1	57, 260	57, 260		
計						57, 260		
単価						57, 260	円／基	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一117号	鉄筋コンクリート台付管 (再利用CSB)		単位	m	数量	1	単価	11, 790
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋コンクリート台付管		据付・撤去 400mm 2. 4m/個 全ての費用	m	1	11, 790	11, 790		
計						11, 790		
単価						11, 790	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一118号	殻運搬	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	3, 285
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 有り 6. 0km以下 全ての費用	m 3	1	3, 285	3, 285		
計						3, 285		
単価						3, 285	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一119号	殻運搬 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	2, 302
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 10. 9km以下 全ての費用	m 3	1	2, 302	2, 302		
計						2, 302		
単価						2, 302	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－120号	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ運搬	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	単位	m3	数量	1	単価	3, 750
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ運搬			m3	1	3, 750	3, 750		
計						3, 750		
単価						3, 750	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－121号	殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3, 525
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	3, 525	3, 525		
計						3, 525		
単価						3, 525	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－122号	殻処分 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5, 555
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	5, 555	5, 555		
計						5, 555		
単価						5, 555	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－123号	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	単位	m3	数量	1	単価	10, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m 3)			m 3	1	10, 000	10, 000		
計						10, 000		
単価						10, 000	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-124号	軽量鋼矢板	LSP-2型 (t=4mm)	単位	m	数量	1	単価	4, 116
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽量鋼矢板設置・撤去			m	1	4, 116	4, 116		
計						4, 116		
単価						4, 116	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-125号	軽量鋼矢板賃料	LSP-2型 (t=4mm)	単位	式	数量	1	単価	53, 940
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【特殊部】H=3. 0 5回転用 19日								
軽量鋼矢板賃料		LSP-2型 (t=4mm) H=3. 0m	t	1. 98	18, 790	37, 204. 2		
腹起し材損料 3ヶ月未満 (10%)		一般構造用角型鋼管 125×125×3. 2	t	0. 334	17, 500	5, 845		
鋼製切梁ボルト賃料		管理設工事用 調整長 1200mm～1800mm	本	4	2, 722	10, 888		
計						53, 937. 2		
単価						53, 940	円／式	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－126号	殻運搬	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	2, 502
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬（電線共同溝工）		アスファルト塊 有り 6.0km以下	m 3	1	2, 502	2, 502		
計						2, 502		
単価						2, 502	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－127号	殻処分	アスファルト殻	単位	m3	数量	1	単価	3, 525
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費（m 3）			m 3	1	3, 525	3, 525		
計						3, 525		
単価						3, 525	円／m3	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－128号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	単位	m	数量		単価	
						1		771
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	m	1	771	771		
計						771		
単価						771	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－129号	舗装版破碎	アスファルト 15cm以下	単位	m2	数量		単価	
						1		1, 414
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎積込（電線共同溝工）			m 2	1	1, 414	1, 414		
計						1, 414		
単価						1, 414	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－130号	下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 300mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 2, 041	
下層路盤 (歩道部)							摘要	
			m 2	1	2, 041	2, 041		
計						2, 041		
単価						2, 041	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－131号	上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 250mm	単位	m2	数量		単価	
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	1 2, 065	
上層路盤 (歩道部)							摘要	
			m 2	1	2, 065	2, 065		
計						2, 065		
単価						2, 065	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一132号	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 2, 971
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生粗粒度アスコン (20) プライムコート PK-3 全ての費用	m 2	1	2, 971	2, 971		
計						2, 971		
単価						2, 971	円／m2	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単一133号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	数量		1	単価 2, 904
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層 (車道・路肩部)		1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン (13) タックコート PK-4 全ての費用	m 2	1	2, 904	2, 904		
計						2, 904		
単価						2, 904	円／m2	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－134号	開削掘削	土砂	単位	m3	数量	1	単価	4, 536
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り（電線共同溝工）			m 3	1	4, 536	4, 536		
計						4, 536		
単価						4, 536	円／m3	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－135号	埋戻し・締固め	流用土 土砂	単位	m3	数量	1	単価	5, 495
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め（電線共同溝工）		土砂	m 3	1	5, 495	5, 495		
計						5, 495		
単価						5, 495	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単-136号	埋戻し・締固め	再生砂 中埋砂	単位	m3	数量	1	単価	7, 921
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し・締固め（電線共同溝工）		中埋砂	m 3	1	7, 921	7, 921		
計						7, 921		
単価						7, 921	円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－137号	埋設管路 (1)	FEP 径 130mm	単位	m	数量	58. 2	単価	5, 344
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 多条管設置	m	58. 2	4, 448	258, 873. 6		
ダクトスリーブ 取付手間		φ 50～φ 250	箇所	4	2, 530	10, 120		
ロングヘルマウス		角型FEP φ 130	個	4	10, 500	42, 000		
計						310, 993. 6		
単価						5, 344	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－138号	埋設管路 (2)	FEP 径 100mm	単位	m	数量	58. 2	単価	4, 561
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 多条管設置	m	58. 2	3, 820	222, 324		
ダクトスリーブ 取付手間		φ 50～φ 250	箇所	4	2, 530	10, 120		
ロングヘルマウス		角型FEP φ 100	個	4	8, 250	33, 000		
計						265, 444		
単価						4, 561	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単－139号	埋設管路 (3)	PV 径 75mm	単位	m	数量	152. 6	単価	4, 259
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	152. 6	3, 777	576, 370. 2		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	101	265	26, 765		
ダクトスリーブ 取付手間		φ 50～φ 250	箇所	10	2, 530	25, 300		
ダクトスリーブ		PV φ 75用	個	10	2, 140	21, 400		
計						649, 835. 2		
単価						4, 259	円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一140号	埋設管路 (4)	PV 径 50mm	単位	m	数量	419. 2	単価	3, 291
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路材設置		埋設部 単管設置	m	419. 2	2, 835	1, 188, 432		
管路受台（スぺーサ）（材料費）			個	286	257	73, 502		
ｸﾞｸﾄｽﾘｰﾌ 取付手間		φ 50～φ 250	箇所	28	2, 530	70, 840		
ｸﾞｸﾄｽﾘｰﾌ		PV φ 50用	個	28	1, 670	46, 760		
計						1, 379, 534		
単価						3, 291	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－141号	埋設表示シート (1)	W=600mm 2倍 水抜き穴有	単位	m	数量	1	単価	801. 8
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設表示シート（材料費）			m	1	801. 8	801. 8		
計						801. 8		
単価						801. 8	円／m	

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0	
単－142号	埋設表示シート (2)	W=400mm 2倍 水抜き穴有	単位	m	数量	1	単価	538. 6
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設表示シート（材料費）			m	1	538. 6	538. 6		
計						538. 6		
単価						538. 6	円／m	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一143号	特殊部I型 【D1】 【U1】	BOX 1200×1800×3500 道路横断部	単位	個	数量	1	単価 2, 051, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置 (本体+端壁)		4000kgを超え11000kg以下 標準	個	1	24, 220	24, 220	
プレキャストボックスブロック設置 (ダクトブロック)		1000kg以下 標準	個	1	7, 380	7, 380	
プレキャスト集水枥 (敷板)A1		据付 200kgを超え400kg以下 有り 全ての費用	基	1	6, 658	6, 658	
プレキャスト集水枥 (敷板)B2		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	1	10, 030	10, 030	
プレキャスト集水枥 (敷板)C1		据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	1	8, 089	8, 089	
蓋設置 (調整リンク+铸铁蓋)		200kgを超え800kg以下	組	1	5, 849	5, 849	
特殊部I型 本体 【D1】 【U1】		BOX1200×1800×3500 道路横断部	組	1	1, 220, 000	1, 220, 000	
端壁(特殊部I型)		1460×2080×150(1200×1800)	個	2	104, 000	208, 000	
ダクトブロック		400×400	個	1	106, 200	106, 200	
敷板		1200×1800×3500型	組	1	135, 000	135, 000	
調整リンク		φ 750 H=100	個	1	27, 500	27, 500	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一143号	特殊部I型 【D1】 【U1】	BOX 1200×1800×3500 道路横断部	単位	個	数量	1	単価	2, 051, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
铸铁蓋(受枠含む)		φ 750 歩道用 仮舗装有り	組	1	292, 000	292, 000		
計						2, 050, 926		
単価						2, 051, 000	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一144号	特殊部I型 【D2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	単位	個	数量	1	単価 2, 299, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置 (本体+端壁)		4000kgを超え11000kg以下 標準	個	1	24, 220	24, 220	
プレキャストボックスブロック設置 (サイトボックス+端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準	個	1	17, 000	17, 000	
プレキャスト集水桝 (敷板)B3		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	1	10, 030	10, 030	
プレキャスト集水桝 (敷板)C2		据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	2	8, 089	16, 178	
蓋設置 (調整リング+鋳鉄蓋)		200kgを超え800kg以下	組	1	5, 849	5, 849	
特殊部I型 本体【D2】		BOX1200×1800×3800 道路横断部	組	1	1, 380, 000	1, 380, 000	
端壁(特殊部I型)		1460×2080×150(1200×1800)	個	2	104, 000	208, 000	
サイトボックス		1000×600×650	組	1	134, 000	134, 000	
端壁(サイトボックス用)		1260×860×150	個	1	39, 700	39, 700	
敷板		1200×1800×3800型	組	1	144, 000	144, 000	
調整リング		φ 750 H=100	個	1	27, 500	27, 500	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一144号	特殊部I型 【D2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	単位	個	数量	1	単価	2, 299, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
铸铁蓋(受枠含む)		φ 750 歩道用 仮舗装有り	組	1	292, 000	292, 000		
計						2, 298, 477		
単価						2, 299, 000	円／個	

1 次単価表

						単価使用年月 歩掛使用年月 労務調整係数	2026. 05 2026. 05 1. 000-00-00-2-0
単一145号	特殊部I型 【U2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	単位	個	数量	1	単価 2, 291, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャストボックスブロック設置 (本体+端壁)		4000kgを超え11000kg以下 標準	個	1	24, 220	24, 220	
プレキャストボックスブロック設置 (サイトボックス+端壁)		1000kgを超え4000kg以下 標準	個	1	17, 000	17, 000	
プレキャスト集水桝 (敷板)B3		据付 600kgを超え800kg以下 有り 全ての費用	基	1	10, 030	10, 030	
プレキャスト集水桝 (敷板)C2		据付 400kgを超え600kg以下 有り 全ての費用	基	1	8, 089	8, 089	
蓋設置 (調整リンク+铸铁蓋)		200kgを超え800kg以下	組	1	5, 849	5, 849	
特殊部I型 本体【U2】		BOX1200×1800×3800 道路横断部	組	1	1, 380, 000	1, 380, 000	
端壁(特殊部I型)		1460×2080×150(1200×1800)	個	2	104, 000	208, 000	
サイトボックス		1000×600×650	組	1	134, 000	134, 000	
端壁(サイトボックス用)		1260×860×150	個	1	39, 700	39, 700	
敷板		1200×1800×3800型	組	1	144, 000	144, 000	
調整リンク		φ 750 H=100	個	1	27, 500	27, 500	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一145号	特殊部I型 【U2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	単位	個	数量	1	単価	2, 291, 000
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
铸铁蓋(受枠含む)		φ 750 歩道用 仮舗装有り	組	1	292, 000	292, 000		
計						2, 290, 388		
単価						2, 291, 000	円／個	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一146号	交通誘導警備員		単位	人日	数量	1	単価	18, 700
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B			人日	1	18, 700	18, 700		
計						18, 700		
単価						18, 700	円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一147号	仮設材運搬費		単位	t	数量	1	単価	12, 980
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	【往路】							
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道・東北・関東・北陸・中部 39. 8km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4, 990	4, 990		
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み、取卸し(片道分)	t	1	1, 500	1, 500		
	【復路】							
	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	北海道・東北・関東・北陸・中部 39. 8km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4, 990	4, 990		
	仮設材等の積込み、取卸し費	積込み、取卸し(片道分)	t	1	1, 500	1, 500		
	計					12, 980		
	単価					12, 980	円／t	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛使用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00-00-2-0

単一148号	土質試験費		単位	検体	数量	1	単価	183, 200
名称		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
【溶出試験 2 7 項目一斉分析(前処理費含む)】								
土質等試験費（一式入力）		141千円						
			式	1		141, 000		
【含有試験 9 項目】								
土質等試験費（一式入力）		42. 15千円						
			式	1		42, 150		
計						183, 150		
単価						183, 200	円／検体	

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事

国土交通省 関東地方整備局
相武国道事務所 工務課

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
舗装		式		1		
道路土工 【側道部】		式		1		
掘削工		式		1		
掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000 m3未満	m3		2,500		
路体盛土工		式		1		
路体(築堤)盛土	4.0m以上	m3		400		
路体(築堤)盛土 (中分盛土)	2.5m未満	m3		40		
路体(築堤)盛土 (中分盛土)	4.0m以上	m3		300		
路体(築堤)盛土 (歩道盛土)	2.5m未満	m3		2		
路体(築堤)盛土 (歩道盛土)	2.5m以上4.0m未満	m3		30		
路体(築堤)盛土 (路帯外盛土)	2.5m未満	m3		40		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
路床盛土工		式		1		
路床盛土	4. 0m以上	m3		120		
残土処理工		式		1		
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		1, 810		
土質改良	パ ック杓攪拌 改良材フレコンパ ック 添加量60kg/m3	m3		1, 810		
残土等処分		m3		1, 810		
擁壁工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
基面整正		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
場所打擁壁工 (構造物単位)		式		1		
重力式擁壁 【第2号小型擁壁】	1mを超え2m未満 18-8-25 (高炉)	m3		59		
裏込め排水 【第2号小型擁壁】	RC-40	m3		15		
重力式擁壁 【重力式擁壁】	2m以上5m以下 18-8-25 (高炉)	m3		45		
裏込め排水 【重力式擁壁】	RC-40	m3		5		
舗装工		式		1		
アスファルト舗装工 (ICT)		式		1		
下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200mm	m2		4, 140		
上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150mm	m2		4, 140		
上層路盤 (車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材 (40) 仕上り厚 80mm	m2		4, 140		
基層 (車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		4, 140		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 3.0m超	m2		4,140		
アスファルト舗装工 (歩道舗装)		式		1		
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2		2,400		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2		2,400		
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1.4m以上	m2		2,400		
排水構造物工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	1.0m以上4.0m未満	式		1		
埋戻し	1.0m未満	式		1		
基面整正		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
側溝工		式		1		
L形側溝 (標準タイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		21		
L形側溝 (切下げタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		11		
L形側溝 (すり付けタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		1		
L形側溝 (B)	幅 87 c m 高さ 15 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		67		
L形側溝 (C)	幅 69.8 c m 高さ 6 c m 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		8		
管(函)渠型側溝 (スリット型側溝)	300×300	m		208		
管(函)渠型側溝 (スリット型側溝)	300×700	m		31		
管(函)渠型側溝 (街渠縦断管)	300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		465		
管(函)渠型側溝 (街渠縦断管)	300×400 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		7		
管(函)渠型側溝(街渠縦断管)	300×500 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		10		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
管 (函) 渠型側溝 (街渠縦断管集水部)	300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		12		
管 (函) 渠型側溝 (中分用)	300×300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		95		
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋無し)	PU1-300×300	m		24		
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)	PU2-300×300	m		17		
プレキャストU型側溝 (U型側溝蓋付き)	PU-2-300×400	m		32		
プレキャストU型側溝	PU1-300×700	m		19		
U型水路	800×800 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		4		
U型水路 (蓋付き)	800×800 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		17		
1号函渠工	18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		129		
管渠工		式		1		
ヒューム管 (B形管) (P1-RC1-D300)	外圧管1種 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		27		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
ヒューム管 (B形管) (P1-RC1-D400)	外圧管1種 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		10		
鉄筋コンクリート台付管	D300 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		70		
鉄筋コンクリート台付管	D400 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		57		
鉄筋コンクリート台付管	D450 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		23		
鉄筋コンクリート台付管	D500 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		5		
鉄筋コンクリート台付管	D600 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		9		
鉄筋コンクリート台付管 (CSB φ 400)	D400	m		11		
集水桝・マンホール工		式		1		
現場打ち集水桝 (G1-B500-L500-H900)	現場打材 18-8-25 (高炉) 法面作業補正無	箇所		2		
現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H700)	現場打材 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所		3		
現場打ち集水桝 (G1-B500-L700-H800)	現場打材 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		3		
現場打ち集水桝 (G1-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B600-L700-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B700-L700-H1700)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G1-B800-L800-H1800)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		2		
現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H500)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B500-L500-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		2		
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B600-L600-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
現場打ち集水桝 (G2-B800-L800-H1400)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		1		
プレキャスト街渠桝 (A)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所		8		
プレキャスト街渠桝 (A)	300×400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所		7		
プレキャスト街渠桝 (A)	300×500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所		1		
プレキャスト街渠桝 (A)	500×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
プレキャスト街渠柵 (C)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所		1		
プレキャスト集水柵	300×300	箇所		1		
プレキャスト集水柵	300×400	箇所		1		
1号人孔	H=2.6m	箇所		1		
縁石工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
基面整正		式		1		
縁石工		式		1		
歩車道境界ブロック (1)(一般部)	B種(180/230×250×600) 両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m		362		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (2) (一般部)	B種 (180/205×250×600) 片面 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		47		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (3) (一般部)	B種 (180/205×250×600) 片面	m		99		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (4) (一般部)	B種 (180/230×250×600) 両面 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		103		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (出入部)	B種 (180/230×250～216/230×70×600) 両面 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (すり付け部)	B種 (180/230×250～216/230×70×600) 両面 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (擁壁部)	B種 (180/230×250×600) 両面 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		3		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ (中分部)	C種 (180/210×300×600) 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		368		
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A種 (120×120×600) 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		250		
植樹ﾌﾞﾛｯｸ	150×180×600 18-8-25 (高炉) W/C=指定なし	m		357		
防護柵工		式		1		
防止柵工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
基礎ブロック, 鋼管基礎	基礎ブロック □200 H450	基		186		
金網・支柱(立入防止柵)	H=2. 0m	m		370		
転落(横断)防止柵 (擁壁設置用)	柵高 1. 1m コンクリート建込	m		80		
区画線工		式		1		
区画線工		式		1		
溶融式区画線 (外側線-境界線)	溶融式手動 実線 15cm 厚1. 5mm 排水 性舗装無	m		710		
溶融式区画線 (外側線-境界線)	溶融式手動 破線 15cm 厚1. 5mm 排水 性舗装無	m		280		
溶融式区画線 (外側線-境界線ﾄﾞｯﾄ)	溶融式手動 破線 15cm 厚1. 5mm 排水 性舗装無	m		36		
溶融式区画線 (外側線-境界線ﾄﾞｯﾄ)	溶融式手動 実線 30cm 厚1. 5mm 排水 性舗装無	m		6		
溶融式区画線 (セﾌﾞﾗｰ停止線-横断)	溶融式手動 セﾌﾞﾗｰ 45cm 厚1. 5mm 排 水性舗装無	m		580		
溶融式区画線 (矢印・文字)	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換 算 厚1. 5mm 排水性舗装無	m		210		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
構造物撤去工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	式		1		
埋戻し	土砂	式		1		
構造物取壊し工		式		1		
コンクリート構造物取壊し (排水構造物)	無筋構造物 機械施工	m3		0.3		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	式		1		
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 15 c m	m2		3,750		
排水構造物撤去工		式		1		
ヒューム管撤去	400mm	式		1		
暗渠排水管撤去 【塩ビ管 φ 300】	撤去	式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
マンホール撤去 (再利用)H=2.4m	2000Kg/基以下	式		1		
鉄筋コンクリート台付管 (再利用CSB)		m		16		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	アスファルト殻	m3		475		
殻運搬 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3		0.3		
廃プラスチック運搬	廃プラスチック	m3		1		
殻処分	アスファルト殻	m3		475		
殻処分 (排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3		0.3		
廃プラスチック処分	廃プラスチック	m3		1		
仮設工 【電線共同溝】		式		1		
土留・仮締切工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
軽量鋼矢板	LSP-2型 (t=4mm)	m		65		
軽量鋼矢板賃料	LSP-2型 (t=4mm)	式		1		
舗装版撤去工		式		1		
舗装版破碎工		式		1		
殻運搬	アスファルト殻	m3		5		
殻処分	アスファルト殻	m3		5		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	式		1		
舗装版破碎	アスファルト 15cm以下	m2		51		
舗装工 【電線共同溝】		式		1		
アスファルト舗装工		式		1		
下層路盤 (歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 300m m	m2		51		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
上層路盤 (歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 250mm	m2		51		
基層 (車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン (20) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		51		
表層 (車道・路肩部)	再生密粒度アスコン (13) 舗装厚 50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2		51		
開削土工 【電線共同溝】		式		1		
掘削工		式		1		
開削掘削	土砂	式		1		
埋戻し工		式		1		
埋戻し・締固め	流用土 土砂	式		1		
埋戻し・締固め	再生砂 中埋砂	式		1		
電線共同溝工		式		1		
管路工 (管路部)		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事 (当 初)					
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
埋設管路 (1)	FEP 径 130mm	m		58		
埋設管路 (2)	FEP 径 100mm	m		58		
埋設管路 (3)	PV 径 75mm	m		153		
埋設管路 (4)	PV 径 50mm	m		419		
埋設表示シート (1)	W=600mm 2倍 水抜き穴有	m		31		
埋設表示シート (2)	W=400mm 2倍 水抜き穴有	m		117		
プレキャストボックス工 (特殊部)		式		1		
特殊部I型 【D1】 【U1】	BOX 1200×1800×3500 道路横断部	個		2		
特殊部I型 【D2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個		1		
特殊部I型 【U2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個		1		
仮設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要	
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員		式		1			
直接工事費		式		1			
共通仮設費		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
仮設材運搬費		式		1			
技術管理費		式		1			
土質試験費		式		1			
システム初期費 (ICT)		式		1			
道路施設基本データ作成費用		式		1			

工事数量総括表

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田改良舗装その 1 工事						(当 初)
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減	摘要
現場環境改善費 (率計上)			式		1		
共通仮設費 (率計上)			式		1		
純工事費			式		1		
現場管理費			式		1		
工事原価			式		1		
一般管理費等			式		1		
工事価格			式		1		
消費税相当額			式		1		
工事費計			式		1		

R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田
地区改良舗装その 1 工事

特記仕様書

令和 8 年 4 月

国土交通省関東地方整備局
相 武 国 道 事 務 所

第 1 章 総則

第 1 条 適用

1. この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和 8 年度版)(以下「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。
2. この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。
3. この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。
URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html>
4. 本工事における「条件明示」については、別紙ー 1「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第 2 条 主任技術者等

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第 3 条 主任技術者等の専任期間

1. 契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
2. 契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。
3. 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日(例:「完成通知書」等における日付)とする。

第 4 条 専任特例 1 号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第 26 条第 3 項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第 5 条 専任特例 2 号の場合の監理技術者の配置

1. 本工事において、建設業法第 26 条第 3 項第二号の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「専任特例 2 号の場合の監理技術者」という。)の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。
 - (1) 建設業法第 26 条第 3 項第二号による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。
 - (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴

や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例2号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

- (3) 監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
 - (4) 同一の専任特例2号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。なお、専任特例1号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。
(ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。)
 - (5) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務できる工事は東京都内の工事でなければならない。
 - (6) 専任特例2号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
 - (7) 専任特例2号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
 - (8) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。
2. 現場の安全管理体制について、平成7年4月21日付基発第267号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とする。」とされていることから、施工体制に留意すること。
3. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。
- 1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）
 - 2) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））
 - 3) 専任特例2号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（CORINSの写し）
4. 本工事の監理技術者が専任特例2号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第1項（5）～（8）について施工計画書へ記載し、提出すること。
5. 本工事において、専任特例2号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（CORINS）への登録・修正を適切に行うこと。

第6条 コリンズ（CORINS）への登録

- 1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ（CORINS）

への登録」によるものとする。

2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。
3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第7条 コリنز（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

起点 東京都八王子市大船町 緯度 35° 37' 44.8" 経度 139° 18' 43.0"
終点 東京都八王子市寺田町 緯度 35° 37' 46.0" 経度 139° 18' 17.6"

第8条 コリنز（CORINS）への工事概要の入力

1. 土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。
2. 工事概要
本工事は、一般国道20号八王子南バイパスにおいて、大船寺田地区の側道部の舗装を構築する工事である。

第9条 コリنز（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリنز（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリنزへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
R5G 国道 20 号八王子南 BP 道路詳細修正設計他業務	4052306666
R2G 国道 20 号八王子南 BP2 工区道路設計業務	4044180312
R4G 国道 20 号八王子南 BP 道路詳細修正設計他業務	4048837683
R2G 国道 20 号八王子南 BP 外道路詳細修正設計他業務	4041474671
R6G 国道 20 号八王子南 BP 施工計画検討他業務	4057741676
R1G 国道 20 号八王子南 BP 大船寺田高架橋詳細設計業務	4039247820

第10条 施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来る

ものとする。

監理（主任）技術者	
写真 2cm×3cm 程 度	氏名 ○○ ○○ 工事名 ○○改良工事 工期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日 会社 ◇◇建設株式会社 印

2006年度
優
国土交通省
国土交通省
国土交通省

注意 1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意 2) 所属会社の写真とする。

第 11 条 調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事について）

1. 契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。
2. 予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。
 - (1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事 においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。
 - (2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。
 - (3) 工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は相武国道事務所のホームページにより公表する。
 - (4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内容
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表-1	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-2	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表-3	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表-4	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表-5	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表-6	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表-7	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表-8	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

第 12 条 低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合

においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第 13 条 不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

なお、対象とする工種は別途監督職員より指示するものとする。

第 14 条 不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第 15 条 工事書類の作成

1. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和 8 年 3 月）」に基づき実施するものとする。
2. 工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和 8 年 3 月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。
3. 「工事関係書類一覧表」（別紙様式－15）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。
また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。
4. 電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第 16 条 設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和 7 年 3 月」によるものとする。

第 17 条 情報共有システムの活用

1. 本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和 7 年 3 月版）に基づき実施すること。
2. 受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
 - ・ 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）

令和 7 年 3 月版 国土交通省（国土技術政策総合研究所）

3. 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザー ID 数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。
4. 受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
 - ①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
 - ②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨
 - ③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨
5. 受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 18 条 「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に 1 回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第 19 条 設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針」（<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html>）によるものとする。

第 20 条 工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載している工事環境改

善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第21条 ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
 - ・「ワンデーレスポンス」とは
受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html> に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和5年12月）に基づき、取り組むものとする。
5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第22条 契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

- ①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。
- ②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第23条 設計図書の変更

設計変更等については、契約書第18条から第25条及び共通仕様書共通編1-1-1-17から1-1-1-19に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和7年3月」によることとする。

第24条 スライド条項

工事請負契約書第26条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対

して請負代金額の変更を請求することができる。

第25条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領(土木)

1. 再生資材の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生クラッシャーラン	RC-40	重力式擁壁【第2号小型用擁壁】、裏込め排水【第2号小型用擁壁、重力式擁壁】、重力式擁壁【重力式擁壁】、下層路盤（歩道）、路盤（路肩部）、L型側溝（切下げタイプ）、L型側溝（すり付けタイプ）、プレキャストU型側溝（U型側溝蓋無し・U型側溝蓋付き）、プレキャストU型側溝、U型水路（蓋付き）、1号函渠工、歩車道境界ブロック(1, 2, 3, 4)（一般部）、歩車道境界ブロック（出入口部・すり付け部・擁壁部・中央部）、地先境界ブロック、植樹ブロック
再生粒度調整碎石	RM-40	上層路盤（車道・路肩部）（ICT）、
再生瀝青安定処理材 （40）	Rast	上層路盤（車道・路肩部）、
再生粗粒度アスコン （20）	RA①	基層（車道・路肩部）、基層（歩道部）、 表層（車道・路肩部）
再生密粒度アスコン （20）	RA②	表層（歩道部）
再生密粒度アスコン （13）	RA②	表層（車道・路肩部）
再生砂	RS	フィルター層

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

2. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号最終改正令和4年6月17日法律68号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「8 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難しい場合は監督職員と協議するものとする。

（1）分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ☐ 有 ■無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

2) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
アスファルト殻	前田道路(株) 西東京合材工場	東京都八王子市北野町 589-1 (運搬距離 L = 4.6km)
コンクリート殻 (無筋)	(有)高興	東京都八王子市高月町 515 (運搬距離 L = 6.6km)

3) 受入時間

前田道路(株) 西東京合材工場 8 : 00 ~ 17 : 00
(時間外 : 17 : 00 ~ 8 : 00)

(有)高興 8 : 30 ~ 17 : 30
(6 : 00 ~ 8 : 30、17 : 30 ~ 20 : 00)

3. 受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成 14 年 5 月)」に定めた様式 1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式 2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

4. 工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第26条 建設リサイクル法第11条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）第11条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第10条第1項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第27条 コンクリート副産物から再生された資源について

1. コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。
2. 受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。
3. 受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。
4. 受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Lを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品—検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。
5. 再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第1編3-3-3 配合」に従うものとする。

第28条 工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第2版）（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第29条 工事完成図の作成、納品

完成図等の作成について

受注者は、「道路工事完成図等作成要領（国土技術政策総合研究所資料、平成20年12月）」に基づいて作成した電子データを、電子媒体で提出しなければならない。

受注者は、本要領に基づき、国土技術政策総合研究所がホームページ上に無償で公開している本要領に対応したチェックプログラムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で出力資料を含む（別紙等での提出も可能）電子デ

ータを提出しなければならない。

提出資料

【電子データ（ＣＤ入り）】

- ・ 完成平面図 SXF データ（. P21）
- ・ 完成縦断図 SXF データ（. P21）
- ・ 完成平面図：属性 XML データ（拡張子 . saf）

【出力資料（道路工事完成図等作成要領 p73 参照）】

- ・ チェック結果記録
- ・ 完成平面図
- ・ 完成縦断図
- ・ 「完成平面図」チェック結果記録
- ・ 道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ

なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第 30 条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値（令和 7 年度版）によるものとする。なお、この管理基準により難しい場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和 7 年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
3. 本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領（令和 7 年 3 月改定）の関連要領等一覧（ＵＲＬ「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第 31 条 デジタル工事写真の黒板情報電子化について

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の 1. から 4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和 7 年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリス

ト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア、(一社)施工管理ソフトウェア産業協会、[〈https://www.jcomsia.org/kokuban〉](https://www.jcomsia.org/kokuban)。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、同条1.の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準(以下、デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、同条2.に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条2.に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したのもでもよい。

信憑性チェックツール(一社)施工管理ソフトウェア産業協会

[〈https://www.jcomsia.org/kokuban〉](https://www.jcomsia.org/kokuban)。

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第32条 ICT活用工事(舗装工)について(発注者指定型)

1. ICT活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ICT施工技術の全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や

施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事である。

2. 定義

(1) i-Construction とは、ICT施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みであり、その実現に向けてICT施工技術を活用した工事（ICT活用工事）を実施するものとする。

(2) ICT活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ICT施工技術を全面的に活用する工事である。また、以下の①～⑤の全ての段階でICT施工技術を活用することをICT活用工事という。但し、現場条件により、ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してもICT活用工事とする。

対象は、アスファルト舗装工事、セメント・コンクリート舗装工事、または舗装を含む工事とする。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

3. 受注者は、特記仕様書に指定された舗装工以外の工種にICT施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下4～8によりICT施工技術の活用を行うことができる。

4. 原則、本工事においては上記①～⑤の全ての段階でICT施工技術を活用することとし、舗装工について施工範囲の全てで適用するが、具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、舗装工以外の工種に関するICT活用を提案・協議した場合は、舗装工と共に実施内容等について施工計画書に記載するものとする。

5. ICT施工技術を用い、以下の施工を実施する。

① 3次元起工測量

工事着手前の現場の状況を確認するとともに、設計データの作成に必要な起工測量を実施するものとし、面的な計測により効果的な確認ができる場合には、以下1)～2)から選択（複数可）して測量を行うものとする。

ただし、前工事及び設計段階での3次元データが活用できる場合や管理断面及び変化点の計測による測量により効率的な確認ができる場合等においては、監督職員と協議の上、以下3)～4)の管理断面及び変化点の計測による測量が選択できるものとし、ICT活用工事とする。

- 1) 地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
- 3) TS等光波方式を用いた起工測量
- 4) TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量

② 3次元設計データ作成

受注者は、5. ①で得られた測量データと発注者が貸与する発注図データを用いて、ICT建設機械による施工及び3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。

③ ICT建設機械による施工

5. ②で作成した3次元設計データを用い、以下に示すICT建設機械により、施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和7年3月31日 国土交通

省告示第240号) 付録1 測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。

1) 3次元MC建設機械※

※MCとは「マシンコントロール」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術を用いて、敷均しを実施する。

但し現場条件により、③ICT建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員と協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に3次元設計データ等を活用するものとする。

④ 3次元出来形管理等の施工管理

5. ③による施工管理において、以下のとおり出来形管理を行うものとする。

(1) 出来形管理

出来形管理にあたっては、標準的に出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下(1点/m²以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法(面管理)とし、以下1)2)から選択(複数可)して実施するものとする。

また、舗装工における出来形管理にあたっては、以下1)~2)を原則とするが、現場条件等により以下3)~4)の出来形管理を選択して面管理を実施してもよい。

(ただし「3次元出来形管理・3次元データ納品費用、外注経費等の費用」の対象外となるので注意すること)

1) 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

2) 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

3) TS等光波方式を用いた出来形管理

4) TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理

なお、表層については、標準的に面管理を実施するものとするが、出来形管理のタイミングが複数回にわたることにより一度の計測面積が限定される等、面管理が非効率になる場合及び降雪・積雪等により面管理が実施できない場合は、監督職員と協議の上、管理断面及び変化点の計測による出来形管理を選択してもICT活用工事とする。

⑤ 3次元データの納品

5. ①②④により作成した3次元データを工事完成図書として電子納品する。

3次元データの納品形式は、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」によるものとする。

6. 上記5. ①~④の施工を実施するために使用するICT機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。また、ICT施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

7. 土木工事施工管理基準(案)に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

8. 本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第33条 ICT活用工事における適用(用語の定義)について

1. 図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、

工事完成図、3次元モデルを復元可能なデータ（以下「3次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第34条 ICT活用工事の費用について（舗装工）（発注者指定型）

1. ICT施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき費用を計上しているが、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」及び「3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初は計上していない。

実施した場合は、以下の（１）（２）により設計変更の対象とし、費用を計上する。

・ICT活用工事（舗装工）積算要領

（１）3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積の提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

（２）3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

出来形管理の計測範囲において、1m間隔以下（1点/m²以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法（面管理）を実施し、3次元データ納品を行った場合の費用の計上方法については、受注者より提出された見積により費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正の補正係数を乗じるものとする。

なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。受注者からの見積により算出される金額が以下の補正係数を乗じて算出される金額を下回る場合は、見積により算出される金額を積算計上額とする。

また、受注者から見積の提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。

・共通仮設費率補正係数：1.2

・現場管理費率補正係数：1.1

上記費用の対象となる出来形管理は、以下の１）～２）とし、それ以外の出来形管理の費用は、共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。

１）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

２）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに、舗装工以外の工種に関するICT活用について発注者へ提案・協議を行う。また、舗装工についてもICT活用に関する具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し、協議がなされ、それぞれの協議が整った場合、ICT活用の実施に関わる項目については、各段階を設計変更の対象とする。

2. 施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第35条 ICT活用工事の活用効果等に関する調査

ICT活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ICT活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第36条 デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

1. デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事（以下、「本工事」という。）」は、受注者における「段階確認に伴う準備作業（鉄筋へのマーカー設置等）、手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、段階確認時の配筋の出来形計測をデジタルカメラ等で撮影した画像計測により行うものである。

撮影画像（計測結果）は、遠隔地から確認することも可能であり、監督職員の遠隔臨場を実施する場合は、「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）」、及び「建設現場の遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」に準拠するものとする。

2. 実施内容

(1) 段階確認時の実施内容

段階確認時の配筋間隔の計測において、従来のスケール等による実測とデジタルカメラで撮影した画像計測を併用し、両者の計測値の差を整理するものとする。また、計測時の条件（撮影箇所、撮影距離、気象条件等）は、必ず記録するものとする。

(2) 機器の準備

本工事に要する画像計測機器等は、受注者が手配するものとし、詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 計測精度の検証

本工事による画像計測の精度検証のため、計測データを監督職員に提出するものとする。

(4) 効果の検証

本工事を通じた効果の検証（生産性向上効果の検証）及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

本工事にかかる費用については、本工事契約後に監督職員と協議するものとする。

第37条 現場環境改善（快適トイレの設置）

1. 内容

受注者は、現場に以下の（１）～（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（１２）～（１７）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- （１）洋式（洋風）便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能
（し尿処理装置付き含む）
- （３）臭い逆流防止機能
- （４）容易に開かない施錠機能
- （５）照明設備
- （６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- （９）サニタリーボックス
（女性用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗器
- （１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- （１２）室内寸法 900mm×900mm 以上（面積ではない）
- （１３）擬音装置（機能を含む）
- （１４）着替え台
- （１５）臭気対策機能の多重化
- （１６）室内温度の調整が可能な設備
- （１７）小物置き場
（トイレトペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記 1 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（１１）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

3. 快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）

を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第３８条 BIM/CIM 活用工事

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM/CIM を適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM/CIM 取扱要領「附属資料１ 推奨項目一覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。３次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

活用内容	活用内容の詳細
【義務項目】	
施工計画の検討補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。
【推奨項目】	
視認性の確認	３次元モデルにおいて歩行者や車の走行の視点から死角、信号・看板等の視認性を確認する。
現場条件の確認	３次元モデルに建設等を配置し、近接物の干渉に施工に支障がないか確認する。
施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの３次元モデルで施工可能かどうかを確認する。

（参考）３次元モデル作成の目安

詳細度	２００～３００程度※１ ※１ 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報※２ ※２ 部材等の名称、規格、仕様等の情報	オブジェクト分類名※３のみを入力し、その他は任意とする。 ※３ 道路土構造物、橋梁等の分類の名称

１．BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を

「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

１）工事概要

- 2) 整理すべき課題
 - 3) BIM/CIM の実施内容（3次元モデルの活用内容、期待する効果等）
 - 4) 3次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された3次元モデルの仕様等）
 - 5) 3次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
 - 6) 3次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
 - 7) 3次元モデルの作成担当者
 - 8) 3次元モデルの作成・活用に要する費用
2. BIM/CIM 実施報告書の作成
- BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。
- 9) 後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、2次元図面との整合等）
 - 10) 省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、3次元での検討により省人化した効果等）
3. 成果物の納品
- 以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。
- 1) BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
 - 2) BIM/CIM 実施報告書（3次元モデル作成引継書シート、3次元モデル照査時チェックシートを含む）
 - 3) 作成した3次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）
4. その他
- 最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト
(<https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html>) で提供されているので、適宜参照すること。

第39条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。
なお、令和8年度における重点的安全対策項目は以下の7項目である。
 - I. 架空線等上空施設の損傷事故防止
 - II. 建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
 - III. 資機材等の下敷きによる人身事故防止
 - IV. 足場・法面等からの墜落事故防止
 - V. 地下埋設物の損傷事故防止
 - VI. 第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
 - VII. 事故防止

2. 受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育

②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育

③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認教育

3. 工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（令和元年5月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

4. 工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

なお、本工事は「国土強靱化5か年加速化対策」に関する工事であり、標示施設の明示に当たっては別添一〇五を参考とすること。

5. 工事期間中に配置する交通誘導警備員は、下表のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通誘導警備員	備考
全ての工種	昼間	226人（うち有資格者0人）	

6. UAV等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等においてUAV等を使用する場合、安全面への配慮として「公共測量におけるUAVの使用に関する安全基準（案）」（国土地理院・平成28年3月）に基づいてUAV等を使用すること。

第40条 熱中症対策に資する現場管理費の補正

1. 本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

2. 真夏日の考え方は下記のとおりである。

（1）真夏日の定義

日最高気温が30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。

（2）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が25℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が30℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が30℃以上、又

は暑さ指数（WBGT）が 25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\cdot \text{真夏日率} = \text{基準日から工期末までの真夏日} \div \text{工期}$$

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

$$\cdot \text{補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} \times$$

※ 真夏日補正係数： 1. 2

第 4 1 条 安全管理推進技術査等認定について

1. 概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する。

2. 認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

- ・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。
- ・直轄工事にて、認定技術者として過去 5 回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

3. 認定技術者の認証

- ・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者

認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

- ・紛失等による認定書の再発行は行わない。
- ・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

4. 認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

5. 不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第42条 交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う1級又は2級検定に合格した者）又は、経験1年以上の者を配置すること。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第43条 環境対策（特定調達品目の調達実績の調査）

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後（工期が令和8年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで）に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第44条 環境対策（低騒音型建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機第58号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第45条 ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輛の使用

1. 受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輛（以下、本工事関係車輛という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 of ディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車輛を使用しなければな

らない。

2. 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輛の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輛の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
3. 受注者は、本工事関係車輛にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輛を把握しなければならない。
4. 受注者は、取締りにより本工事関係車輛に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
5. 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第46条 工事現場管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし柢装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輛、さし柢装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし柢装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第47条 特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出

共通仕様書 1-1-1-37 交通安全管理第14項における道路法第47条の2に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

- ① 当該車両に関する特殊車両通行許可証
- ② 現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
- ③ 車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書 1-1-1-40 官公庁等への手続等第3項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第48条 通行許可等

1. 受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第47条第1項、車両制限令第3条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、

許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度)を作成し、施工計画書に記載しなければならない。

2. 受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第49条 工事現場の現場環境改善

1. 現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。
 - (1) 仮設備関係
環境負荷の低減を実施するものとする。
 - (2) 営繕関係
現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）及び現場休憩所の快適化を実施するものとする。
 - (3) 安全関係
盗難防止対策（警報器等）を実施するものとする。
 - (4) 地域連携
デザイン工事看板（工事PR看板含む）の作成を実施するものとする。
2. 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。
3. 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の100%を上限として設計変更の対象とする。

第50条 工期

1. 工期は、雨天、休日等126日を見込み、契約の翌日から令和9年4月30日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）に加えて以下の日数を見込んでいる。

① 準備期間	40日間
② 後片付け期間	20日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）	0.85

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日：29日間

ロ) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数：11日間
(少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)

過去5か年(2020年~2024年)の気象庁(東京観測所)及び環境省(東京地点)のデータより年間の平均発生日数を算出(雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日)

2. 著しい悪天候や気象状況より工程(官積算)で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
3. 後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
4. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-16により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和9年1月29日まで

- ※ 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第51条 工程表(工事工程クリティカルパスの共有)

受注者は、現場着手前(準備期間内)に設計図書等を踏まえた工事工程表(クリティカルパスを含む)を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者(「発注者」又は「受注者」)を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①~⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
- ③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第52条 工事工程表の開示の試行工事

1. 本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合(クロスチェック)を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。

2. 工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。
3. 設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。
4. 本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第53条 悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

1. 受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近5カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、八王子観測所（気象庁のデータ）における1日の降雨・降雪量雨が10mm以上/日の日を想定している。

2. アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第54条 施工時期及び施工時間の変更

1. 本工事の作業区分は、下記によるものとする。

作業区分	施工区分	標準作業時間
昼間作業	全ての工種	8：00～17：00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。
各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、KY等安全活動なども含まれる。
ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第55条 他工事との調整

1. 下記工事の請負業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。
2. 本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	施工範囲	工期（予定）
R7国道20号八王子南BP 大船寺田高架橋床板工事	N0.219+8.0～N0.229+17.0	令和7年9月1日～ 令和8年10月30日
R7国道20号BP改良他工事	N0.206+19.2～N0.221+7.3	令和8年6月15日～ 令和9年4月30日

R7国道20号八王子南BP 大船寺田高架橋遮音壁工事	NO. 219+9.0～NO. 250+1.5	令和8年5月10日～ 令和9年3月31日
R7国道20号八王子南BP改良他工事	NO. 221～NO. 223	令和8年3月2日～ 令和8年9月30日

第56条 概算・概略数量

本工事の区画線工については、概算数量を示したものであり、詳細については、監督職員の指示によるものとする。

なお、区画線工及び舗装構成については現在詳細設計中であり、この成果の引き渡しは令和8年6月上旬とする。

第57条 新技術の活用「新技術の定義」

1. 本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。
2. 新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

- ①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術
- ②公共工事等において実用段階に達している技術
- ③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術
- ④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

3. 対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

- 1) 新技術情報提供システム（NETIS）登録技術
URL <http://www.netis.mlit.go.jp>
- 2) NETISのテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術
- 3) 新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術
- 4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS掲載期間終了技術は対象外とする。

第58条 新技術の活用（施工者選定型）

1. 本工事は、施工者が原則1技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。
2. 本工事において、第58条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容につ

いて十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

3. 受注者は、選定した新技術が第 58 条 新技術の活用「新技術の定義」3. 対象とする新技術に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。
4. 当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。
5. 受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。
6. 試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。
7. 受注者は、活用する新技術が情報種別記号「ー V E」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。
8. 受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第 59 条 建設現場における遠隔臨場の実施

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL <https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf>

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3. 実施内容

（１）段階確認・材料確認、立会での確認

- ① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声 Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。
- ② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（２）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（３）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams、zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-19 を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事实施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 7 年 12 月 12 日（国不建第 121 号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第 60 条 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

1. 建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）

の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例 ○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施 状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

3. 遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

4. 実施内容

（1）技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

（2）機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

（3）遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

（4）効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（5）費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠

隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日(国不建第121号)』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第61条 契約後VE方式

1. VE提案の定義

「VE提案」とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

2. VE提案の意義及び範囲

1) 受注者がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

2) 以下の提案は、VE提案の範囲に含まないものとする。

①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

②契約書第18条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

③提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

3. VE提案書の提出

1) 受注者は、前項のVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(別紙様式ー1～4)に記載し、発注者に提出しなければならない。

①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由

②VE提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)

③VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

④発注者が別途発注する関連工事との関係

⑤工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項

⑥その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項

2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

3) 受注者は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。

4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

4. VE提案の審査

提出されたVE提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、VE提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

5. VE提案を採否等

1) VE提案の採否について、原則として、VE提案の受領後14日以内に書面(別紙様式ー5)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、VE提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

6. VE提案を採用した場合の設計変更等

1) VE提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

2) 前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

- 3) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。
- 4) VE提案を採用した後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、VE管理費については、原則として変更しないものとする。
7. VE提案の活用と保護
評価の結果、当該VE提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。
8. 責任の所在
発注者がVE提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第62条 生産性向上チャレンジ工事

1. 試行の実施
本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。
2. 試行の内容
工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。
本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。
なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第58条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。
3. 工事成績評価
施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。
4. 本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第63条 出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」〔国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html 参照〕に基づき行うものとする。

第64条 情報管理体制の確保

受注者は、本工事に関して発注者から貸与された情報その他知り得た情報であって、発注者が保護を要さないことを同意していない一切の非公表情報(以下「要保護情報」という。)

を取り扱う場合は、当該情報を適切に管理するため、土木工事共通仕様書 1-1-1-6 に基づく施工計画書の現場組織表において、別紙様式ー 1 8 を参考に、情報取扱者名簿及び情報管理体制図を記載し、発注者の同意を得なければならない。また、記載内容に変更が生じた場合も、同様に作成の上、あらかじめ発注者の同意を得なければならない。

- ・受注者は、要保護情報を情報取扱者以外には秘密とし、
また、本工事の施工以外の目的に使用してはならない。
- ・受注者は、要保護情報を本工事の終了後においても第三者に漏らしてはならない。
- ・要保護情報は、アクセス制限、パスワード管理等により適切に管理するとともに、発注者の許可なく複製・転送等しないこと。
- ・受注者は、本工事完了時に、要保護情報について、発注者への返却若しくは消去又は破棄を確実に行うこと。
- ・受注者は、要保護情報の外部への漏えい若しくは目的外利用が認められ又そのおそれがある場合には、これを速やかに発注者に報告すること。なお、報告がない場合でも、情報の漏えい等の懸念がある場合は、発注者が行う報告徴収や調査に応じること。

第 6 5 条 現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託している。

また、本工事を担当する現場技術員の氏名は、別途監督職員より通知する。

第 6 6 条 施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託している。

また、本工事の施工体制の点検補助を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ASP）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ASP）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第 6 7 条 施工体制の点検

1. 受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年法律第 127 号 最終改正令和 6 年 12 月 13 日）第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。
2. 施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。
3. 施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
4. 当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。
5. 施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

6. 施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

7. 施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第６８条 品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－１２によるものとする。

第６９条 工事完成図書の納品

1. 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領（令和５年３月）：（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】（令和６年３月）」を参考とするものとする。

2. 本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお、オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第７０条 技術検査

1. 本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は２回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。

2. 中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分（完済を含む）の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。

3. 中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第71条 書類限定調査

1. 本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。
2. 書類限定検査とは、検査時に下記の10書類に限定して資料検査を行うものとする。
なお、以下の工事については対象外とする。
 - ・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外
 - ・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請取引検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承認）	⑩工事写真

3. 実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第72条 ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウィルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第73条 低炭素型コンクリート施行工事（プレキャスト）

本工事は、建設関連業界等のカーボンニュートラルに向けた取組を促進するとともに、調達上の課題等を検証するため、セメント置換率の高いコンクリートなどのコンクリート製造時のCO₂排出量（コンクリートの材料のCO₂排出を含む）を削減した「プレキャスト製品による低炭素型コンクリート」の試行工事である。

①低炭素型コンクリート製品の規定・確認

低炭素型コンクリートはポルトランドセメントの置換率が55%以上のもの又はこれと同等以上のCO₂排出削減効果のあるものとする。受注者は、低炭素型コンクリート製品の購入前に、以下が確認出来る資料を監督職員に提出し、施工数量について監督職員と協議するものとする。

- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場の所在
- ・低炭素型コンクリート製品の出荷を予定している工場と施工現場までの運搬距離
- ・低炭素型コンクリート製品の見積書

- ・低炭素型コンクリート製品による CO2 排出削減効果（算出可能な場合に限る）

低炭素型コンクリート製品の配合品質証明書等を監督職員に提出し、監督職員は置換率が55%以上であること又は同等以上のCO2 排出削減効果があることを確認するものとする。なお、費用対効果等を考慮し、低炭素型コンクリートを使用しない場合がある。

②試行工事の実施に要する費用

当該試行工事の実施に要する低炭素型コンクリート製品の費用は見積によるものとし、設計変更の対象とする。

③試行結果の検証への協力

試行にあたり受注者は実施状況や結果検証のための調査に協力するものとする。

第74条 直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査（試行）

1. 本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。
2. 発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。
3. 発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第2章 個人情報情報の取り扱いについて

第75条 基本的事項

受注者は、個人情報保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第1号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

第76条 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第77条 取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第78条 利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための

利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第79条 複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第80条 再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）第66条第2項第4号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第81条 事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第82条 資料等の返却等

1. 受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙ー2）を発注者に提出しなければならない。
2. 前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

第83条 管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第84条 管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第85条 従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第3章 一般施工

第86条 防護柵設置工における出来形確保対策について

1. 受注者は、防護柵設置工の出来形管理方法について、防護柵設置工着手前に監督職員と協議しなければならない。

2. 受注者は、支柱の建て込み時に現地の状況等により建て込みが困難な場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。
3. 受注者は、防護柵の所定の根入れ長を確保するため、非破壊試験による出来形管理を行う。ただし、以下の場合はビデオカメラによる出来形管理とすることができる。
 - (1) 防護柵が「非破壊試験による鋼製防護柵の根入れ長測定要領(案)」(以下「測定要領(案)」という。)[国土交通省HP <http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou.html> 参照]の適用範囲外の場合
 - (2) 受注者が測定機器を調達できない場合
 - (3) 測定機器が測定要領(案)で定める性能基準を満たさない場合
 - (4) 非破壊試験による出来形管理が妥当ではないと判断される場合
 - (5) その他非破壊試験によって出来形管理ができない場合
4. 非破壊試験による出来形管理にあたっては、測定要領(案)に従う。
5. ビデオカメラによる出来形管理にあたっては、以下の状況をビデオカメラにより全本数分撮影する。
 - (1) 支柱建て込み前の根入れ長測定状況
 - (2) 支柱建て込み直前(機械セット時)から建て込み完了まで連続撮影
 なお、撮影したビデオテープ等の記録媒体は施工確認書(別紙様式-13)とともに監督職員へ提出する。
6. これらに定められていない場合は、監督職員と協議する。
7. 非破壊試験費用は見込んでいないが、監督職員と協議のうえ非破壊試験による出来形管理を行うこととした場合は設計変更の対象とする。

第87条 仮設工(軽量鋼矢板)

1. 本工事の仮設にあたっては現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。
2. 上記の決定にあたっては、下記条件等を遵守するものとする。
 - (1) 設計条件

現地盤は「粘性土」とする。

地下水位 GL-3m以深
 - (2) 施工条件

本仮設工の施工は、日々復旧を行うものとする。
 - (3) 留意事項

限られた範囲内での施工のため、歩行者の安全確保及び既設埋設物には十分注意を払うこと。

なお、現地状況、施工条件等に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 仮設材の規格及び数量等については、下表のとおりとする。なお、条件等に変更が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

		別・規格	単位	数量	管理日数
特殊部	軽量鋼矢板	LSP-II型 3.0m	枚	5	19日

第4章 土工

第88条 建設発生土の受け入れ地

1. 発生土の受け入れ場所は、発生土の受け入れ場所は、UCR八王子地区(5)(東京都八王子市小津町2-3)とする。(運搬距離L=5.5km)

2. 発生土の受け入れ条件(小割、仮置き等)は、次のとおりとする。
 - 1) 捨土の種類
最大寸法 300mm 以下の塊を含む発生土は可。
 - 2) 受け入れ時間
8:00～17:00
3. 搬出調書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
4. 工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第89条 建設発生土の情報提供

受注者は、本工事から建設発生土を 100m³ 以上搬出する場合は、別紙様式－8により搬出前に搬出先区市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX 等で提出しなければならない。

なお、情報提供後速やかにその写しを監督職員に提出しなければならない。

1. 工事件名、工事概要、工事場所
2. 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
3. 工事請負業者名、現場代理人名、連絡先
4. 建設発生土の運搬業者名
5. 建設発生土の受入先名(搬出先事業所名等)、住所
6. 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
7. 建設発生土の搬出時期(搬出期間)
8. 建設発生土の土質(砂、ローム等)、土量(m³)

第90条 土質試験

本工事で掘削し、UCR八王子地区(5)へ搬出する残土については、土質試験を 5,000m³ 毎に 1 回行う。

なお、土質試験は「平成3年環境省告示第46号付表」及び「平成15年環境省告示第19号付表」に定める方法とし、対象項目は下記のとおり見込んでいる。

【土質試験項目】

試験方法	試験項目	回数
溶出試験 (27項目)	(1)カドミウム、(2)全シアン、(3)有機リン、(4)鉛、(5)六価クロム、(6)砒素、(7)総水銀、(8)アルキル水銀、(9)PCB、(10)ジクロロメタン、(11)四塩化炭素、(12)1,2-ジクロロエタン、(13)1,1-ジクロロエチレン、(14)1,2-ジクロロエチレン、(15)1,1,1-トリクロロエタン、(16)1,1,2-トリクロロエタン、(17)トリクロロエチレン、(18)テトラクロロエチレン、(19)1,3-ジクロロプロペン、(20)チウラム、(21)シマジン、(22)チオベンカルブ、(23)ベンゼン、(24)セレン、(25)ふっ素、(26)ほう素、(27)クロロエチレン	1
含有量試験 (9項目)	(1)水銀及びその化合物、(2)カドミウム及びその化合物、(3)鉛及びその化合物、(4)砒素及びその化合物、(5)六価クロム	1

	化合物、(6)ふっ素及びその化合物、(7)ほう素及びその化合物、(8)セレン及びその化合物、(9)遊離シアン	
--	--	--

第91条 土質改良

- 土質改良に用いる固化剤は生石灰とする。
 - 固化剤の配合量は、60kg/m³を見込んでいる。ただし、施工に先立ち、配合試験を行い決定するものとする。配合試験については、監督職員と協議するものとする。
 - 混合は、バックホウを見込んでいる。
- なお、施工に当たっては現地状況を十分把握し、経済性、効率性、信頼性、施工性、安全性等の比較検討を行い、施工方法を変更する必要がある場合は監督職員と協議するものとする。

第5章 無筋・鉄筋コンクリート

第92条 レディーミクストコンクリート

- コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

種別	用途	粗骨材の最大寸法	スランプ	水セメント比	呼び強度	セメント種類
擁壁工	重力式擁壁【第2号小型擁壁】、 重力式擁壁【重力式擁壁】	25mm (20)	8cm	W/C=60%以下	18N/mm ²	高炉セメント B種
排水構造物工	L形側溝(標準タイプ)、L形側溝(切下げタイプ)、 L形側溝(すり付けタイプ)、 L形側溝(B・C)、管(函)渠型側溝、 U型水路、1号函渠工、 ヒューム管(B形管)、鉄筋コンクリート台付管、 現場打ち集水樹、プレキャスト街渠樹(A・C)、	25mm (20)	8cm	—	18N/mm ²	高炉セメント B種
排水構造物工	現場打ち集水樹	25mm (20)	8cm	W/C=60%以下	18N/mm ²	高炉セメント B種
縁石工	歩車道境界ブロック(1, 2, 4) (一般部)、歩車道境界ブロック(出入口部・ すり付け部・擁壁部・中央部)、地先境界ブロック、植樹ブロック	25mm (20)	8cm	—	18N/mm ²	高炉セメント B種
縁石工	歩車道境界ブロック(中央部)、植樹ブロック	25mm (20)	8cm	—	18N/mm ²	普通ポルトランド セメント

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

※注1

本工事の特記仕様書、数量総括表及び図面に記載されたスランプは、積算上の参考値である。

現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン(平成29年3月)」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。契約後に受発注者間でスランプ値の確認を行い、施工条件等により、協議の上、スランプを指定することができる。

ただし、(1) 使用するコンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比を配合計画書により確認する(2) 使用するコンクリートの目標スランプが12cmを超える場合には、(1)に加え、試し練りを行い材料分離抵抗性を確認すること。

2. コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書(土木編)(平成 14 年 8 月一部改正)により行うものとする。
3. 上表のコンクリート打設については、コンクリートポンプ車による圧送を見込んでいるが、現地条件等に変更が生じた場合は、監督職員と協議のうえ変更するものとする。

第 9 3 条 配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

- ・ 仮設構造物(建設後数年の内に撤去するもの。)
- ・ 最大高さ 1m 未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
- ・ 管(函)渠等(φ 600 未満、600mm×600mm 未満)の構造物。
- ・ 道路照明、標識、防護柵等の構造物。
- ・ 耐久性を期待しない構造物。

第 9 4 条 目地板

伸縮目地材は樹脂発砲体とし、厚さは 10mm とする。

第 9 5 条 モルタル

モルタルに使用するセメントの種類は、高炉セメントでセメント量は、1 : 3 とする。

第 6 章 舗装工

第 9 6 条 碎石

構造物の基礎には、再生クラッシャーラン(RC-40)を使用するものとする。

第 9 7 条 材料

粒状路盤材クラッシャーランは、RC-40 とする。

再生粒度調整路盤材料は、RM-40 とする。

加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は、下記のとおりとする。

呼び名	混合物の種類	骨材の 最大粒径 (mm)	アスファルト量 (%)	摘要
RA①	再生粗粒度アスコン	20	4.5~6	基層 (車道・路肩部・歩道部)
RA②	再生密粒度アスコン	20	5~7	表層 (車道・路肩部)
RA②	再生密粒度アスコン	13	5~7	表層 (歩道部)
RAst	再生瀝青安定処理材	40	—	上層路盤 (車道・路肩部)

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第98条 歩道舗装

1. 本工事の施工にあたっては、低騒音、低振動型の建設機械を使用するものとする。
 2. 工事を行う際は舗装切断を行うなど適切な措置を行うものとする。
 3. 施工にあたり、横断方向の勾配は2%を標準とする。縦断方向の勾配は5%以下とするが、沿道の状況等によりやむを得ない場合には8%以下とすることができる。また、交通の支障とならないようにするものとする。なお、縦断勾配を設ける箇所には、横断勾配は設けないものとする。段差箇所付近には「段差あり」の標識を設置しなければならない。
 4. 工事着手前に工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、現状を十分把握しておくこと。
 5. 本工事区画内の境界杭・境界鉄について調査を行い、破損等がある場合には監督職員と協議するものとする。
 6. 歩道の施工に際しては、車椅子等の通行を考慮し、極力勾配を少なくするよう段差・切下げ等について配慮すること。
- (別添-3)
- なお、詳細については監督職員と協議するものとする。
7. 横断勾配箇所は、車椅子等の通行を考慮し、横断勾配の低減を行い配慮すること。
 8. 横断歩道等に接続する歩道等の部分の縁端は、車道等の部分より高くするものとし、その段差は2センチメートルを標準とするものとする。
 9. 詳細については監督職員と協議するものとする。

第99条 加熱アスファルト

受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物（以下「混合物」という。）で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

第100条 中温化アスファルト舗装の試行

本工事において、中温化アスファルト舗装の試行の実施について、監督職員と協議するものとする。なお、中温化アスファルト混合物の流通状況等により、実施が困難な場合もあるため、本試行の実施は任意とする。

<試行内容>

- ・新規合材を対象とする。
- ・実施範囲や実施時期等の詳細については、監督職員と協議する。
- ・中温化アスファルト混合物は製造時の加熱温度をマイナス20℃又はマイナス30℃低減させて製造されるものを使用する。
- ・機械式フォームド方式を基本とするが、監督職員と協議の上、添加剤方式も可とする。
- ・本試行に伴う追加費用は設計変更の対象とする。
- ・本試行を実施した場合、実施後に監督職員より送付されるアンケートに協力する

ものとする。

第 7 章 電線共同溝

第 101 条 工事の遵守事項

受注者は、「電線共同溝管理規程（案）」（平成 10 年 7 月 27 日）、「電線共同溝保安細則（案）」（平成 10 年 7 月 27 日）、「電線共同溝・情報ボックス管理マニュアル（案）Ver. 2 TYPE-B」（平成 15 年 10 月）、「電線共同溝参考資料（案）」（令和元年 12 月）、電線共同溝工事における監督・検査体制の強化について試行（平成 20 年 3 月 25 日）を遵守しなければならない。

第 8 章 仮設工

第 102 条 廃プラスチック（塩ビ管）

本工事で施工する工事用道路における大型土のうの撤去時に発生する廃プラスチックについて、詳細は下記のとおりとする。

処分品目	施設名	住所	運搬距離
廃プラスチック （塩ビ管）	(株)エスアール 相模原リサイクルセンター	神奈川県相模原市中央区 田名 8670 - 3	15.6km

なお、上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

第 9 章 土木工事材料

第 103 条 区画線

塗装厚は、下表のとおりとする。

1. 熔融式

幅（cm）	厚（mm）	摘要
15~45	1.5	夜間の視認性が優れたもの。

第 10 章 その他

第 104 条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第 105 条 道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

1. 道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付 属 物 お よ び 付 属 施 設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
構造物	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路BOX等		E220	CAB電線共同溝
	D090	横断BOX等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標（反射式）		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標（自光式）		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

2. 道路

施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル(案)』によるものとする。

3. 道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

4. 道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、CORINS登録時の「工事契約コード番号」とする。

5. 道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。

- ① 道路施設台帳作成総括表
- ② 道路施設基本データ総括表
- ③ 道路施設基本データ一覧表
- ④ 道路施設台帳チェックシート
- ⑤ 「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
- ⑥ 「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
- ⑦ 工事数量総括表

第106条 工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

以上

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 ■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第 5 5 条 第 5 4 条 第 5 0 条 第 5 0 条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第 4 4、第 4 5 条
安全対策関係	■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。	第 3 9 条
建設副産物関係	■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第 2 5 条

概略工事工程表

工事名： R 8 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田地区改良舗装その 1 工事

工 種	単位	数量	令和8年度								令和9年度				備考 (パーティ (p t) 数等)		
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
余裕期間	式	1	余裕期間※任意で設定可能														
準備工	式	1															40日間
掘削工	式	1															(1pt)
盛土 (路体・路床)	式	1															(1pt)
擁壁工	式	1															(1pt)
ｱｽﾌﾙﾄ舗装工 (車道)	式	1															(1pt)
ｱｽﾌﾙﾄ舗装工 (歩道)	式	1															(1pt)
排水構造物工	式	1															(2pt)
縁石工	式	1															(1pt)
防護柵工	式	1															(1pt)
区画線工	式	1															(1pt)
構造物撤去工	式	1															(2pt)
電線共同溝工	式	1														(1pt)	
仮設工	式	1														(1pt)	
後片付け工	式	1														20日間	

制約条件	関係工事調整	—													R 7 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田高架橋床板工事
	関係機関協議	—													R 7 国道 2 0 号八王子南 B P 改良他工事
	関係工事調整	—													R 7 国道 2 0 号八王子南 B P 大船寺田高架橋遮音壁工事
	関係工事調整	—													R 7 国道 2 0 号 B P 改良他工事
	住民合意	—													
	支障物件の移設	—													
	年末年始、お盆出水期間	—													・ 8 月中旬、1 2 月下旬
	路上工事抑制期間	—													

《余裕期間制度（フレックス）の活用について》
本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

《関係機関協議》
工事着手にあたっての関係機関協議、地元説明は、発注者が主体となって実施します。

標示施設のイメージ（案）

〇〇の工事をしています。
ご協力をお願いします。

（対策又はプロジェクト名等）

〇〇〇〇のため、
〇〇の工事をしています

工事期間：令和〇年〇月〇日まで

きょうじんか
国土強靱化対策工事
（5か年加速化対策）

発注者 国土交通省〇〇地方整備局
□□□□事務所△△出張所
電話 **－*****－*****
受注者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 **－*****－*****

一般国道20号平面図

(八王子南バイパス)

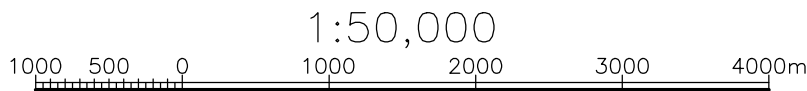
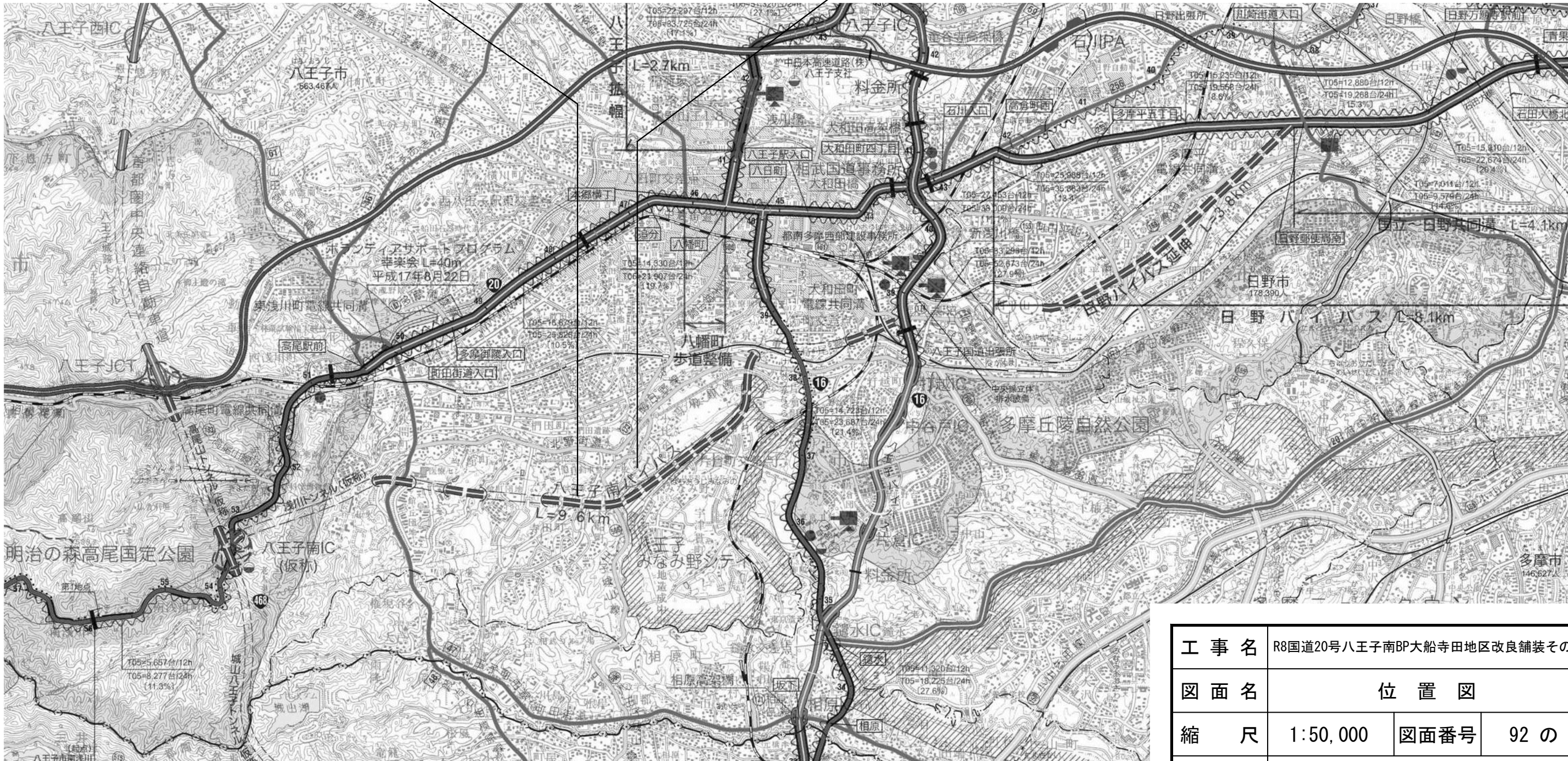
位置図

S=1:50,000

工事終点
No. 250+0.0

工事延長 L=800.0m

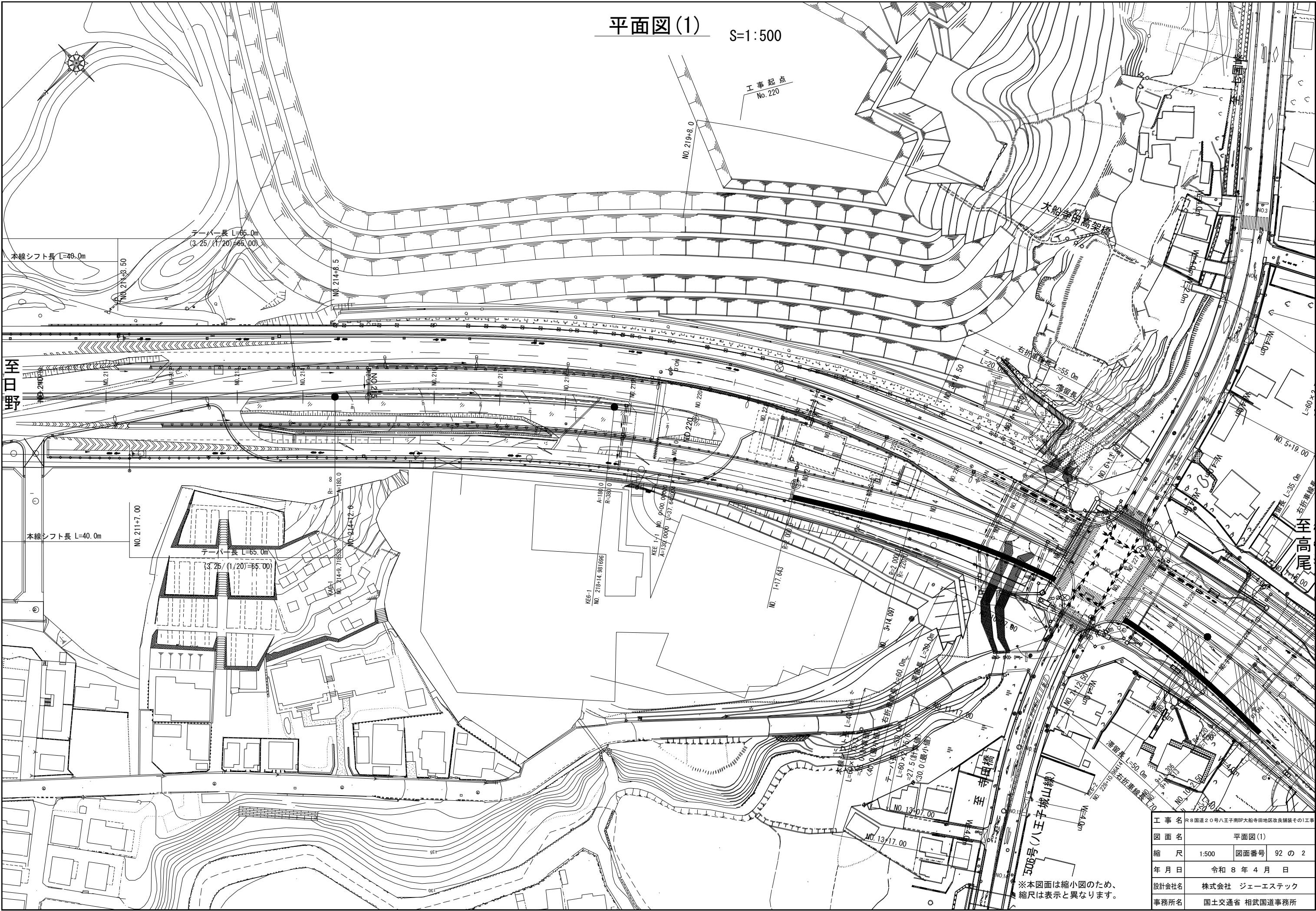
工事起点
No. 210+0.0



工 事 名		R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事							
図 面 名		位 置 図							
縮 尺		1:50,000		図面番号		92 の 1			
年 月 日		令和 8 年 4 月 日							
設計会社名		セントラルコンサルタント(株) (株)ｼﾞｪｰｴｽﾃｯｸ (株)ﾄﾞｰｺﾝ (株)長大 大日本コンサルタント(株) 中央コンサルタンツ(株) オリエンタルコンサルタンツ(株)							
所		副		課		係		設	
長		所		長		長		計	
事務所名		国土交通省 相武国道事務所							

平面図(1)

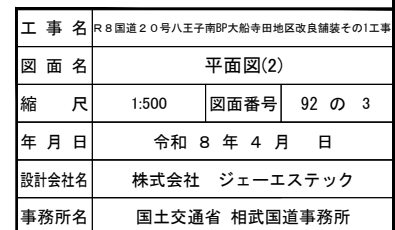
S=1:500



工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	平面図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 2
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

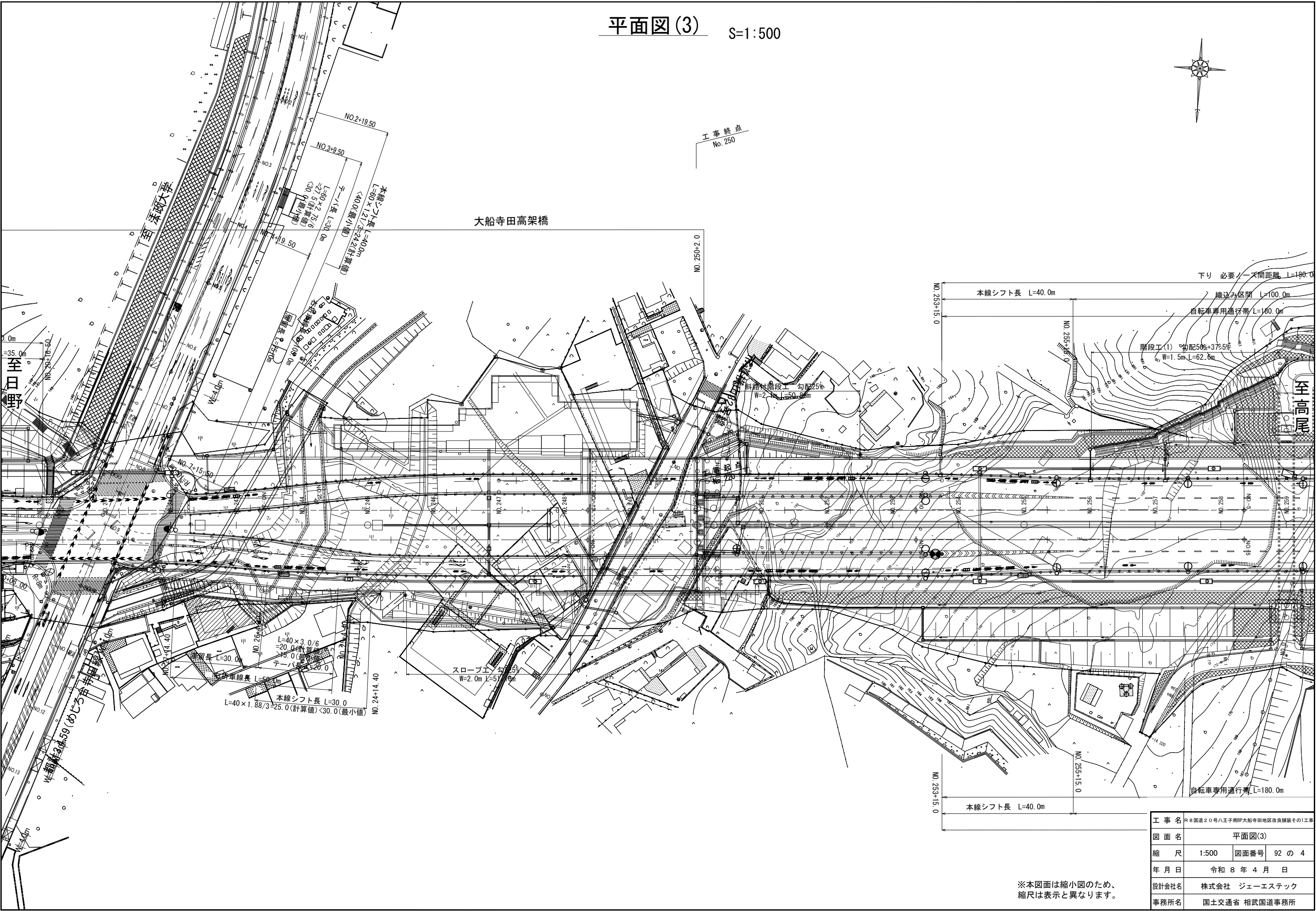
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

S=1 : 500



平面図(3)

S=1:500



大船寺田高架橋

工事終点
No. 250

至高尾

至日野

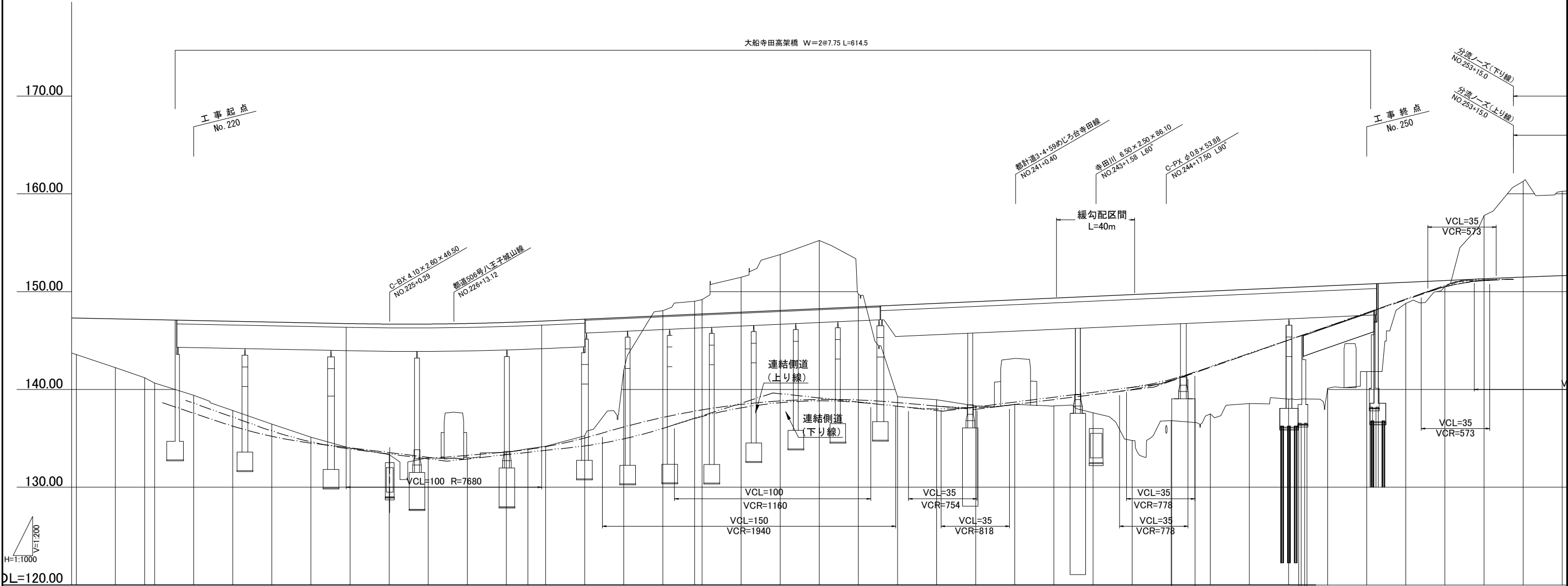
工 事 名	R8 国道20号八王子南IC大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 4
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

縦断図

V=1:200
H=1:1000

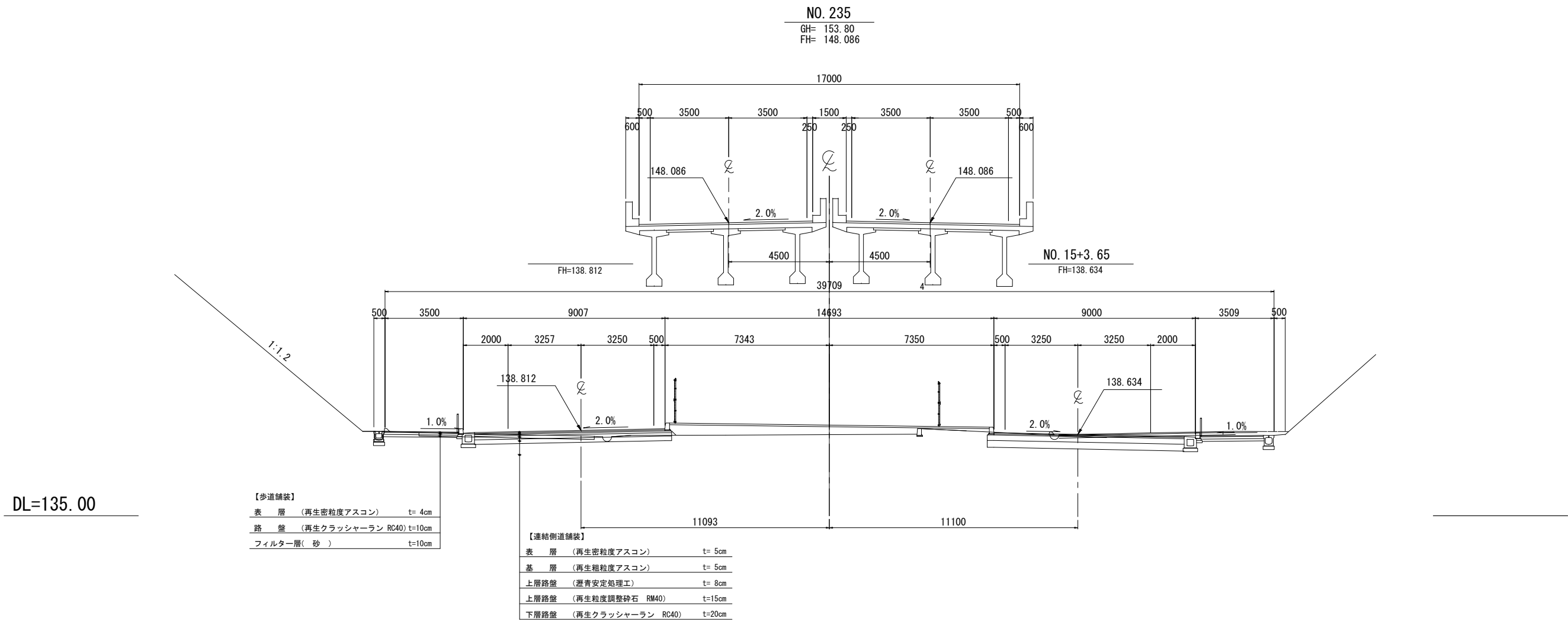
大船寺田高架橋 W=2@7.75 L=614.5



H=1:1000
V=1:200
DL=120.00

測量中心線(横断面図)							連結側道(上り線)			連結側道(下り線)			
片勾配	曲率	測点	単距離	追加距離	地盤高	計画高	勾配	測点	計画高	測点	計画高	測点	計画高
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO217	20,000	434,000	147.292	147.292							
		NO218	20,000	436,000	147.212	147.212							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	KE 6-1	14,982	437,982	147.152	147.152							
		NO219	5,018	438,000	147.132	147.132							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO220	20,000	440,000	147.052	147.052							
		NO221	20,000	442,000	146.972	146.972							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO222	20,000	444,000	146.892	146.892							
		NO223	20,000	446,000	146.812	146.812							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO224	20,000	448,000	146.732	146.732							
		NO225	20,000	450,000	146.288	146.288							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO226	20,000	452,000	146.468	146.468							
		+8.000	8,000	452,000	146.540	146.540							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO227	12,000	454,000	146.648	146.648							
		NO228	20,000	456,000	146.828	146.828							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	KE 6-2	10,965	457,965	146.926	146.926							
		NO229	9,035	458,000	147.007	147.007							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO230	20,000	460,000	147.187	147.187							
		NO231	20,000	462,000	147.367	147.367							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO232	20,000	464,000	147.547	147.547							
		KA 6-2	16,228	465,228	147.693	147.693							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO233	3,772	466,000	147.727	147.727							
		NO234	20,000	468,000	147.906	147.906							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO235	20,000	470,000	148.086	148.086							
		NO236	20,000	472,000	148.266	148.266							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO237	20,000	474,000	148.446	148.446							
		NO238	20,000	476,000	148.626	148.626							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO239	20,000	478,000	148.805	148.805							
		NO240	20,000	480,000	148.985	148.985							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO241	20,000	482,000	149.165	149.165							
		NO242	20,000	484,000	149.345	149.345							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO243	20,000	486,000	149.525	149.525							
		NO244	20,000	488,000	149.704	149.704							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO245	20,000	490,000	149.884	149.884							
		NO246	20,000	492,000	150.064	150.064							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO247	20,000	494,000	150.244	150.244							
		NO248	20,000	496,000	150.424	150.424							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO249	20,000	498,000	150.603	150.603							
		NO250	20,000	500,000	150.783	150.783							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO251	20,000	502,000	150.963	150.963							
		NO252	20,000	504,000	151.143	151.143							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO253	20,000	506,000	151.322	151.322							
		NO254	20,000	508,000	151.502	151.502							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO255	20,000	510,000	151.682	151.682							
		NO256	20,000	512,000	151.862	151.862							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO257	20,000	514,000	152.042	152.042							
		NO258	20,000	516,000	152.222	152.222							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO259	20,000	518,000	152.402	152.402							
		NO260	20,000	520,000	152.582	152.582							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO261	20,000	522,000	152.762	152.762							
		NO262	20,000	524,000	152.942	152.942							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO263	20,000	526,000	153.122	153.122							
		NO264	20,000	528,000	153.302	153.302							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO265	20,000	530,000	153.482	153.482							
		NO266	20,000	532,000	153.662	153.662							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO267	20,000	534,000	153.842	153.842							
		NO268	20,000	536,000	154.022	154.022							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO269	20,000	538,000	154.202	154.202							
		NO270	20,000	540,000	154.382	154.382							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO271	20,000	542,000	154.562	154.562							
		NO272	20,000	544,000	154.742	154.742							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO273	20,000	546,000	154.922	154.922							
		NO274	20,000	548,000	155.102	155.102							
	L=95.263 R=1000 L=195.983 R=1000 IA=42.24-21 CL=366.509	NO275	20,000	550,000	155.282	155.282							
		NO276	20,000	552,000	155.462	155.462							

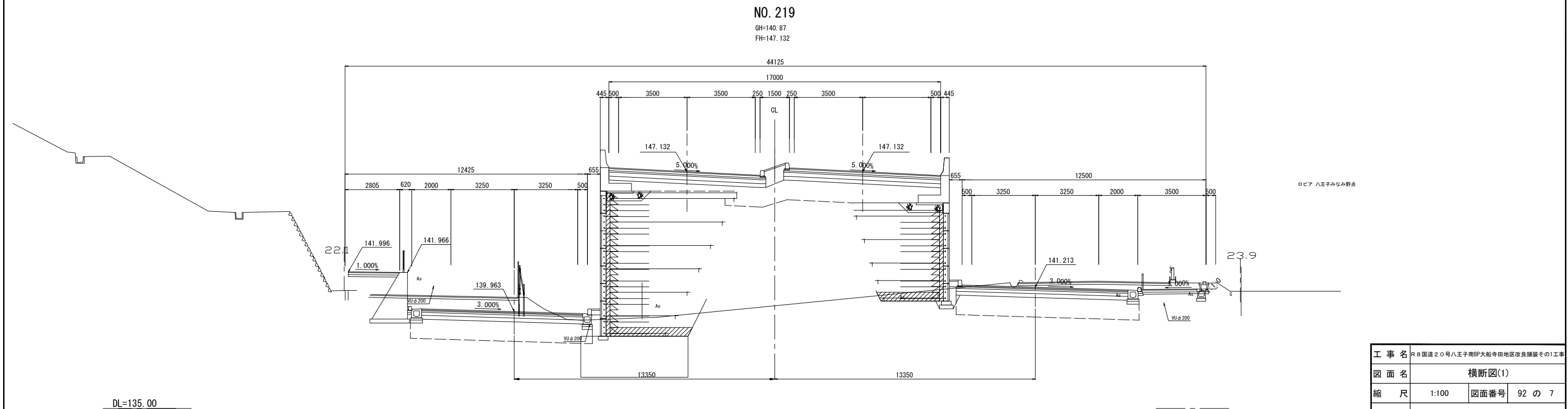
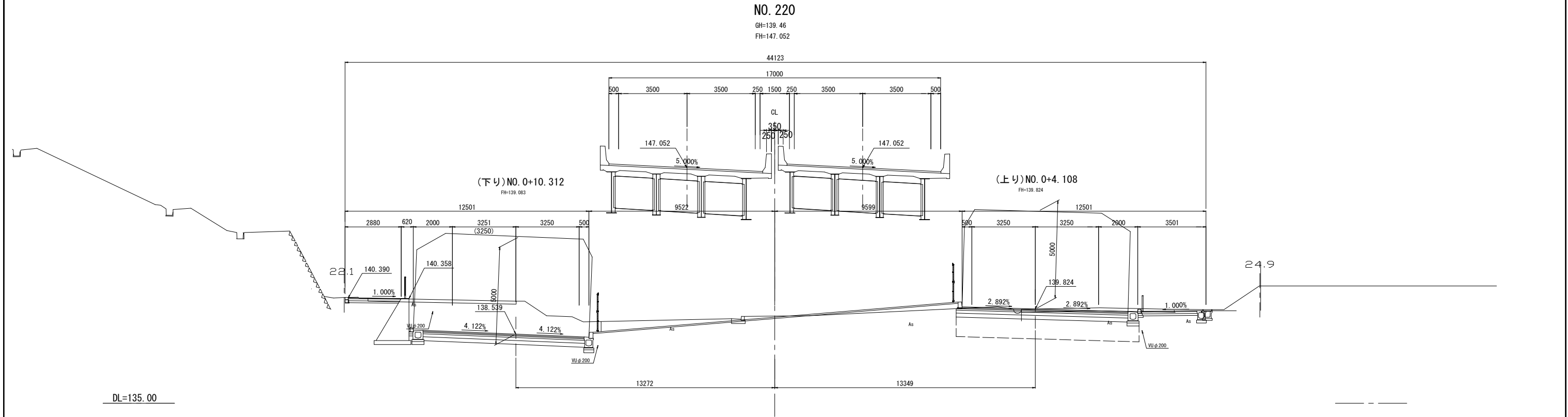
標準横断図 S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	標準横断図		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 6
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

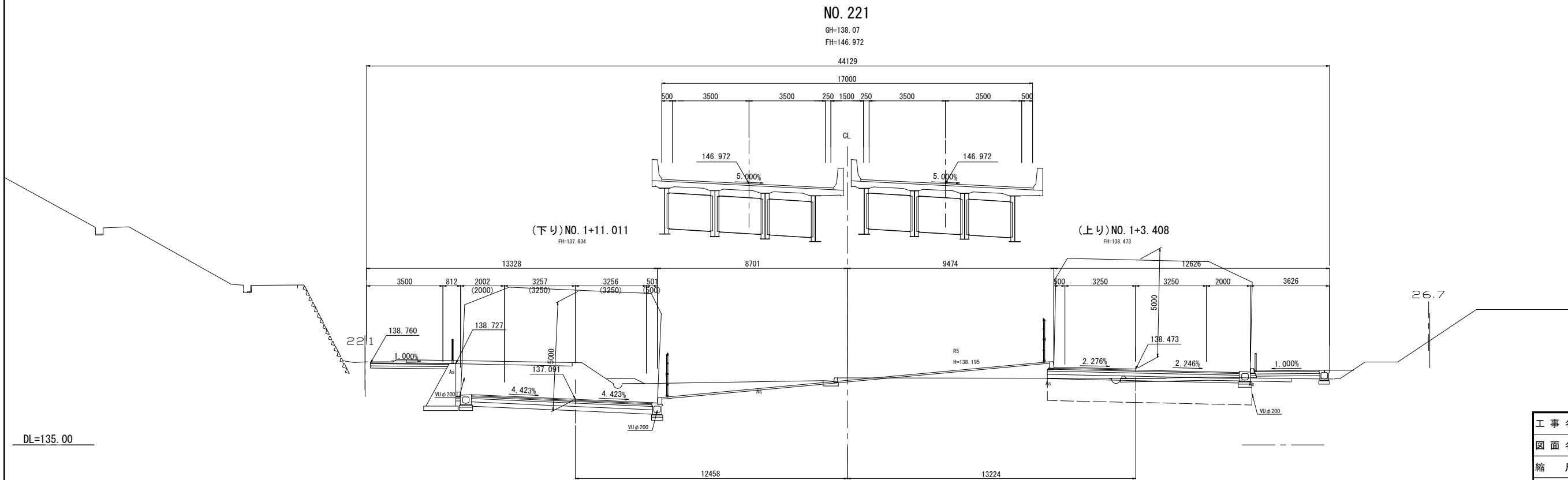
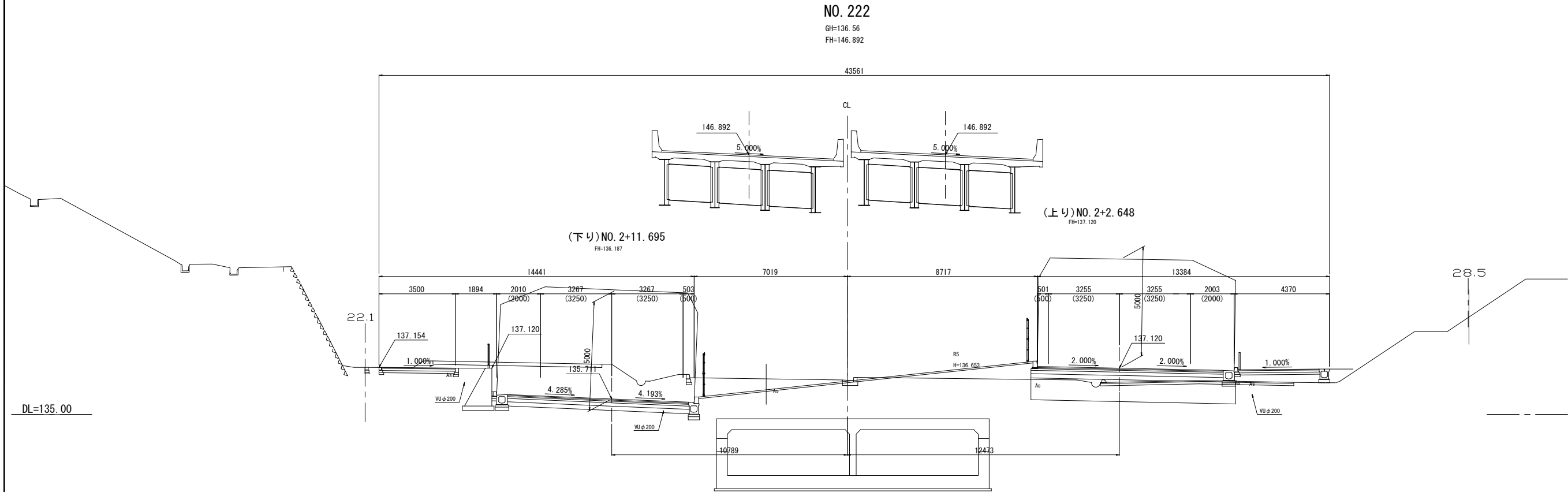
横断図(1) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(1)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 7
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

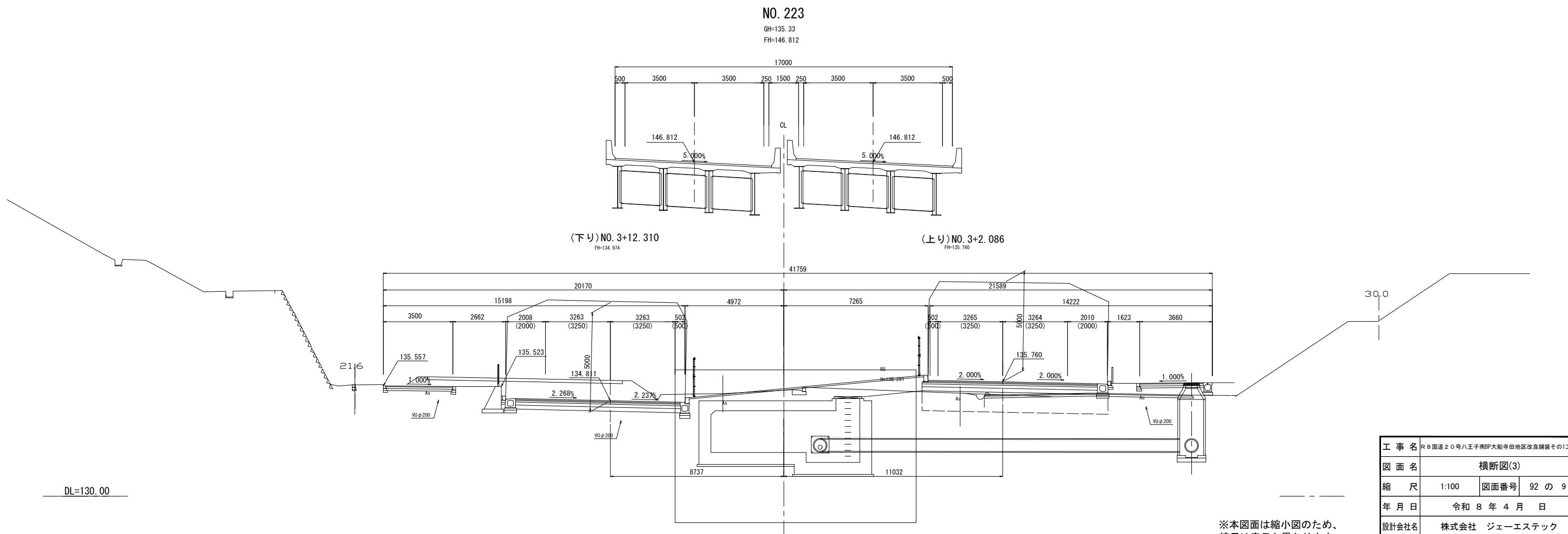
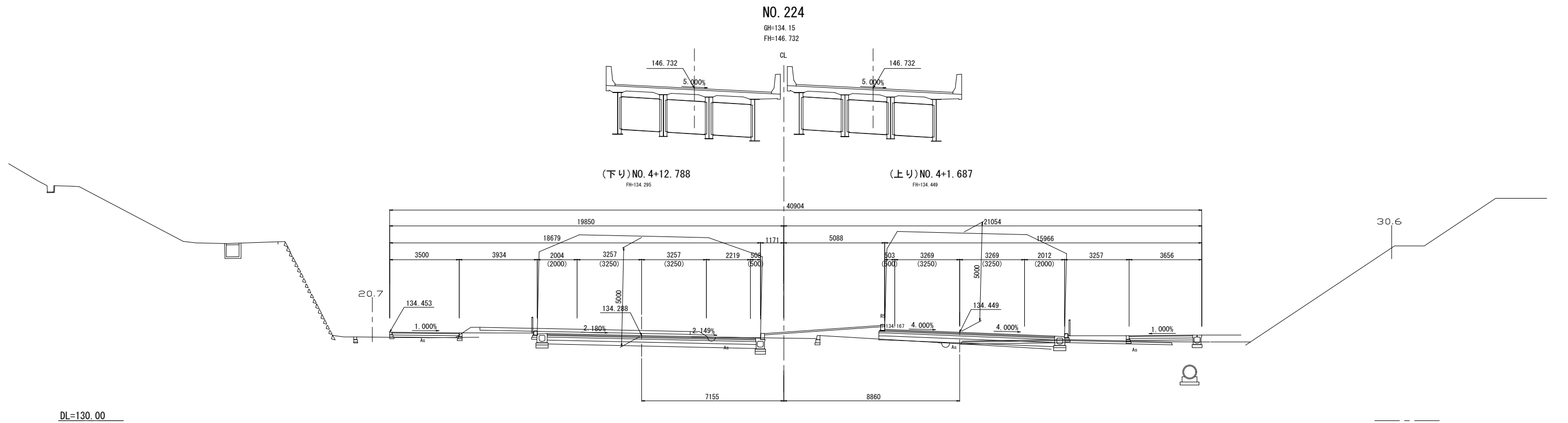
横断図(2) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(2)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 8
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

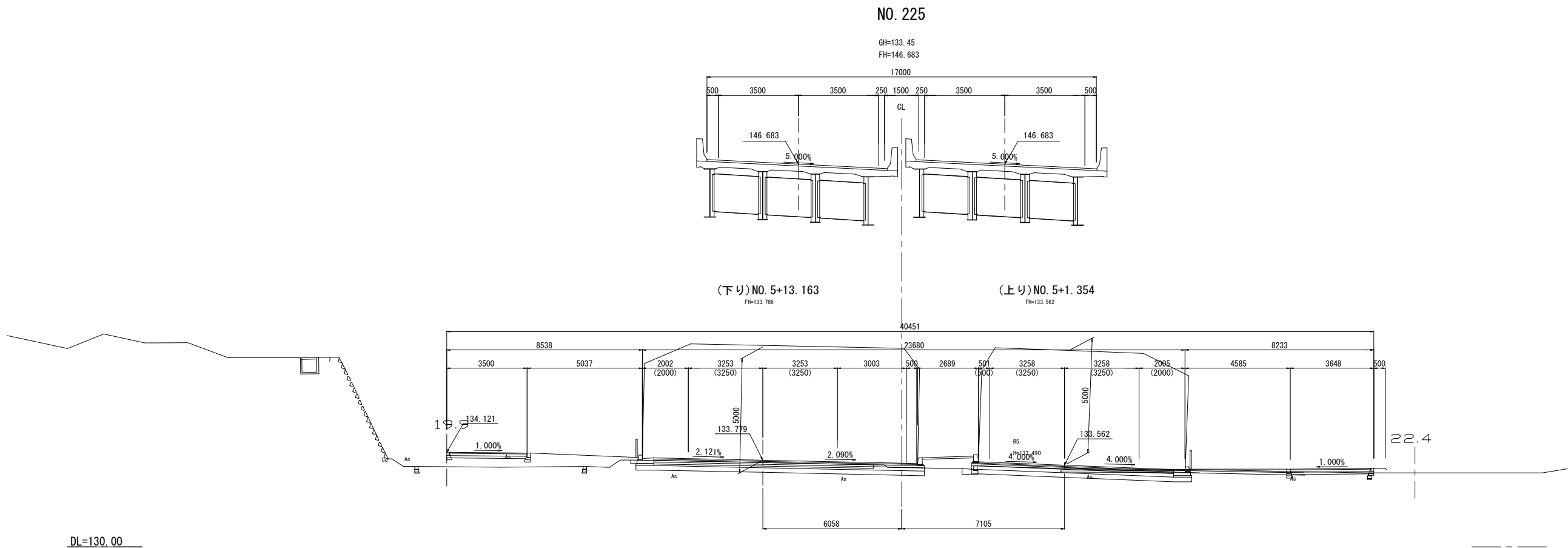
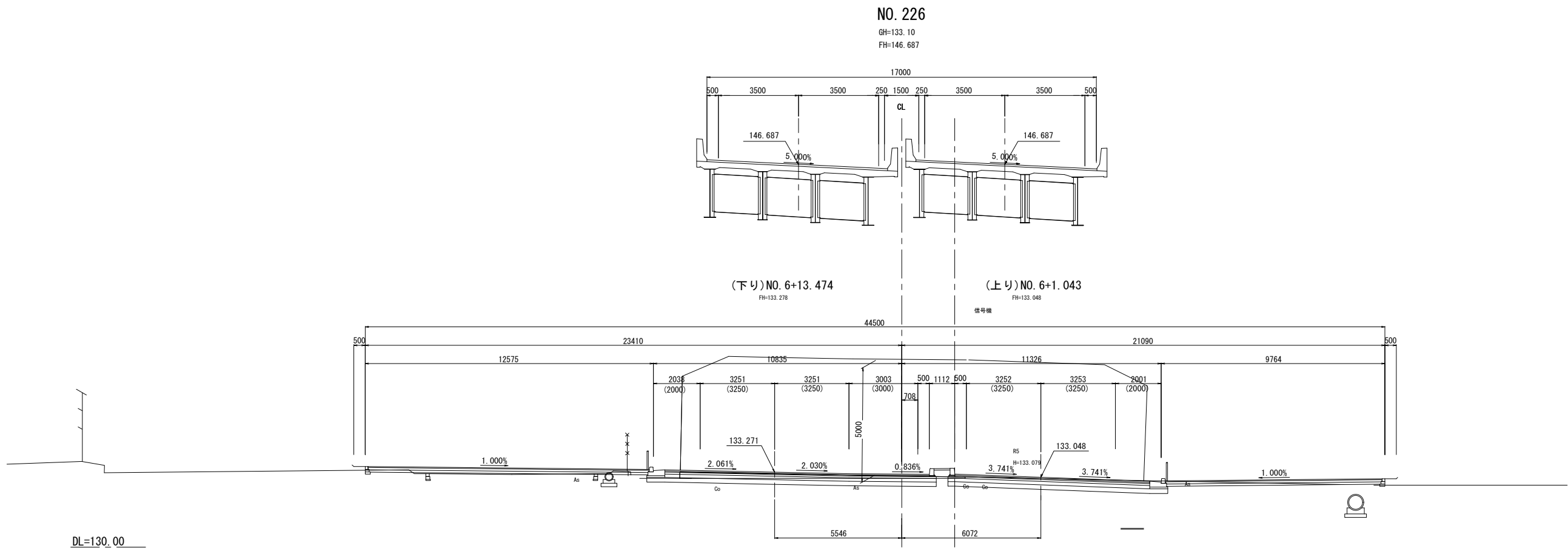
横断図(3) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(3)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 9
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

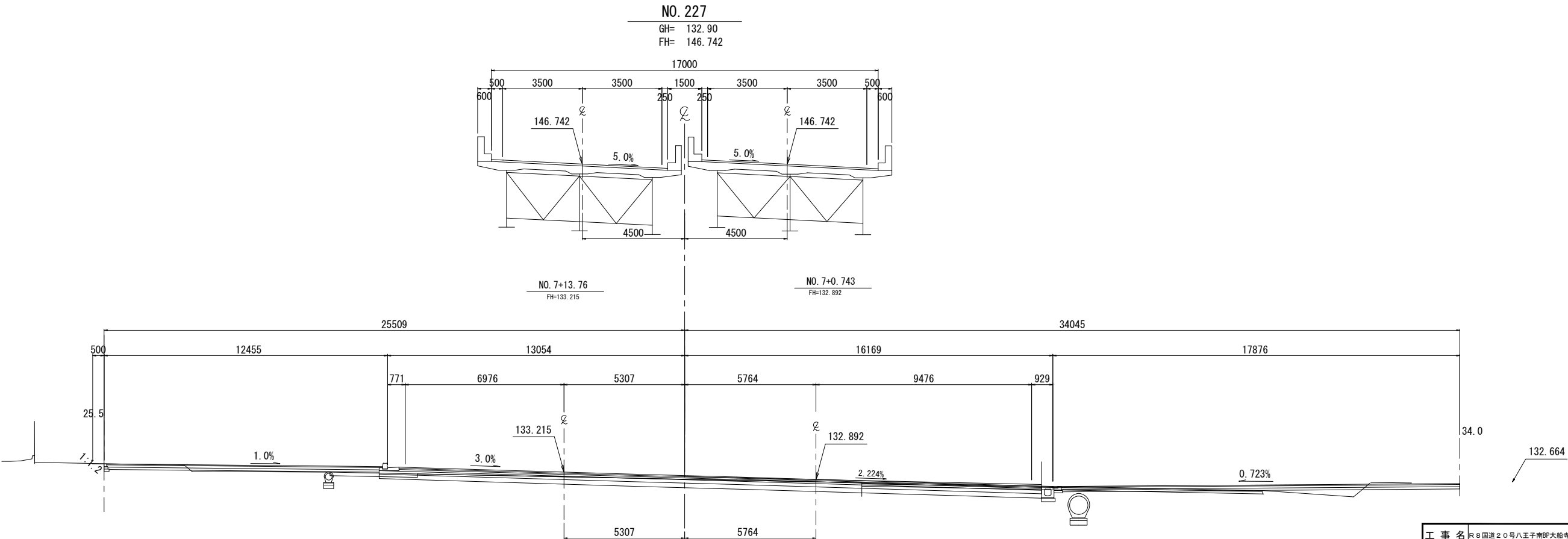
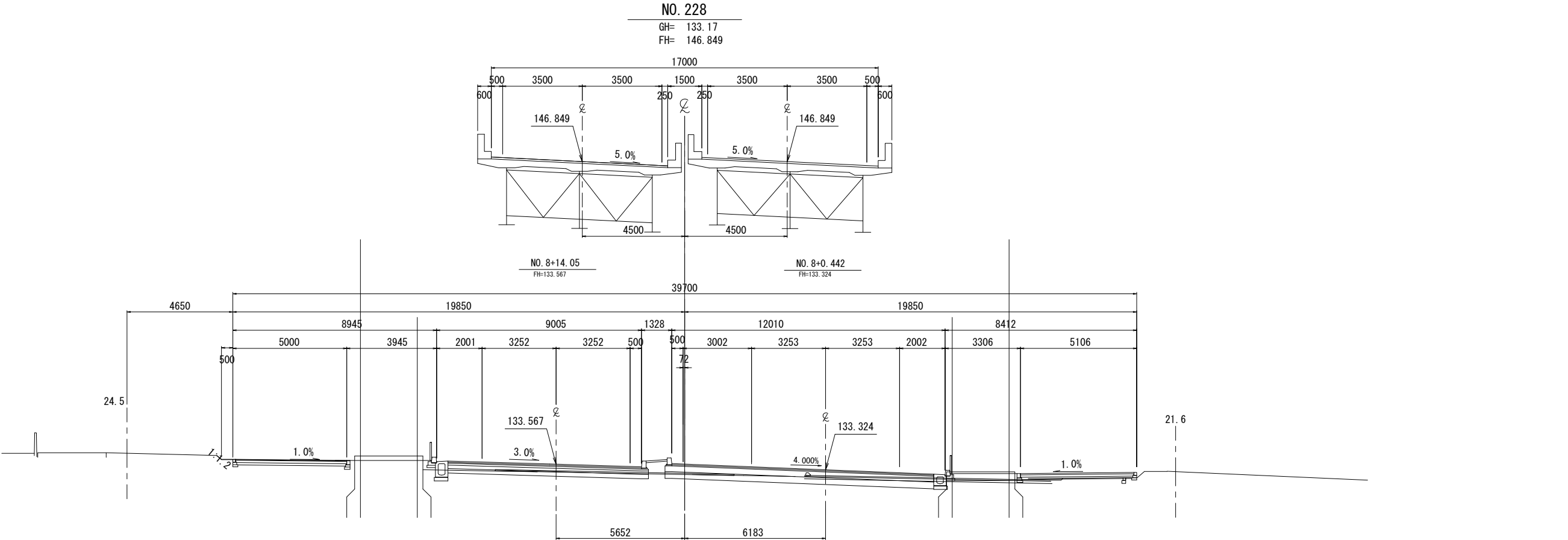
横断図(4) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(4)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 10
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(5) S=1:100



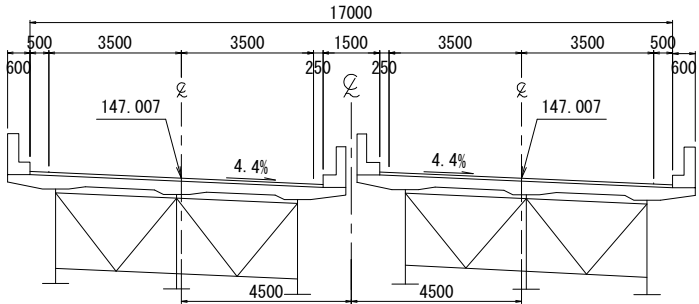
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(5)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 11
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(6) S=1:100

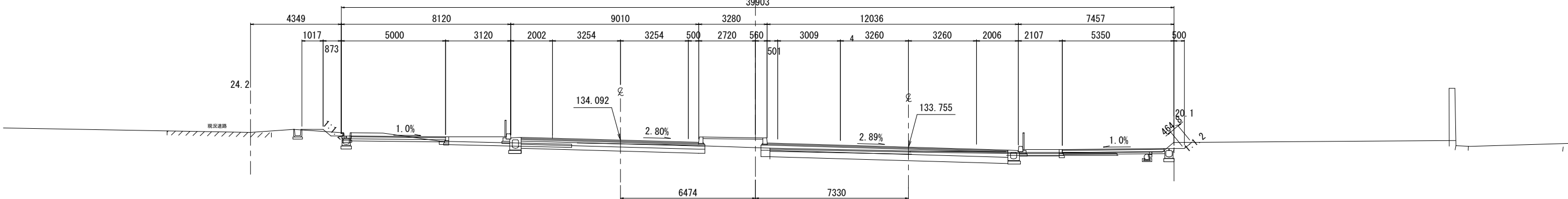
NO. 229

GH= 133.73
FH= 147.007



NO. 9+14.37
FH=134.092

NO. 9+0.138
FH=133.755

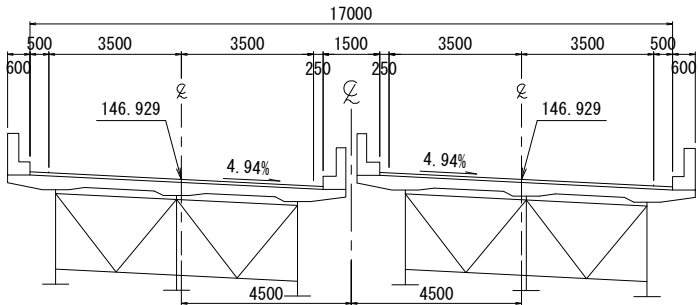


DL=130.00

KE6-2

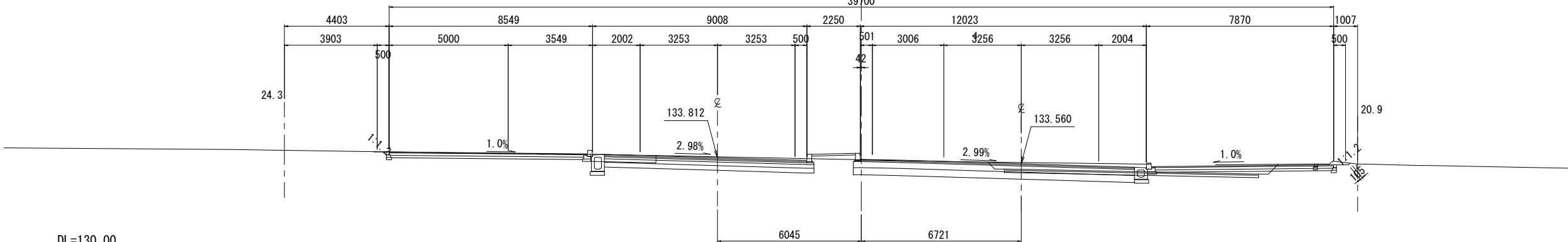
NO. 228+10.964

GH= 133.73
FH= 146.929



NO. 9+5.19
FH=133.812

NO. 8+11.237
FH=133.560



DL=130.00

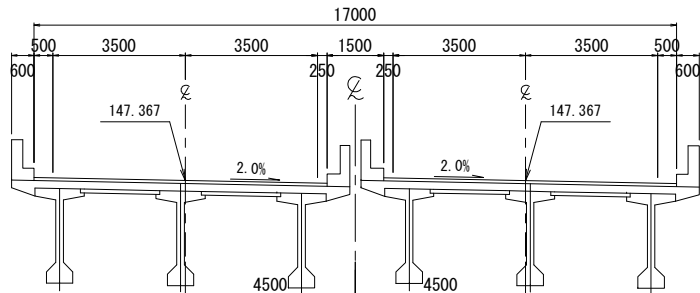
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(6)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 12
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(7) S=1:100

NO. 231

GH= 135.42
FH= 147.367

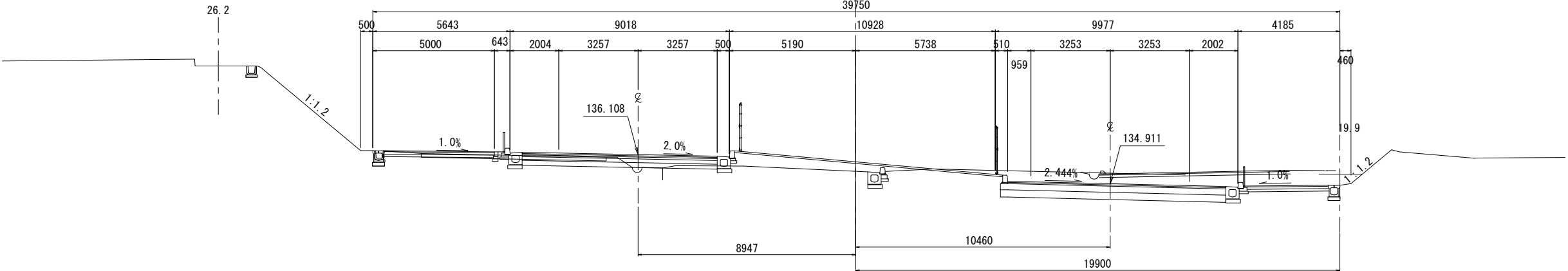


NO. 11+14.97

FH=136.108

NO. 11+3.46

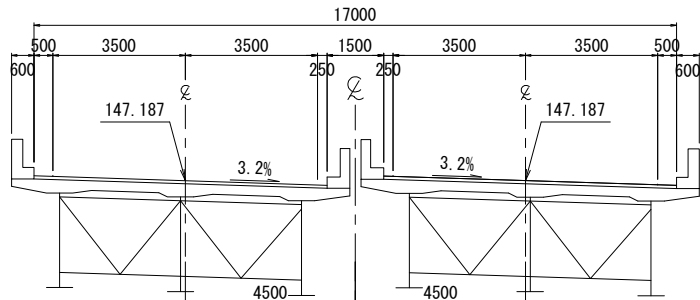
FH=134.911



DL=130.00

NO. 230

GH= 134.49
FH= 147.187

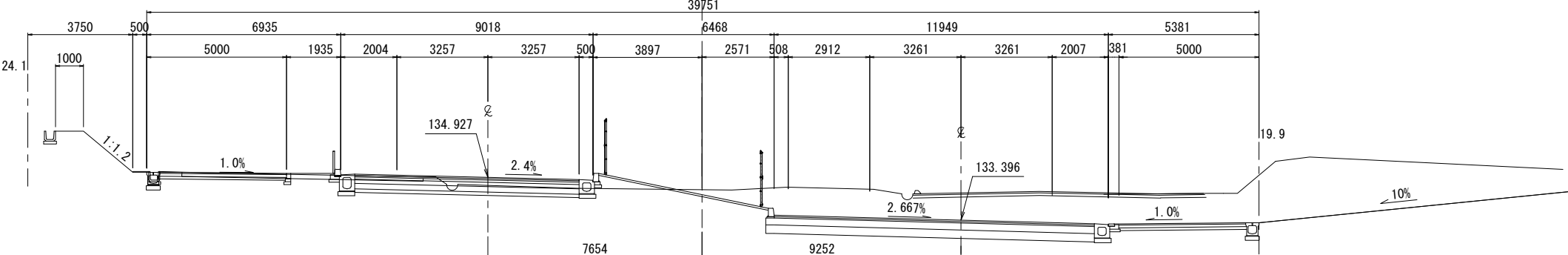


NO. 10+14.69

FH=134.927

NO. 10+4.05

FH=133.396



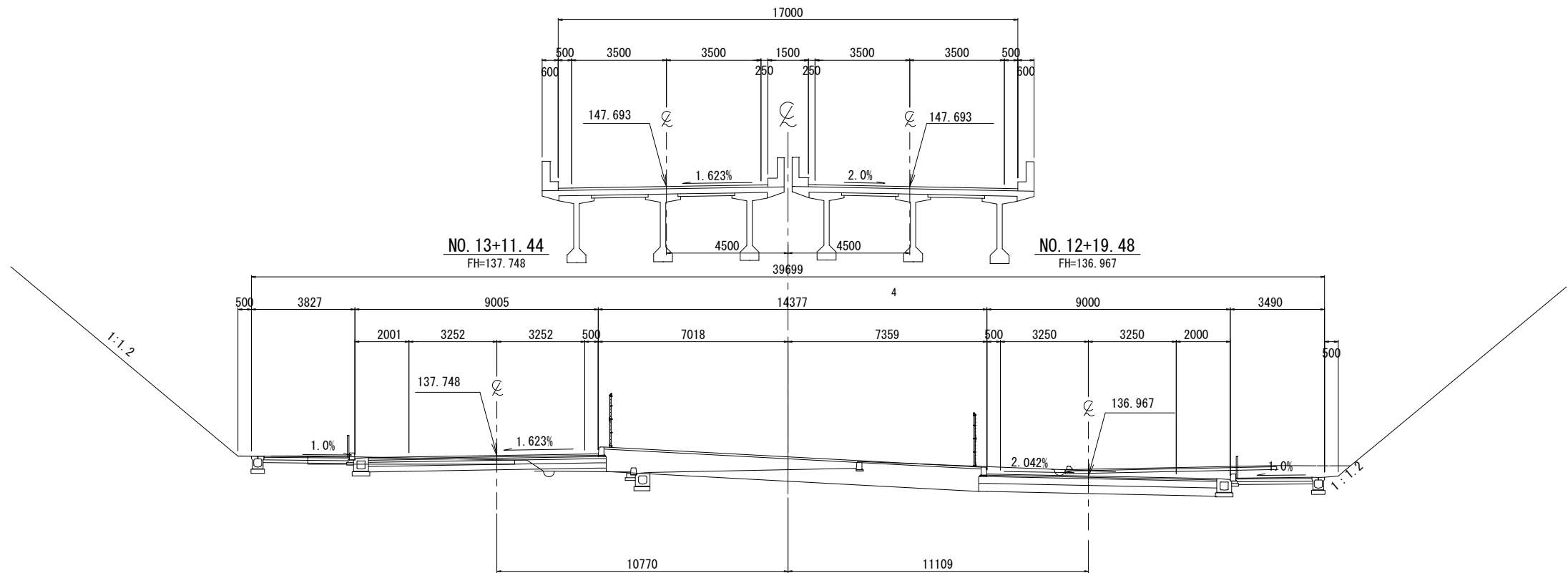
DL=130.00

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(7)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 13
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(8) S=1:100

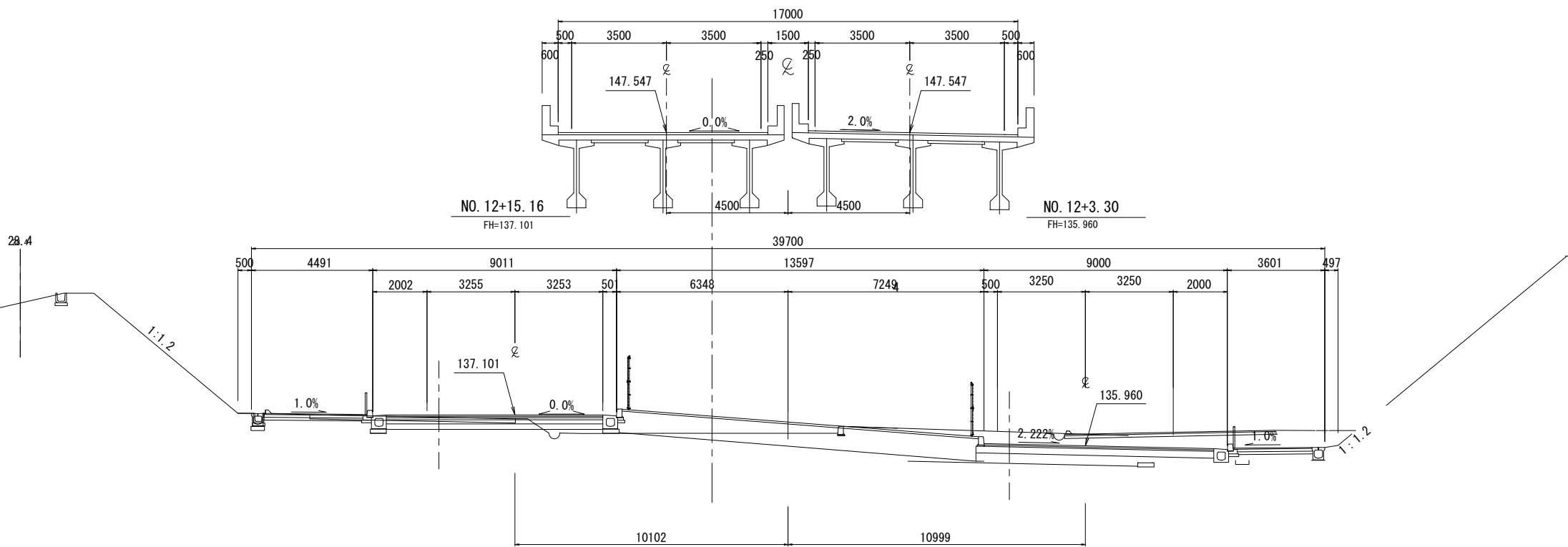
KA6-2
NO. 232+16. 227
GH= 137. 22
FH= 147. 693



DL=130. 00

NO. 232

GH= 136. 43
FH= 147. 547



DL=130. 00

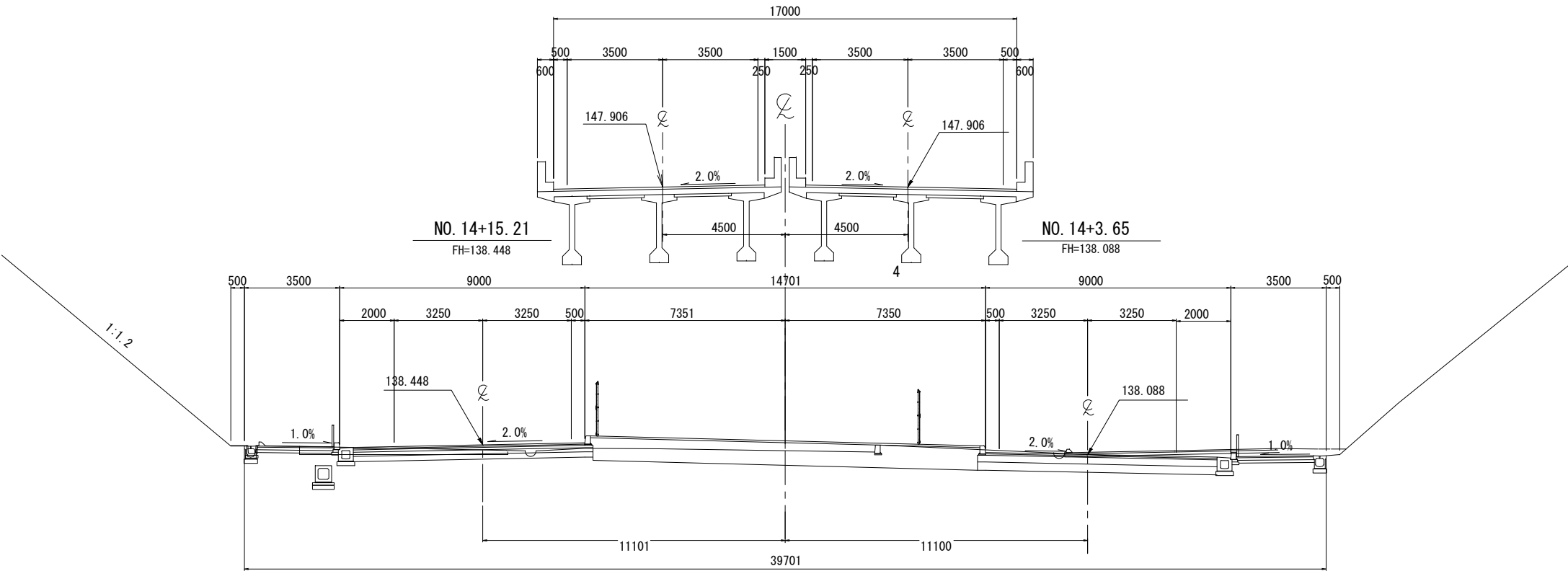
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国 道 2 0 号 八 王 子 南 BP 大 船 寺 田 地 区 改 良 補 修 其 の 1 工 事		
図 面 名	横断図(8)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 14
年 月 日	令 和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(9) S=1:100

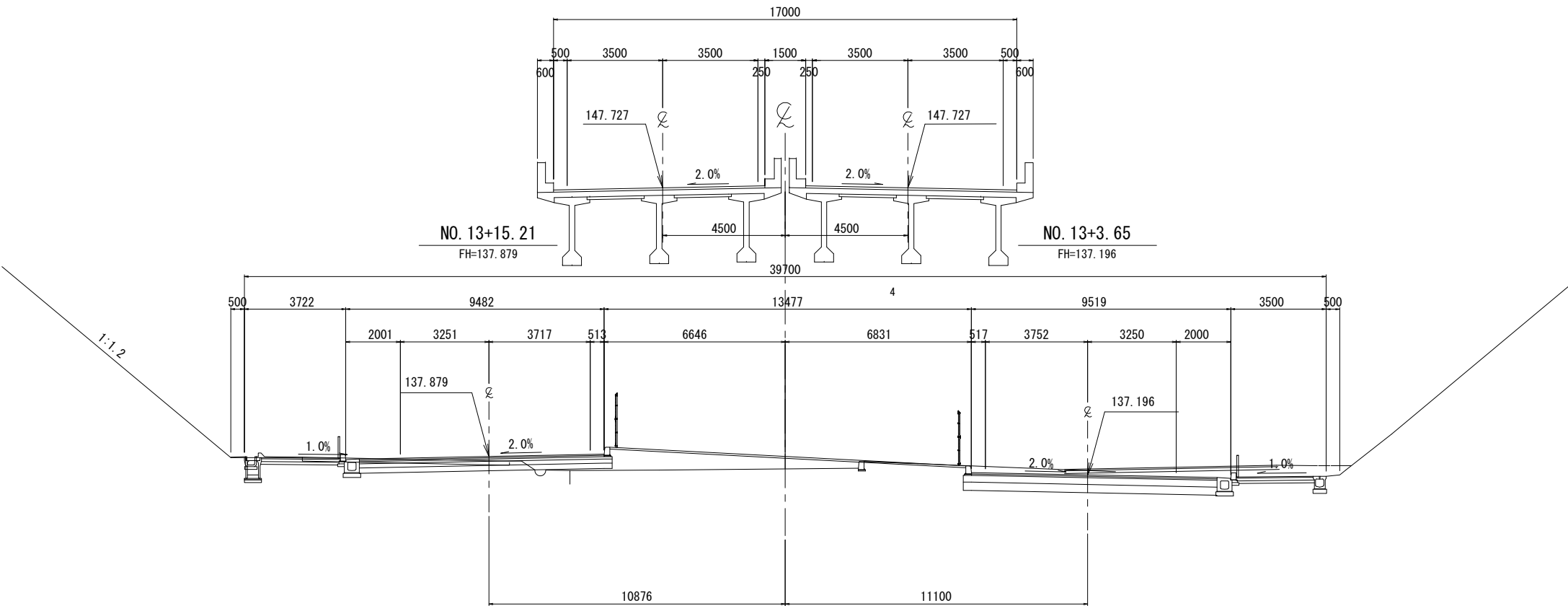
NO. 234

GH= 138. 23
FH= 147. 906



NO. 233

GH= 137. 42
FH= 147. 727



DL=135. 00

DL=130. 00

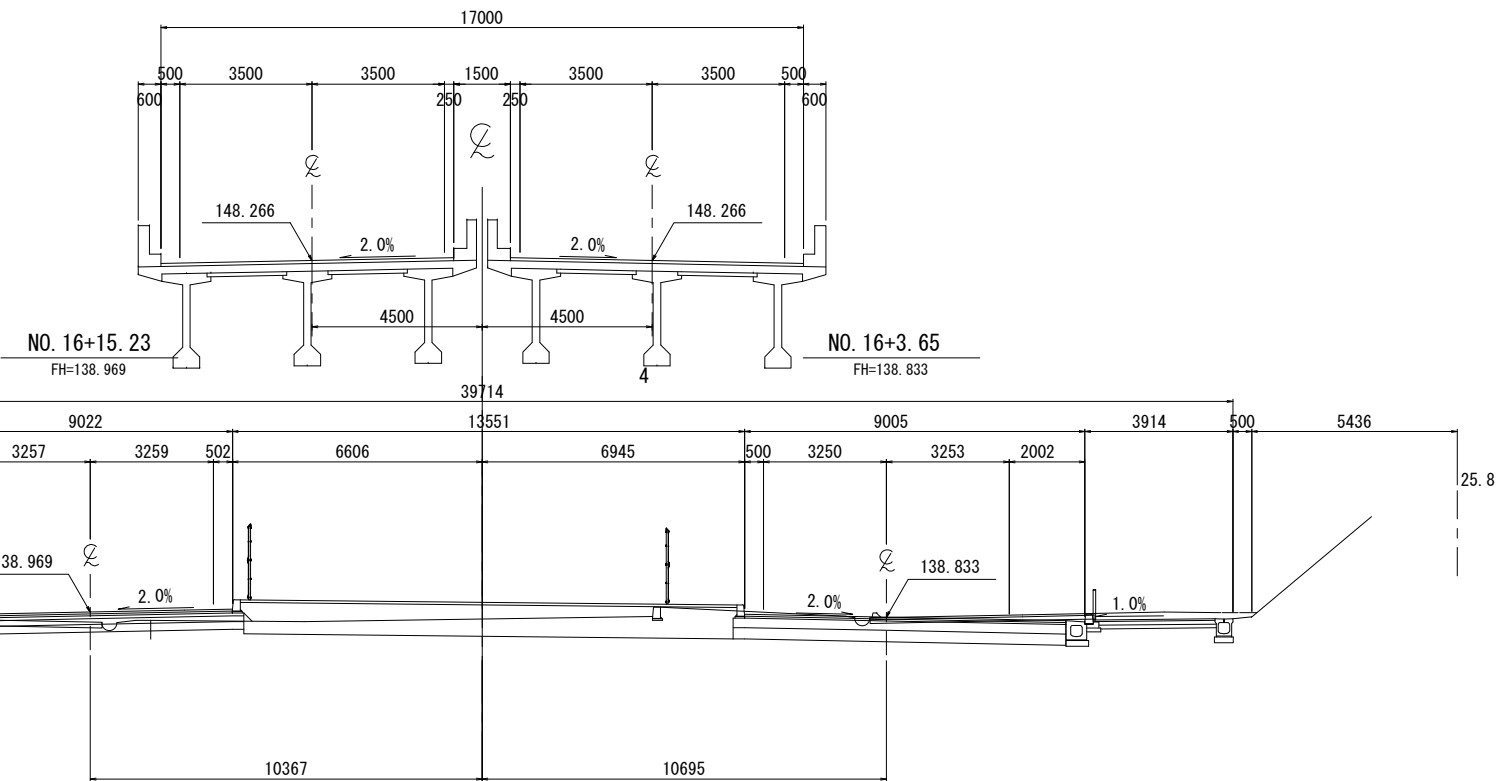
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(9)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 15
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(10) S=1:100

NO. 236

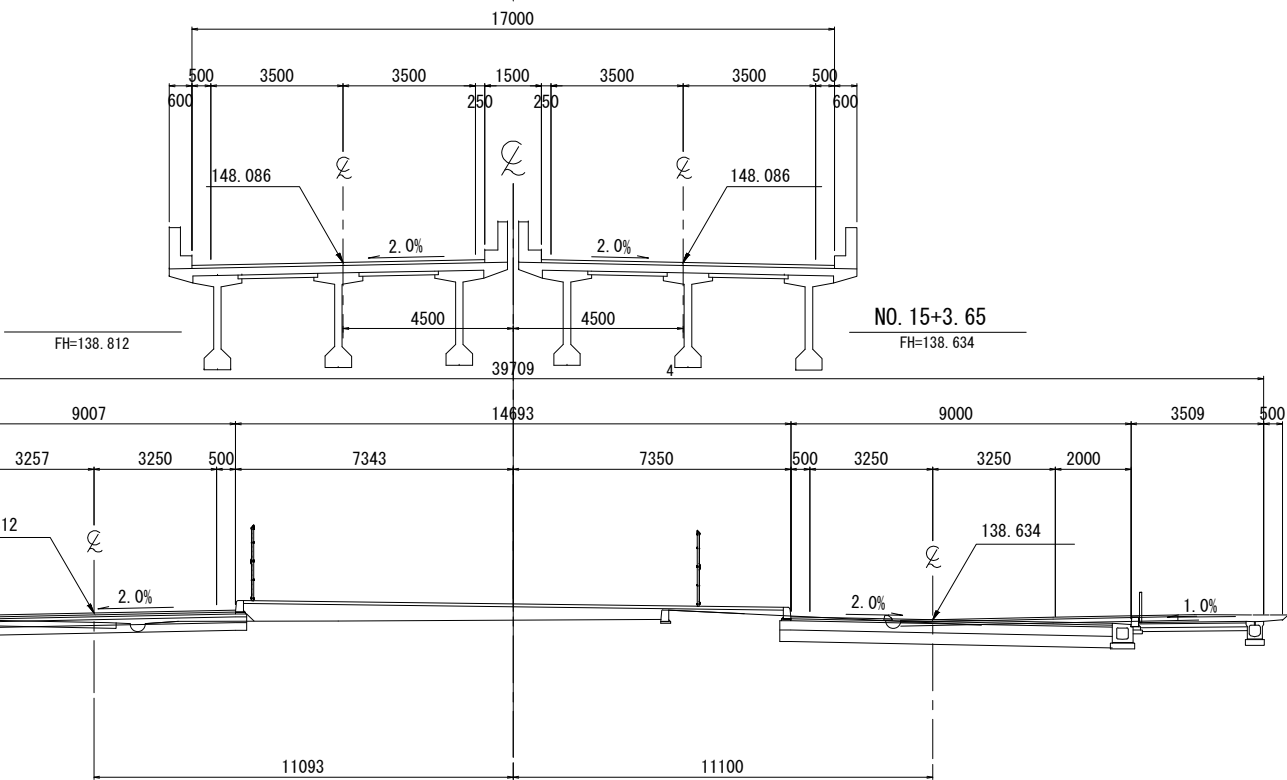
GH= 138. 78
FH= 148. 266



DL=135. 00

NO. 235

GH= 138. 62
FH= 148. 086



DL=135. 00

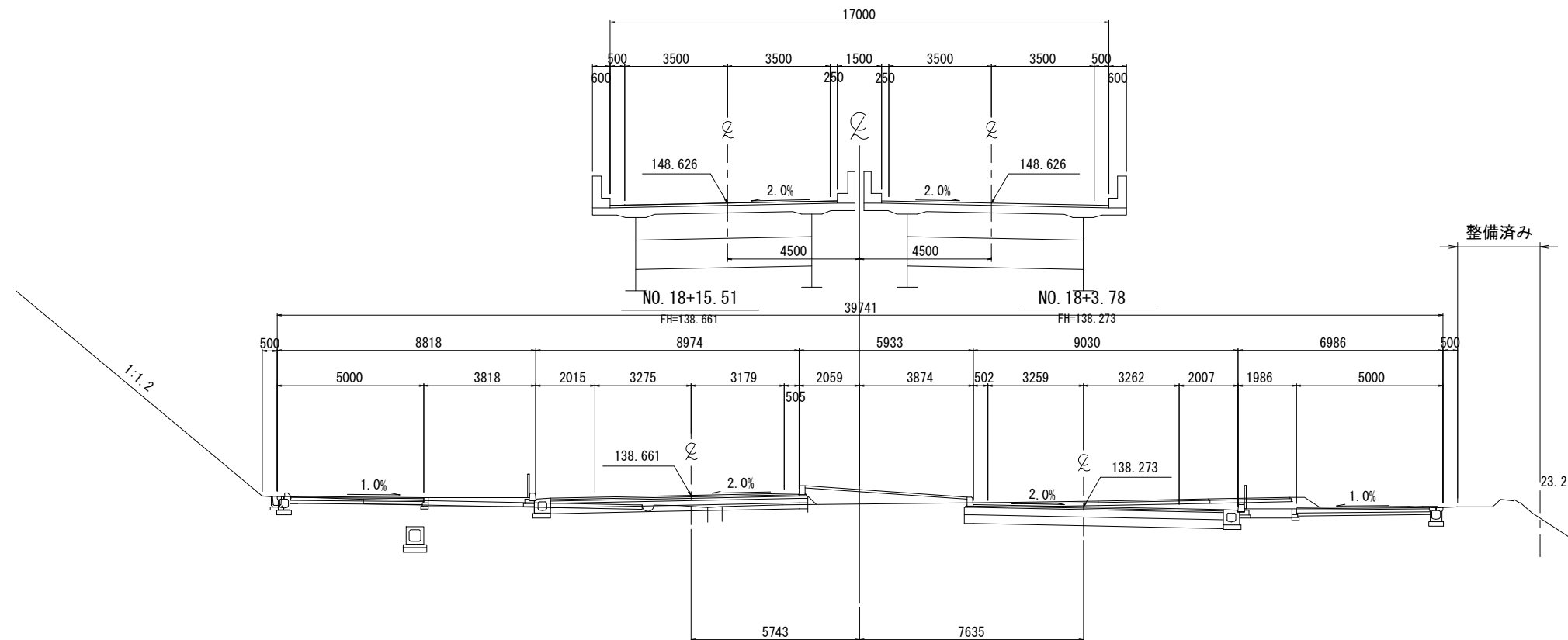
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(10)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 16
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(11) S=1:100

NO. 238

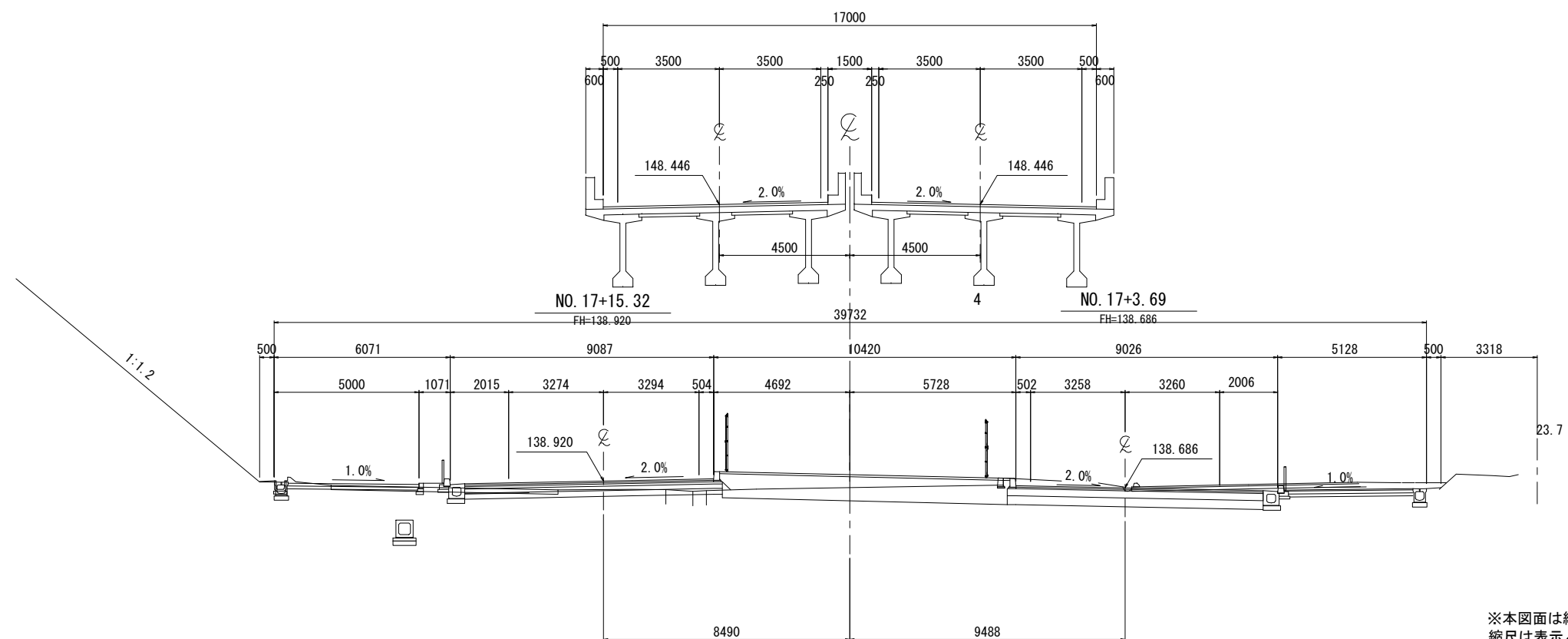
GH= 138.37
FH= 148.626



DL=135.00

NO. 237

GH= 138.69
FH= 148.446



DL=140.00

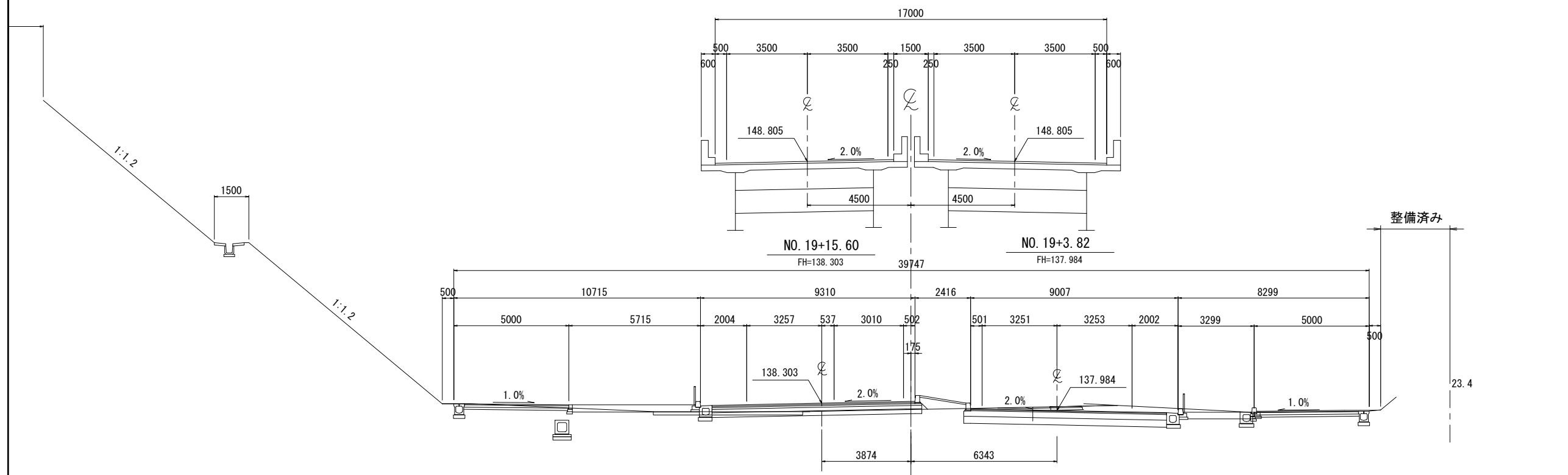
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号八王子市印太町4番地改良舗装等の1工事		
図 面 名	横断面図(11)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 17
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(12) S=1:100

NO. 239

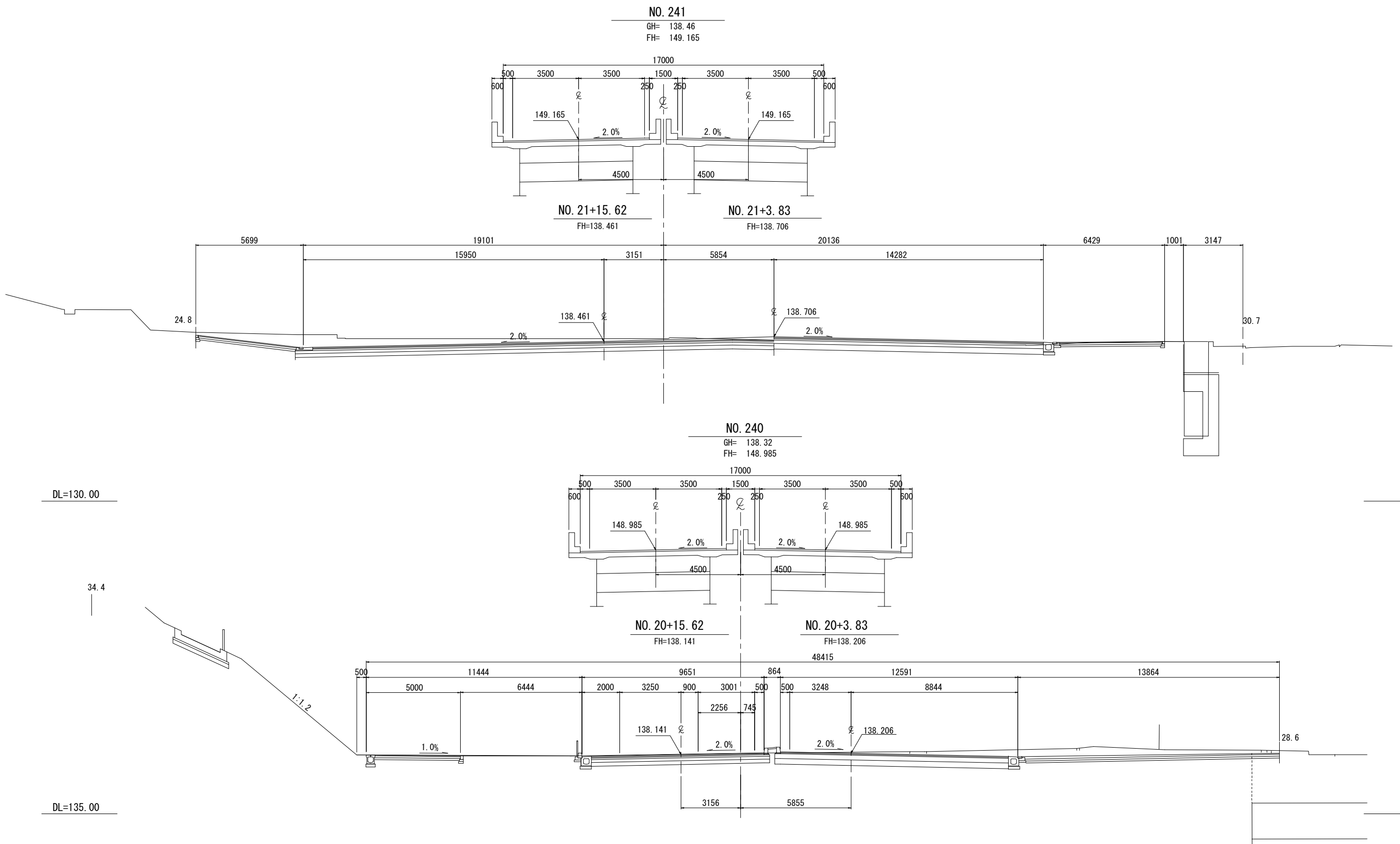
GH= 138.03
FH= 148.805



工 事 名	R8国道20号八王子市印太船寺田地区改良舗装等の1工事		
図 面 名	横断面図(12)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 18
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

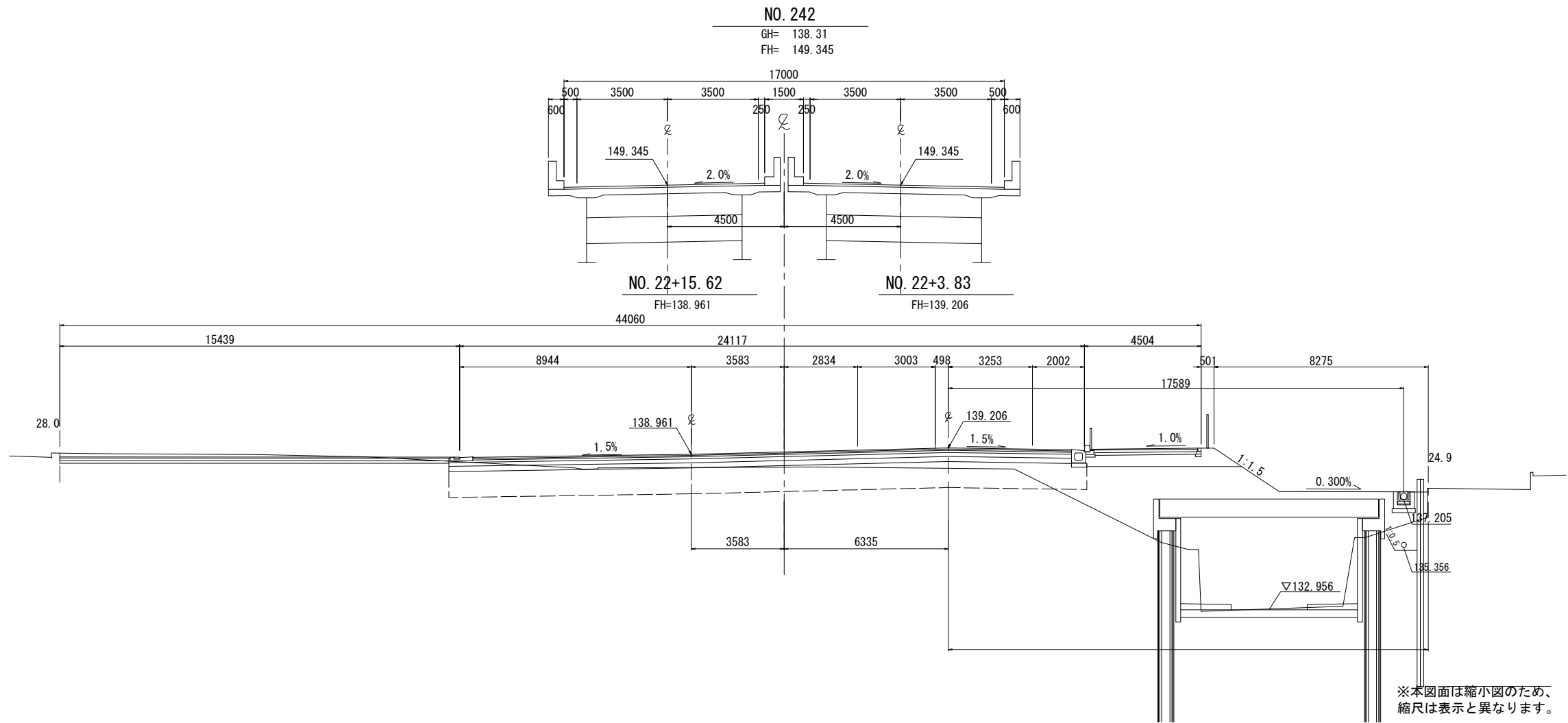
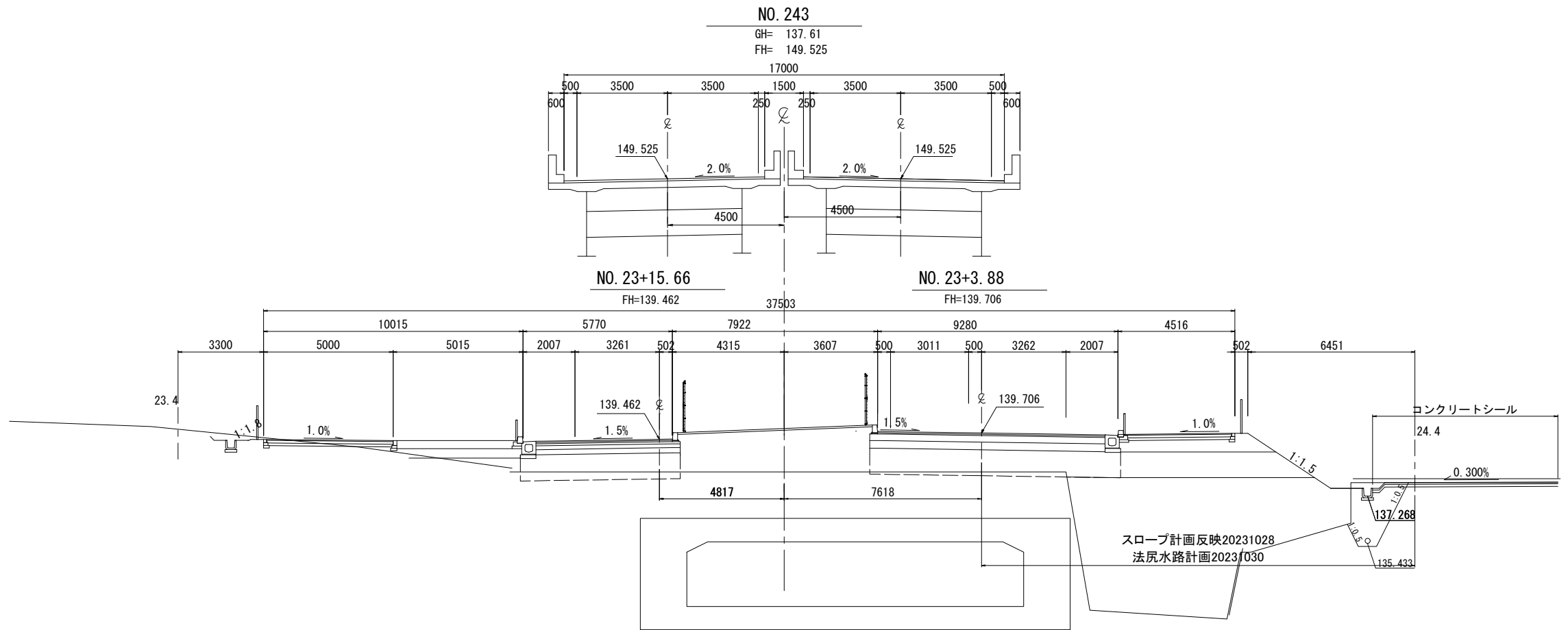
横断図(13) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

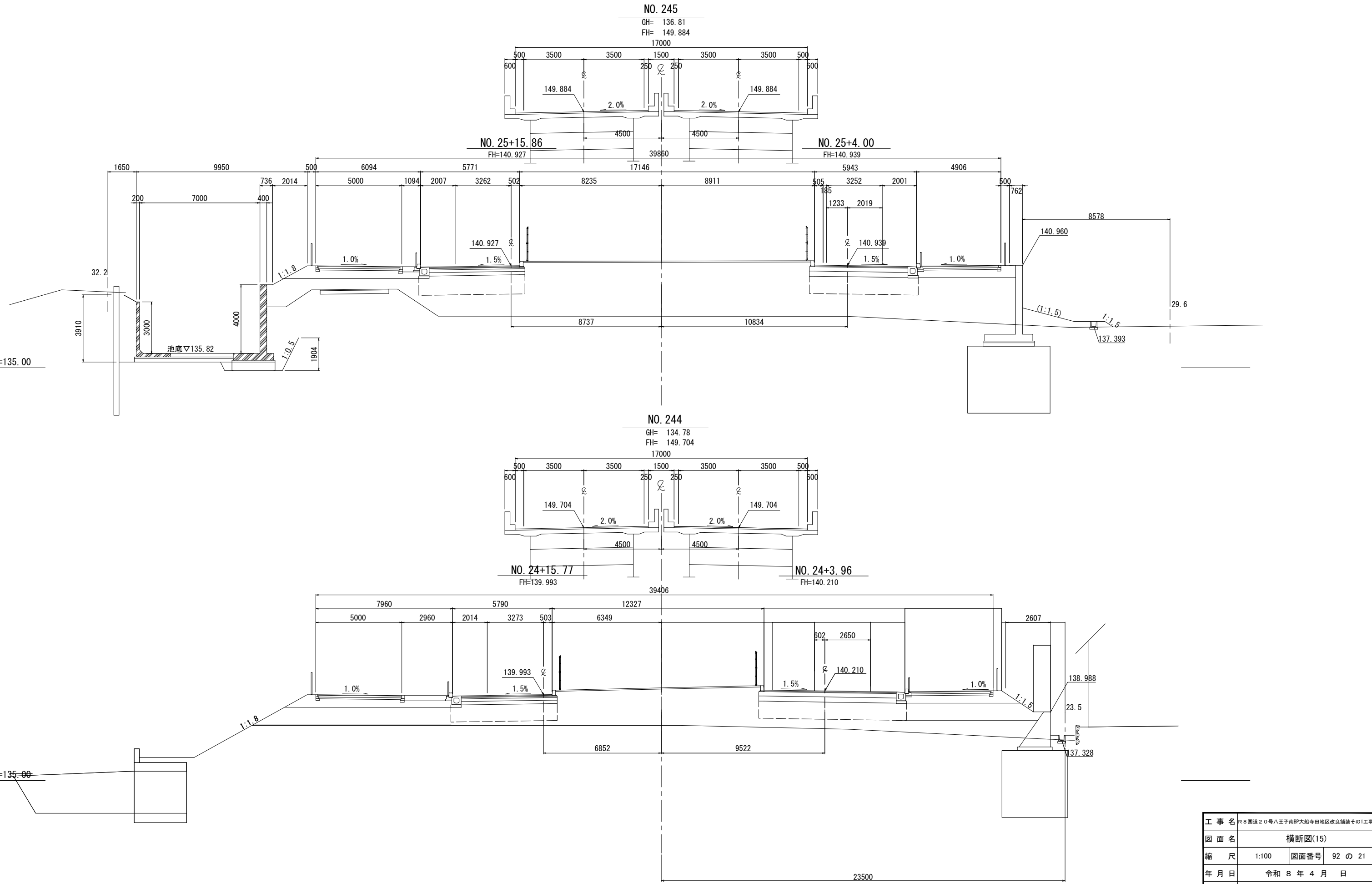
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(13)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 19
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(14) S=1:100



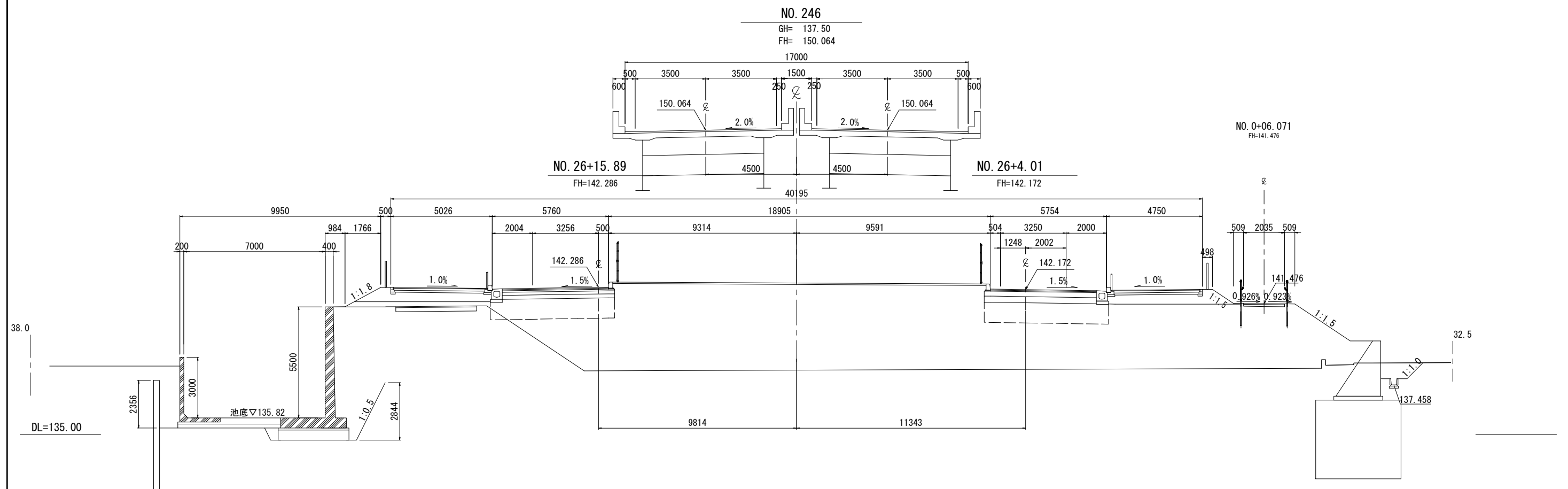
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(14)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 20
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断図(15) S=1:100



工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(15)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 21
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

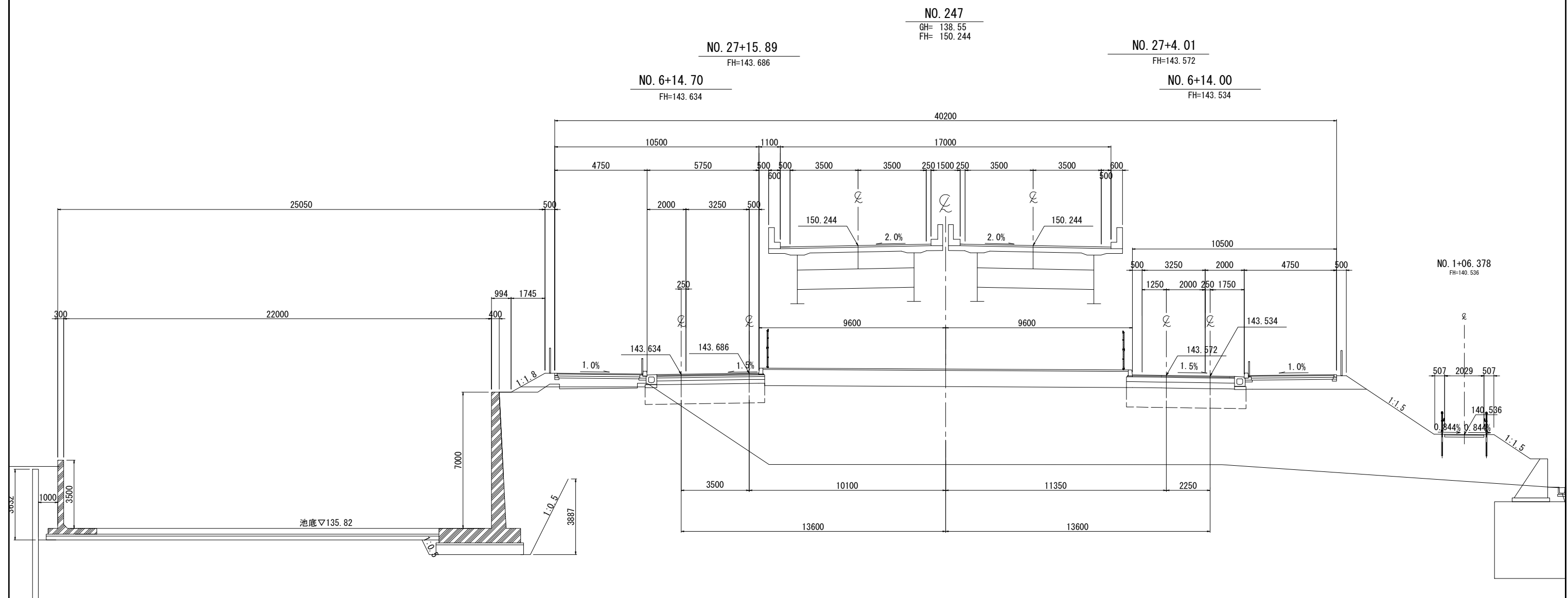
横断図(16) S=1:100



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8 国道 2 号 八王子南 JPA 大神寺田地区改良舗装工事(1)工事		
図 面 名	横断面図(16)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 22
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

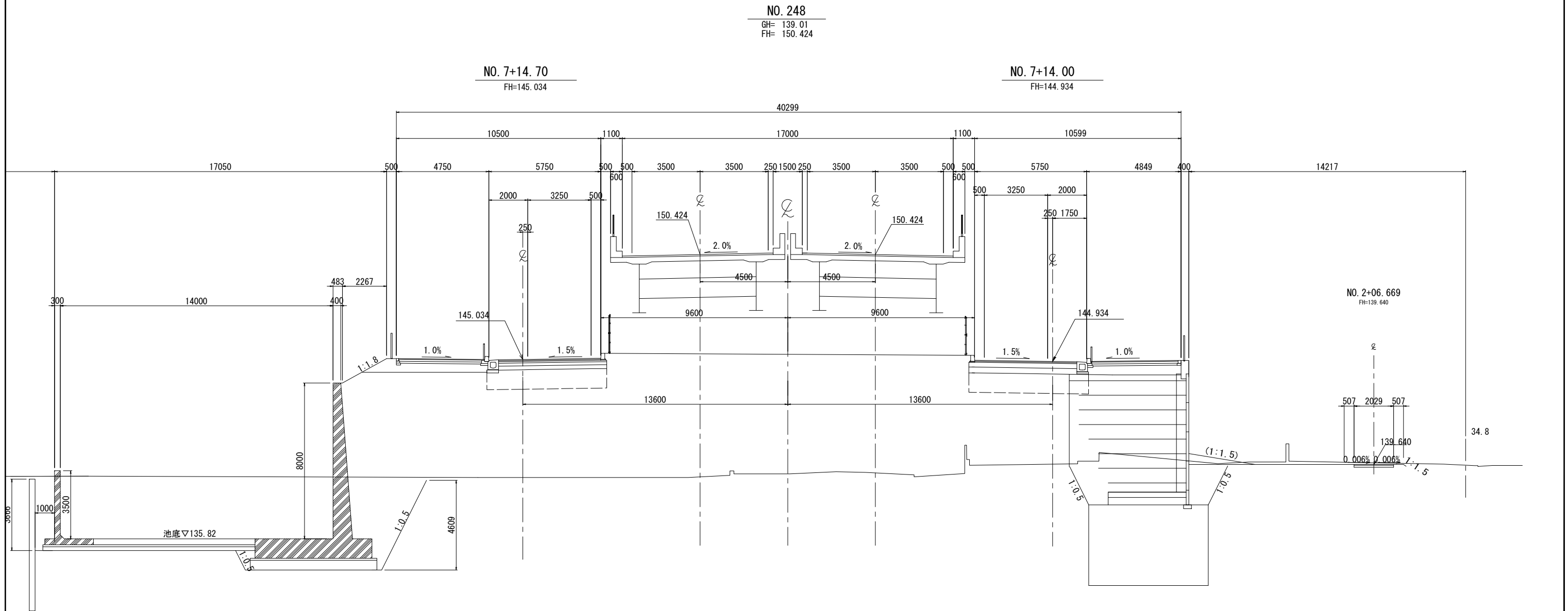
横断面図(17) S=1:100



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号八王子南IC大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(17)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 23
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

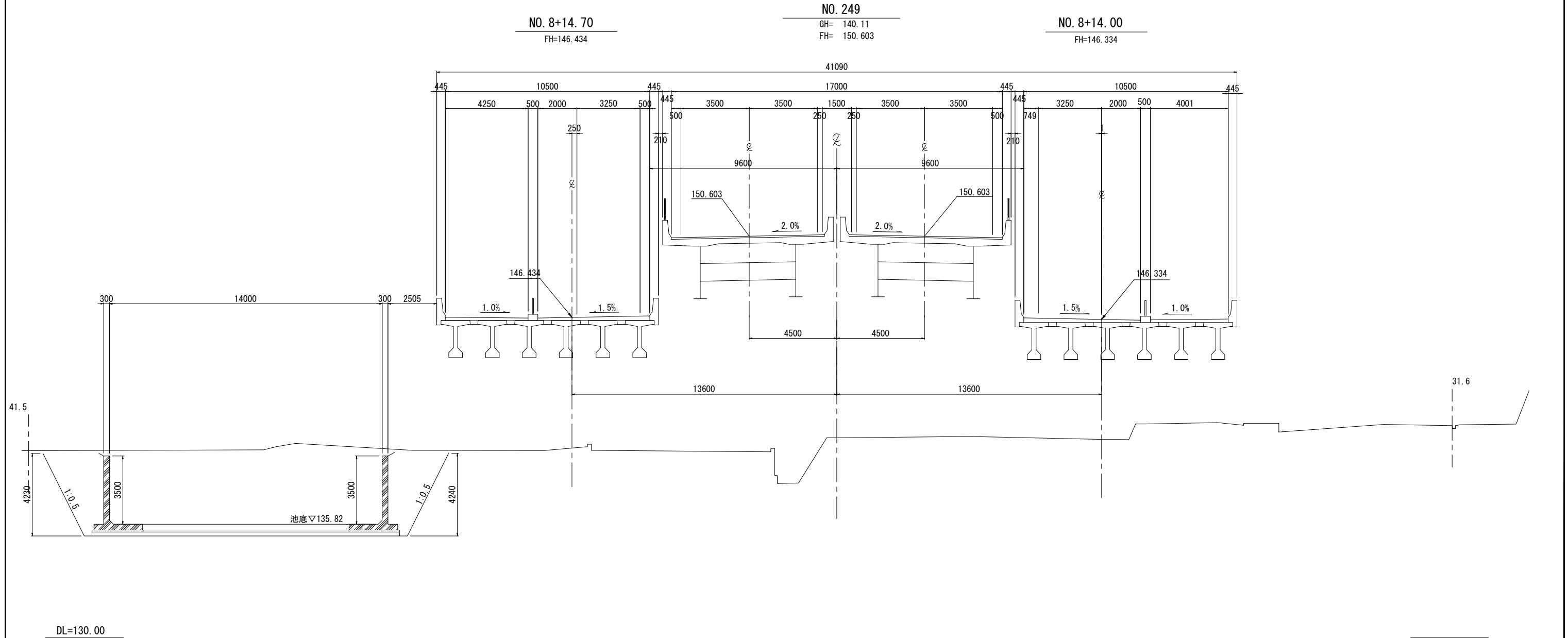
横断図(18) S=1:100



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(18)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 24
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

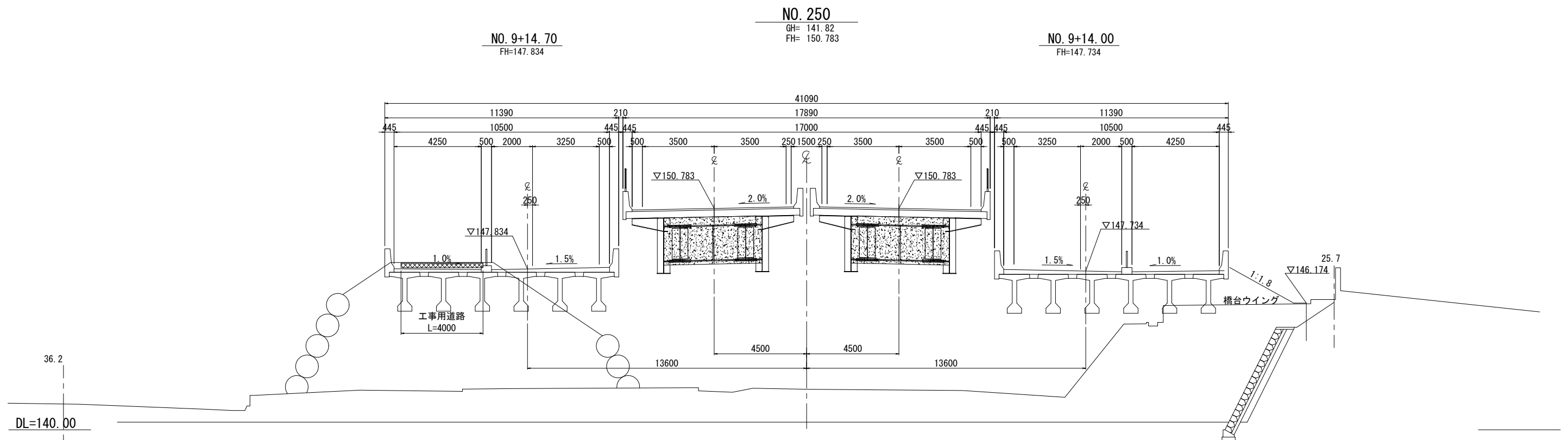
横断図(19) S=1:100



工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断図(19)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 25
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

横断図(20) S=1:100

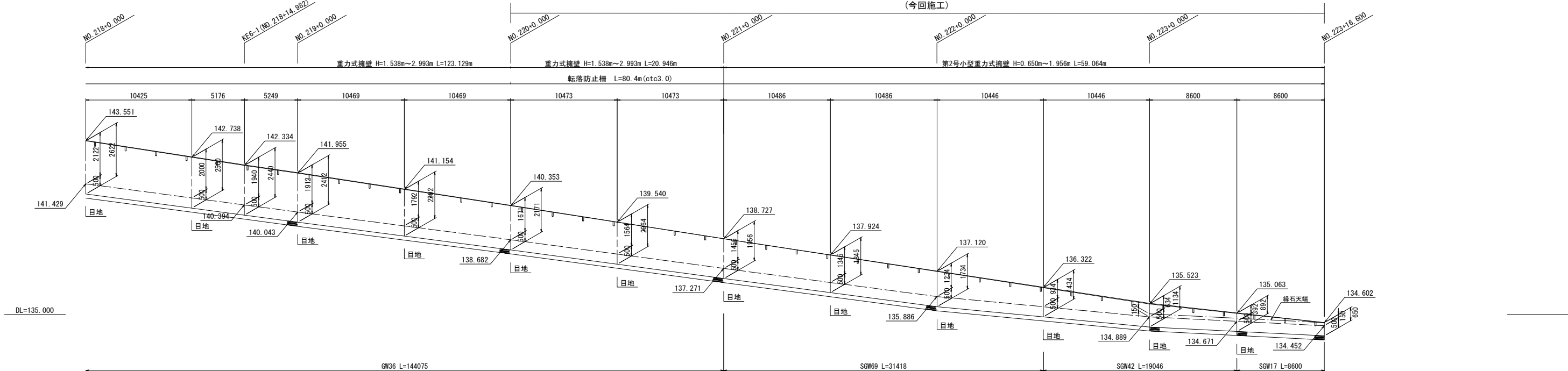
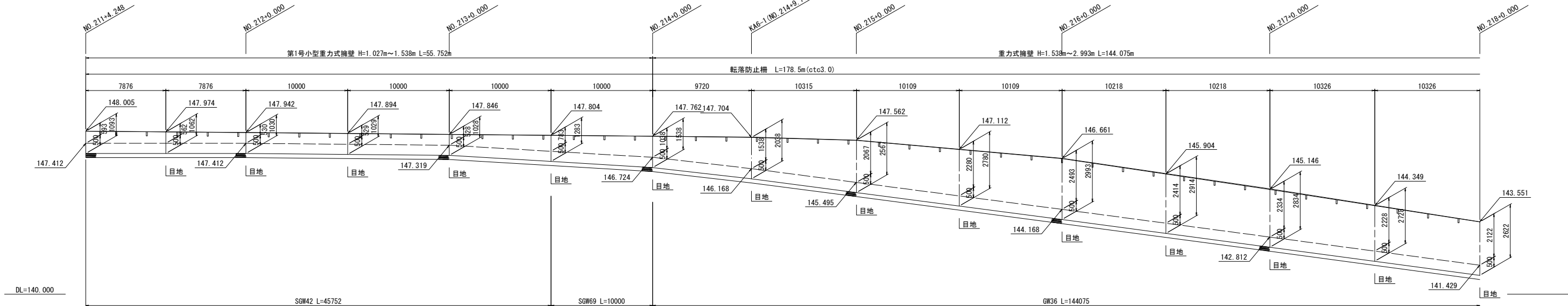


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

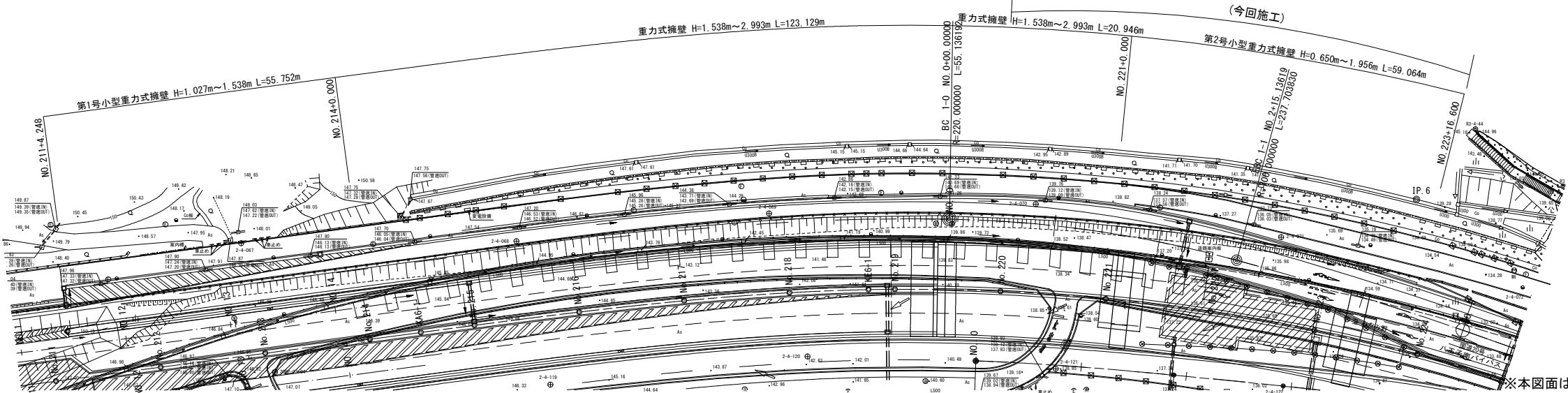
工 事 名	R8国道20号八王子市印太船寺田地区改良舗装等の1工事		
図 面 名	横断面図(20)		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 26
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

重力式擁壁工一般図

正面図 V=1:100
H=1:200



平面図 S=1:500



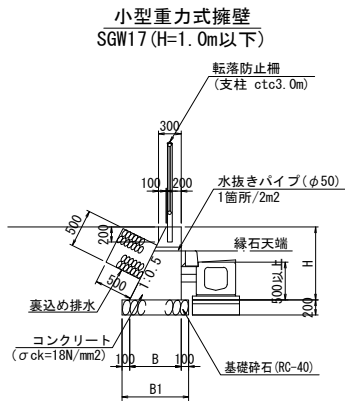
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	重力式擁壁一般図		
縮 尺	図示	図面番号	92 の 27
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

重力式擁壁構造図

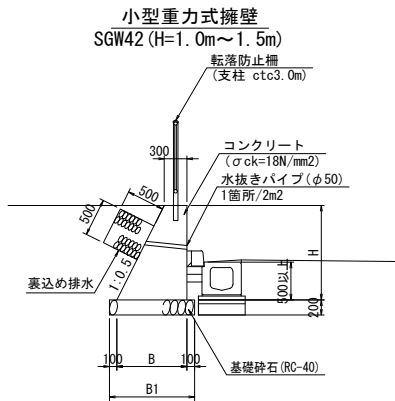
断面図

S=1:50



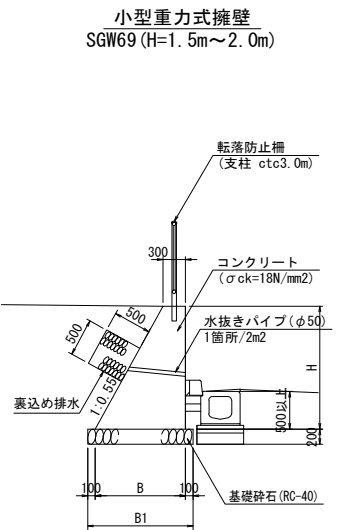
寸法表 SGW17

H	B	B1	備考
892	646	846	
650	525	725	



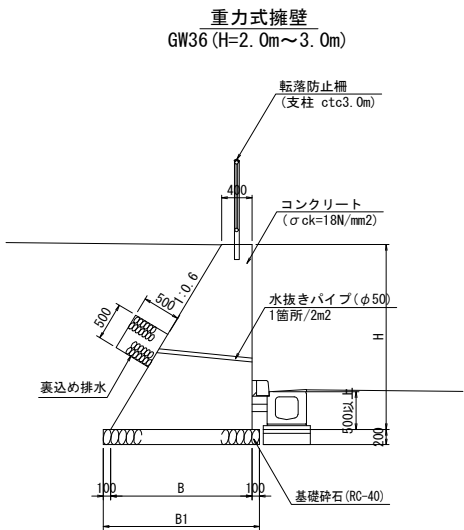
寸法表 SGW42

H	B	B1	備考
1093	847	1047	
1062	831	1031	
1030	815	1015	
1029	815	1015	
1027	814	1014	
1283	942	1142	
1434	1017	1217	
1134	867	1067	
892	746	946	



寸法表 SGW69

H	B	B1	備考
1283	1006	1206	
1538	1146	1346	
1956	1376	1576	
1845	1315	1515	
1734	1254	1454	
1434	1089	1289	

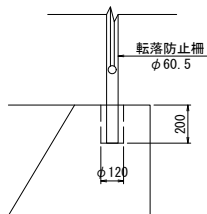


寸法表 GW36

H	B	B1	備考
1538	1323	1523	
2038	1623	1823	
2567	1940	2140	
2780	2068	2268	
2993	2196	2396	
2914	2148	2348	
2834	2100	2300	
2728	2037	2237	
2622	1973	2173	
2500	1900	2100	
2440	1864	2064	
2412	1847	2047	
2292	1775	1975	
2171	1703	1903	
2064	1638	1838	
1956	1574	1774	

箱抜き詳細図

S=1:20



材料表(第2号小型重力式擁壁)

(一式当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
型枠		式	1.00	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	59.481	
基礎碎石	RC-40 t=200	m2	73.46	
裏込め碎石	RC-40	m3	14.766	
水抜きパイプ	VP φ50	式	1.00	
目地材		m2	6.47	

材料表(重力式擁壁)

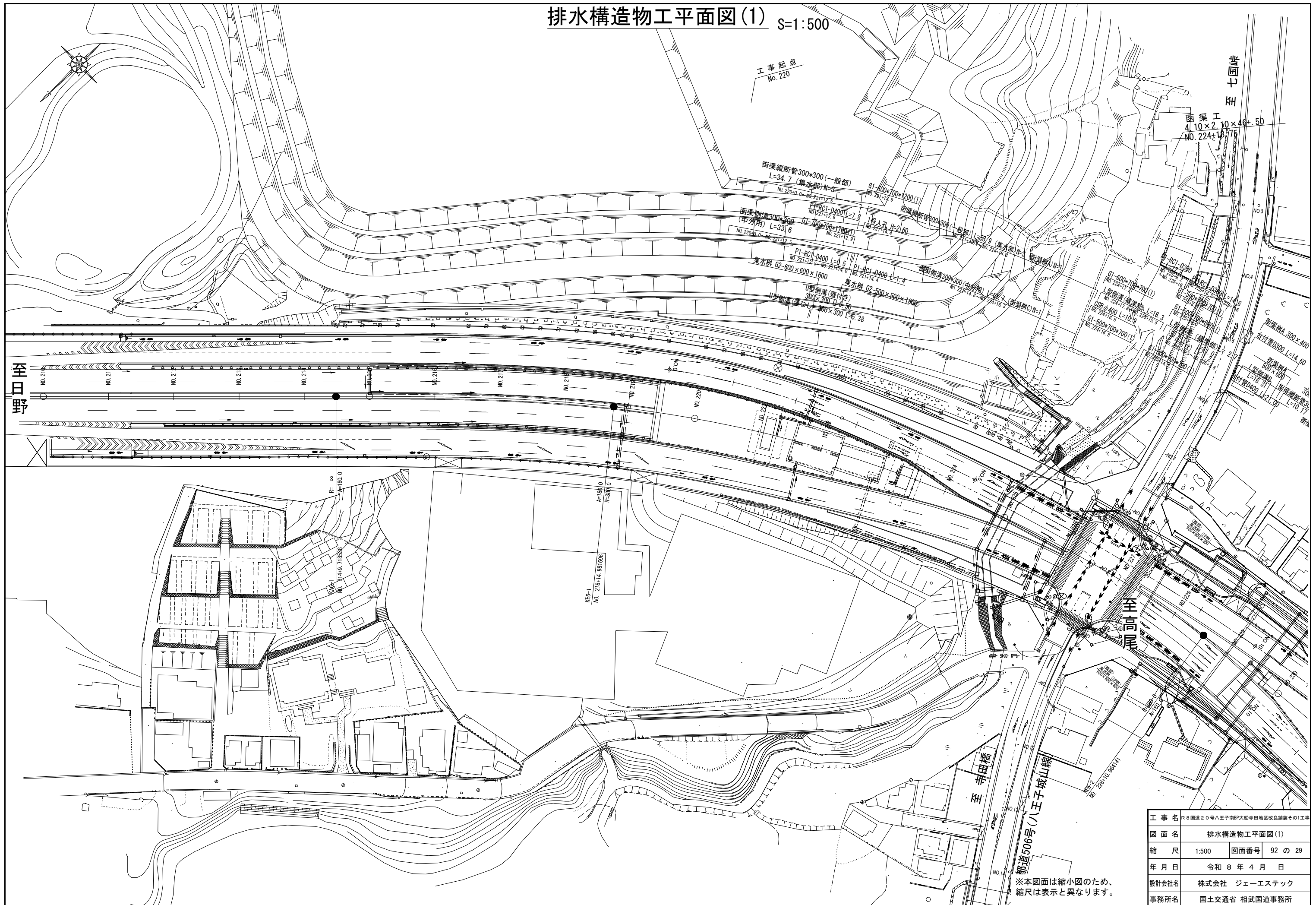
(一式当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
型枠		式	1.00	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	413.109	(今回施工)44.9m3
基礎碎石	RC-40 t=200	m2	300.42	(今回施工)38.5m3
裏込め碎石	RC-40	m3	36.019	(今回施工)5.0m3
水抜きパイプ	VP φ50	式	1.00	
足場工	枠組足場	式	1.00	
	単管傾斜足場	式	1.00	
目地材		m2	41.30	(今回施工)4.38m3

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

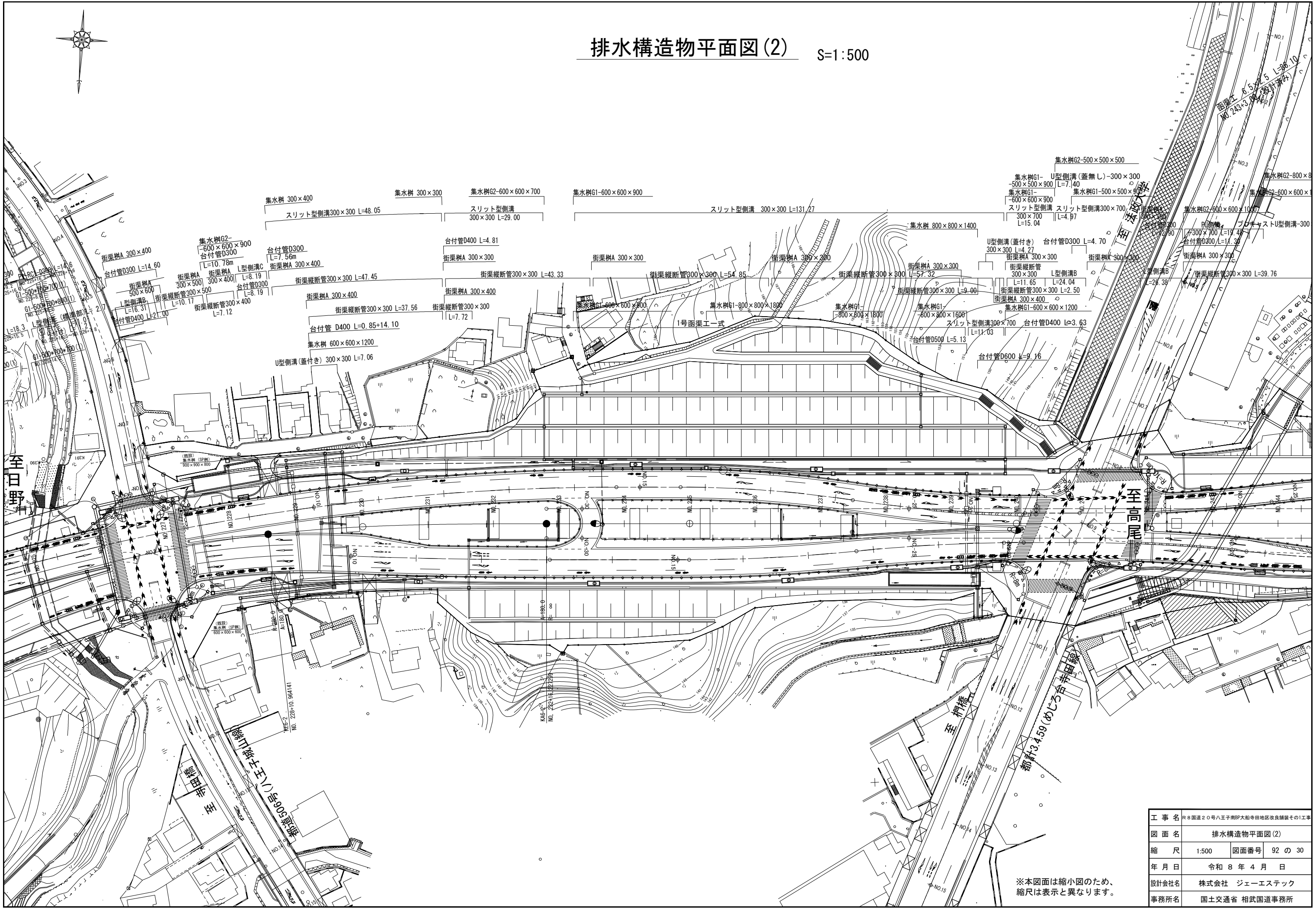
工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	重力式擁壁構造図		
縮尺	S=図示	図面番号	92の28
年月日	令和8年4月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造物工平面図(1) S=1:500

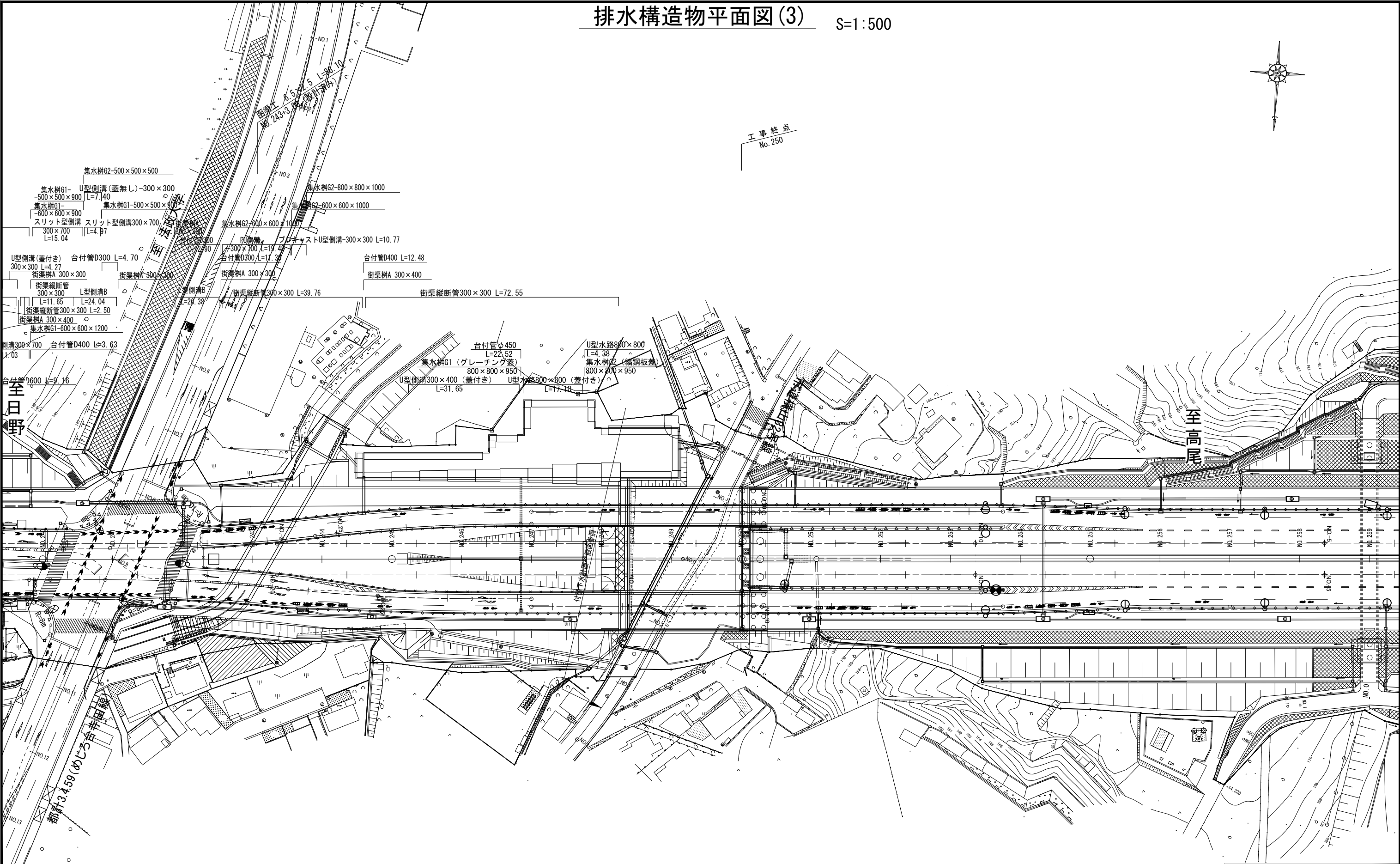


工 事 名	R8国道20号八王子南P大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造物工平面図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 29
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造物平面図(2) S=1:500



排水構造物平面図(3) S=1:500

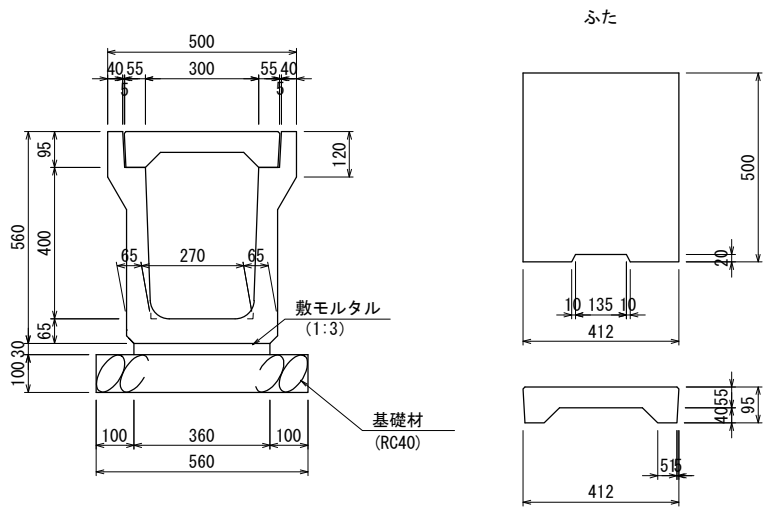


工 事 名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造物平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 31
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

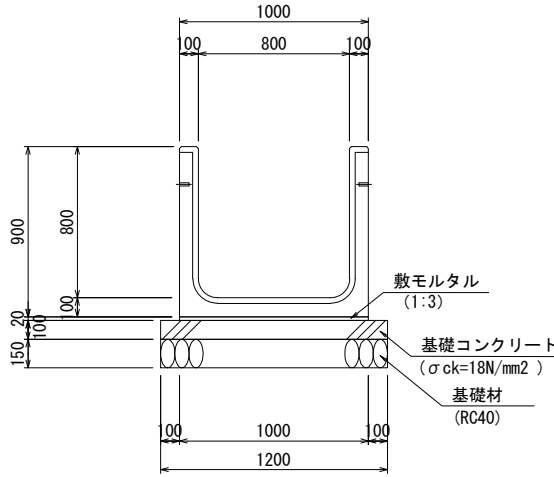
排水構造図(1)

U型側溝300×400（蓋付き） S=1：10



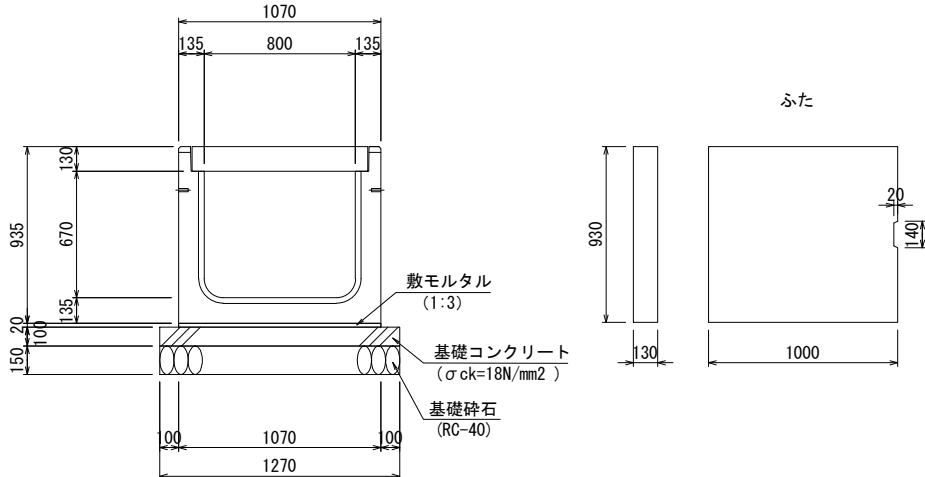
材 料 表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
落ふた側溝		個	5.0	2.0 m/個
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.11	
基 礎 材	RC40 t=10cm	m ²	5.60	
ふた	L=0.5m	枚	20.0	1種

U型水路 800×800 S=1：20



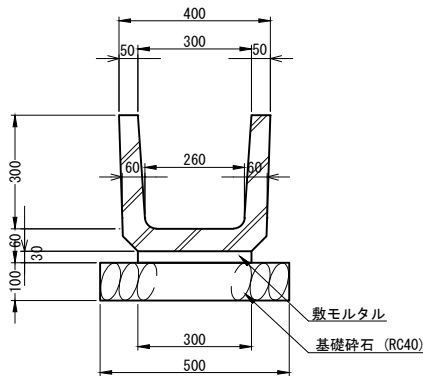
材 料 表 (10m当り)				
名 称	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
U型水路	800×800	個	5.0	2.0 m/個
基礎コンクリート	σck=18N/mm2 t=10cm	m ³	1.20	
基礎型枠		式	1.00	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.200	
基 礎 材	RC40 t=15cm	m ²	12.00	

U型水路 800×800（蓋付き） S=1：20



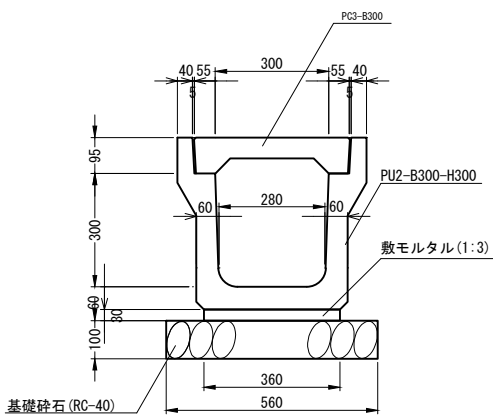
材 料 表 (10m当り)				
名 称	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
U型水路	800×800	個	5.0	2.0 m/個
基礎コンクリート	σck=18N/mm2 t=10cm	m ³	1.20	
基礎型枠		式	1.00	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.200	
基 礎 材	RC40 t=15cm	m ²	12.00	
コンクリート蓋	L=1.0m	枚	10.00	

U型側溝（蓋なし） 300×300



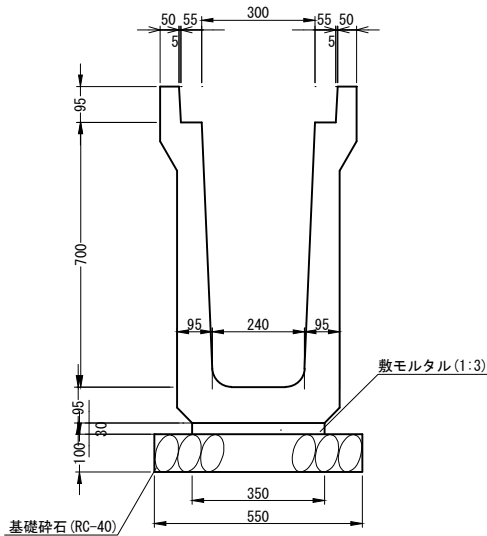
材 料 表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
プレキャストU型側溝	PU1-300×300	個	16.5	0.6 m/個
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.09	
基礎砕石	RC40 t=10cm	m ²	5.0	

U型側溝（蓋付き） 300×300



材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m ²	5.6	
敷モルタル	(1 : 3)	m ³	0.11	
側 溝	PU2-B300-H300	個	5	320kg/個
側 溝 蓋	PC3-B300	枚	20	33kg/枚

プレキャストU型側溝ー300×700



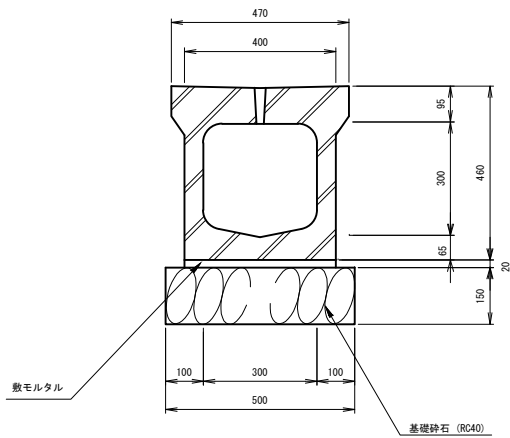
材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC-40 t=100	m ²	5.5	
敷モルタル	(1 : 3)	m ³	0.11	
側 溝	PU1-B300-H700	個	5	799kg/個

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図 (1)		
縮 尺	図示	図面番号	92 の 32
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

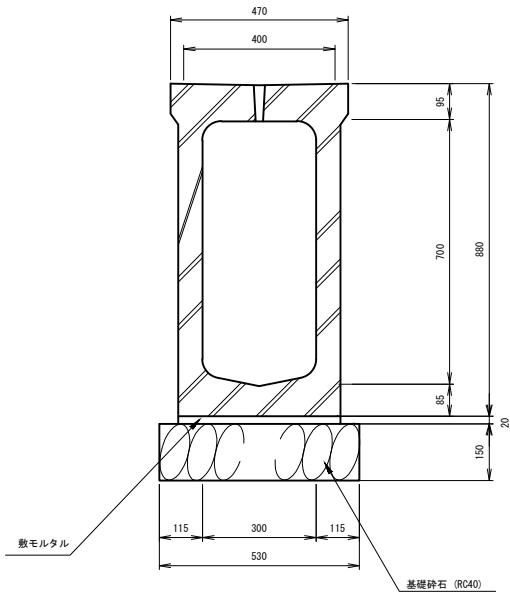
排水構造図(2) S=1:10

スリット型側溝 300×300



材 料 表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
スリット型側溝	300×300	個	5.0	2.0 m/個
敷モルタル		m ²	0.08	
基礎砕石	RC40 t=15cm	m ²	5.0	

スリット型側溝 300×700



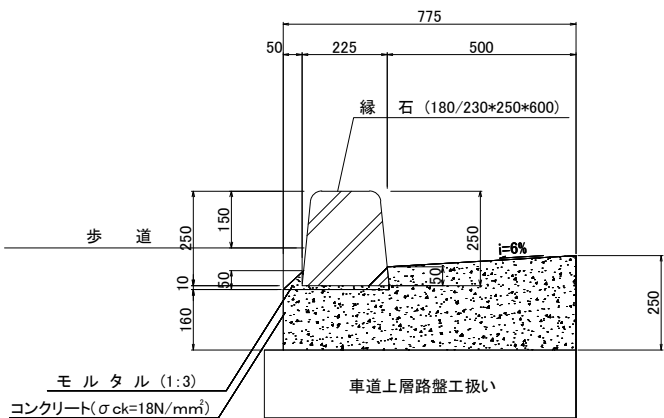
材 料 表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
スリット型側溝	300×700	個	5.0	2.0 m/個
敷モルタル		m ²	0.09	
基礎砕石	RC40 t=15cm	m ²	5.3	

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(2)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 33
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

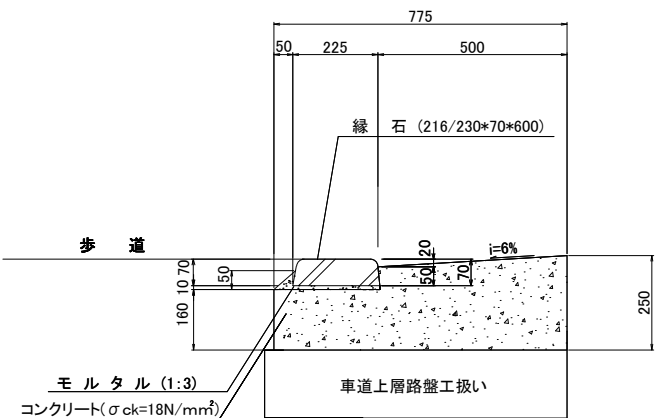
排水工構造図(3) S=1:10

L型側溝（一般部）



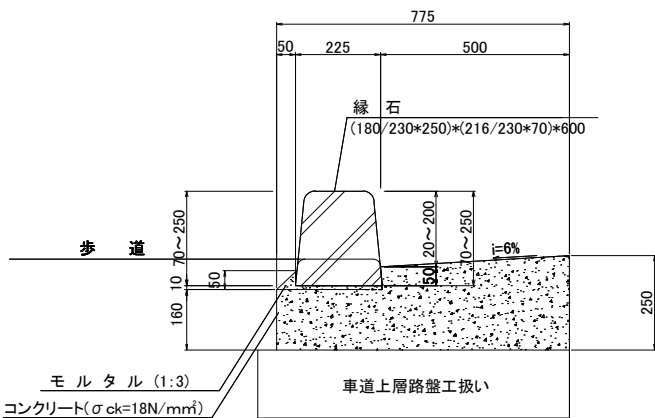
L型側溝（一般部）材料表 単位10m				
名 称	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.61	
型 枠		式	1.00	
モルタル	1:3	m ³	0.035	
ブロック	180/230*250*600	個	16.5	

L型側溝（歩行者切下部）



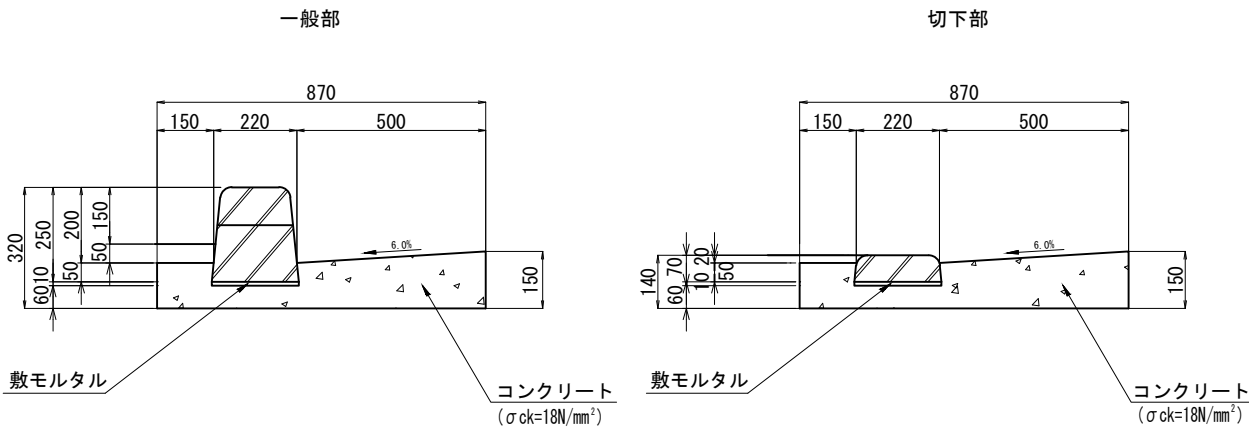
L型側溝（歩行者切下部）材料表 単位10m				
名 称	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.61	
型 枠		式	1.00	
モルタル	1:3	m ³	0.035	
ブロック	216/230*70*600	個	16.5	

L型側溝（歩行者切下摺付部）



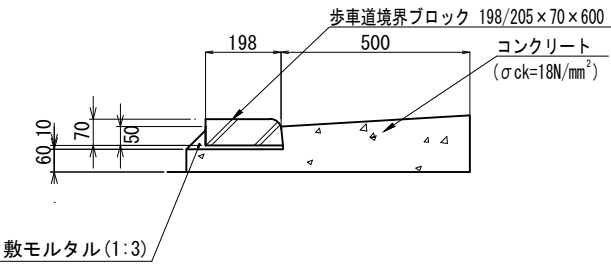
L型側溝（歩行者切下摺付部）材料表 単位10m				
名 称	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.61	
型 枠		式	1.00	
モルタル	1:3	m ³	0.035	
ブロック	180/230*250*600 216/230*70	個	16.5	

L型側溝B



材 料 表					(10m当り)
種 別	規格・寸法	単 位	数 量		摘 要
			一般部	切下部	
歩車道境界ブロック	B 種	個	8.5	16.5	0.6 m/個
歩車道境界ブロック	B種 水抜きタイプ	個	8.0	—	0.6 m/個
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m^3	0.98	0.98	
型 枠		式	1.0	1.0	
敷モルタル	1 : 3	m^3	0.02	0.02	

L型側溝C



材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	FK-2a20	個	16.5	0.6m/個
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.8	
型 枠		式	1.0	
敷モルタル	(1:3)	m ³	0.03	

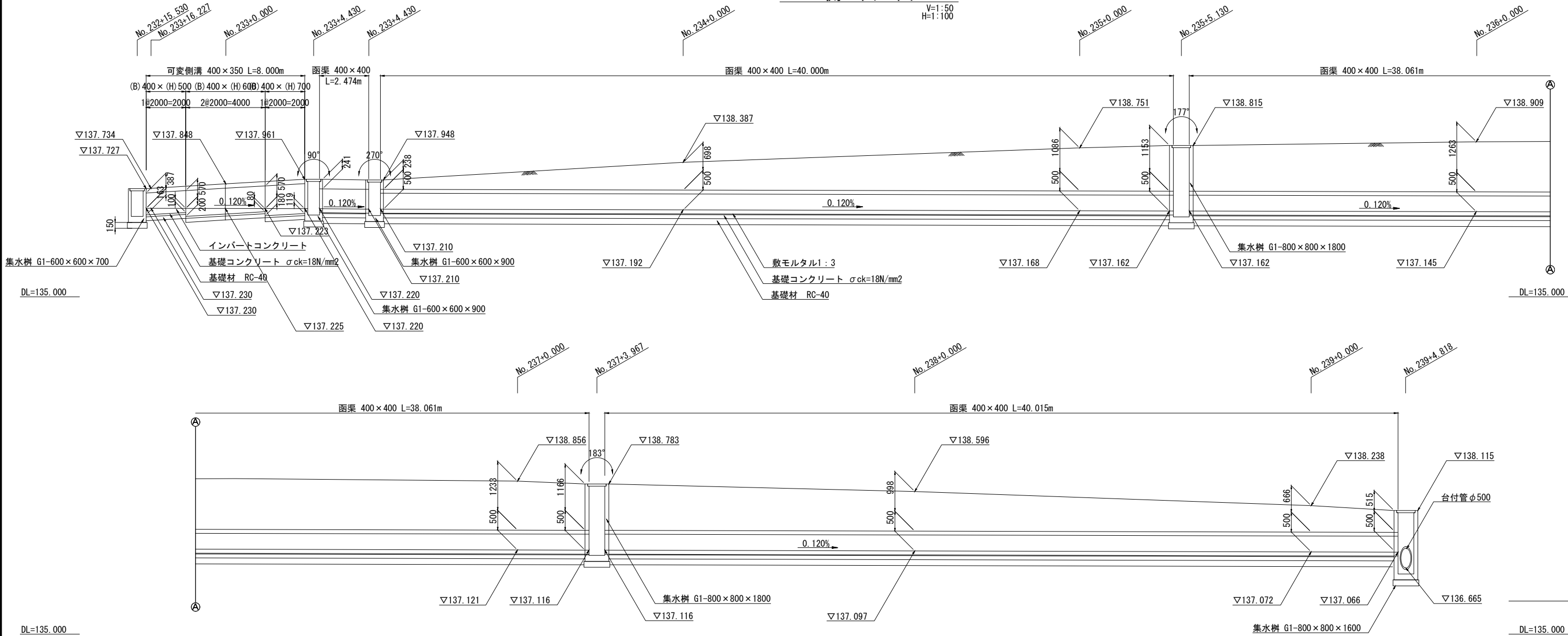
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水工構造図(3)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 34
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(4)

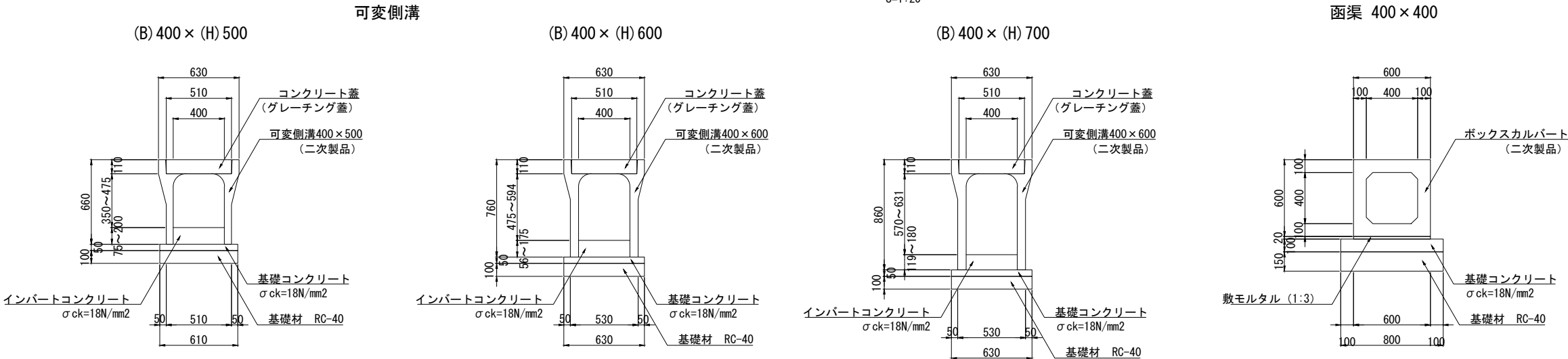
1号函渠工詳細図

側面図



断面図

S=1:20



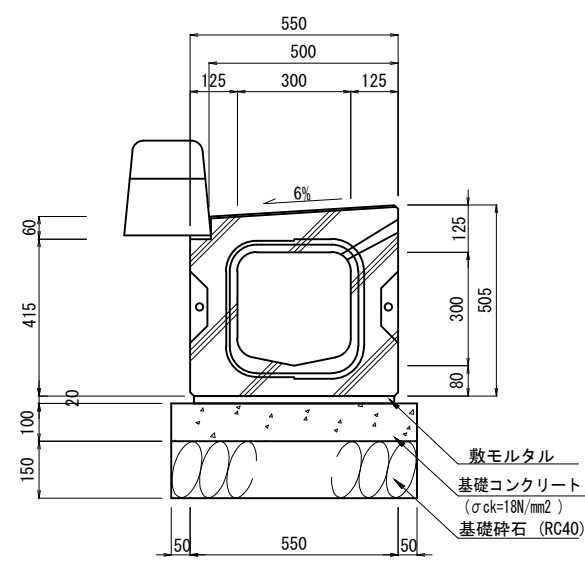
※ 側溝蓋は、コンクリート蓋とグレーチング蓋を交互に配置する
※ グレーチング蓋の規格: T=2, 細目

※ 本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	92 の 35
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(5) S=1:10

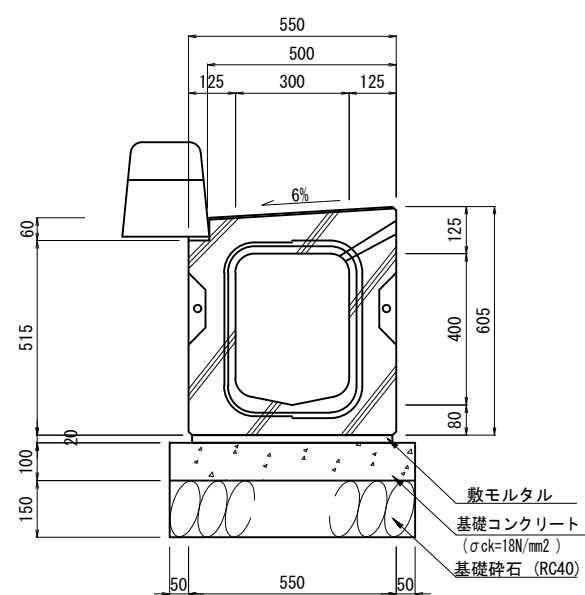
街渠縦断管300×300



材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m3	0.11	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.65	
型 枠		式	1.0	
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m2	6.5	
街渠縦断管	L=2000	個	5.0	

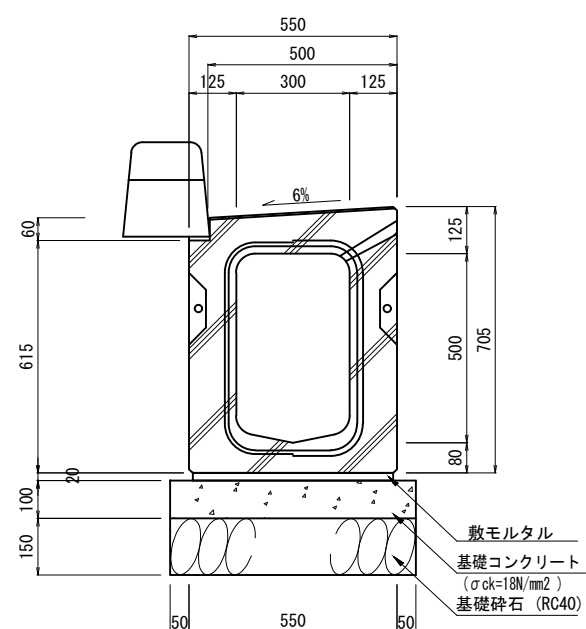
街渠縦断管300×400



材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m3	0.11	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.65	
型 枠		式	1.0	
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m2	6.5	
街渠縦断管	L=2000	個	5.0	

街渠縦断管300×500

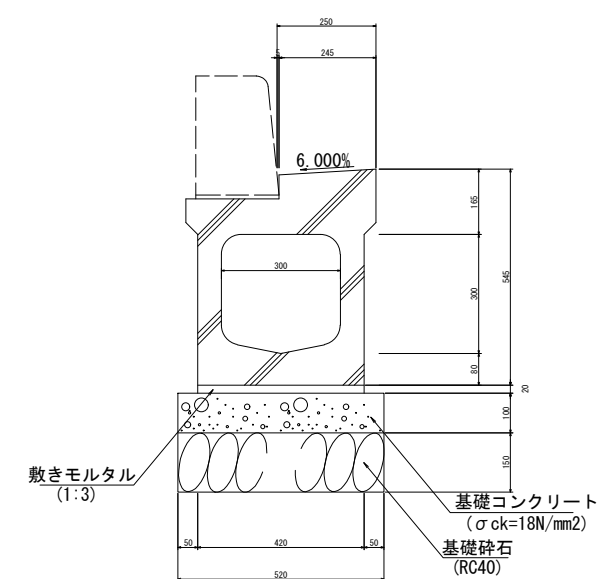


材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m3	0.11	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.65	
型 枠		式	1.0	
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m2	6.5	
街渠縦断管	L=2000	個	5.0	

函渠側溝300×300

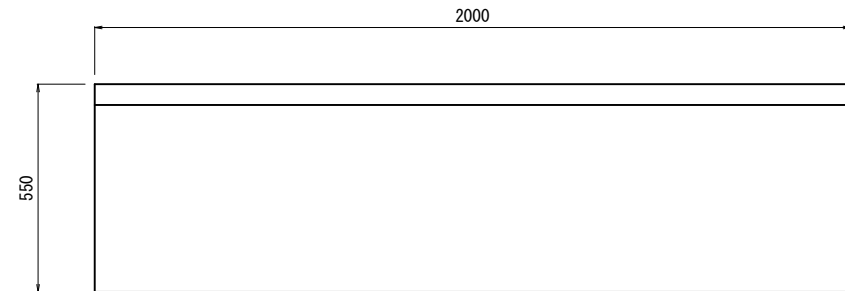
(中分用)



材料表 (10m当り)

名 称	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m3	0.084	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.520	
型 枠		式	1.0	
基礎碎石	RC40 t=15cm	m2	5.20	
函渠側溝	300×300 L=2000	本	5.0	

一般部

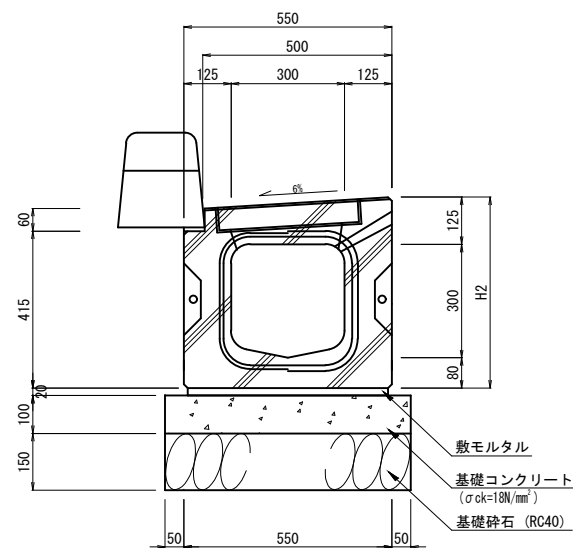


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水工構造図(5)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 36
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

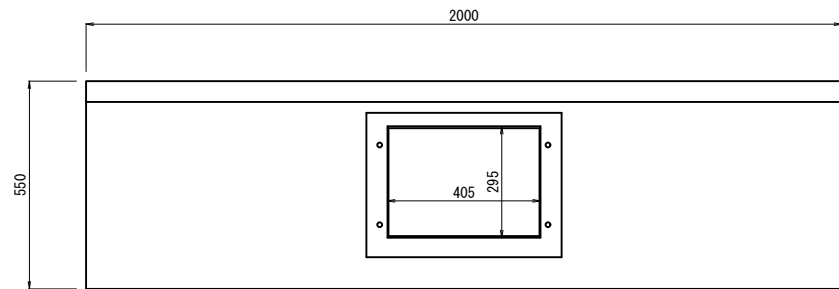
排水構造図(6) S=1:10

街渠縦断管（集水部）300×300



材料表 (10m当り)				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m ³	0.11	
基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.65	
型 枠		式	1.0	
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m ²	6.5	
街渠縦断管	L=2000	個	5.0	
グレーチング	360x495x60	個	5.0	並目 T-25

集水部



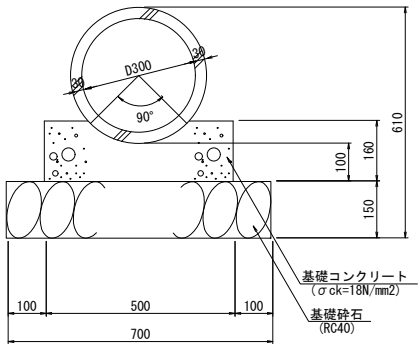
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(6)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 37
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水工構造図(7) S=1:10

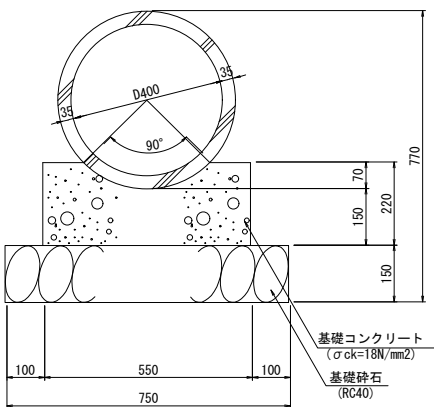
管 渠

P1-RC1-D300



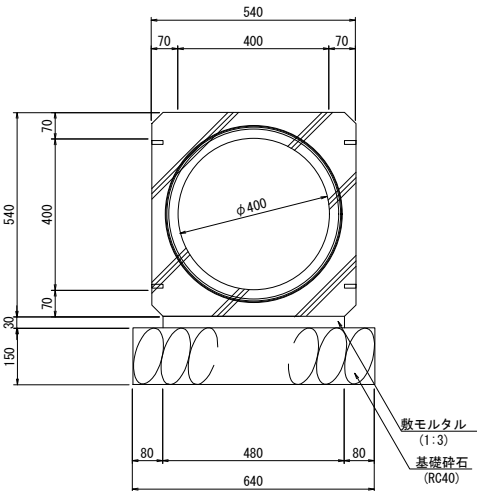
材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC40 t=150	m2	7.00	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.710	
型 枠		式	1.00	
管 渠	φ300 L=2000	本	5.0	2.00m/本

P1-RC1-D400



材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC40 t=150	m2	7.50	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.050	
型 枠		式	1.00	
管 渠	D400 L=2430	本	4.1	2.43m/本

CSB φ 400

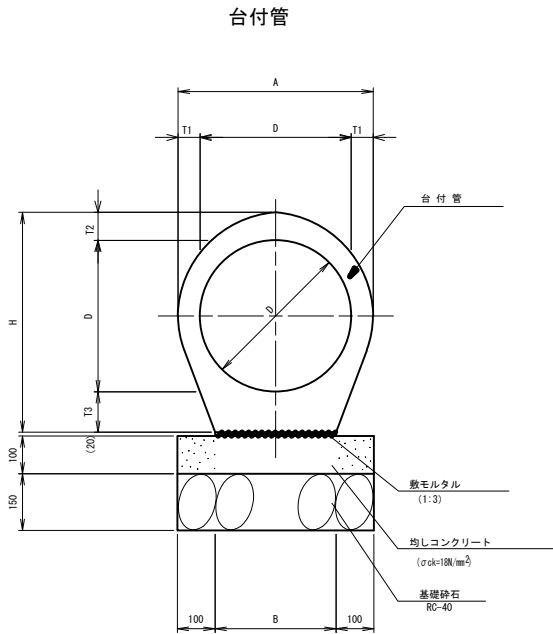


材 料 表 (10m当り)				
種 別	形状・規格	単位	数 量	摘 要
基礎砕石	RC40 t=150	m2	6.40	
敷きモルタル	1:3	m3	0.144	
管 渠	φ400 L=2400	本	4.2	2.40m/本

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水工構造図(7)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 38
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(8) S=1:10



寸法表及び材料表 台付管

名 称	寸 法								材 料 表					摘 要
	D	T1	T2	T3	B	A	H	L	基礎砕石 (m ³)	敷モルタル (m ³)	均しコンクリート (m ³)	均し型枠 (式)	台付管 (本)	
									RC-40 t=150	(1:3)	σok=18N/mm ²			
D300	300	50	69	94.5	240	400	463.5	2000	4.4	0.05	0.44	1.0	5	390 kg/本
D400	400	58	74	107	320	516	581	2500	5.2	0.06	0.52	1.0	4	720 kg/本
D450	450	62	96	113.5	360	574	659.5	2500	5.6	0.07	0.56	1.0	4	892 kg/本
D500	500	65	101	122	400	630	723	2500	6.0	0.08	0.60	1.0	4	1048 kg/本
D600	600	71	110	133	450	742	843	2500	6.5	0.09	0.65	1.0	4	1339 kg/本

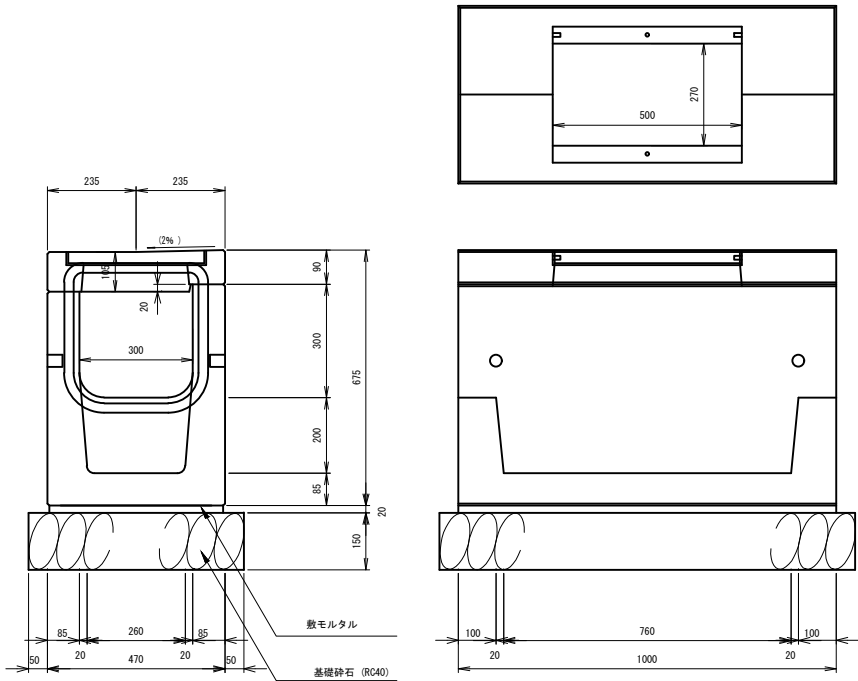
(10m当り)

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(8)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 39
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

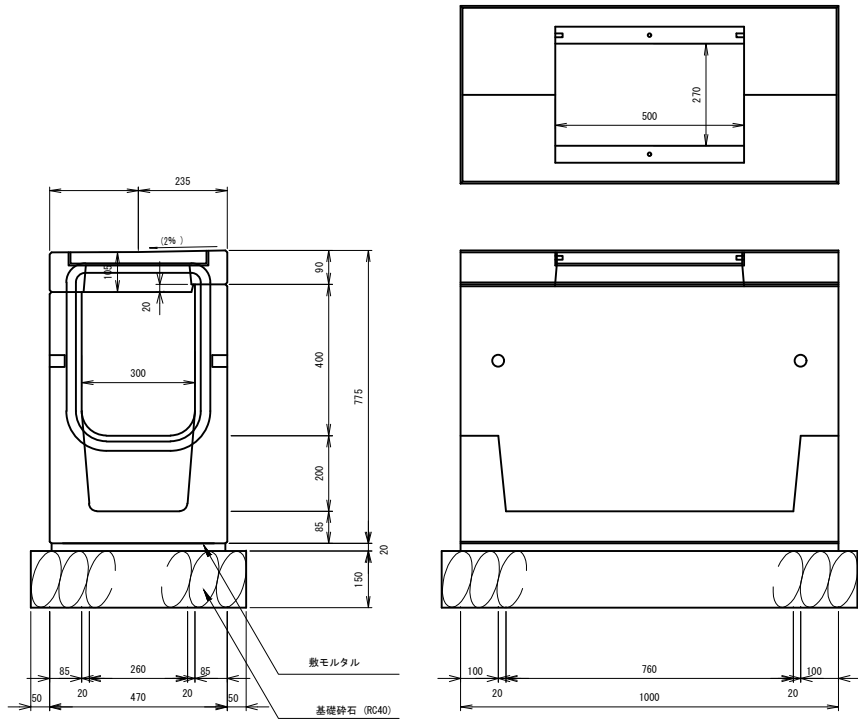
排水構造図(9) S=1:10

集水樹 300×300



材 料 表 (10箇所)				
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m ³	0.09	
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	6.3	
管理樹	L=1000	個	10	
グレーチング	360x495x60	個	10	集水部 細目 t=25

集水樹 300×400

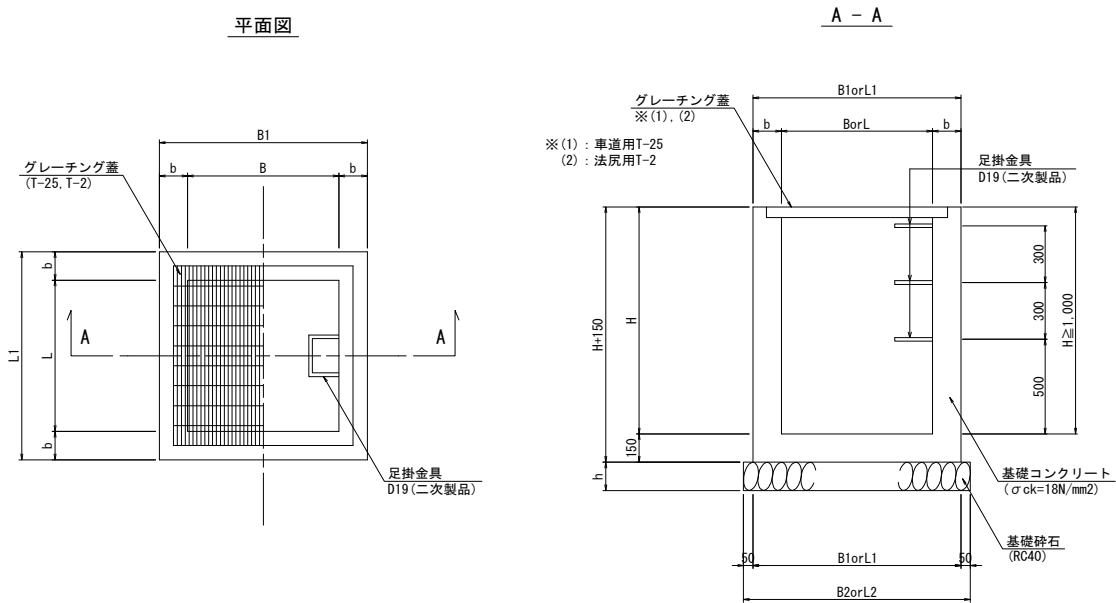


材 料 表 (10箇所)				
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
敷モルタル	1:3	m ³	0.09	
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	6.3	
管理樹	L=1000	個	10	
グレーチング	360x495x60	個	10	集水部 細目 t=25

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(9)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 40
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(10) S=1:20



寸法表

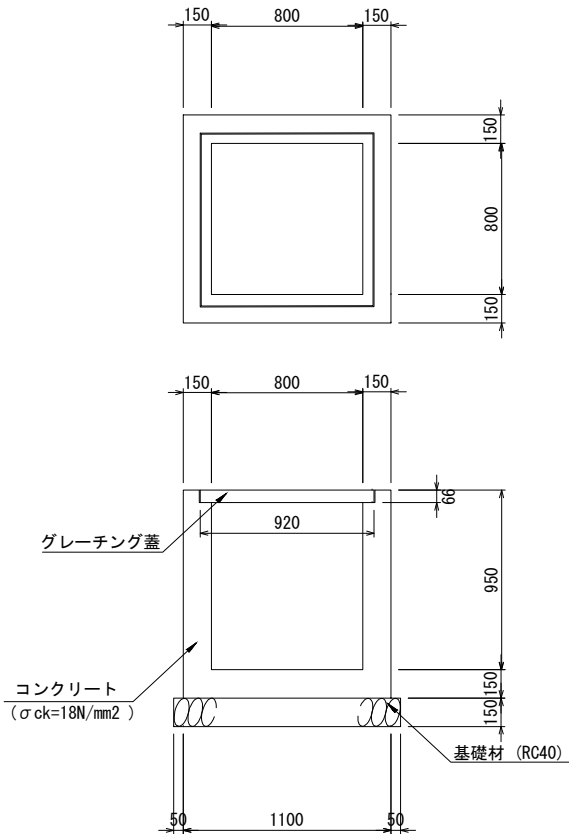
B - L - H	B	L	H	B1	L1	B2	L2	b	h	コンクリート (m3)	型枠 (式)	基礎砕石 (m2)	足掛金具	摘要
G1-B500-L700-H700	500	700	700	800	1000	900	1100	150	150	0.44	1.0	0.99	-	細目 T-2
G1-B500-L700-H800	500	700	800	800	1000	900	1100	150	150	0.48	1.0	0.99	-	細目 T-2
G1-B600-L700-H700	600	700	700	900	1000	1000	1100	150	150	0.47	1.0	1.1	-	細目 T-2
G1-B600-L700-H1200	600	700	1200	1000	1100	1100	1200	200	200	0.98	1.0	1.32	-	細目 T-2
G1-B700-L700-H1700	700	700	1600	1100	1100	1200	1200	200	200	1.41	1.0	1.44	4	細目 T-2
G1-B800-L800-H1600	800	800	1600	1200	1200	1300	1300	200	200	1.5	1.0	1.69	4	細目 T-2
G1-B800-L800-H1800	800	800	1800	1200	1200	1300	1300	200	200	1.66	1.0	1.69	5	細目 T-2

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

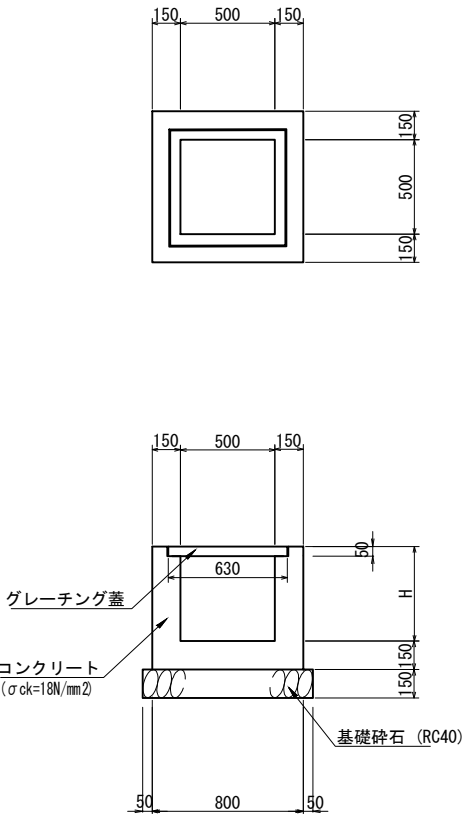
工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	排水構造図(10)		
縮尺	1:20	図面番号	92 の 41
年月日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(11) S=1:20

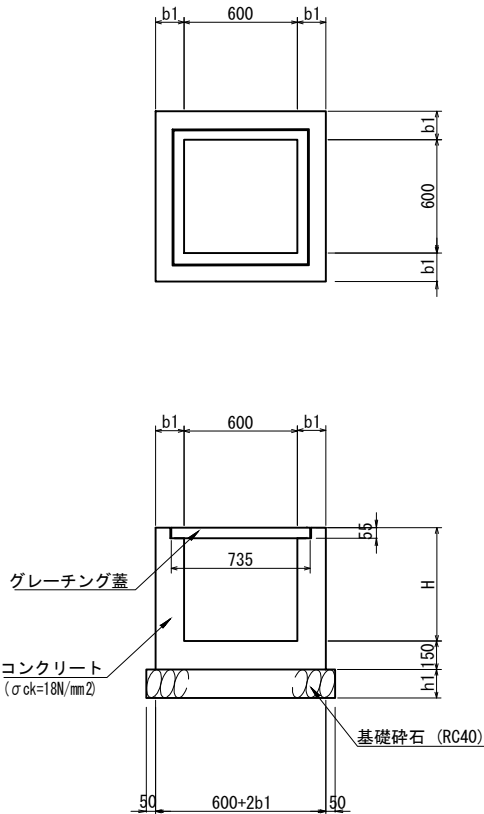
集水柵 G1-800×800×950 S=1:20



集水柵(G蓋) G1-500×500×H



集水柵(G蓋) G1-600×600×H



寸法表及び材料表 G1 (800×800×950) 10ヶ所当り

名 称	寸 法			材 料 表					摘 要
	H	b1	h1	コンクリート (m3) σck=18 N/mm2	型枠 (式)	基礎材 (m2) RC-40 t=15cm	足掛け金物 (本)	グレーチング蓋 (枚) (細目 T-2)	
800×800×950	950	150	150	7.09	1.0	14.4	—	10	

寸法表及び材料表 G1 (500×500×H) 10ヶ所当り

名 称	寸 法		材 料 表					摘 要
	H		コンクリート (m3) σck=18N/mm2	型枠 (式)	基礎砕石 (m2) RC-40 t=15cm	足掛金具 (本)	グレーチング蓋 (枚) 並目 T-25	
500×500×900	900		4.40	1.0	8.1	—	10	

寸法表及び材料表 G1 (600×600×H) 10ヶ所当り

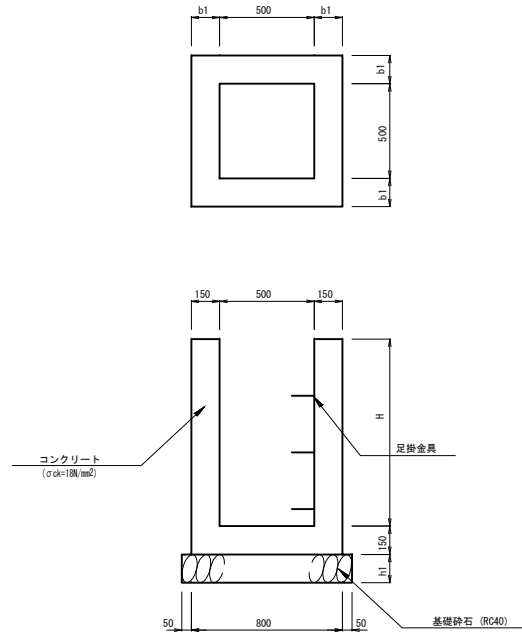
名 称	寸 法			材 料 表					摘 要
	H	b1	h1	コンクリート (m3) σck=18N/mm2	型枠 (式)	基礎砕石 (m2) RC-40 t=15cm	足掛金具 (本)	グレーチング蓋 (枚) 並目 T-25	
600×600×900	900	150	150	5.17	1.0	10.0	—	10	
600×600×1200	1200	200	200	9.20	1.0	10.0	—	10	

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(11)		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 42
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 20

集水枱 (SP蓋) G2-500 × 500 × H

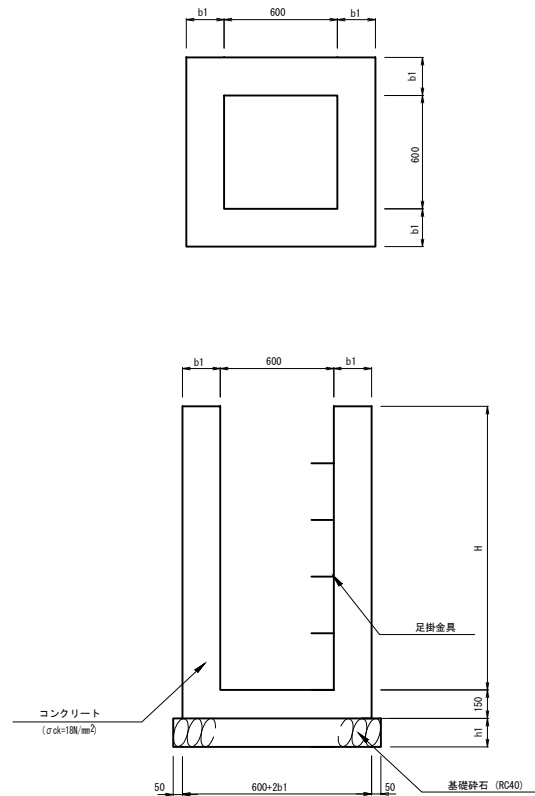


寸法表及び材料表 G2 (500×500×H)

名 称	寸 法			材 料 表					摘 要
	H	b1	h1	コンクリート (m³)	型枠 (式)	基礎碎石 (m³)	足掛金具 (本)		
				$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$		RC-40 t=15cm			
500×500×500	500	150	150	2.91	1.0	10.1	—		
500×500×1600	1600	200	200	10.18	1.0	10.1	40		

10ヶ所当り

集水枰(SP蓋) G2-600×600×H

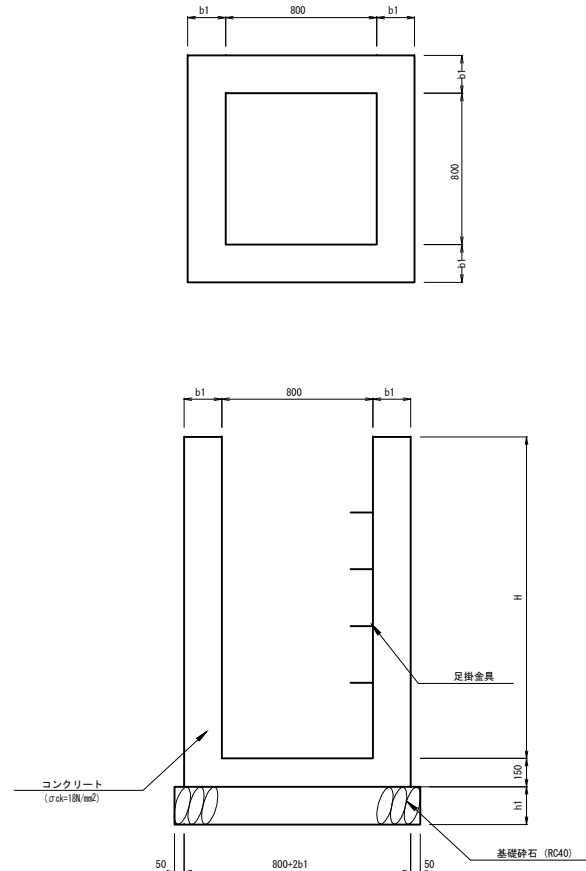


寸法表及び材料表 G2 (600×600×H)

名 称	寸 法			材 料 表				摘 要
	H	b1	h1	コンクリート (n ²)	型枠 (式)	基礎砕石 (m ³)	足場係員 (本)	
				$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		RC-40 t=15cm		
600×600×700	700	150	150	4.37	1.0	10.0	—	
600×600×900	600	150	150	5.26	1.0	10.0	—	
600×600×1000	1000	150	150	5.72	1.0	10.0	—	
600×600×1200	1200	200	200	9.18	1.0	12.1	30	
600×600×1600	1600	200	200	11.74	1.0	12.1	40	

10ヶ所当り

集水枋(SP蓋) G2-800×800×H

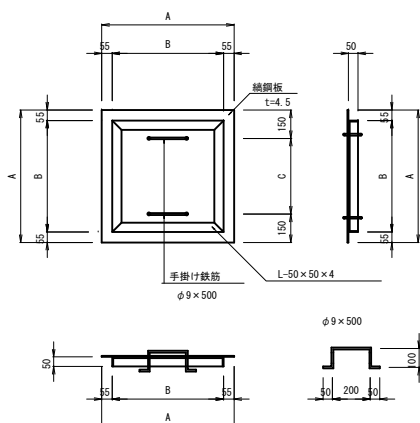


寸法表及び材料表 G2 (800×800×H)

名 称	寸 法			材 料 表					備 考
	H	b1	h1	コンクリート (m ³)	型枠 (式)	基礎砕石 (m ³)	足場金具 (本)		
				$\sigma_{ck}=18N/mm^2$		RC-40 t=15cm			
800×800×950	950	150	150	7.23	1.0	14.4	—		
800×800×1000	1000	150	150	7.52	1.0	14.4	—		
800×800×1400	1400	200	200	13.38	1.0	16.9	30		

10ヶ所当り

縞鋼板蓋(1枚用)

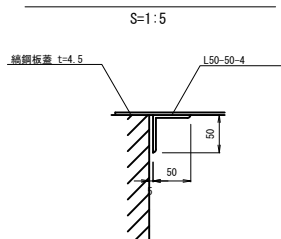


寸法表

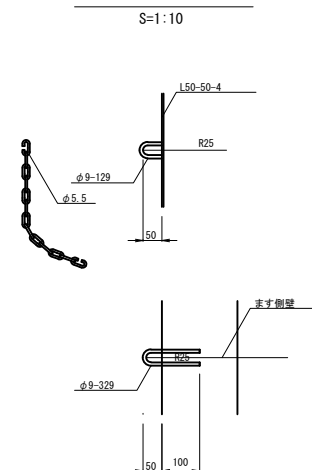
型 式	集水樹の内幅	寸 法 表 mm			摘 要
		A	B	C	
50×50	500×500	600	490	300	溶融亜鉛メッキ
60×60	600×600	700	590	400	溶融亜鉛メッキ
80×80	800×800	900	790	600	溶融亜鉛メッキ

接 函

コーナー補強アングル



くさりの詳細図

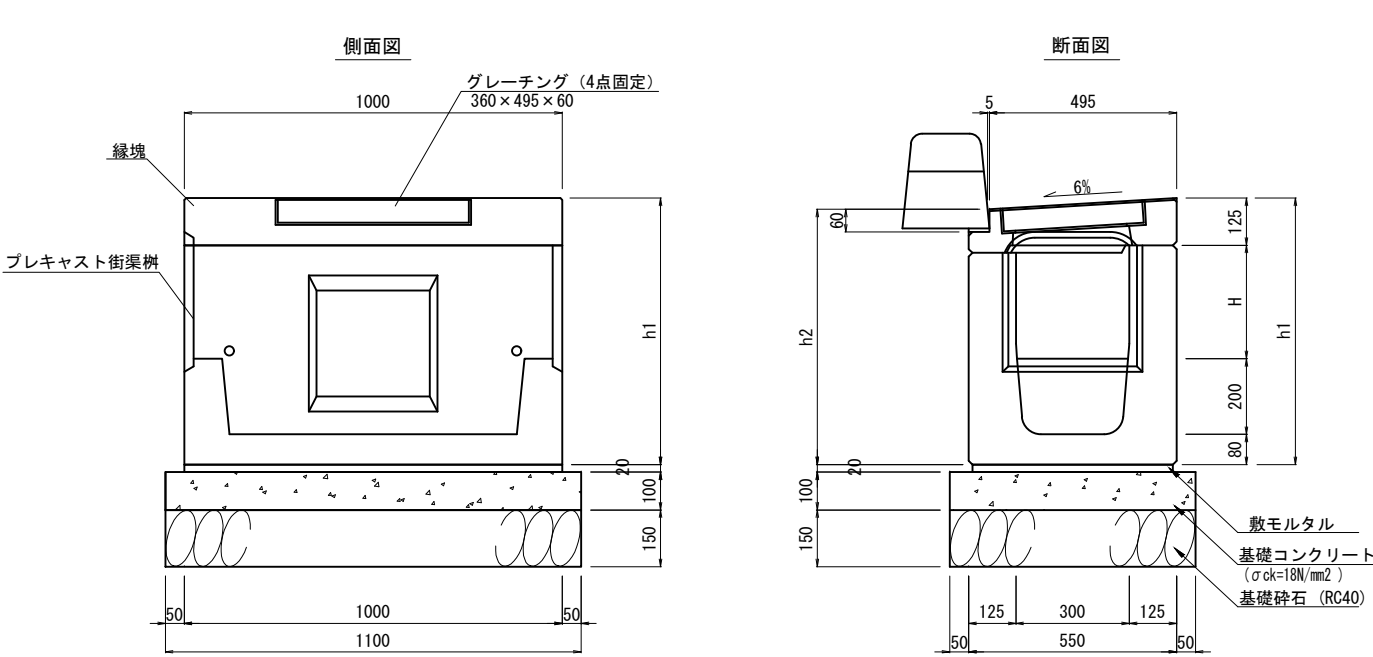


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

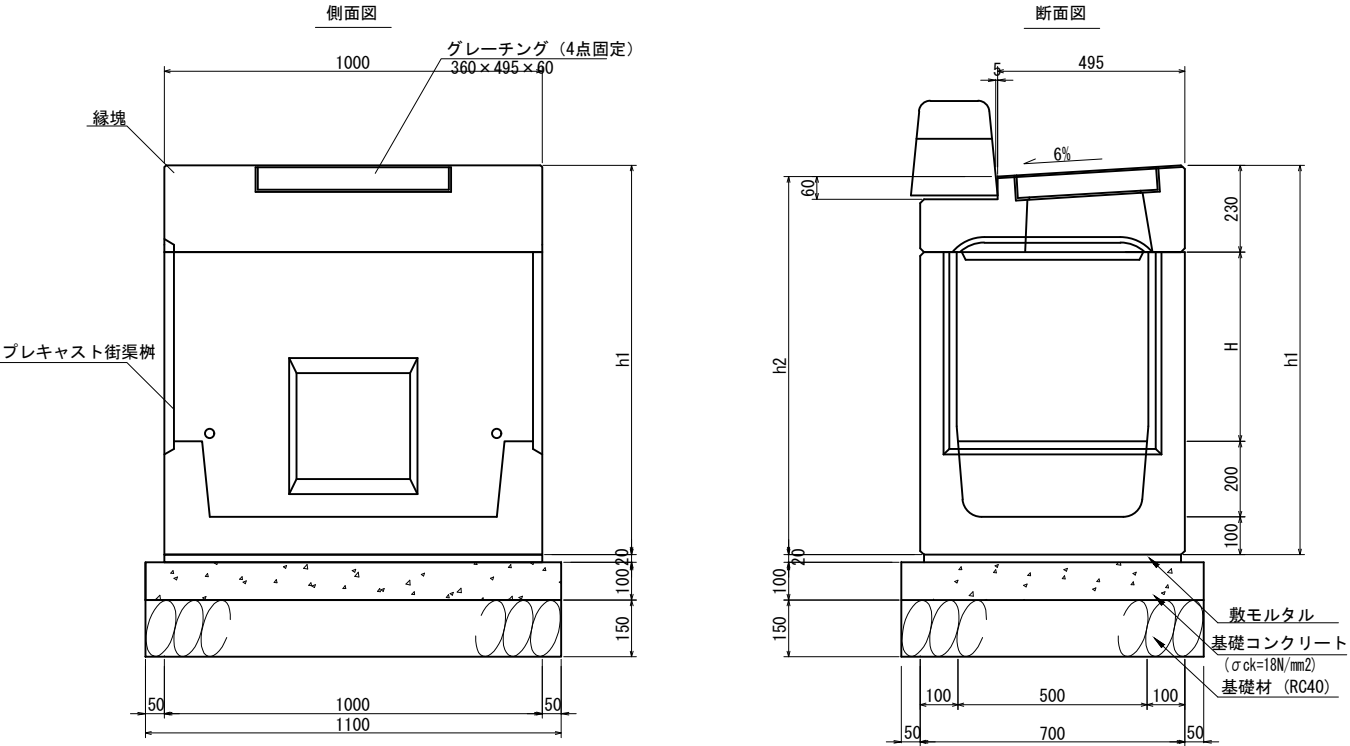
工 事 名	R8国道20号八王子南P大船中田地区改良舗装等の1工事		
図 面 名	排水構造図(12)		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 43
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水構造図(13) S=1:10

街渠柵A(300×H用)



街渠柵A(500×H用)



寸法表及び材料表 街渠柵A(300×H用) 10ヶ所当り

名 称	寸 法			材 料 表							摘 要
	H	h1	h2	敷モルタル (m3) 1:3	基礎コンクリート (m3) σ ck=18N/mm2	型枠 (式)	基礎砕石 (m2) RC-40 t=15cm	街渠柵 (個) L=1000	グレーチング (個) 360x495x60		
300×300	300	705	675	0.11	0.72	1.0	7.2	10.0	10.0	並目 T-25	
300×400	400	805	775	0.11	0.72	1.0	7.2	10.0	10.0	並目 T-25	
300×500	500	905	875	0.11	0.72	1.0	7.2	10.0	10.0	並目 T-25	

寸法表及び材料表 街渠柵A(500×H用) 10ヶ所当り

名 称	寸 法			材 料 表						
	H	h1	h2	敷モルタル(m3)	基礎コンクリート(m3)	型枠(式)	基礎材(m2)	街渠柵(個)	グレーチング(個)	摘 要
				1:3	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		RC-40 t=15cm	L=1000	360x495x60	
500×600	600	1130	1100	0.14	0.88	1.0	8.8	10.0	10.0	並目 T-25

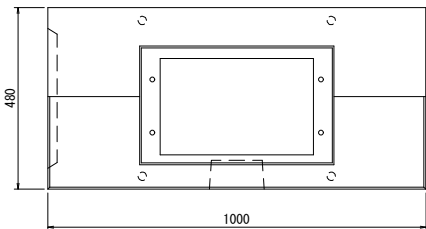
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(13)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 44
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ドーコン		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

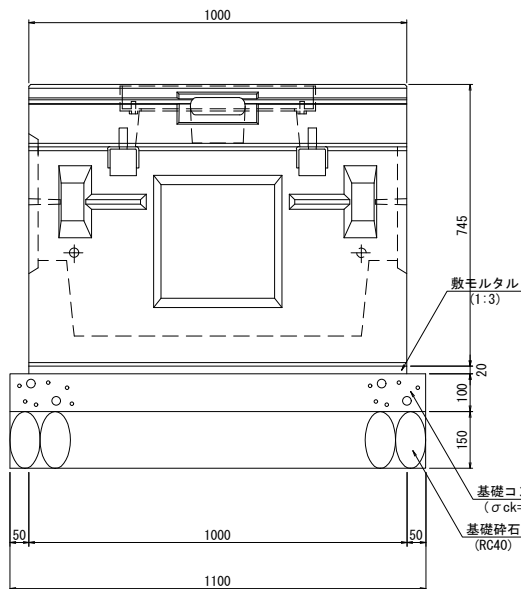
排水構造図(14) S=1:10

街渠樹C S=1:10
(函渠側溝300×300用)

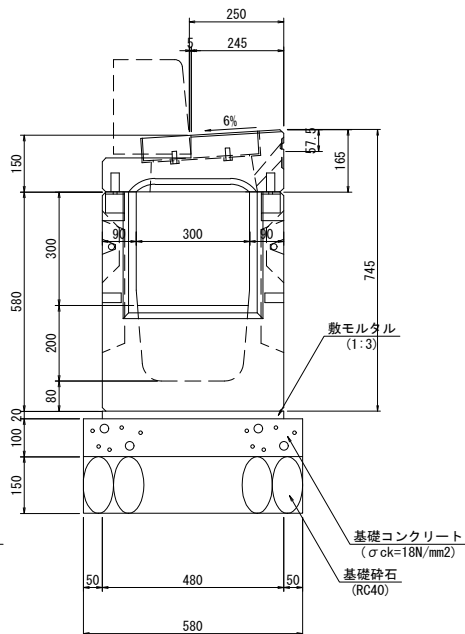
平面図



側面図



断面図



※50mに1箇所設置

材料表

(1基当り)

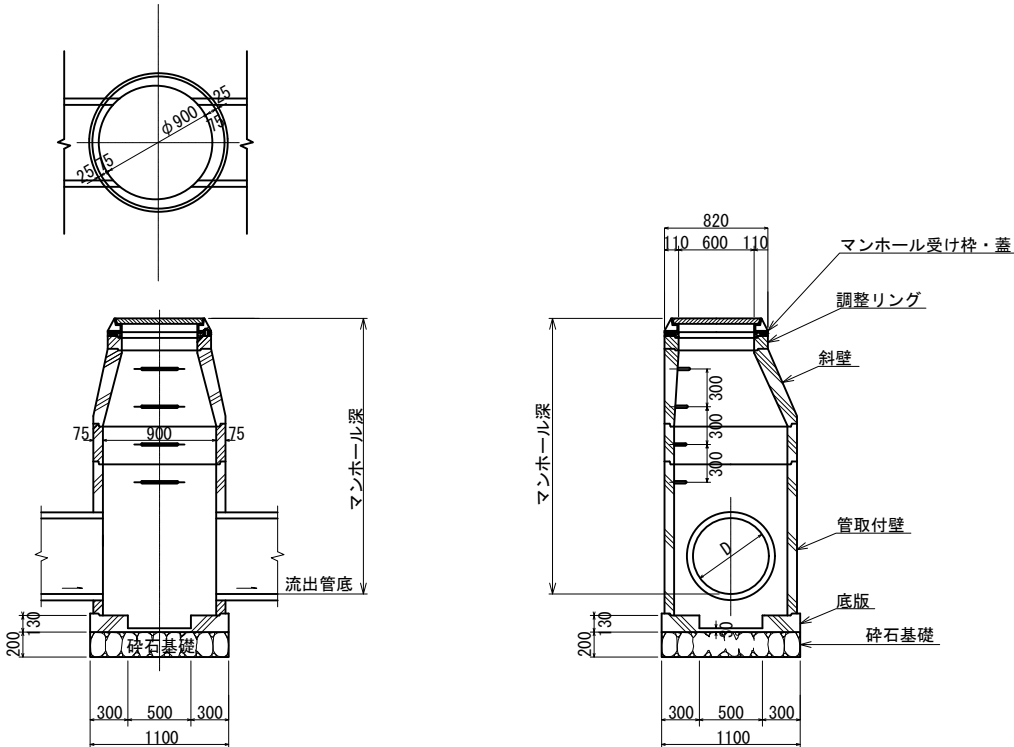
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
本 体	300×300用	本	1.0	
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.064	
基礎型枠		式	1.00	
基礎碎石	RC40 t=15cm	m ²	0.64	
敷きモルタル	1:3	m ³	0.010	
側溝蓋		枚	1.0	
グレーングレージ		枚	1.0	並目 T-25

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(14)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 45
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 30

1号人孔



1号マンホール集計表

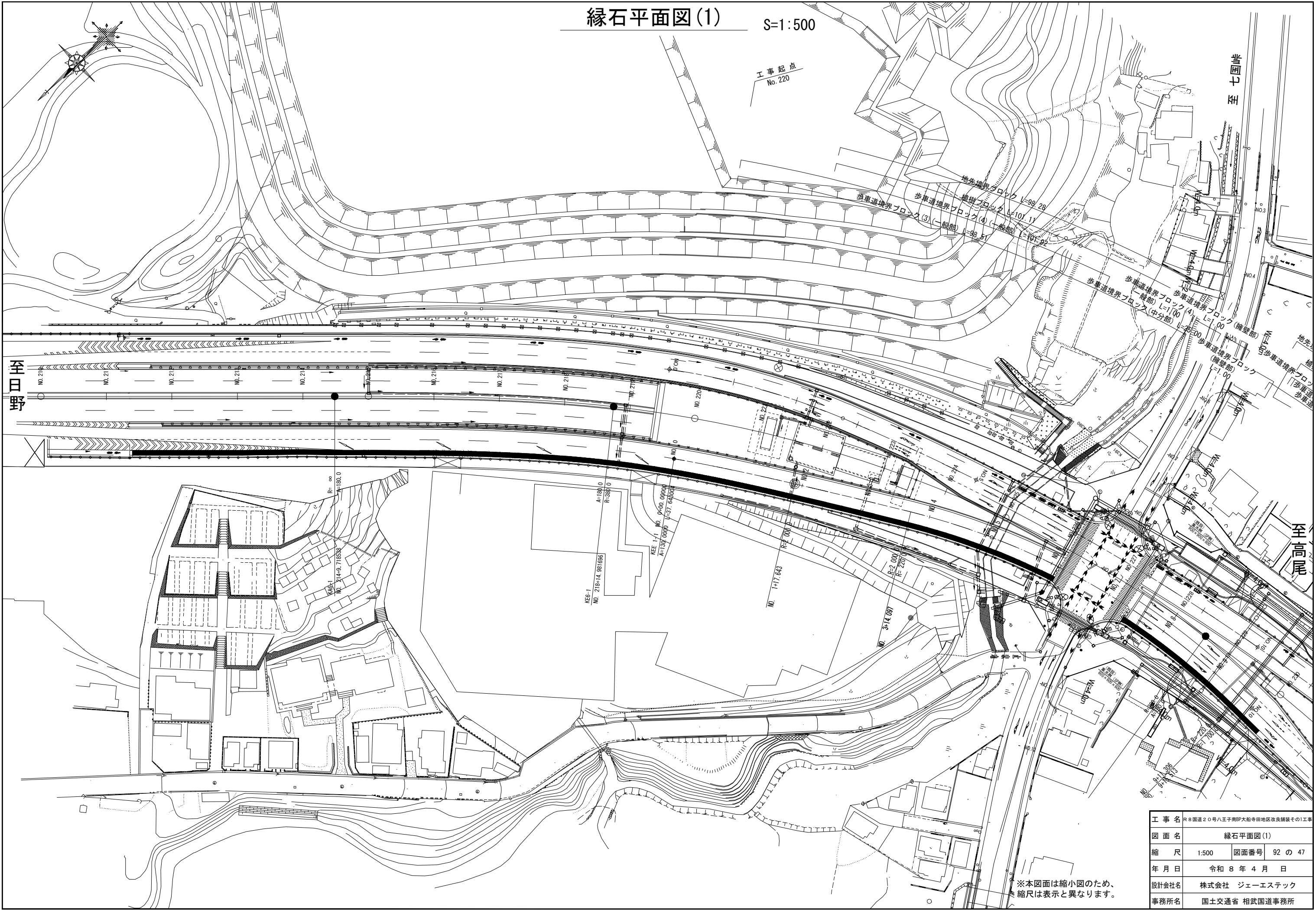
部材	記号	規格・寸法	単位	数量	数量
底版	M1PB	φ 900	個	1	1
躯体（管取付壁）	M1B-60	φ 900	個	-	-
	M1B-90	〃	個	-	-
	M1B-120	〃	個	1	-
	M1B-150	〃	個	-	-
	M1B-180	〃	個	-	1
直壁	M1S-30	φ 900	個	-	-
	M1S-60	〃	個	-	-
	M1S-90	〃	個	1	-
	M1S-120	〃	個	-	-
	M1S-150	〃	個	-	-
斜壁	M1T-30	φ 900～φ 600	個	-	-
	M1T-45	〃	個	1	-
	M1T-60	〃	個	-	1
調整リング	MR-10	φ 600	個	1	-
	MR-15	〃	個	-	1
	MR-20	〃	個	-	-
調整金具		調整高45mm	組	1	1
調整モルタル		φ 600 平均	mm	10	-
蓋		φ 600	組	1	1
削工		φ 400	箇所	1	1
		φ 500	箇所	-	-
基礎材		RC40 t=200	m ²	0.95	0.95

工 事 名	R8 国道20号八王子南P太郎田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水構造図(15)		
縮 尺	1:30	図面番号	92 の 46
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

縁石平面図(1)

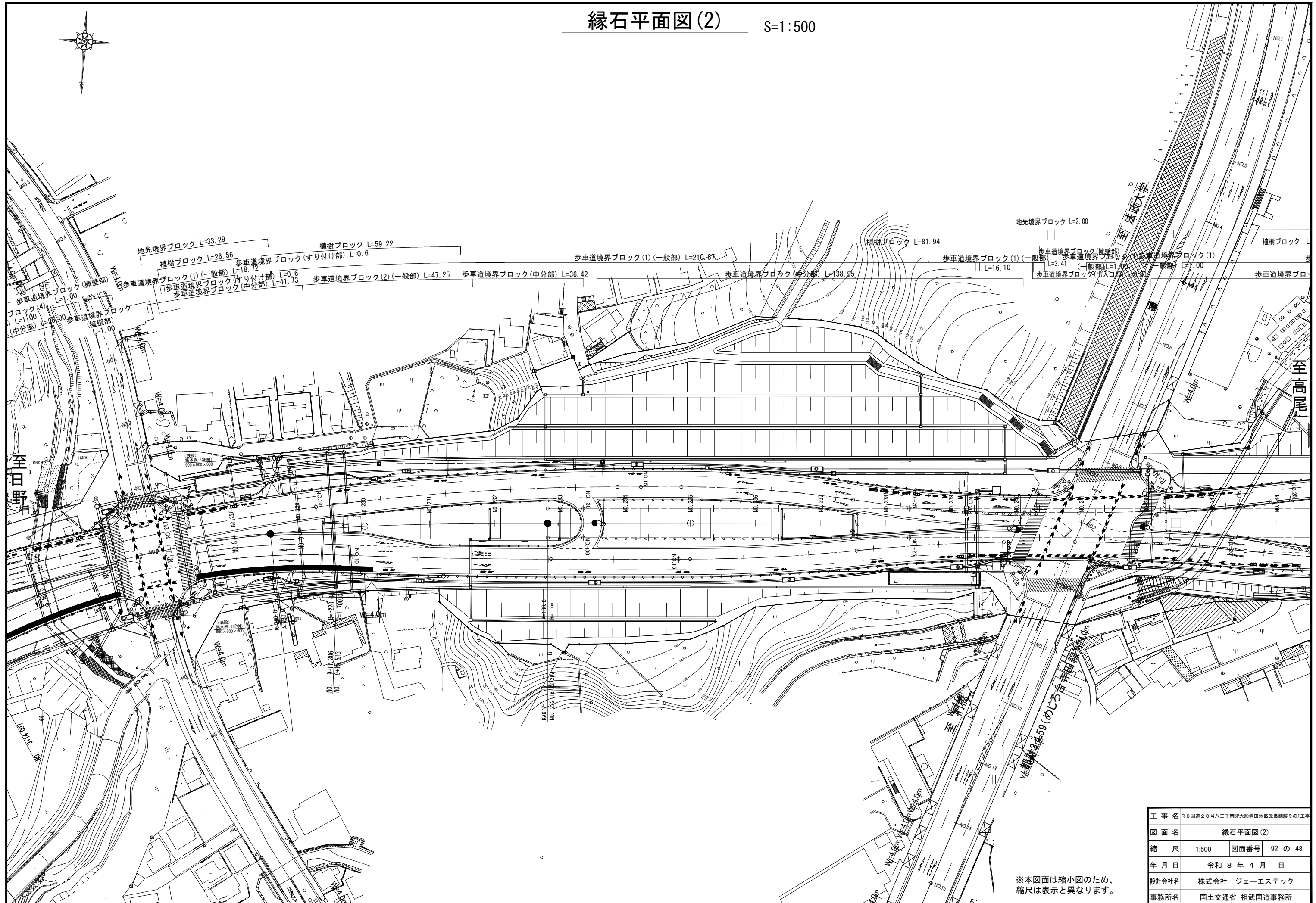
S=1:500



※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

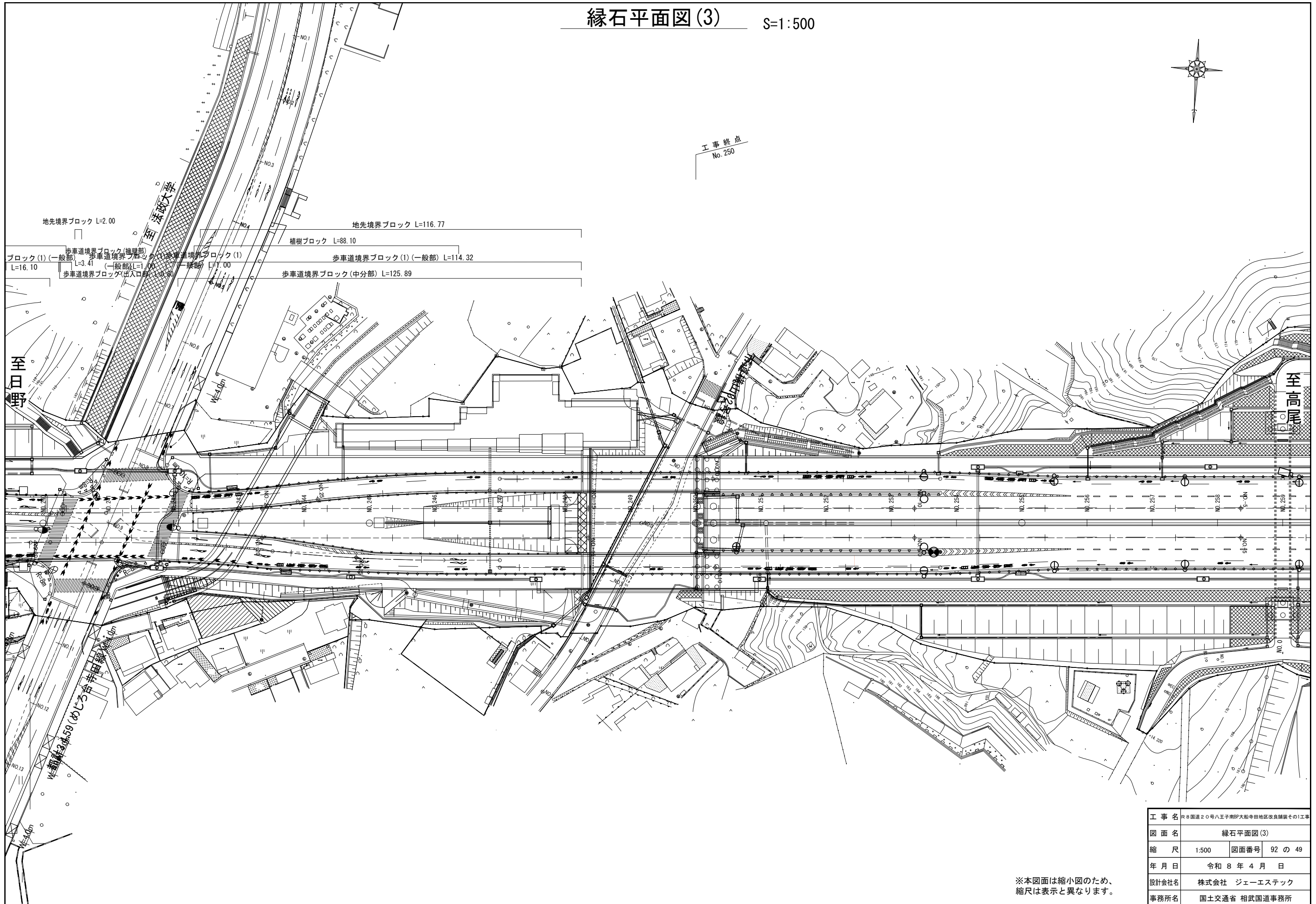
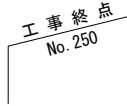
工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	縁石平面図(1)		
縮尺	1:500	図面番号	92の47
年月日	令和8年4月日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 500



工 事 名	R8国道20号八王子南DP大船中田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	緑分平面図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 48
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 500

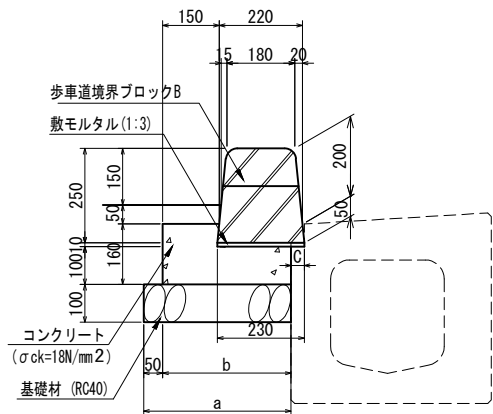


工 事 名	R8国道20号八王子南印大船中田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	緑分平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 49
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

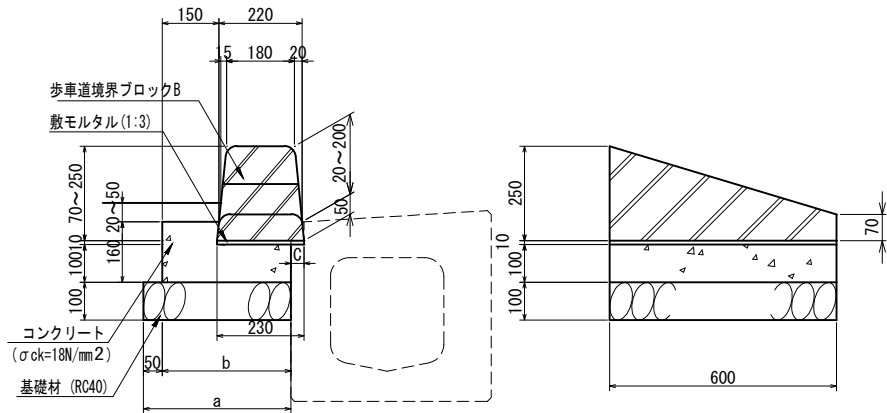
縁石構造図（1） S=1:10

歩車道境界ブロック（1）

一般部

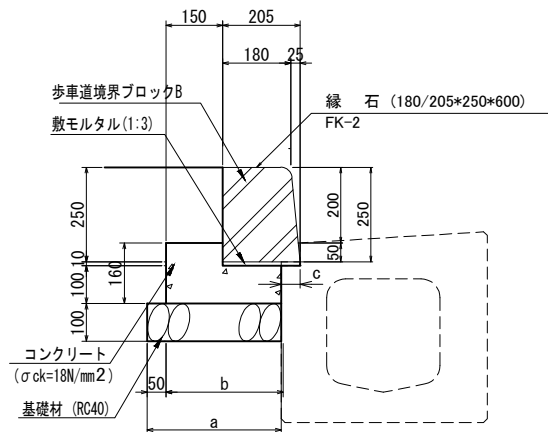


歩車道境界ブロック（出入り部 すり付け部）



歩車道境界ブロック（2）

一般部



寸法表

単位:mm

	a	b	c	摘要
歩車道境界ブロック(2)	355	305	50	FK-3

材料表（歩車道境界ブロック(2)）

10m当り

種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
			縁石工4	
歩車道境界ブロック	B種	個	16.5	0.6m/個
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.40	
基 礎 材	RC40 t=10cm	m ²	3.6	
型 枠		m ²	1.6	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.02	

材料表（縁石工1）

10m当り

種 別	規格・寸法	単 位	数 量			摘 要
			歩車道境界ブロック(1)	(出入り部)	(すり付け部)	
歩車道境界ブロック	B 種 両面	個	8.5			0.6m/個
	B 種 両面 水抜きタイプ	個	8.0			〃
	B種すりつけ用 (FK-20-20両面)	個		16.5		〃
		個			16.5	〃
	B 種 両面	個				〃
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.41	0.41	0.41	
基 礎 材	RC40 t=10cm	m ²	3.8	3.8	3.8	
型 枠		式	1.0	1.0	1.0	
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.02	0.02	0.02	

※歩車道境界ブロック（一般部）は1つおきに水抜きタイプを設置。

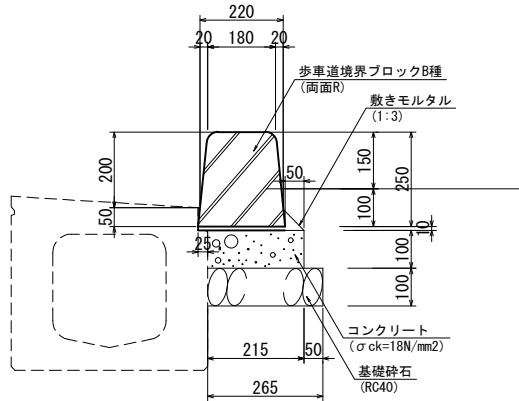
寸法表

単位:mm

	a	b	c	摘要
縁石工1	375	325	50	

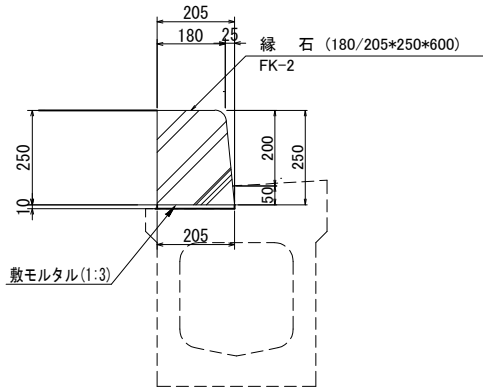
歩車道境界ブロック（4）

（一般部）



歩車道境界ブロック（3）

（一般部）



材料表（歩車道境界ブロック(3)）

10m当り

種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	B種	個	16.5	0.6m/個
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.02	

材料表

(10m当り)

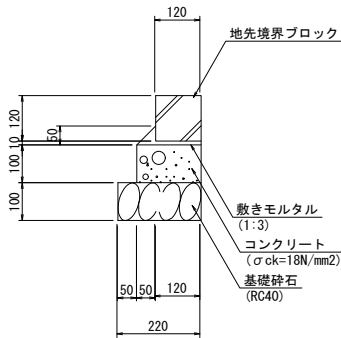
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	B種（両面R）	個	16.5	0.6m/個
基礎コンクリート	σck=18N/mm ³	m ³	0.215	
型 枠		式	1.00	
基礎砕石	RC40 t=10cm	m ²	2.65	
敷きモルタル	1 : 3	m ³	0.040	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号八王子南B大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	縁石構造図(1)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 50
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

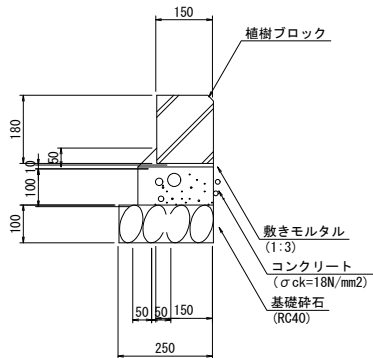
縁石構造図(2) S=1:10

地先境界ブロック
S=1:10



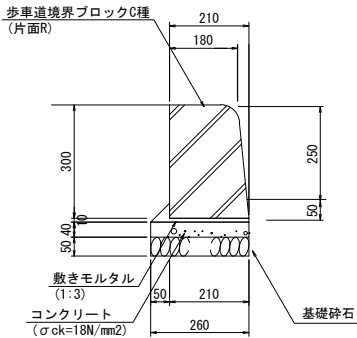
材料表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
地先境界ブロック	120×120×600	個	16.5	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.170	
基礎砕石	RC40 t=10cm	m3	2.20	t=10cm
型 枠		式	1.00	
敷きモルタル	1:3	m3	0.025	

植樹ブロック
S=1:10



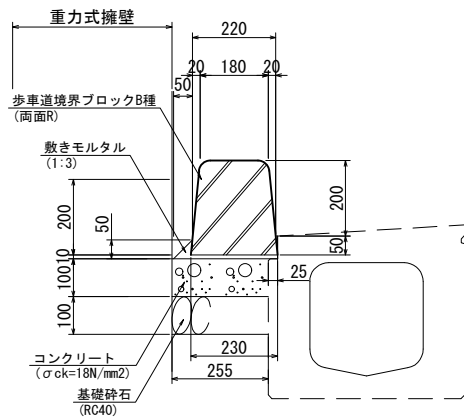
材料表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹ブロック	150×180×600	個	16.5	
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.200	
基礎砕石	RC40 t=10cm	m3	2.50	t=10cm
型 枠		式	1.00	
敷きモルタル	1:3	m3	0.028	

歩車道境界ブロック
(中分部)



材料表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	C種 (片面R)	個	16.5	0.6m/個
基礎コンクリート	σck=18N/mm3	m3	0.104	
型 枠		式	1.00	
基礎砕石	RC-40	m2	2.60	
敷きモルタル	1:3	m3	0.034	

歩車道境界ブロック
(擁壁部)



材料表 (10m当り)				
種 別	規格・寸法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	B種 (両面)	個	16.5	0.6m/個
基礎コンクリート	σck=18N/mm3	m3	0.26	
型 枠		m2	-	
基礎砕石	RC40 t=10cm	m2	2.55	
敷きモルタル	1:3	m3	0.040	

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	縁石構造図(2)		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 51
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 500

歩道舗装 $A=509m^2$

車道舗装 $A=1,240\text{m}^2$

至日野

至高无上

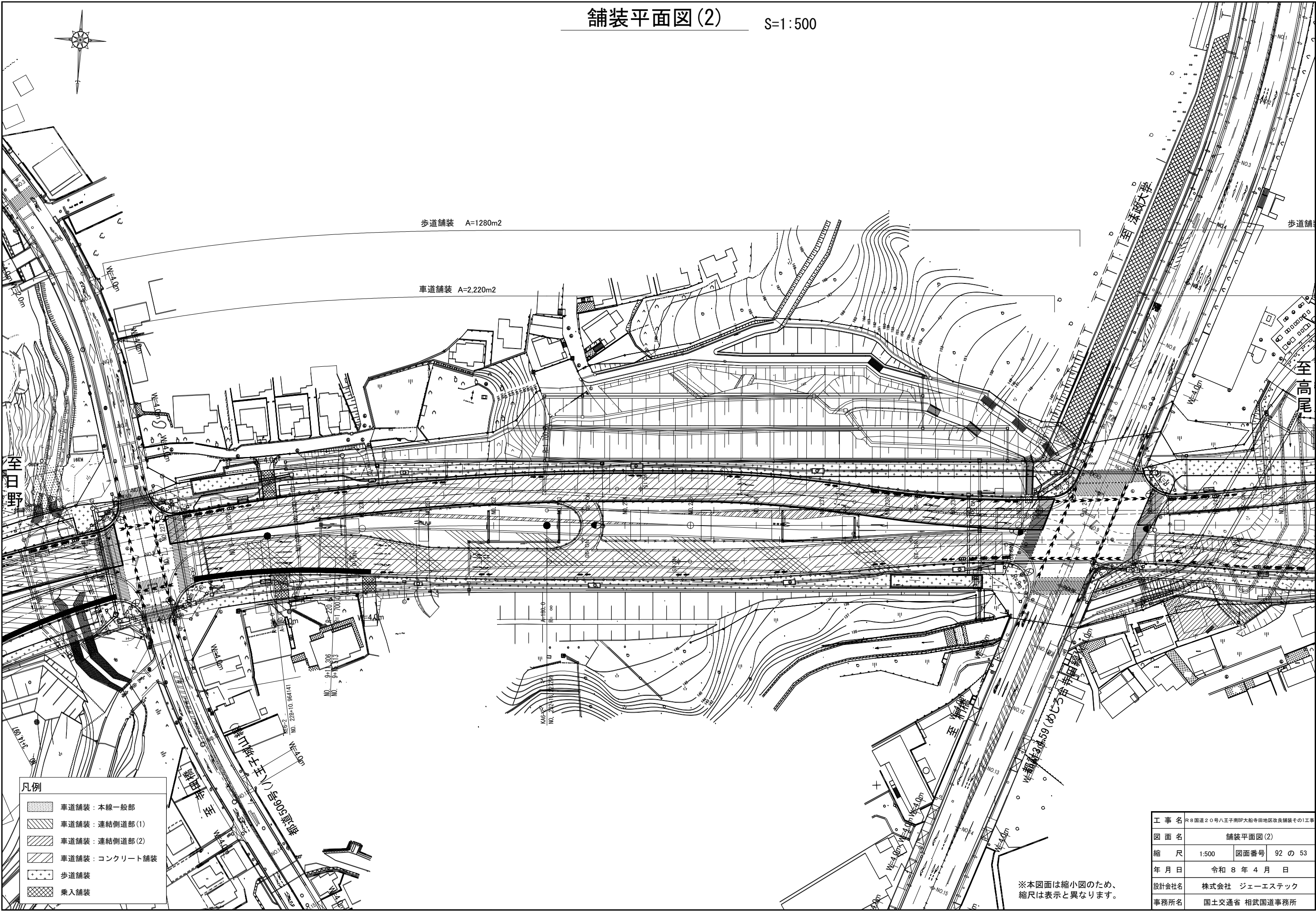
	車道舗装：本線一般部
	車道舗装：連結側道部(1)
	車道舗装：連結側道部(2)
	車道舗装：コンクリート舗装
	歩道舗装
	乗入舗装

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号/八王子南町大船寺田地区改良舗装工事		
図 面 名	舗装平面図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 52
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

舗装平面図(2)

S=1:500



歩道舗装 A=1280m2

車道舗装 A=2,220m2

凡例

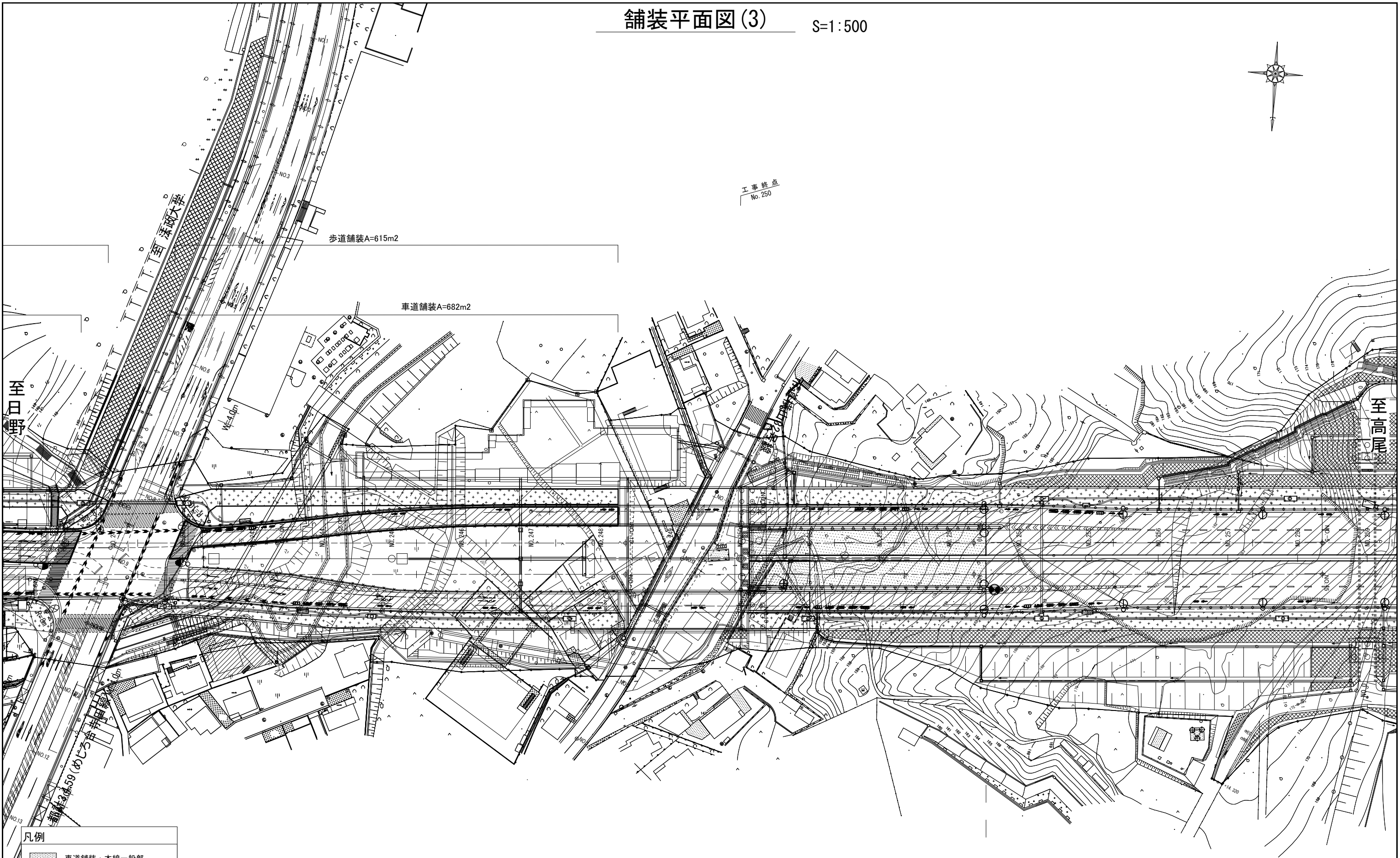
- 車道舗装：本線一般部
- 車道舗装：連結側道部(1)
- 車道舗装：連結側道部(2)
- 車道舗装：コンクリート舗装
- 歩道舗装
- 乗入舗装

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	舗装平面図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 53
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

舗装平面図(3)

S=1:500



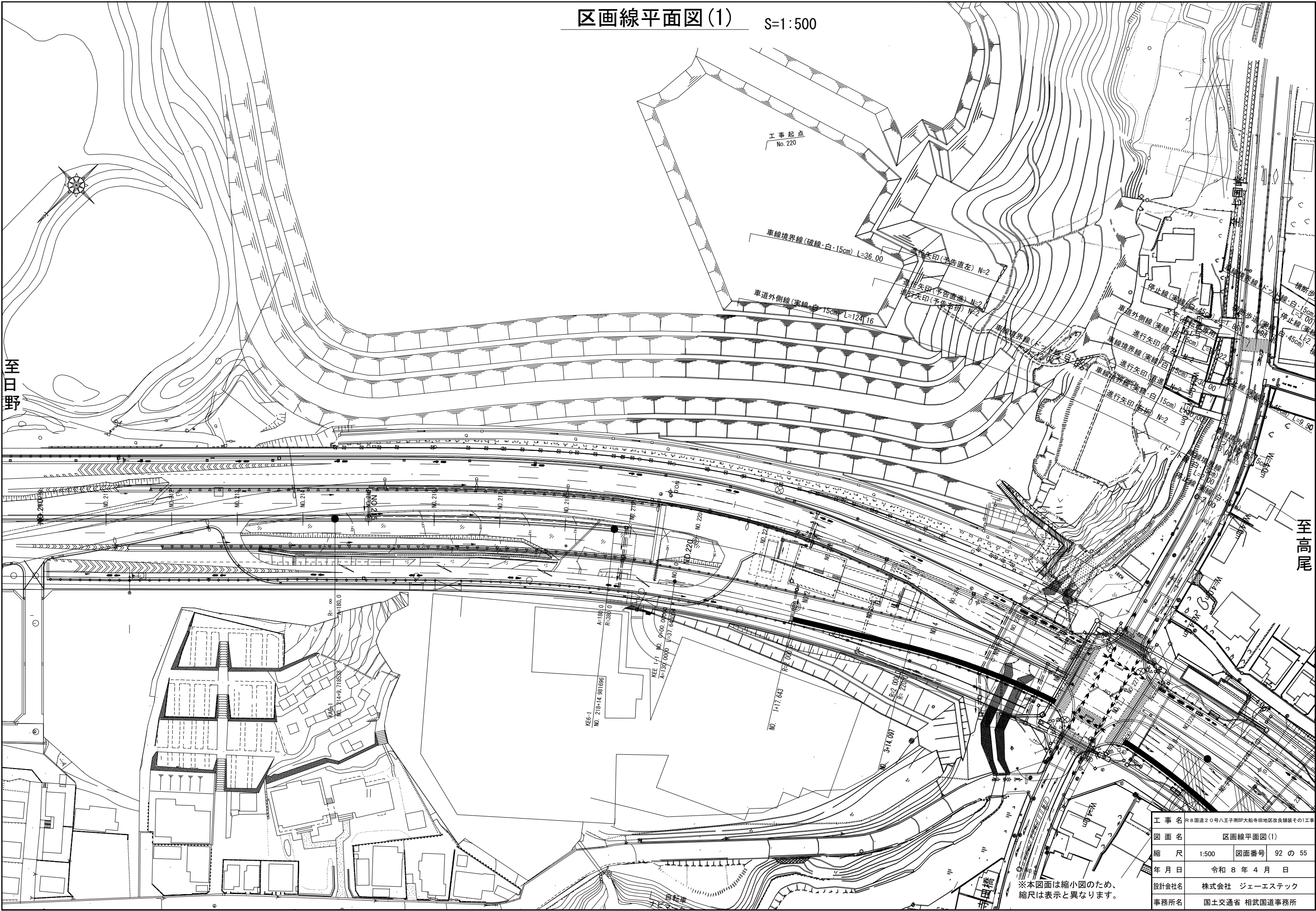
凡例	
	車道舗装：本線一般部
	車道舗装：連結側道部(1)
	車道舗装：連結側道部(2)
	車道舗装：コンクリート舗装
	歩道舗装
	乗入舗装

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	舗装平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 54
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

区画線平面図(1)

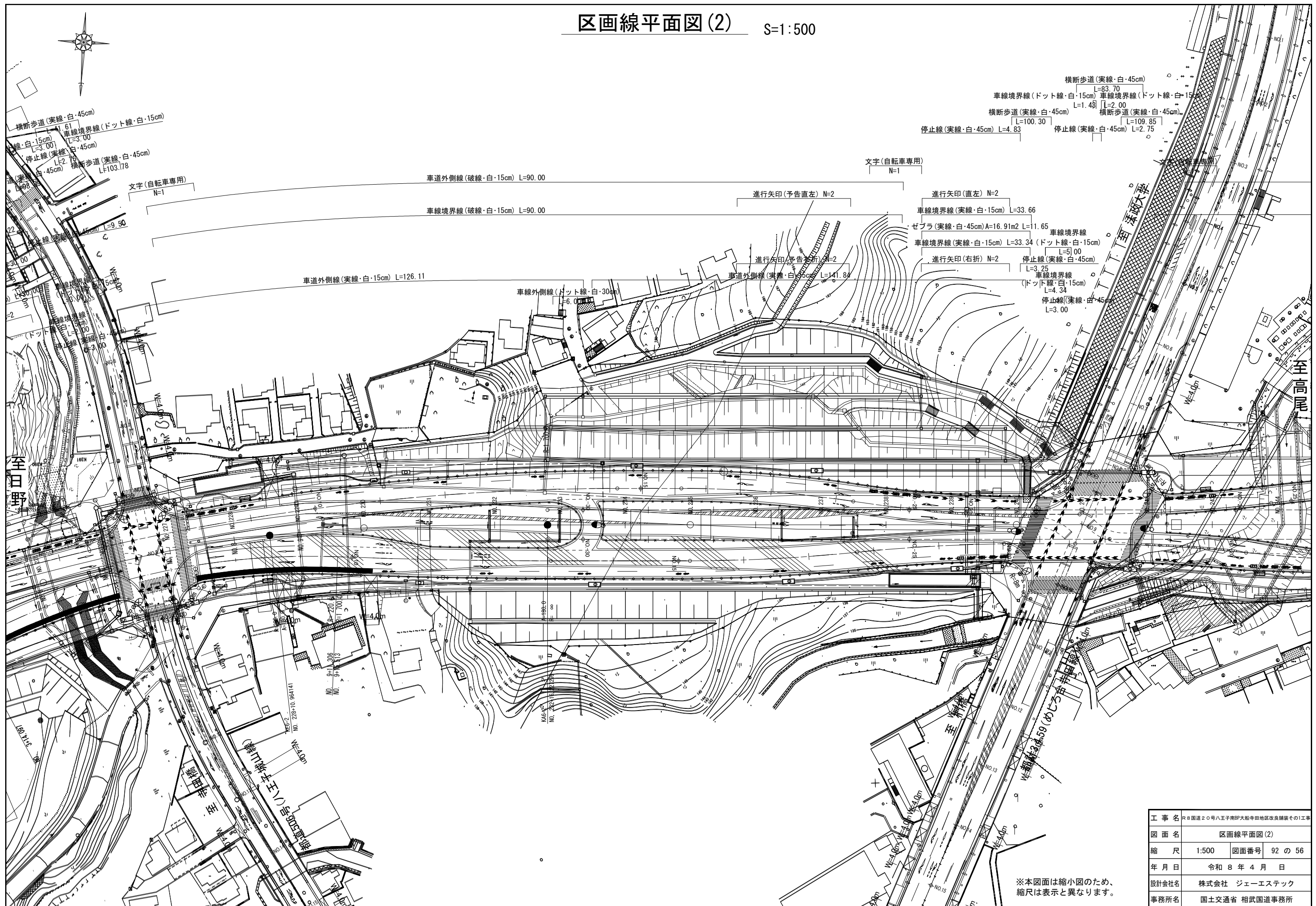
S=1:500



工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	区画線平面図(1)		
縮尺	1:500	図面番号	92の55
年月日	令和8年4月日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相模国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

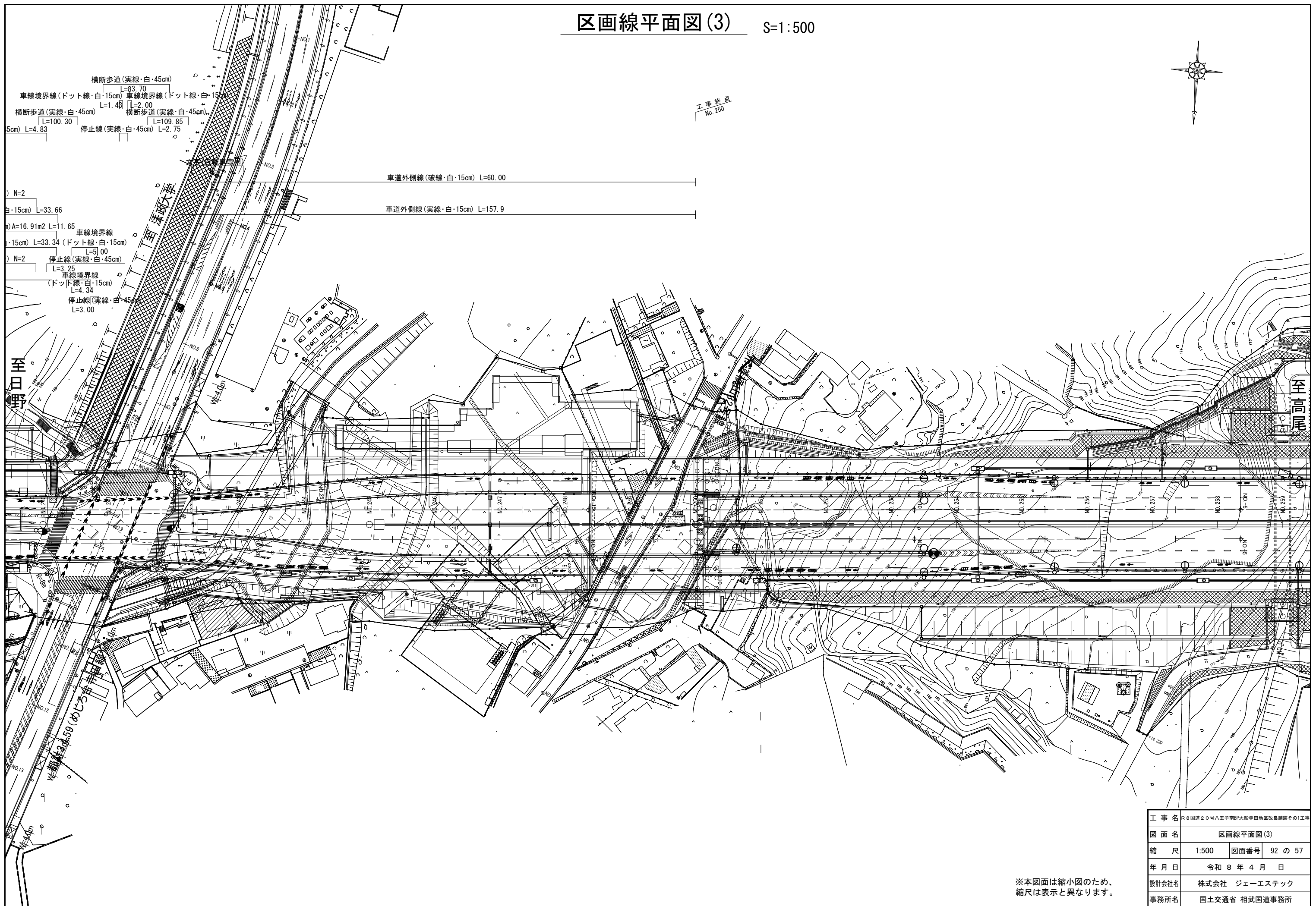
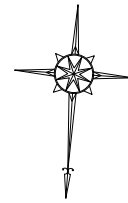
区画線平面図(2) S=1:500



工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南8P大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	区画線平面図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 56
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

区画線平面図(3) S=1:500



横断歩道(実線・白・45cm)
L=83.70
車線境界線(ドット線・白・15cm) 車線境界線(ドット線・白・15cm)
L=1.48 L=2.00
横断歩道(実線・白・45cm) 横断歩道(実線・白・45cm)
L=100.30 L=109.85
停止線(実線・白・45cm) L=2.75
5cm) L=4.83
N=2
白・15cm) L=33.66
n) A=16.91m2 L=11.65
車線境界線
白・15cm) L=33.34 (ドット線・白・15cm)
L=5.00
N=2 停止線(実線・白・45cm)
L=3.25
車線境界線
(ドット線・白・15cm)
L=4.34
停止線(実線・白・45cm)
L=3.00

車道外側線(破線・白・15cm) L=60.00
車道外側線(実線・白・15cm) L=157.9

工事終点
No. 250

至日野

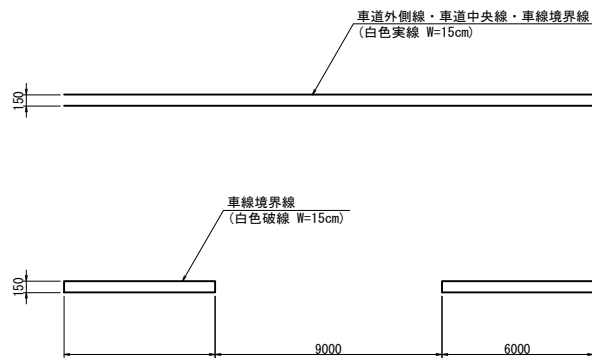
至高尾

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南B 大船寺田地区改良舗装その1 工事		
図 面 名	区画線平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 57
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相模国道事務所		

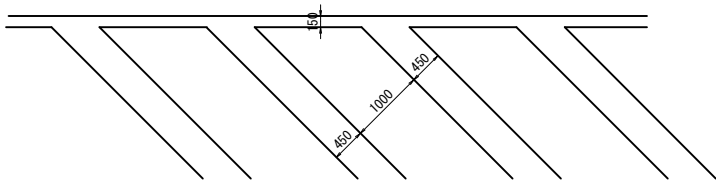
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

区画線構造図 S=1:50

車道外側線・車道中央線・車線境界線

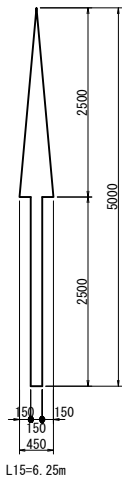


ゼブラ

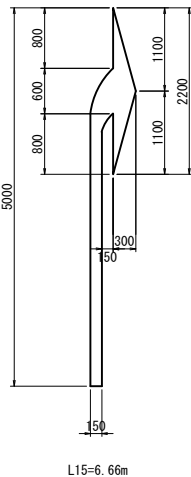


指示標示
(進行方向)

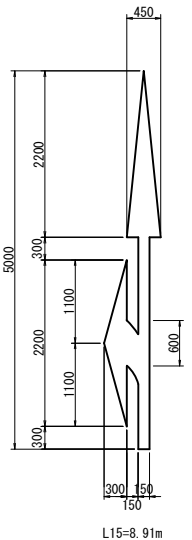
直進



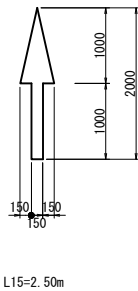
右折



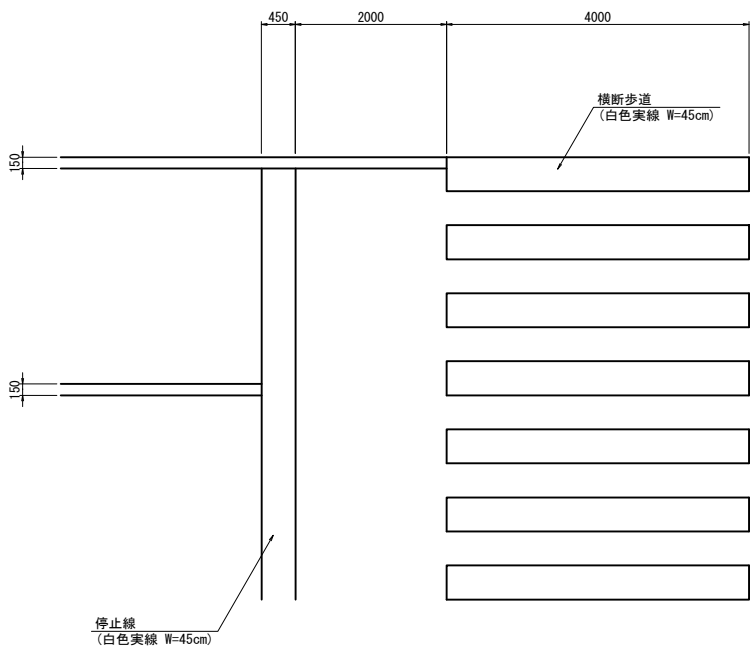
直進左折



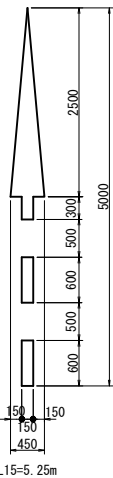
(矢印)



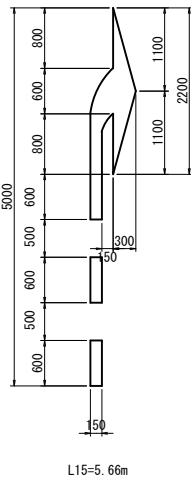
停止線・横断歩道



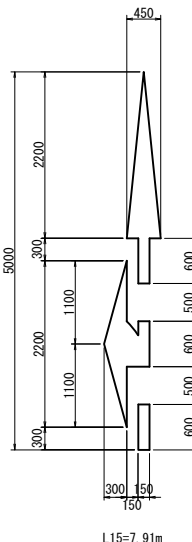
(進行方向予告)



右折



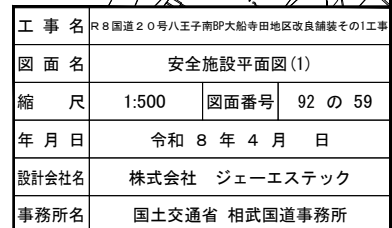
直進左折



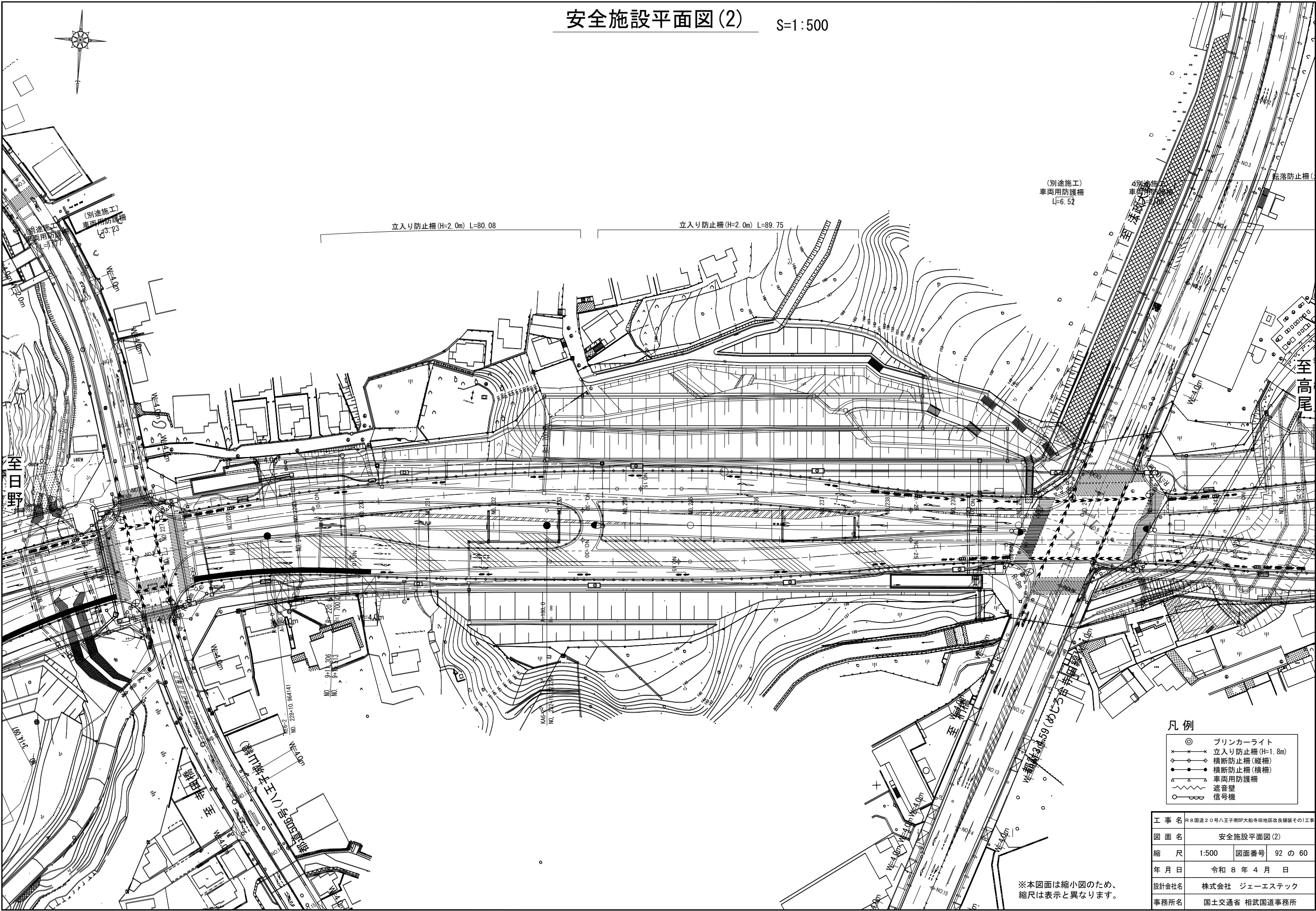
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	区画線構造図		
縮 尺	1:50	図面番号	92 の 58
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	大日本コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

S=1 : 500



安全施設平面図(2) S=1:500



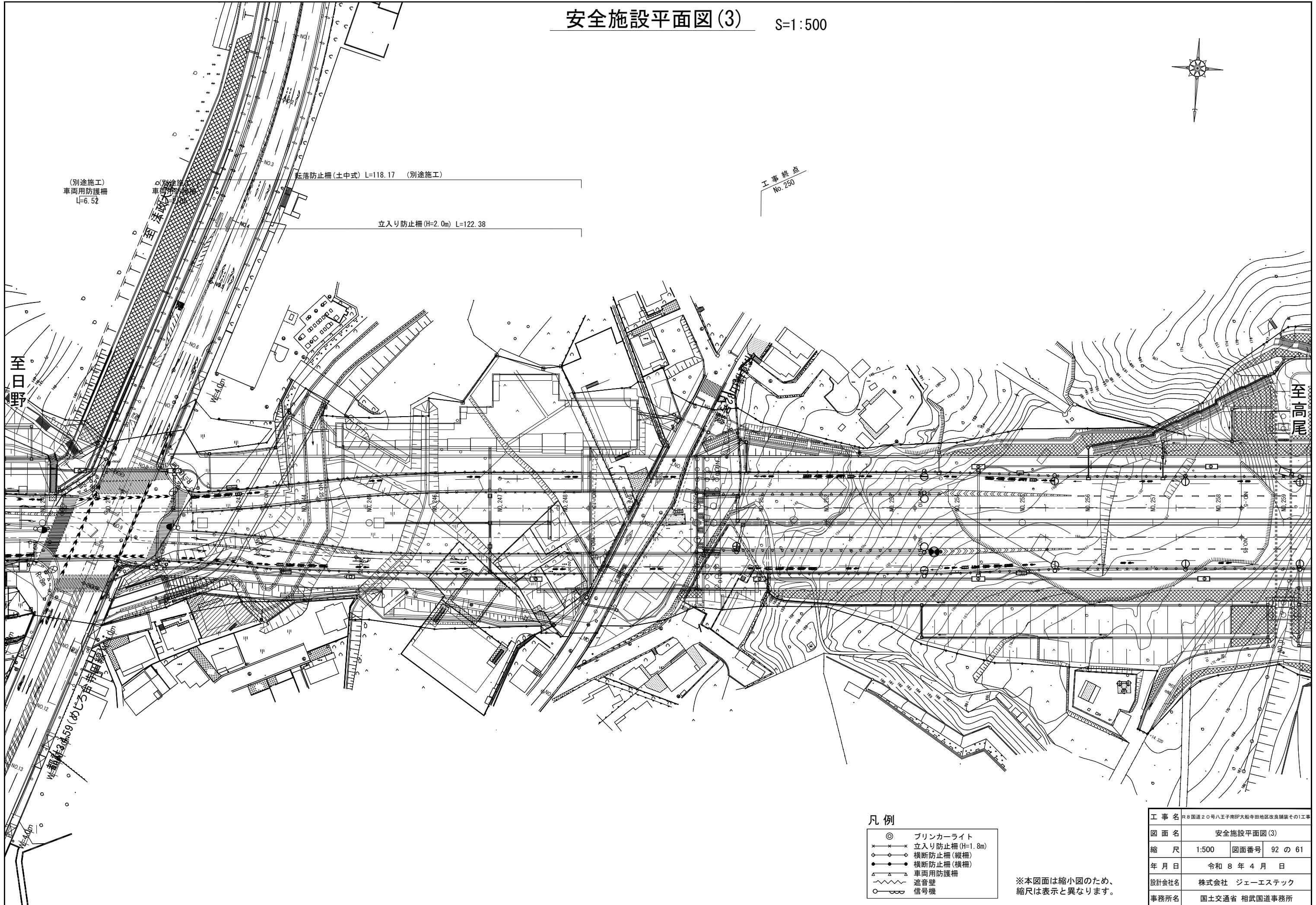
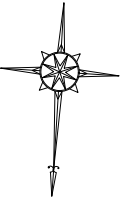
- 凡例
- プリンカーライト
 - ××× 立入り防止柵 (H=1.8m)
 - ◇ 横断防止柵 (縦柵)
 - 横断防止柵 (横柵)
 - △ 車両用防護柵
 - 〰 遮音壁
 - 信号機

工 事 名	R 8 国 道 2 0 号 八 王 子 南 BP 大 船 寺 田 地 区 改 良 補 装 其 の 1 工 事		
図 面 名	安全施設平面図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 60
年 月 日	令 和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

安全施設平面図(3)

S=1:500



凡例

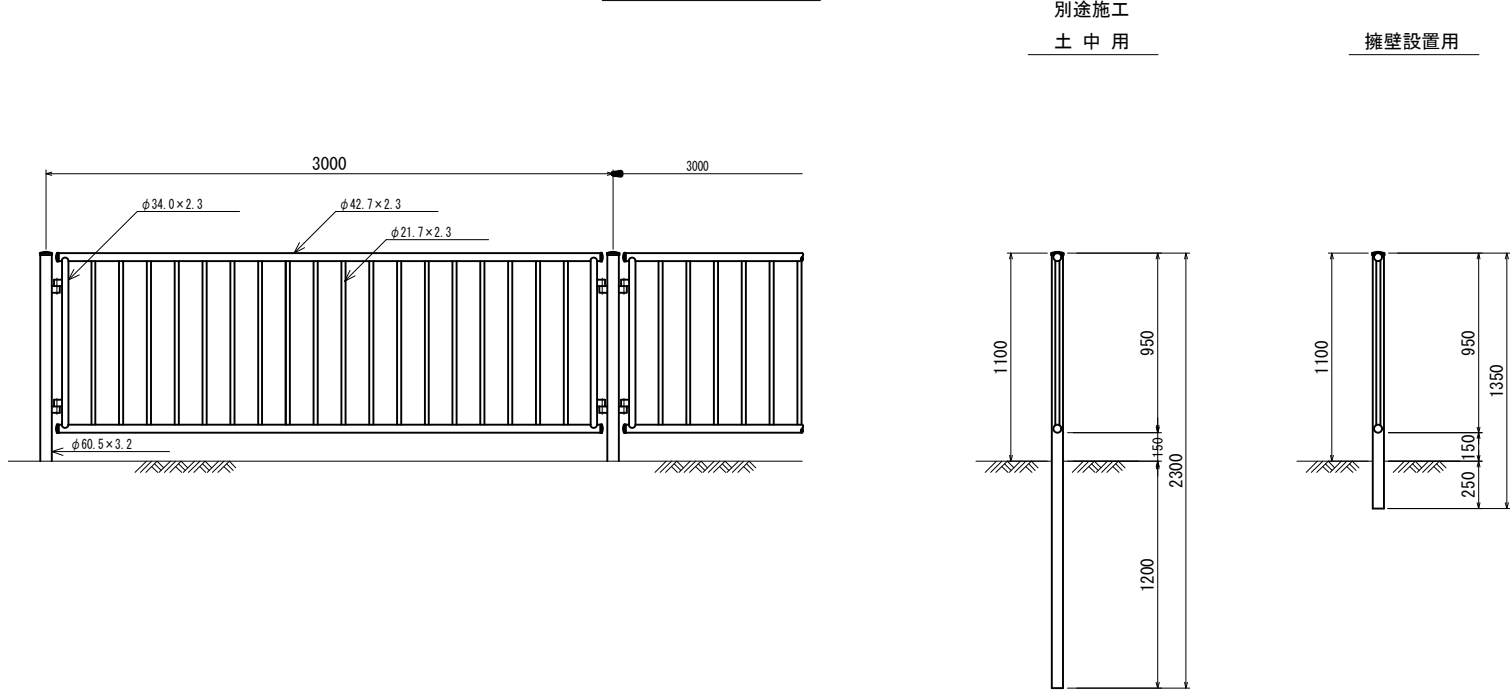
- ◎ ブリンカーライト
- ×××× 立入り防止柵 (H=1.8m)
- ◇◇◇◇ 横断防止柵 (縦柵)
- 横断防止柵 (横柵)
- △△△△ 車両用防護柵
- ~~~~~ 遮音壁
- ~~~~ 信号機

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	安全施設平面図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 61
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジューエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

安全施設構造図 S=1:20

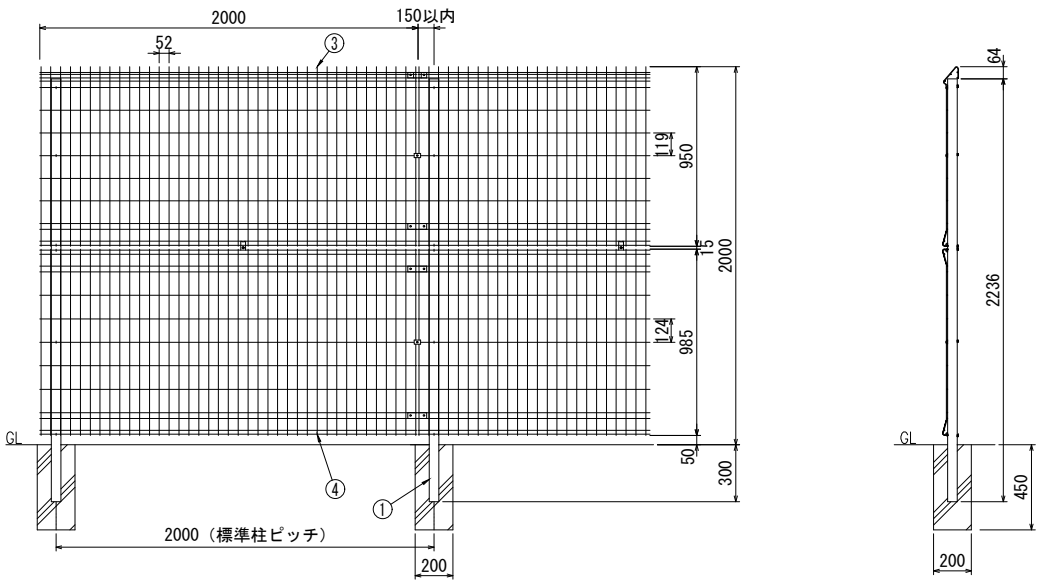
転落防止柵 S=1:20



立入防止柵 S=1:20

正面図

断面図



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	安全施設構造図		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 62
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 ジェーエステック		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水移設撤去平面図 S=1:250



工 事 名	R8 国道20号八王子南印大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水移設撤去平面図		
縮 尺	1:250	図面番号	92 の 63
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

1号組立マンホール

Technical drawing of a circular structure, likely a manhole or access point, showing dimensions and components. The drawing includes a cross-section view (A-A) and a top view.

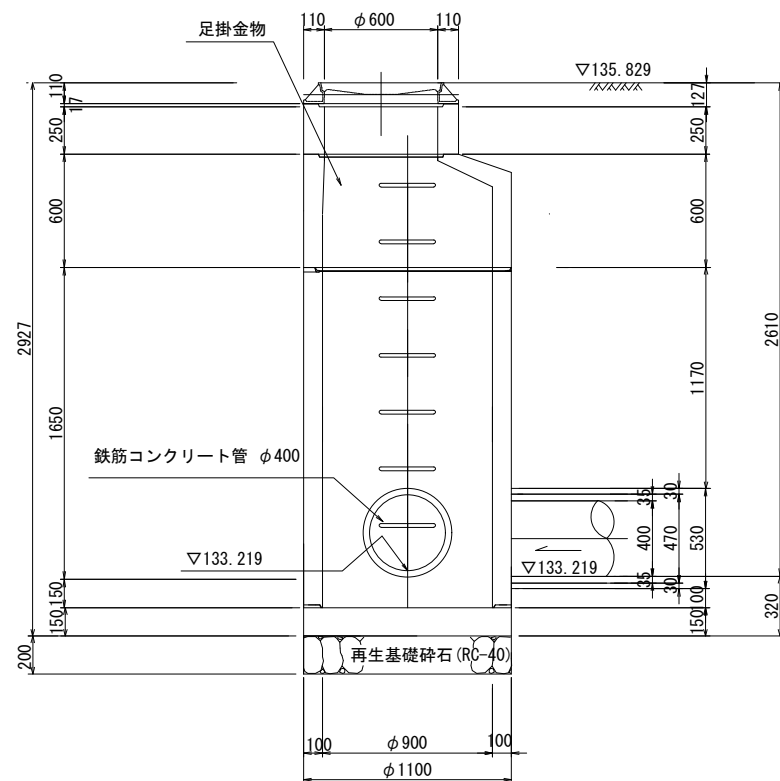
Dimensions:

- Overall width: 1100
- Overall height: 1100
- Top flange width: 100 (left), 900 (center), 100 (right)
- Bottom flange width: 35 (left), 400 (center), 35 (right)
- Bottom flange height: 30 (left), 470 (center), 30 (right)
- Bottom flange total width: 530
- Internal diameter: 400
- External diameter: 540
- Internal radius: 130
- Internal angle: 53.3°

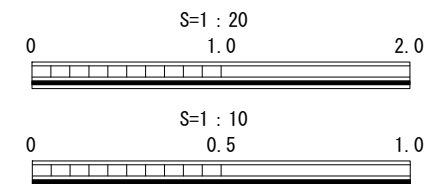
Labels:

- 足掛金物 (Foot hanger)
- (再利用) CSB管 $\phi 400$ (Re-use) CSB pipe $\phi 400$
- (既設) 鉄筋コンクリート管 $\phi 400$ (Existing) Reinforced concrete pipe $\phi 400$

A-A断面図
(既設)

[illegible]

工 種	仕 様	単位	数 量
基礎碎石	RC-40 h=0.2m	m ²	1.21



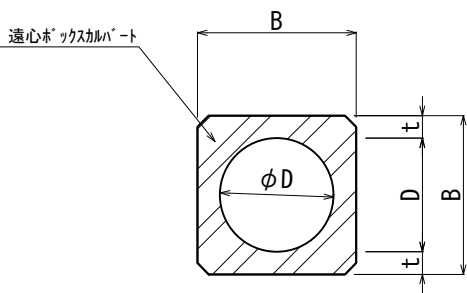
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8 国道 2 号 0 号 Y 市南部大船寺田地区改良舗装等の工事		
図 面 名	排水移設撤去構造図 (1)		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 64
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

排水工移設撤去構造図(2)

CSB管 φ400

S=1:10



寸法表

名 称	D	B	t
φ400	400	540	70

材 料 表

10m当り

種 別	遠心ボックスカルバート L=2400	摘 要
	個	
φ400	4.2	963kg/個

ヒューム管φ400取壊し

S=1:20

有筋
A=0.048m²



ヒューム管φ400(1)取壊し (10m当り)

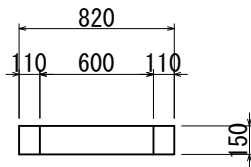
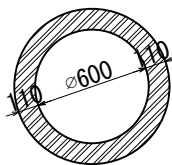
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート取壊し	有筋	m3	0.48	
	無筋	m3	-	

1号組立マンホール調整リング H=100取壊し

S=1:20

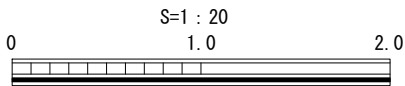
平 面 図

断 面 図



1号組立マンホール調整リング H=150取壊し (10箇所当り)

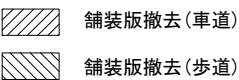
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート取壊し	有筋	m3	0.37	
	無筋	m3	-	



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	排水工移設撤去構造図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	92 の 65
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	株式会社 オリエンタルコンサルタンツ		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

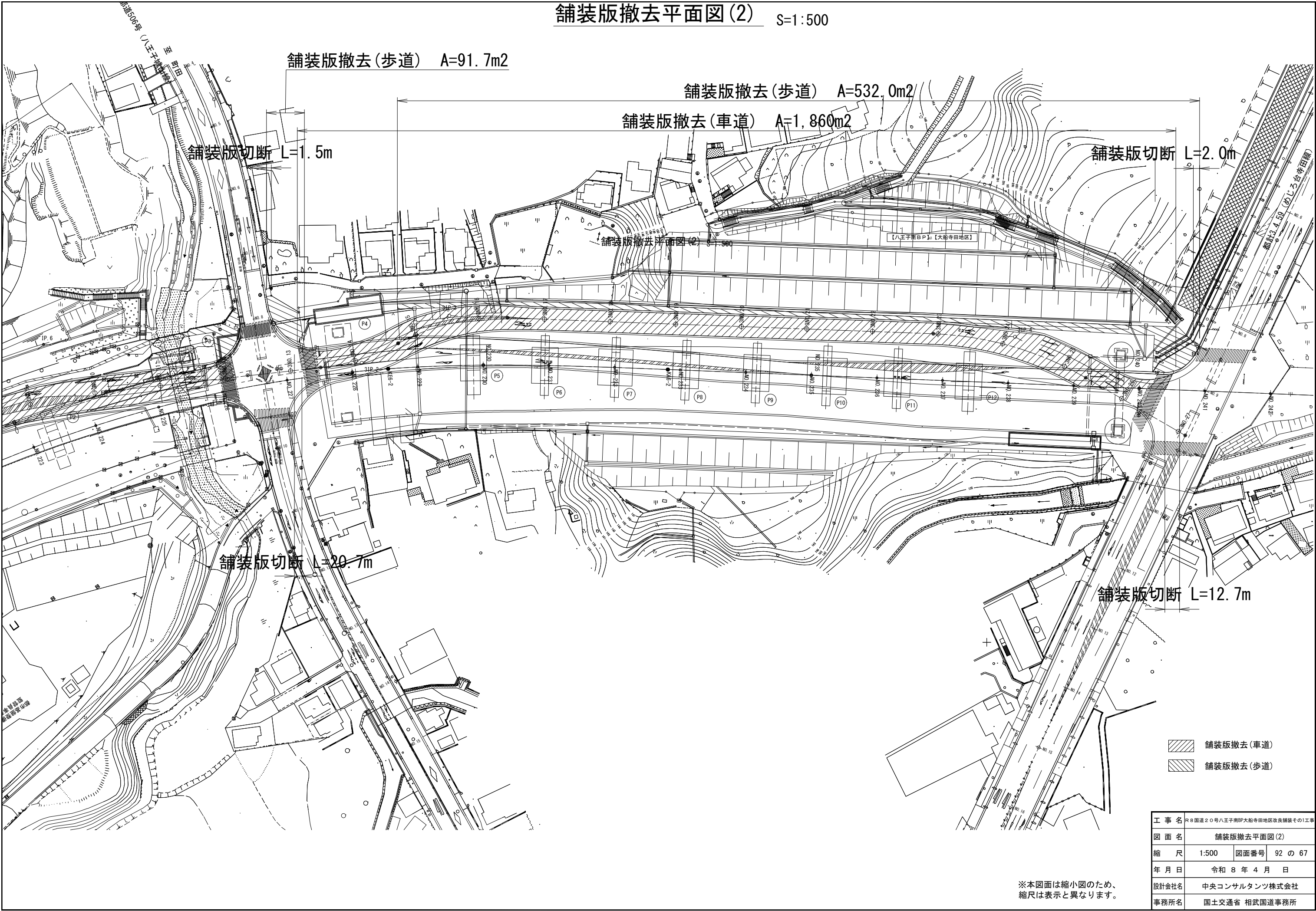
S=1 : 500



工 事 名	R8国道20号八王子南邸大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	舗装版撤去平面図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	92 の 66
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

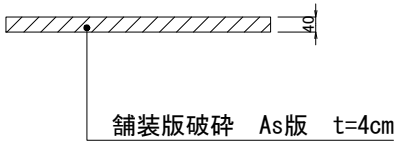
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

舗装版撤去平面図(2) S=1:500

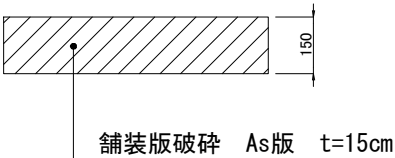


舗装版撤去図 S=1:10

歩道部



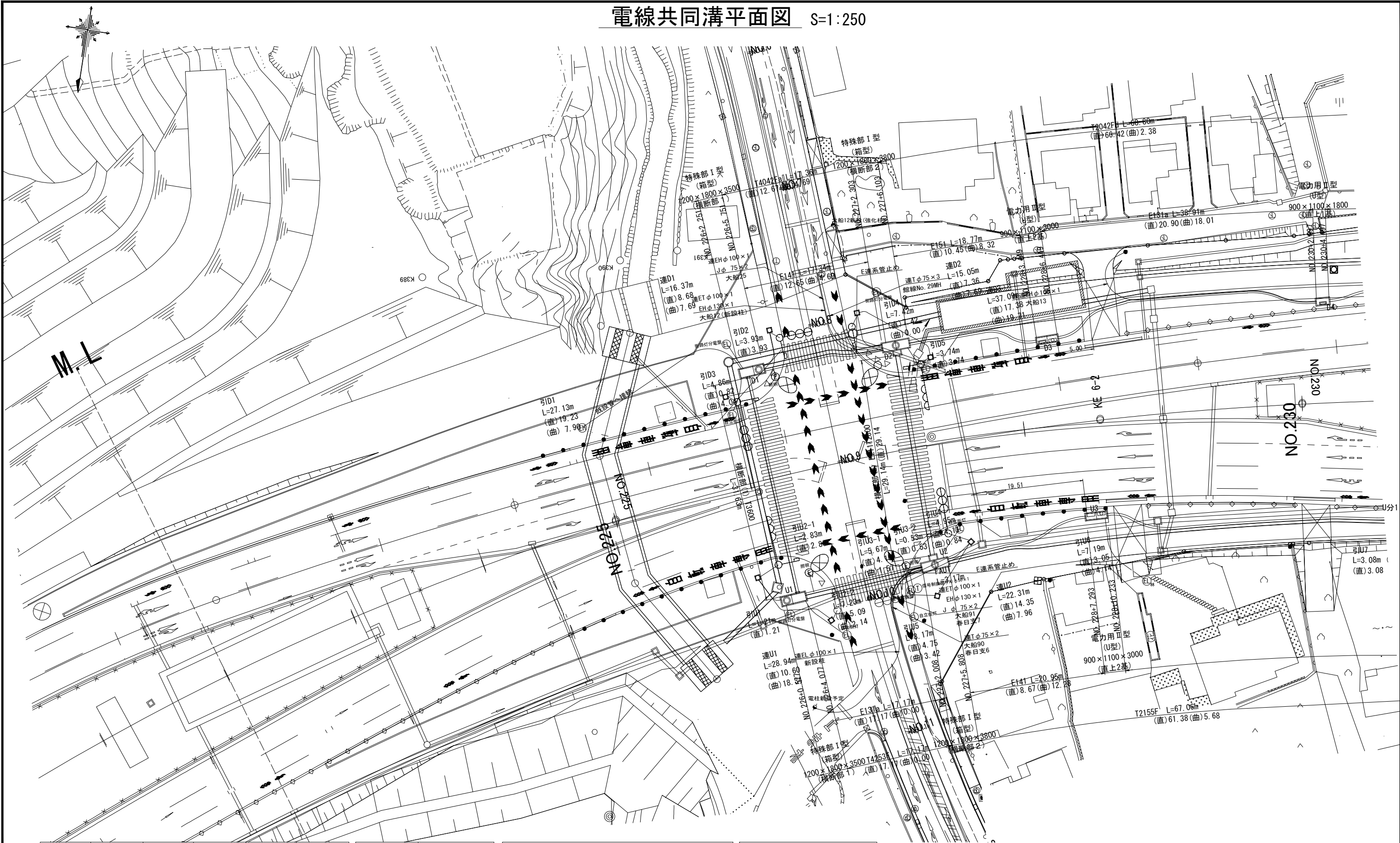
車道部



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	舗装版撤去図		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 68
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	中央コンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

電線共同溝平面図 S=1:250



記号	名称	記号	名称	記号	名称
---	撤去ガス	---	既設ガス	---	新設ガス
---	撤去水道	---	既設水道	---	新設水道
---	撤去雨水	---	既設雨水	---	新設雨水
---	撤去下水	---	既設下水	---	新設下水
---	撤去電力	---	既設電力	---	新設電力
---	撤去NTT	---	既設NTT	---	新設NTT
●	既設電柱(撤去)	○	既設電柱(残置)	□	電線共同溝整備範囲

記号	名称
---	本線管路(電力)
---	本線管路(通信)
---	連系管路(電力)
---	連系管路(通信)
---	供給管路(電力)
---	供給管路(通信)
---	信号用管路

- 特殊部 I 型(1200×H×3800)集約横断部
- 特殊部 I 型(1200×H×3500)集約接続部
- 電力用 II 型(900×H×1800)直上1基
- 電力用 II 型(900×H×3000)直上2基
- 電力用 II 型(900×H×1100)
- 通信用 II 型(950×1500×2200)
- 通信接続樹(500×1050×2000)
- 低圧分岐樹(450×900×500)
- 信号用ハンドホール

- ㊦ NTT供給管(75×1)需要引込(50×1)信号引込
- ㊦ JCOM東京供給管(50×1)
- ㊦ KDDI供給管(50×1)
- ㊦ 電力低圧供給管(100×1)
- ㊦ 地上機器(多回路開閉器)
- ㊦ 地上機器(三回路開閉器)
- ㊦ 地上機器(地上用変圧器)
- ㊦ 高割分岐

管路名称の法則

E 2 3 1 T 0 0 5 4 F a

φ130管数 (電力管) φ100管数 (通信管) 通信管 (管外) φ50管数 (管外) φ30管数 (管外) 下記参照

電力管 φ100管数 (電力管) φ75管数 (管外) φ50管数 共用A管有無

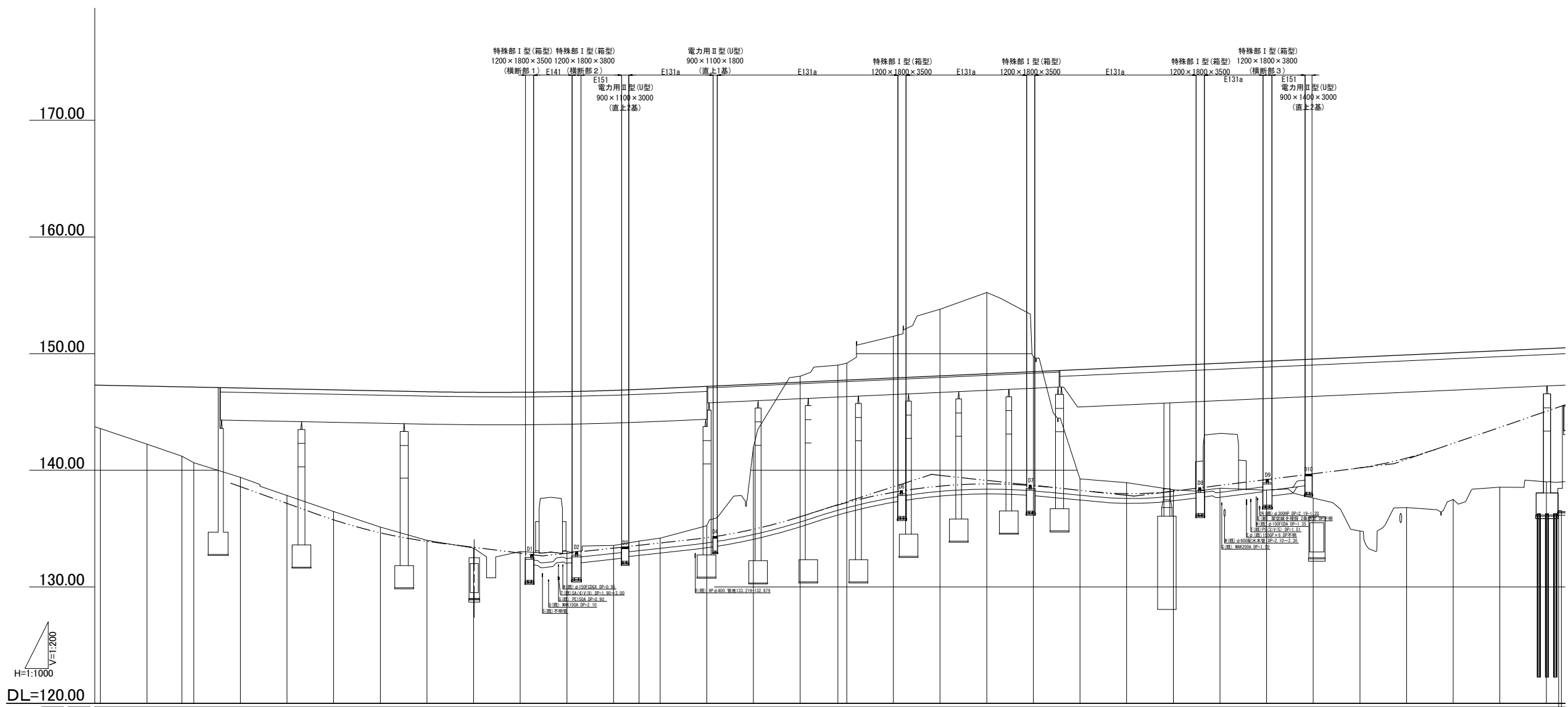
・小文字アルファベットについては、管路条数が同数であっても、入溝ケーブルや管並びに相違がある場合に分類のため表記するものとする。

・管数には、余剰管を含まない。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南P大船寺田地区改良舗装その工事		
図 面 名	電線共同溝平面図		
縮 尺	1:250	図面番号	92 の 69
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

縦断図 下り線(電力) V=1:200
H=1:1000

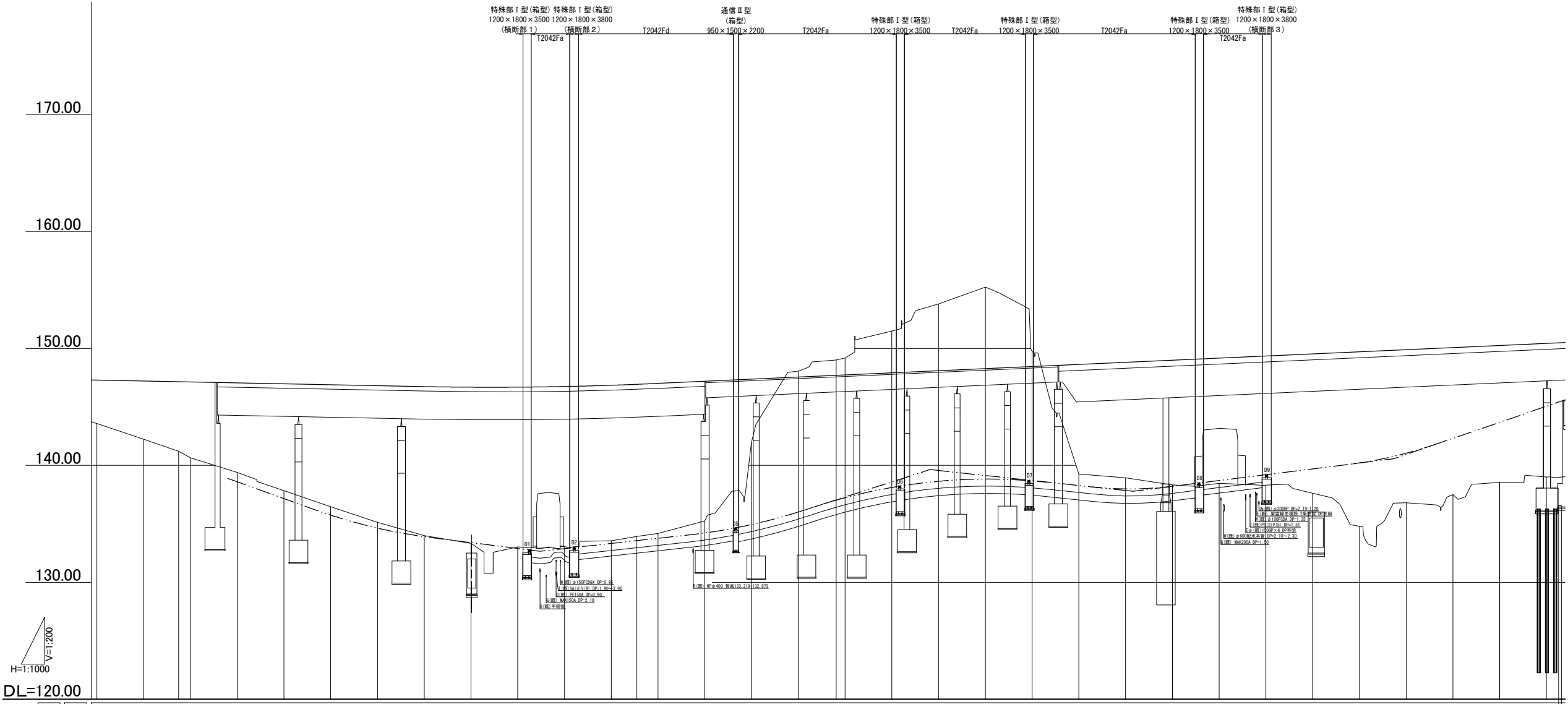


測量中心線(横断図)										電線共同溝		
片配	曲率	測点	単距離	追加距離	地盤高	計画高	勾配	測点	計画高	下り線配	土盛り(電力)	
		NO.217	20.00	4340.00		147.292						
		NO.218	20.00	4360.00		147.212						
		KE F-1	14.982	4374.982		147.152						
		NO.219	5.018	4380.000		147.132						
		NO.220	20.00	4400.000		147.052						
		NO.221	20.00	4420.000		146.972						
		NO.222	20.00	4440.000		146.892						
		NO.223	20.00	4460.000		146.812						
		NO.224	20.00	4480.000		146.732						
		NO.225	20.00	4500.000		146.652						
		NO.226	20.00	4520.000		146.572						
		NO.227	12.000	4540.000		146.492						
		NO.228	20.00	4560.000		146.412						
		KE F-2	10.965	4570.965		146.332						
		NO.229	9.035	4580.000		147.007						
		NO.230	20.00	4600.000		147.187						
		NO.231	20.00	4620.000		147.367						
		NO.232	20.00	4640.000		147.547						
		KA F-2	16.229	4656.229		147.693						
		NO.233	3.772	4660.000		147.727						
		NO.234	20.00	4680.000		147.906						
		NO.235	20.00	4700.000		148.086						
		NO.236	20.00	4720.000		148.266						
		NO.237	20.00	4740.000		148.446						
		NO.238	20.00	4760.000		148.626						
		NO.239	20.00	4780.000		148.805						
		NO.240	20.00	4800.000		148.985						
		NO.241	20.00	4820.000		149.165						
		NO.242	20.00	4840.000		149.345						
		NO.243	20.00	4860.000		149.525						
		NO.244	20.00	4880.000		149.704						
		NO.245	20.00	4900.000		149.884						
		NO.246	20.00	4920.000		150.064						
		NO.247	20.00	4940.000		150.244						
		NO.248	20.00	4960.000		150.424						

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	縦断図 下り線(電力)		
縮尺	V=1:200 H=1:1000	図面番号	92 の 70
年月日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

縦断図 下り線(通信) V=1:200
H=1:1000

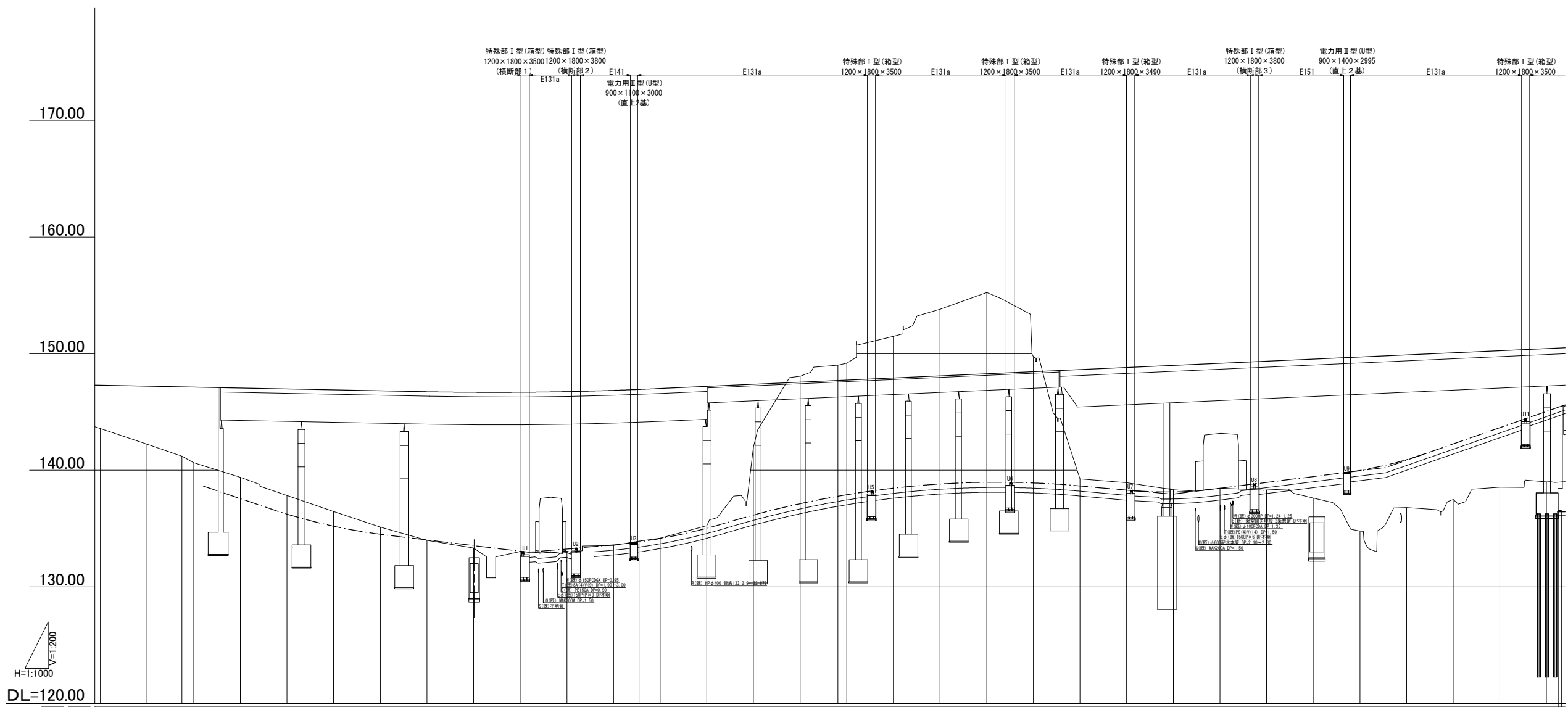


測量中心線(横断図)										連結側道(下り線)		電線共同溝	
片勾配	曲率	測点	単距離	追加分	地盤高	計画高	勾配	測点	計画高	下り線勾配	土盛り(通電)		
	$L=85.263$ $R=368.598$ $IA=42-24-21$ $CL=368.598$	NO217	20.00	4340.000		147.292							
		NO218	20.00	4360.000		147.212							
		KE 6-1 NO219	14.982 5.018	4374.982 4380.000		147.152 147.132							
		NO220	20.00	4400.000		147.052							
		NO221	20.00	4420.000		146.972							
		NO222	20.00	4440.000		146.892							
		NO223	20.00	4460.000		146.812							
		NO224	20.00	4480.000		146.732							
		NO225	20.00	4500.000		146.288							
		NO226 +0.000	20.00 8.000	4520.000 4528.000		146.468 146.540						0.60	
	$L=85.263$ $R=368.598$ $IA=42-24-21$ $CL=368.598$	NO227	12.000	4540.000		146.648					0.60		
		NO228	20.00	4560.000		146.828						0.60	
		KE 6-2 NO229	10.965 9.035	4570.965 4580.000		146.926 147.007						0.60	
		NO230	20.00	4600.000		147.187						0.60	
		NO231	20.00	4620.000		147.367						0.60	
		NO232	20.00	4640.000		147.547						0.60	
		KA 6-2 NO233	16.228 3.772	4656.228 4660.000		147.693 147.727						0.60	
		NO234	20.00	4680.000		147.906						0.60	
		NO235	20.00	4700.000		148.086						0.60	
		NO236	20.00	4720.000		148.266						0.60	
	$L=85.263$ $R=368.598$ $IA=42-24-21$ $CL=368.598$	NO237	20.00	4740.000		148.446					0.60		
		NO238	20.00	4760.000		148.626						0.60	
		NO239	20.00	4780.000		148.805						0.60	
		NO240	20.00	4800.000		148.985						0.60	
		NO241	20.00	4820.000		149.165						0.60	
		NO242	20.00	4840.000		149.345						0.60	
		NO243	20.00	4860.000		149.525						0.60	
		NO244	20.00	4880.000		149.704						0.60	
		NO245	20.00	4900.000		149.884						0.60	
		NO246	20.00	4920.000		150.064						0.60	
	$L=85.263$ $R=368.598$ $IA=42-24-21$ $CL=368.598$	NO247	20.00	4940.000		150.244					0.60		
		NO248	20.00	4960.000		150.424						0.60	

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

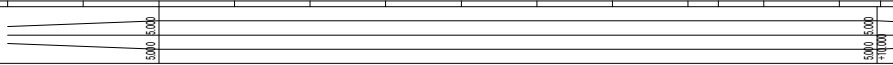
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	縦断図 下り線(通信)		
縮 尺	V=1:200 H=1:1000	図面番号	92 の 71
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

縦断図 上り線(電力) V=1:200
H=1:1000



H=1:1000
V=1:200

DL=120.00

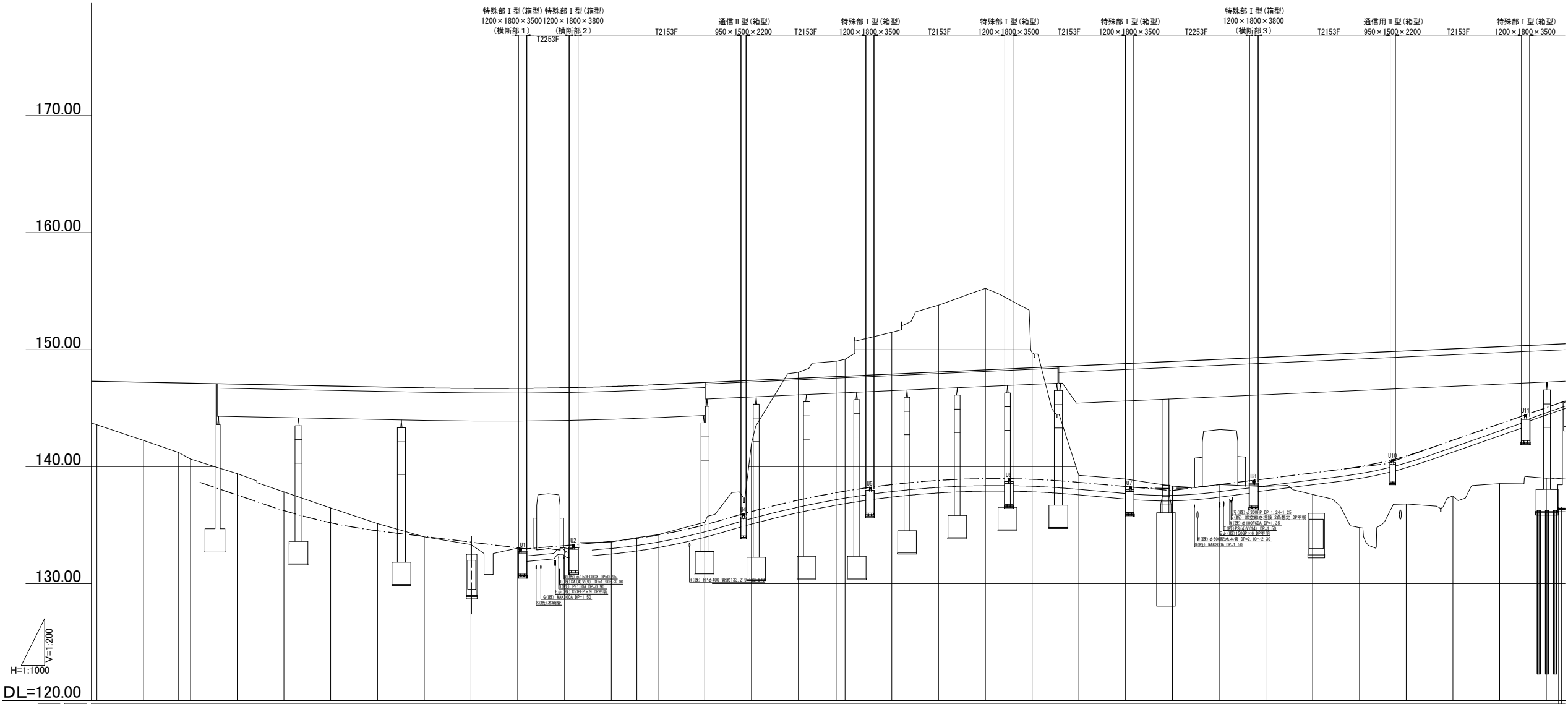
測量中心線(横断図)										連結側道(上り線)			電線共同溝	
片勾配	曲率	測点	単距離	追加距離	地盤高	計画高	勾配	測点	計画高	下線勾配		土盛り (電力)		
		NO217	20.00	4340.00		147.292								
		NO218	20.00	4360.00		147.212								
		KE F-1	14.982	4374.982		147.152								
		NO219	5.018	4380.00		147.132								
		NO220	20.00	4400.00		147.052								
		NO221	20.00	4420.00		146.972								
		NO222	20.00	4440.00		146.892								
		NO223	20.00	4460.00		146.812								
		NO224	20.00	4480.00		146.732								
		NO225	20.00	4500.00		146.652								
		NO226	20.00	4520.00		146.572						0.45		
		NO227	12.00	4540.00		146.492						0.60		
		NO228	20.00	4560.00		146.412						0.45		
		KE F-2	10.965	4570.965		146.326						0.45		
		NO229	9.035	4580.00		147.007						0.45		
		NO230	20.00	4600.00		147.187						0.45		
		NO231	20.00	4620.00		147.367						0.45		
		NO232	20.00	4640.00		147.547						0.45		
		KA F-2	16.228	4656.228		147.653						0.45		
		NO233	3.772	4660.00		147.727						0.45		
		NO234	20.00	4680.00		147.906						0.45		
		NO235	20.00	4700.00		148.086						0.45		
		NO236	20.00	4720.00		148.266						0.45		
		NO237	20.00	4740.00		148.446						0.45		
	NO238	20.00	4760.00		148.626						0.45			
	NO239	20.00	4780.00		148.805						0.45			
	NO240	20.00	4800.00		148.985						0.60			
	NO241	20.00	4820.00		149.165						0.60			
	NO242	20.00	4840.00		149.345						0.45			
	NO243	20.00	4860.00		149.525						0.45			
	NO244	20.00	4880.00		149.704						0.45			
	NO245	20.00	4900.00		149.884						0.45			
	NO246	20.00	4920.00		150.064						0.45			
	NO247	20.00	4940.00		150.244						0.45			
	NO248	20.00	4960.00		150.424						0.45			

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	縦断図 上り線(電力)		
縮 尺	V=1:200 H=1:1000	図面番号	92 の 72
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

縦断図 上り線(通信)

V=1:200
H=1:1000



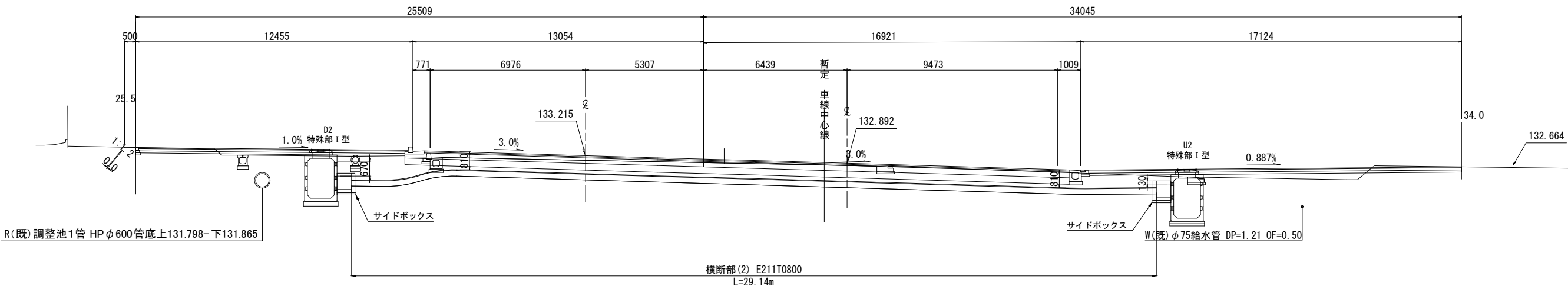
測量中心線(横断図)					連結側道(上り線)					電線共同溝	
片勾配	曲率	測点	単距離	追加分	地盤高	計画高	勾配	測点	計画高	下り線勾配	土盛り(通信)
1:500	L=85.263 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO217	20.00	4340.00		147.292					
		NO218	20.00	4360.00		147.212					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	KE F-1 NO219	14.982 5.018	4374.982 4380.000		147.152 147.132					
		NO220	20.00	4400.00		147.052					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO221	20.00	4420.00		146.972					
		NO222	20.00	4440.00		146.892					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO223	20.00	4460.00		146.812					
		NO224	20.00	4480.00		146.732					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO225	20.00	4500.00		146.652					
		NO226	20.00	4520.00		146.572					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO227	8.000 12.000	4528.000 4540.000		146.540 146.648	146.540				
		NO228	20.00	4560.00		146.828					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	KE F-2 NO229	10.965 9.035	4570.965 4580.000		146.926 147.007					
		NO230	20.00	4600.00		147.187					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO231	20.00	4620.00		147.367					
		NO232	20.00	4640.00		147.547					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	KA F-2 NO233	16.228 3.772	4656.228 4660.000		147.693 147.721					
		NO234	20.00	4680.00		147.906					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO235	20.00	4700.00		148.086					
		NO236	20.00	4720.00		148.266					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO237	20.00	4740.00		148.446					
		NO238	20.00	4760.00		148.626					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO239	20.00	4780.00		148.806					
		NO240	20.00	4800.00		148.986					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO241	20.00	4820.00		149.166					
		NO242	20.00	4840.00		149.346					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO243	20.00	4860.00		149.526					
		NO244	20.00	4880.00		149.706					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO245	20.00	4900.00		149.886					
		NO246	20.00	4920.00		150.066					
1:500	L=195.983 R=380.0 IA=42-24-21 L=366.309	NO247	20.00	4940.00		150.246					
		NO248	20.00	4960.00		150.426					

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

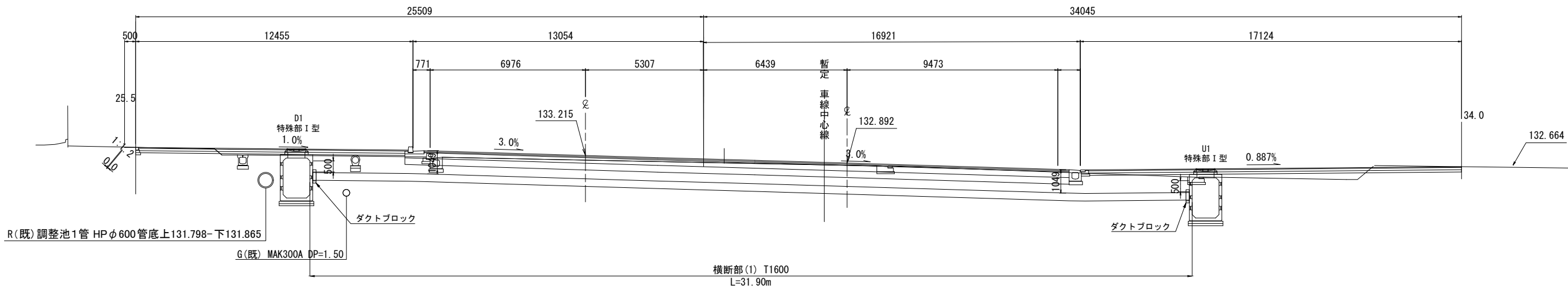
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	縦断図 上り線(通信)		
縮 尺	V=1:200 H=1:1000	図面番号	92 の 73
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断部詳細図 S=1:100

横断部(2)



横断部(1)

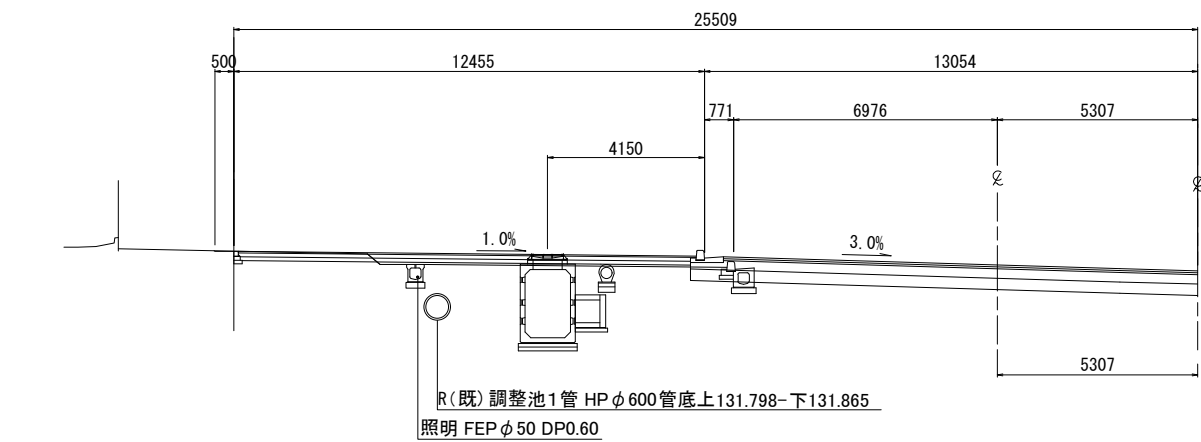


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

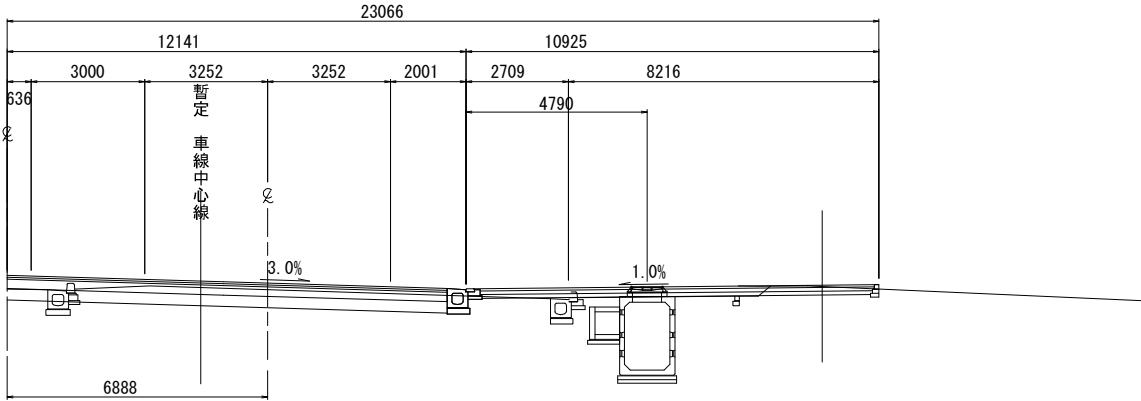
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断部詳細図		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 74
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

特殊部横断図 S=1:100

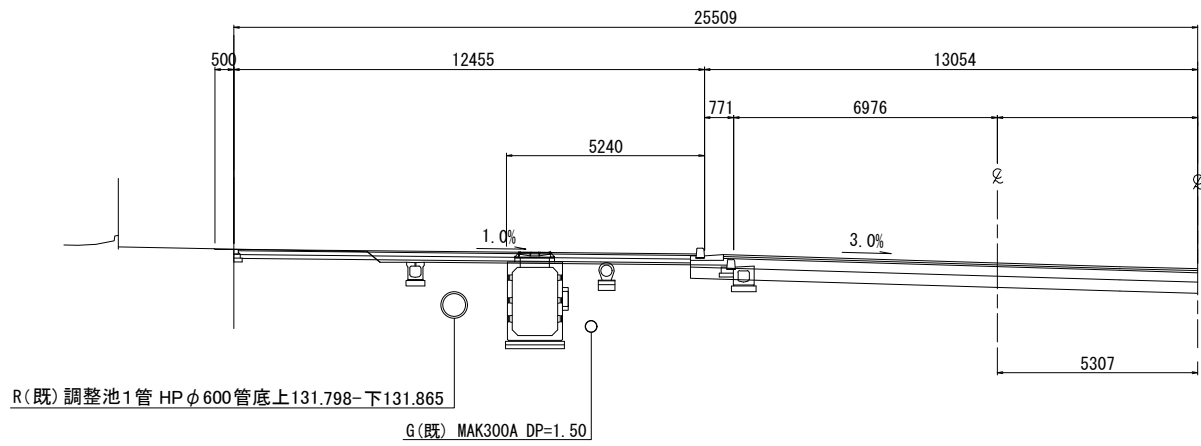
D2
特殊部 I 型 (箱型)
1200×1800×3800
(横断部2)



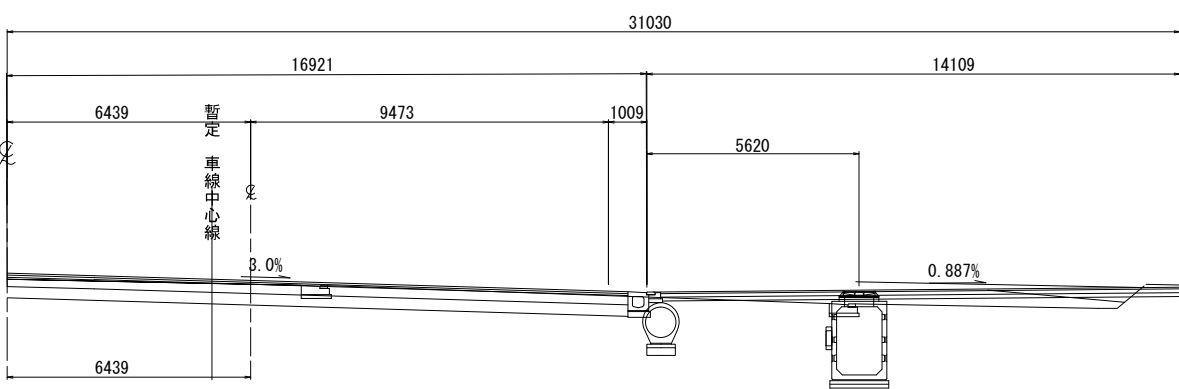
U2
特殊部 I 型 (箱型)
1200×1800×3800
(横断部2)



D1
特殊部 I 型 (箱型)
1200×1800×3500
(横断部1)



U1
特殊部 I 型 (箱型)
1200×1800×3500
(横断部1)



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

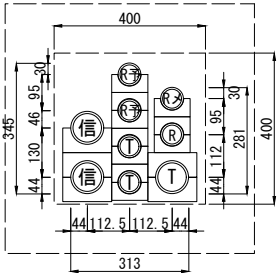
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	特殊部横断図		
縮 尺	1:100	図面番号	92 の 75
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

管路部断面図 ケーブル収容図 S=1 : 10

横断部(1)

T3600

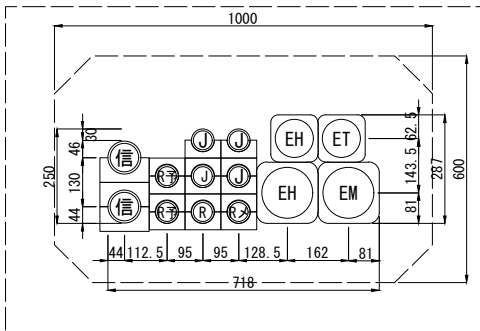
起点側 終点側



横断部(2)

E211T2800

起点側 終点側



記 号	企 業 名	横断部(1)					管 種
		φ130	φ100	保通 φ100	φ75	φ50	
EH	東京電力	電力高压管					FEP
EM		分灯管					FEP
ET		保安通信管					FEP
T	NTT				1	2	PV
TK	TOKAIコミュニケーションズ						PV
J	ジェイコム東京						PV
KD	KDDI						PV
R	道路管理者管					1	PV
R予	電線共同溝予備管 (事後入溝用)					2	PV
Rメ	道路管理者分灯管					1	PV
信	信号管路				2		PV
計					3	6	

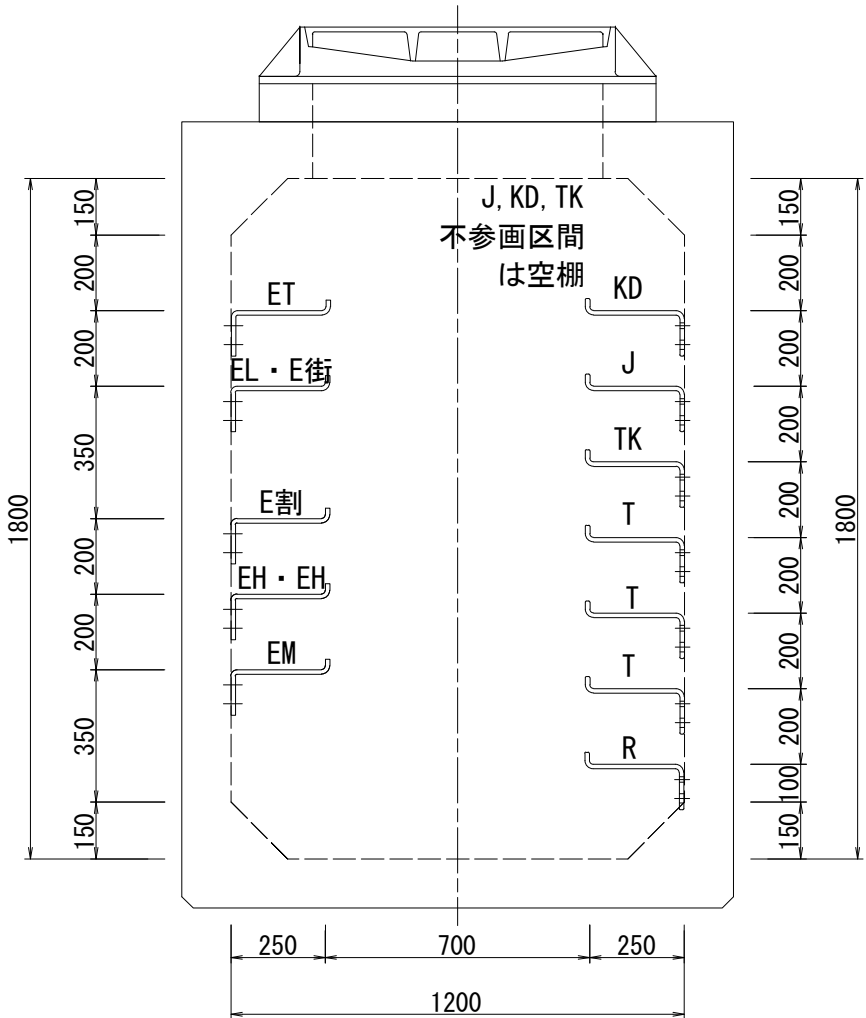
記 号	企 業 名	横断部(2)					管 種
		φ130	φ100	保通 φ100	φ75	φ50	
EH	東京電力	電力高压管	1	1			FEP
EM		分灯管	1				FEP
ET		保安通信管		1			FEP
T	NTT						PV
TK	TOKAIコミュニケーションズ						PV
J	ジェイコム東京					4	PV
KD	KDDI						PV
R	道路管理者管					1	PV
R予	電線共同溝予備管 (事後入溝用)					2	PV
Rメ	道路管理者分灯管					1	PV
信	信号管路				2		PV
計		2	1	1	2	8	

特殊部 I 型

(1200×1800)

車道側

民地側



凡 例

記号	管理者等
EH	東京電力（高压）
EL	東京電力（低压）
ET	東京電力（通信）
T	NTT東日本
TK	TOKAIコミュニケーションズ
J	JCOM東京
KD	KDDI
R	道路管理者

管路名称の法則

E 2 3 1 T O O 5 4 F a

↓ φ130管数 (電力/通信管) ↓ φ100管数 (通信管) ↓ 通信管 ↓ φ50管数 (ホテイ管外) ↓ φ30管数 ↓ 下記参照 ※

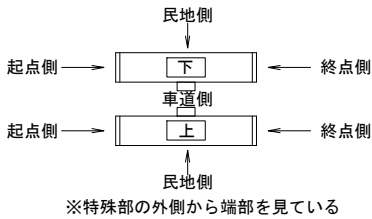
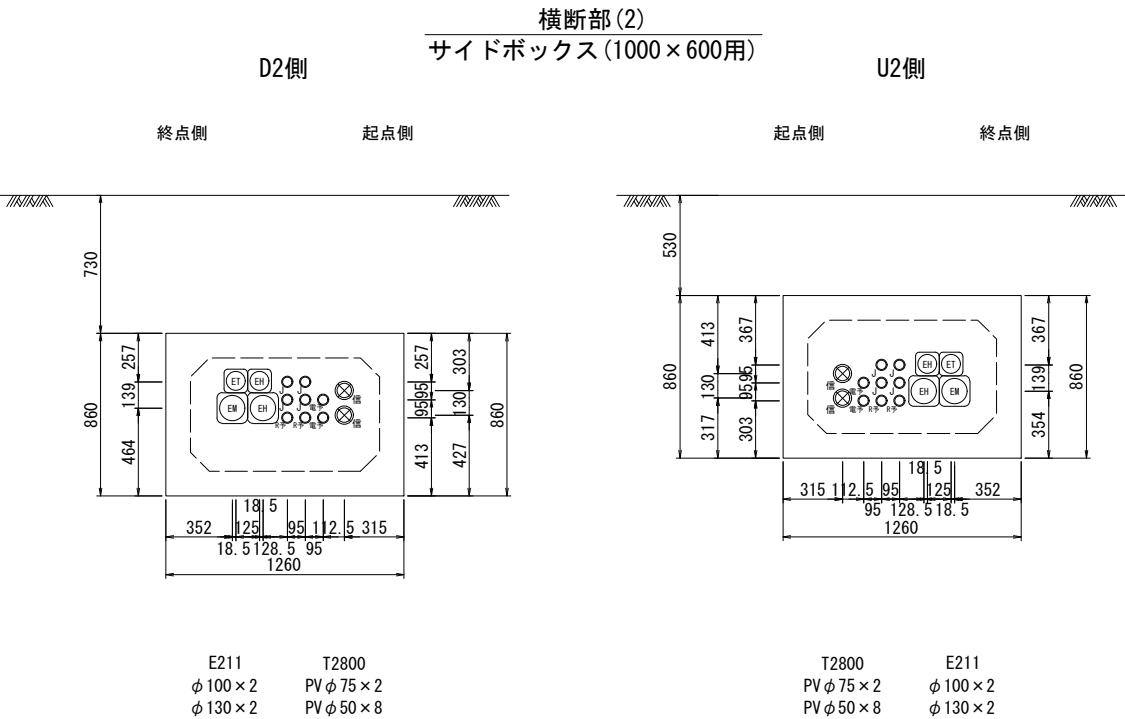
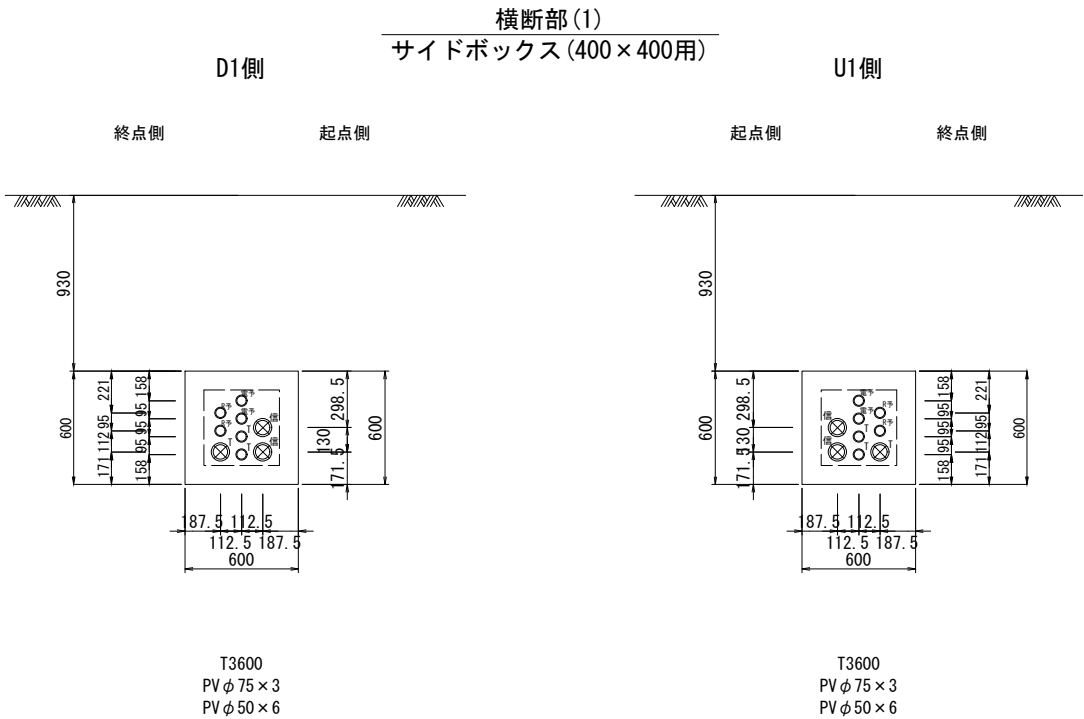
電力管 φ100管数 (電力管) φ75管数 (ホテイ管外) φ50管数 共用FA管有無

- ・小文字アルファベットについては、管路条数が同数であっても、入溝ケーブルや管並びに相違がある場合に分類のため表記するものとする。
- ・管数には、余剰管を含まない。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	管路部断面図 ケーブル収容図		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 76
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

横断部端壁配管図 S=1:20



電力/車道側		通信/民地側	
記号	種別	記号	企業者
EL	低圧	T	N T T
EL	高圧	TK	TOKAIコミュニケーションズ
EM	メンテナンス管	J	J C O M
ET	保安通信	KD	K D D I
		TM、通M	メンテナンス管
		R	道路管理者
		信	信号配管

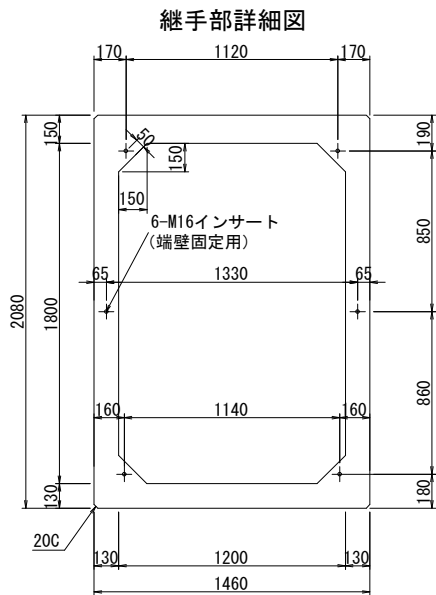
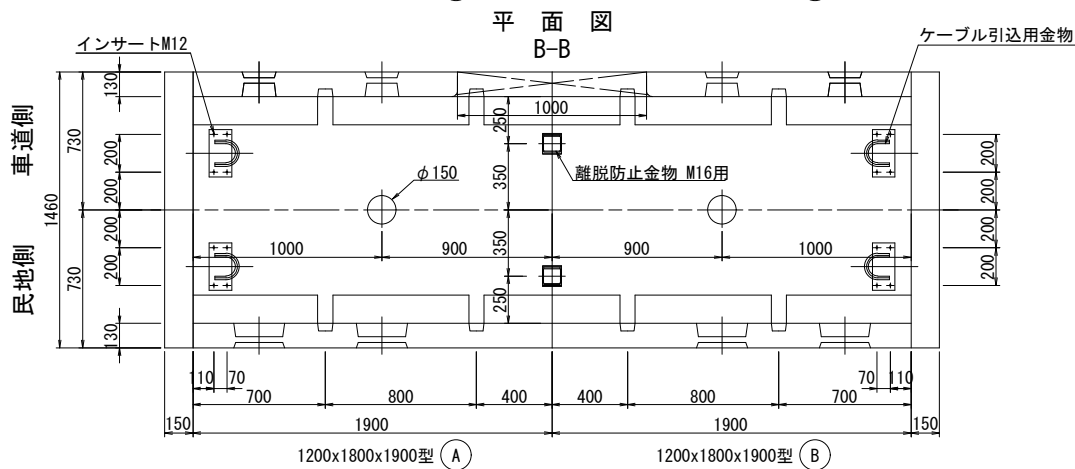
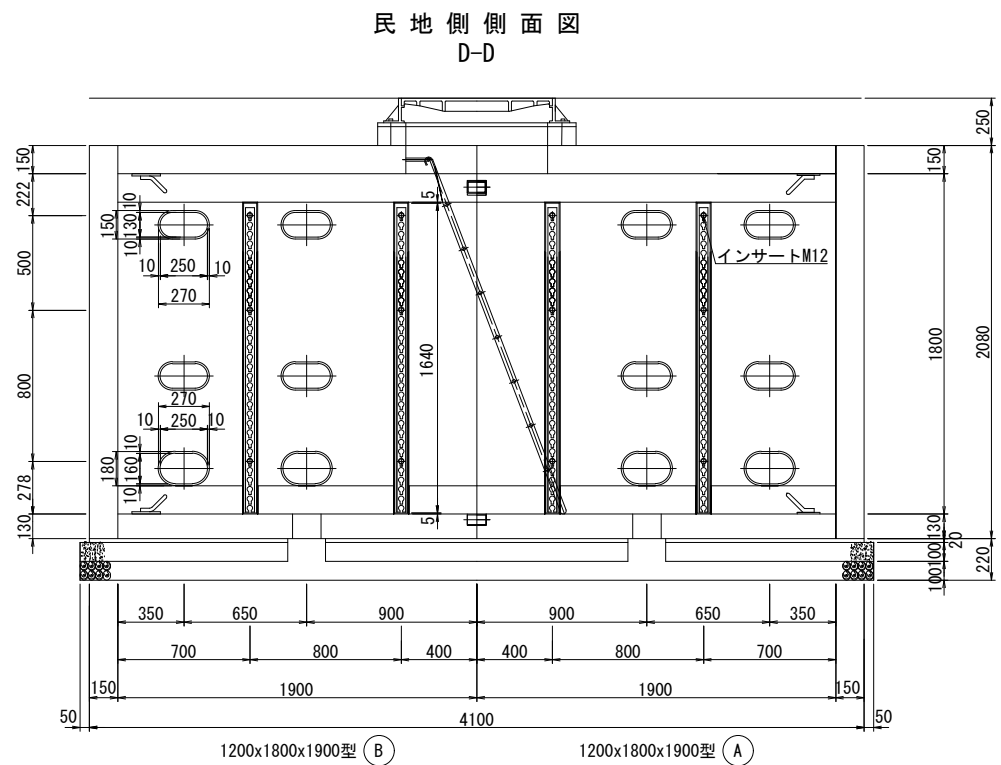
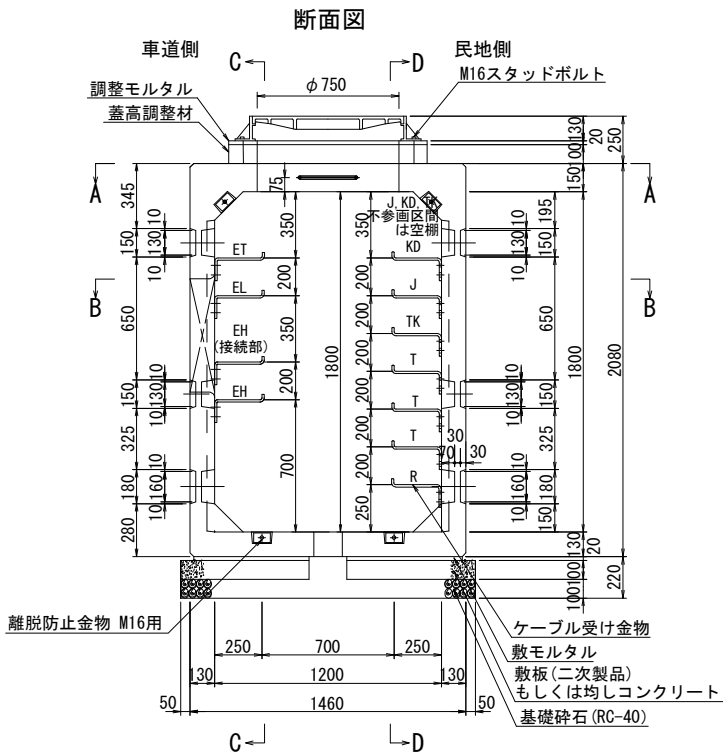
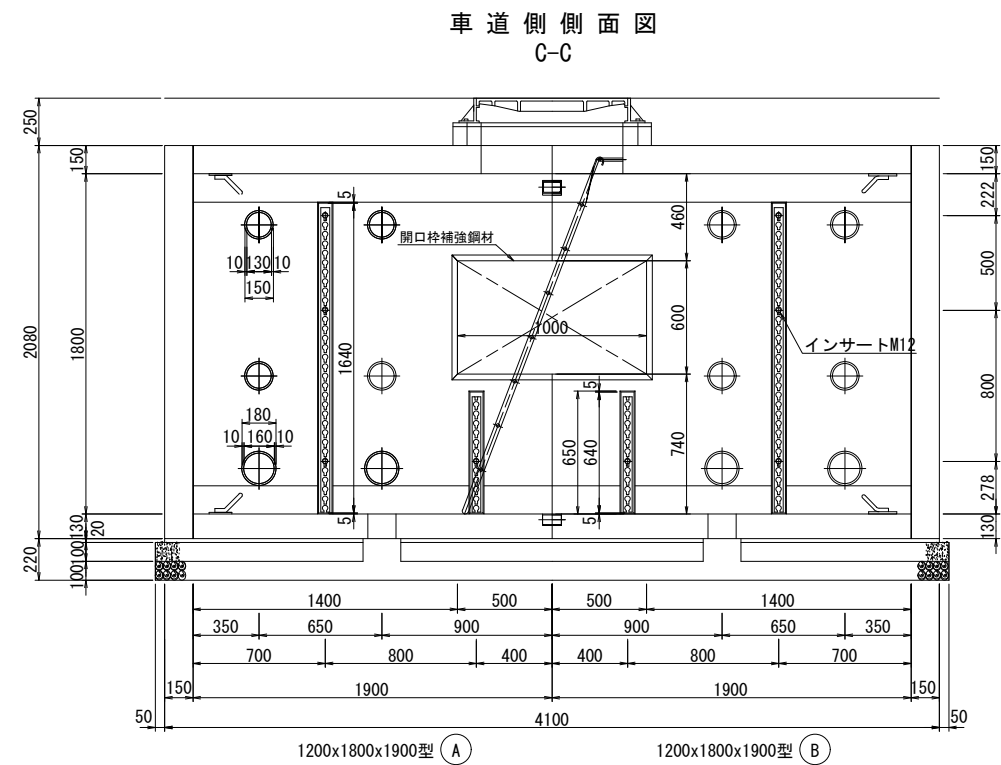
※管種の⊗はφ75のダクトスリーブを示す。
※管種の⊙は連系管又は引込管を示す。
※管種の∪は将来設置予定箇所を示す。
※管種の○は設置済箇所を示す。

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	横断部端壁配管図		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 77
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

特殊部構造図(1)_{S=1:20}
BOX I型（歩道用）1200×1800×3800 道路横断部

設置箇所:D2

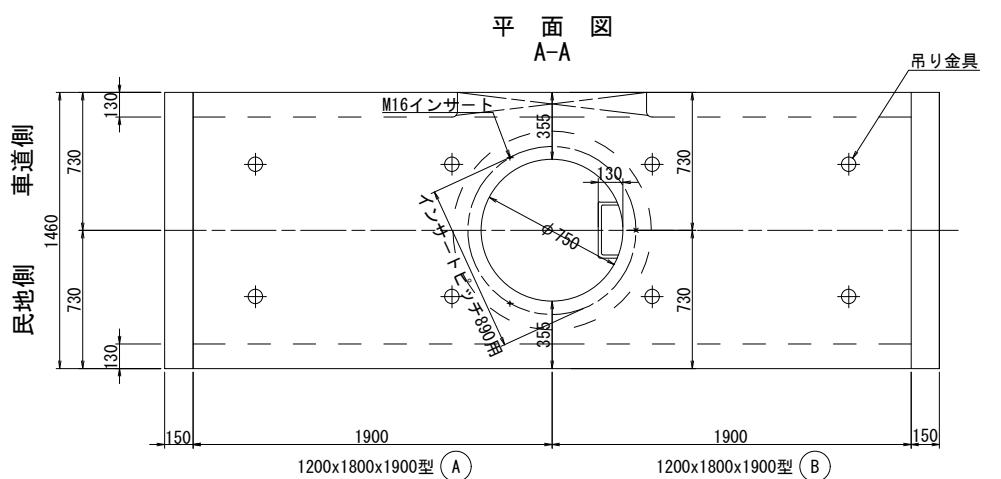


種別	規格	数量
BOX型本体	1200x1800x1900 (A)	1 個
"	1200x1800x1900 (B)	1 個
端壁	1460x2080x150	2 個
蓋高調整材 (調整リング)	φ 750 H100	1 組
サイドボックス	1000×600×650	1 組
インサート・ワッシャー	立金物取付用 SUS304 M12	20 組
離脱防止金物	メッキ仕上 M16	4 組
ケーブル引込金物	SUS304 M12	32 組
調整リング吊り用	メッキ仕上 M16	3 組
ステップ固定用	SUS304 M16	2 組
端壁取付用インサート	メッキ仕上 M16	12 組
端壁取付用ボルト	メッキ仕上 M16x150	12 組
蓋用インサート	SUS304 M16	3 個
サイドボックス用	メッキ仕上 M16	4 組
角根丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	8 組
スタッドボルト、ワッシャー、ナット	SUS304 M16x290	— 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZ45 1610x47x40x4.5	6 個
立金物Aタイプ	SS400 HDZ45 610x47x40x4.5	2 個
ケーブル受け金物 (道路管理者用)	SS400 HDZ55 PL75x12 (250用)	4 個
ケーブル引込金物	SS400 HDZ55 φ 19	8 個
離脱防止用金物	SS400 HDZ55	4 組
鋳鉄製蓋	φ 750	1 組
吊り金具	4 t 用, L=100	8 個
昇降用梯子	SS400 HDZ55 幅250x長さ2100	1 個
梯子取付用ステップ (ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	1 個
調整リング用ステップ (ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	— 個
開口部補強鋼材	SS400 HDZ55 PL6x1000x600 (分割)	1 組
基礎	敷モルタル 1 : 3	0.115 m ³
礎	均しコンクリート f' ck=18 N/mm ²	0.649 m ³
工	基礎砕石 RC-40	0.663 m ³
敷板	f' ck=21 N/mm ²	

プレキャスト製品とする
注) :スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。
※鋳鉄蓋の構造に計上

設計荷重	活荷重	T25 1 輪 50 kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1	
構造形式	工場製品鉄筋コンクリート箱型断面	
内空寸法 (幅x高さx長さ)	1200x1800x3800	
土の単位重量	γ = 19 kN/m ³	
土圧係数	Ka = 0.5	
使用材料	コンクリート (L=1900A)	設計基準強度 f' ck=40 N/mm ²
	(L=1900B)	f' ck=40 N/mm ²
	鉄筋	SD295
参考質量	B型本体 (L=1900A)	4070 kg
	" (L=1900B)	4070 kg
	端壁 (1ヶ当)	1140 kg

注) 水圧を考慮する場合は別途検討するものとする。

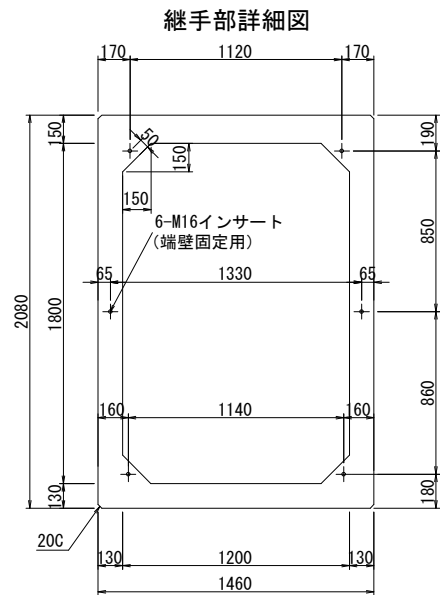
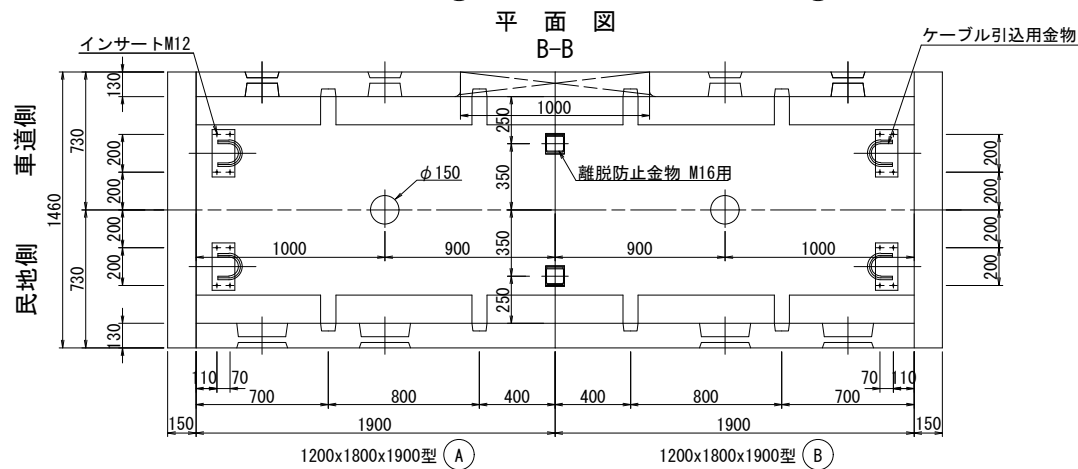
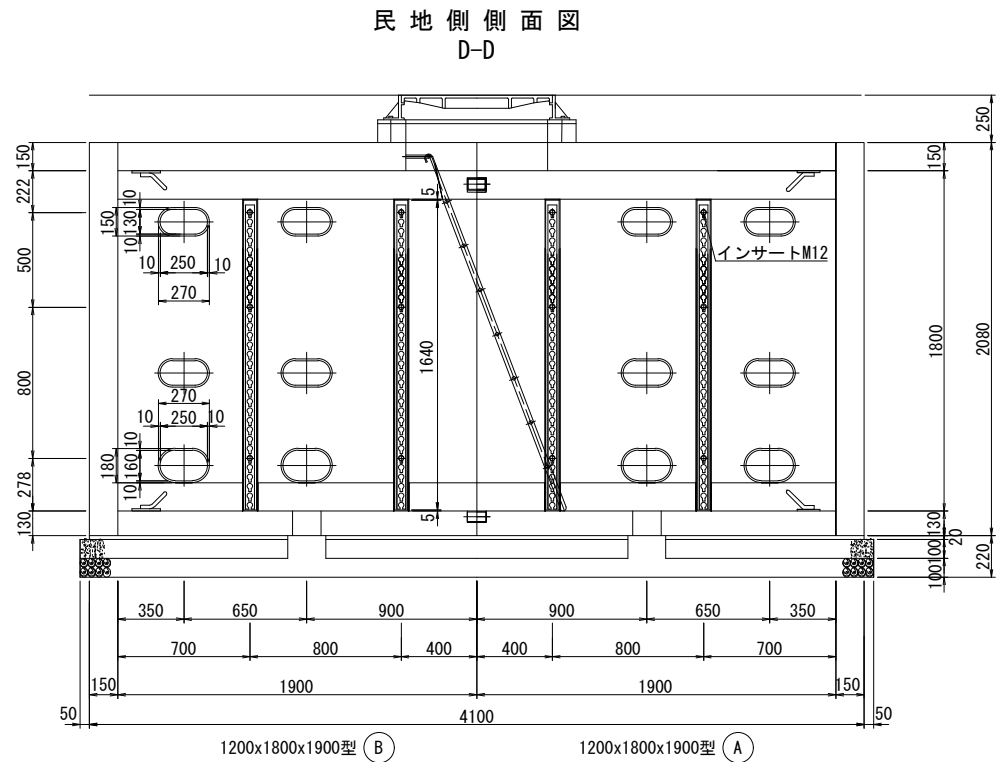
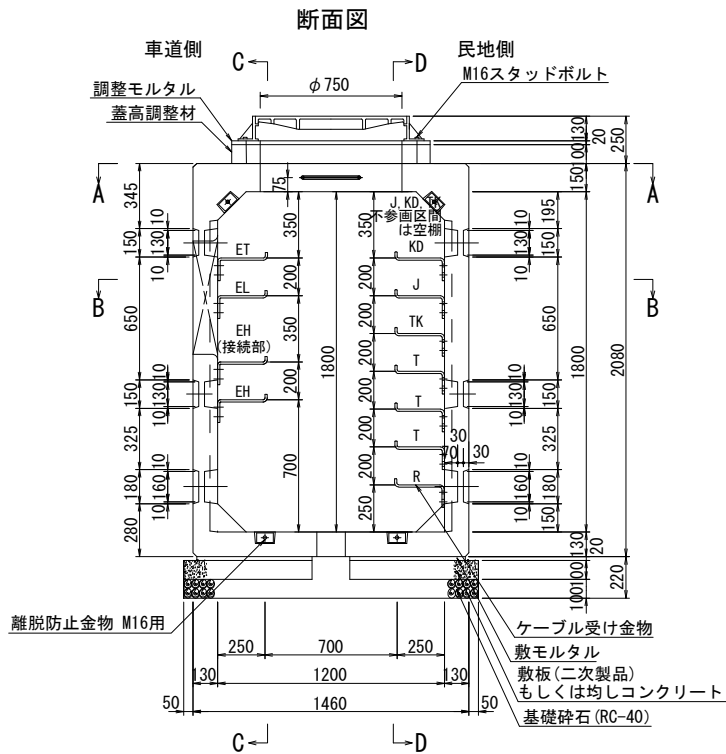
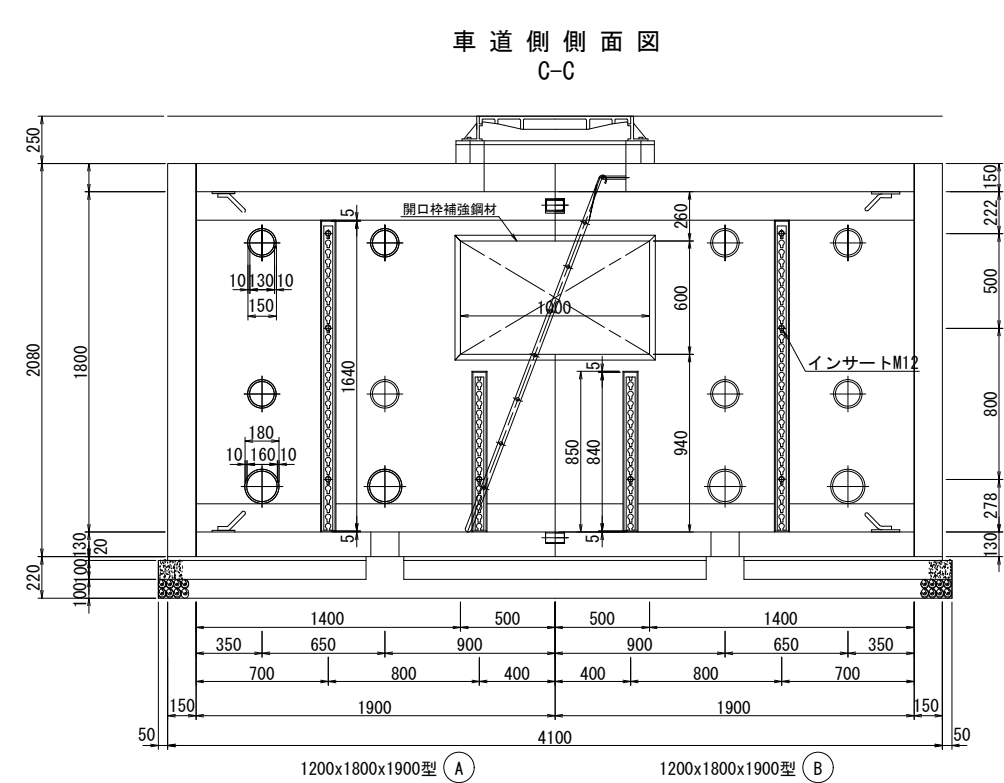


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	特殊部構造図(1)		
縮尺	1:20	図面番号	92 の 78
年月日	令和8年4月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

特殊部構造図(2) S=1:20
BOX I型（歩道用）1200×1800×3800 道路横断部

設置箇所:U2

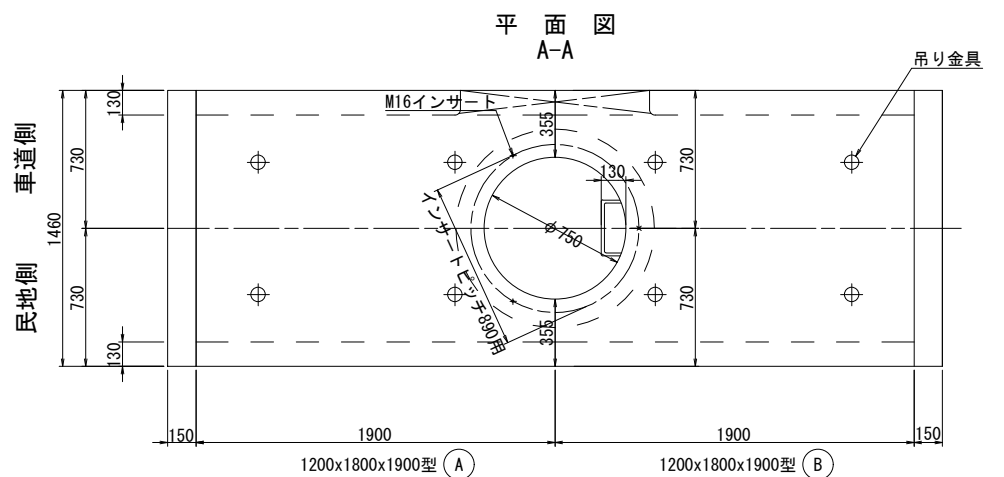


種別	規格	数量
BOX型本体	1200x1800x1900 (A)	1 個
"	1200x1800x1900 (B)	1 個
端壁	1460x2080x150	2 個
蓋高調整材 (調整リング)	φ 750 H100	1 組
サイドボックス	1000×600×650	1 組
インサート・ワッシャー	立金物取付用 SUS304 M12	20 組
離脱防止金物	メッキ仕上 M16	4 組
ケーブル引込金物	SUS304 M12	32 組
調整リング吊り用	メッキ仕上 M16	3 組
ステップ固定用	SUS304 M16	2 組
端壁取付用インサート	メッキ仕上 M16	12 組
端壁取付用ボルト	メッキ仕上 M16x150	12 組
蓋用インサート	SUS304 M16	3 個
サイドボックス用	メッキ仕上 M16	4 組
角根丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12	8 組
スタッドボルト、ワッシャー、ナット	SUS304 M16x290	— 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZ45 1610x47x40x4.5	6 個
立金物Aタイプ	SS400 HDZ45 810x47x40x4.5	2 個
ケーブル受け金物 (道路管理者用)	SS400 HDZ55 PL75x12 (250用)	4 個
ケーブル引込金物	SS400 HDZ55 φ 19	8 個
離脱防止用金物	SS400 HDZ55	4 組
鋳鉄製蓋	φ 750	1 組
吊り金具	4 t 用, L=100	8 個
昇降用梯子	SS400 HDZ55 幅250x長さ2100	1 個
梯子取付用ステップ (ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	1 個
調整リング用ステップ (ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	— 個
開口部補強鋼材	SS400 HDZ55 PL6x1000x600 (分割)	1 組
敷モルタル	1 : 3	0.115 m ³
均しコンクリート	f'ck=18 N/mm ²	0.649 m ³
基礎砕石	RC-40	0.663 m ³
敷板	f'ck=21 N/mm ²	

プレキャスト製品とする
注) :スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。
※鋳鉄蓋の構造に計上

設計荷重	活荷重	T25 1 輪 50 kN
衝撃	側壁 i=0 底版 i=0.1	
構造形式	工場製品鉄筋コンクリート箱型断面	
内空寸法 (幅x高さx長さ)	1200x1800x3800	
土の単位重量	$\gamma = 19 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$K_a = 0.5$	
使用材料	コンクリート (L=1900A) (L=1900B)	設計基準強度 f'ck=40 N/mm ² f'ck=40 N/mm ²
鉄筋	SD295	
参考質量	B型本体 (L=1900A)	4070 kg
" (L=1900B)	4070 kg	
端壁 (1ヶ当)	1140 kg	

注) 水圧を考慮する場合は別途検討するものとする。

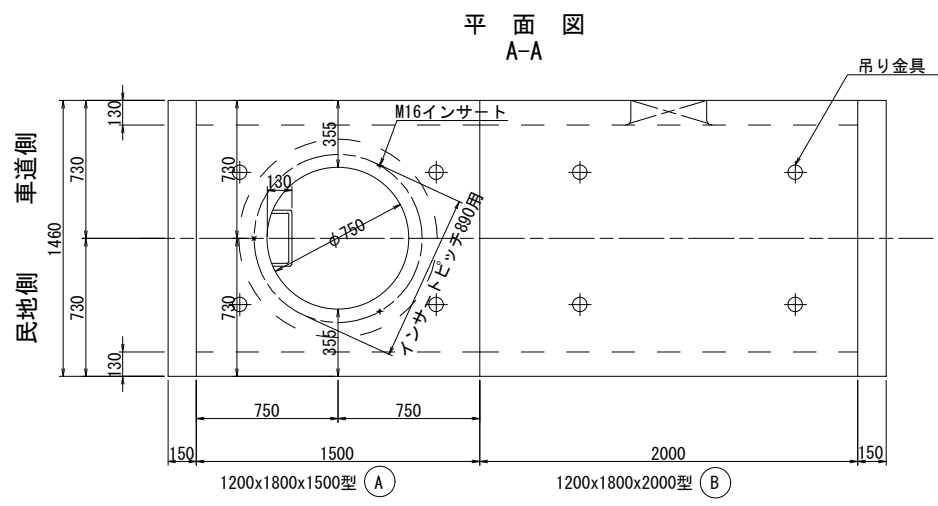
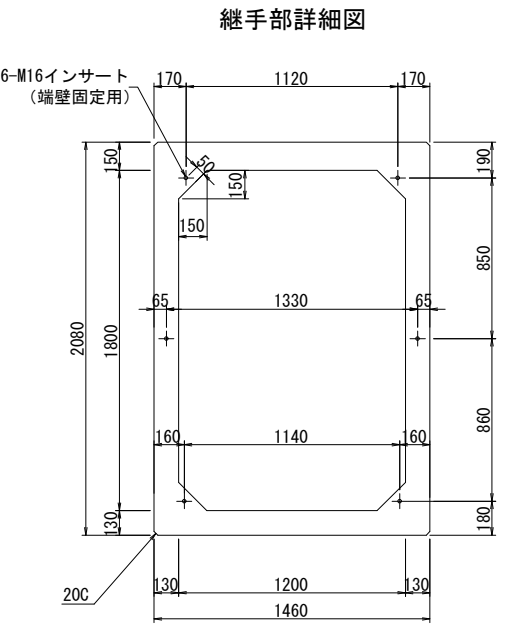
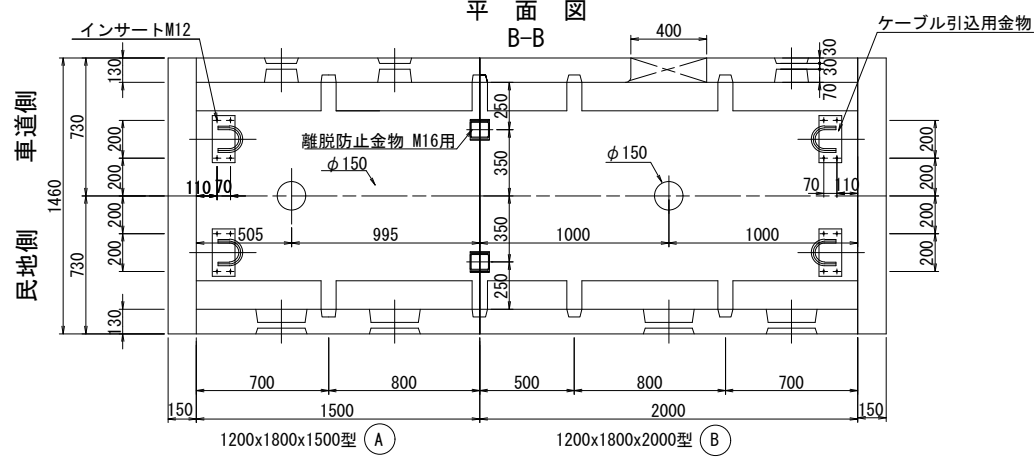
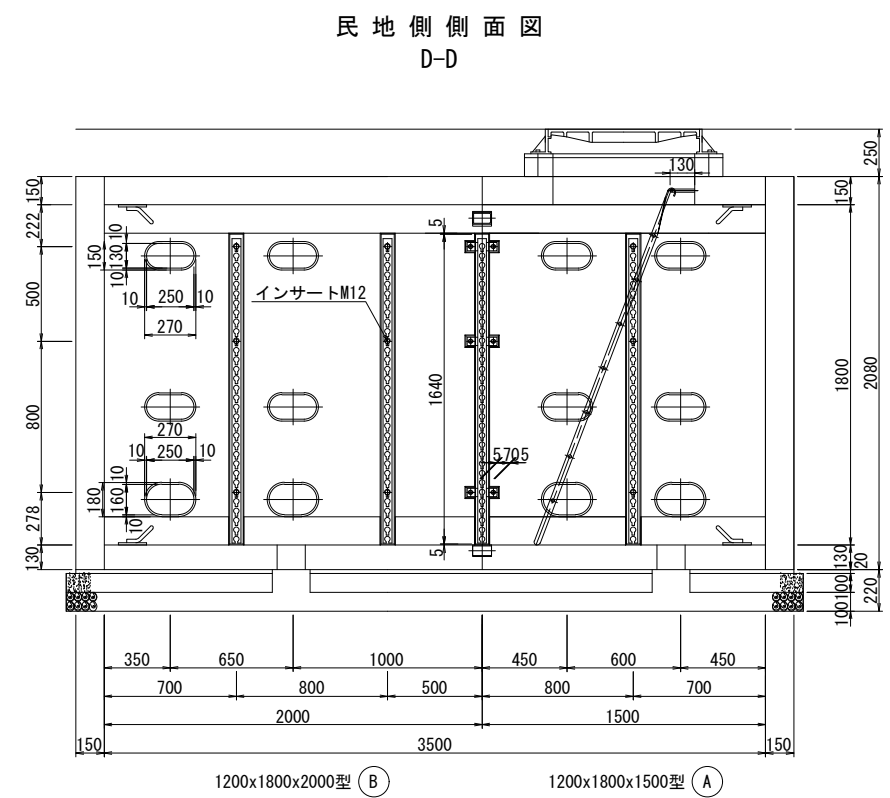
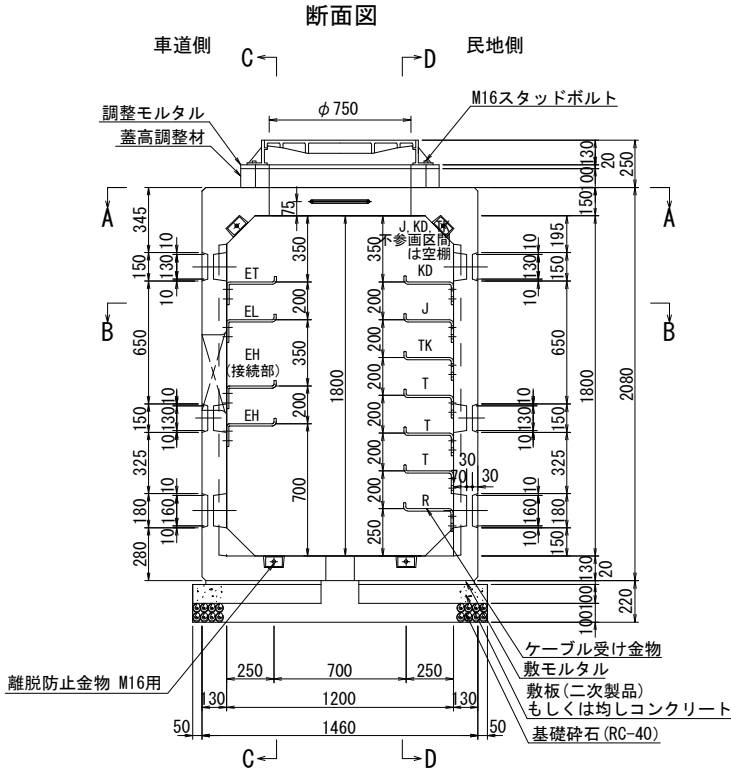
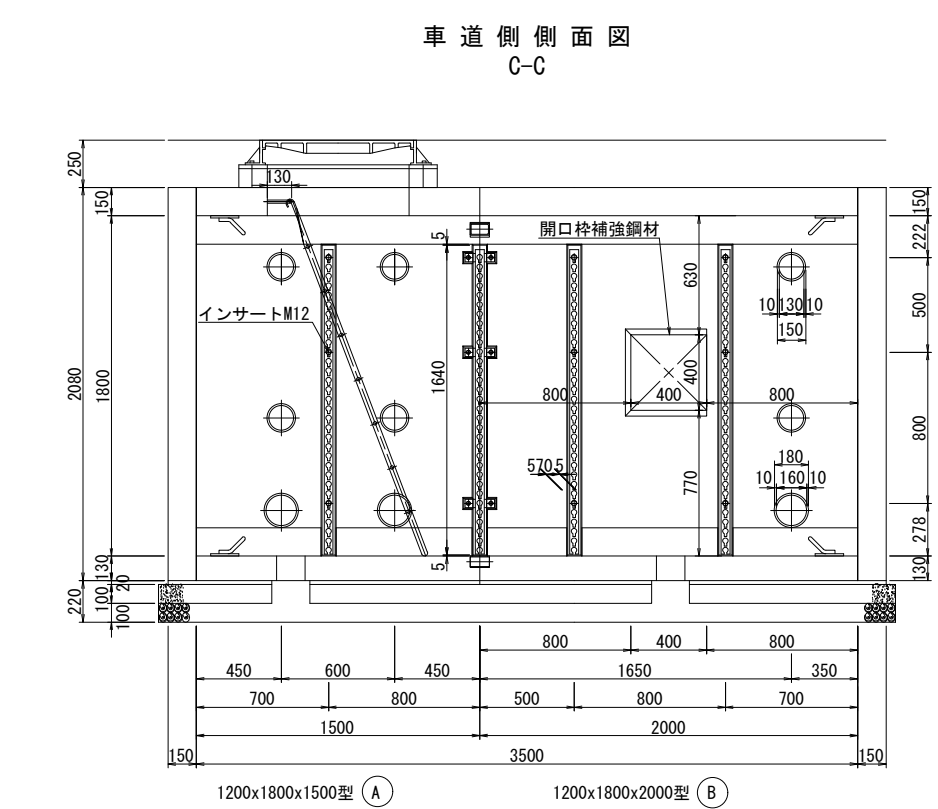


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	特殊部構造図(2)		
縮尺	1:20	図面番号	92 の 79
年月日	令和8年4月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

特殊部構造図(3) S=1:20
BOX I型（歩道用）1200×1800×3500 道路横断部

設置箇所:D1,U1



材 料 表

種 別	規 格	数 量
BOX型本体	1200x1800x1500 (A)	1 個
"	1200x1800x2000 (B)	1 個
端 壁	1460x2080x150	2 個
蓋高調整材(調整リング)	φ 750 H100	1 組
ダクトブロック	400×400用	1 組
イ ン サ ー ト ・ ワ ッ シ ャ ー	立金物取付用	SUS304 M12 30 組
	離脱防止金物用	メッキ仕上 M16 4 組
	ケーブル引込金物用	SUS304 M12 32 組
	調整リング吊り用	メッキ仕上 M16 3 組
	ステップ固定用	SUS304 M16 2 組
	端壁取付用インサート	メッキ仕上 M16 12 組
	端壁取付用ボルト	メッキ仕上 M16x150 12 組
	蓋用インサート	SUS304 M16 3 個
	ダクトブロック用	メッキ仕上 M16 4 組
	角根丸頭ボルト、ナット	SUS304 M12 8 組
スタッドボルト、ワッシャー、ナット	SUS304 M16x290	※ - 組
立金物Aタイプ	SS400 HDZ45 1610x47x40x4.5	6 個
立金物Bタイプ	SS400 HDZ45 1610x47x40x4.5	2 個
ケーブル受け金物(道路管理者用)	SS400 HDZ55 PL75x12 (250用)	4 個
ケーブル引込金物	SS400 HDZ55 φ 19	8 個
離脱防止用金物	SS400 HDZ55	4 組
鋳鉄製蓋	φ 750	1 組
吊り金具	4 t 用, L=100	8 個
昇降用梯子	SS400 HDZ55 幅250x長さ2100	1 個
梯子取付用ステップ(ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	1 個
調整リング用ステップ(ボルト固定)	φ 16 SS400 HDZ55	- 個
開口部補強鋼材	SS400 HDZ55 PL6x400x400(一体)	1 組
基 敷モルタル	1 : 3	0.107 m ³
礎 均しコンクリート	f' ck=18 N/mm ²	0.602 m ³
工 基礎砕石	RC-40	0.616 m ³
敷板	f' ck=21 N/mm ²	

プレキャスト製品とする
注):スタッドボルトは、現場において必要な長さにカットする。
※鋳鉄蓋の構造に計上

設 計 条 件

設計荷重	活 荷 重	T25 1 輪 50 kN
	衝 撃	側壁i=0 底版i=0.1
構 造 形 式	工場製品鉄筋コンクリート箱型断面	
	内空寸法(幅x高さx長さ)	
土 の 単 位 重 量	1200x1800x3500	
	γ = 19 kN/m ³	
土 圧 係 数	Ka = 0.5	
	設計基準強度 f' ck=40 N/mm ²	
使用材料	コンクリート (L=2000A)	f' ck=40 N/mm ²
	(L=1500B)	
鉄 筋	SD295	
	B型本体 (L=1500A)	3170 kg
参考質量	" (L=2000B)	4430 kg
	端壁 (1ヶ当)	1140 kg

注) 水圧を考慮する場合は別途検討するものとする。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	特殊部構造図(3)		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 80
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

端壁配筋図

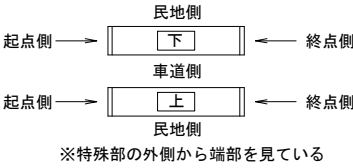
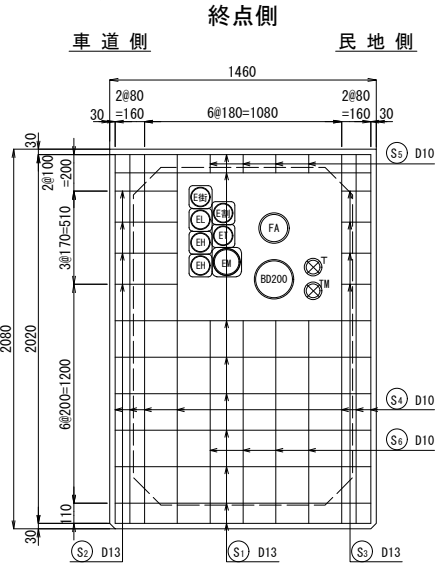
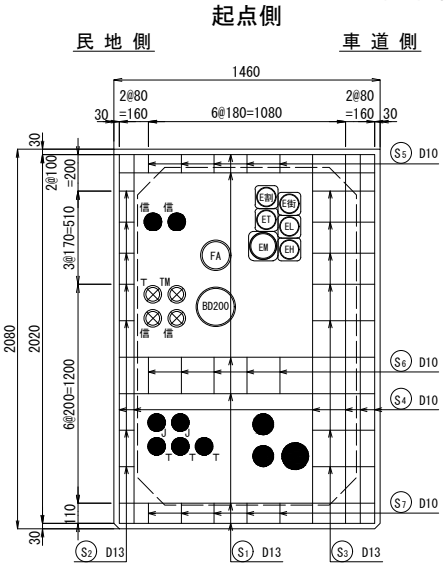
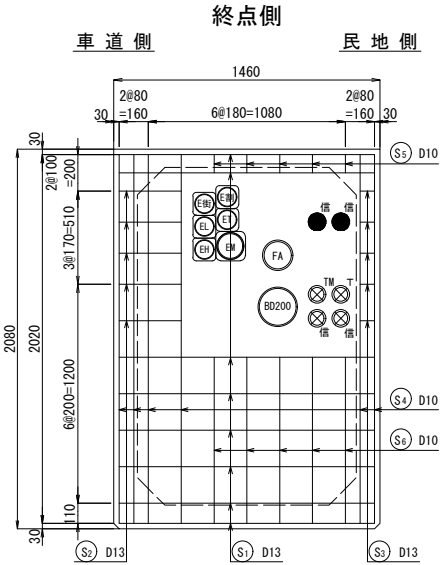
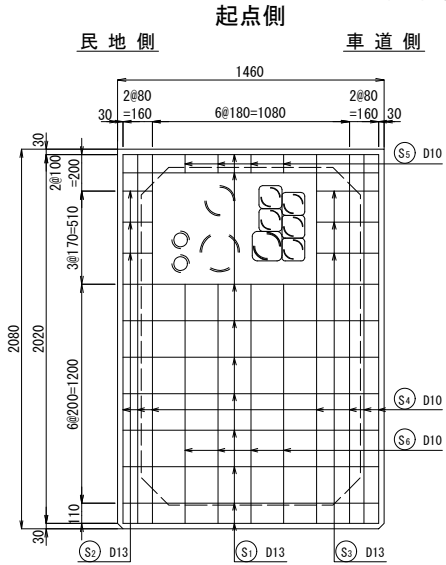
S=1:20

D1

特殊部Ⅰ型(箱型1200×1800用)

D2

特殊部Ⅰ型(箱型1200×1800用)



鉄筋表 (起点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	10	0.995	1.413	14.1	—
S2	〃	180	3	〃	0.179	0.5	—
S3	〃	360	3	〃	0.358	1.1	—
S4	D10	2040	7	0.560	1.142	8.0	
S5	〃	120	4	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	1330	4	〃	0.745	3.0	┘
D13						15.7	kg
D10						11.3	kg
鉄筋						27.0	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

鉄筋表 (終点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	8	0.995	1.413	11.3	—
S2	〃	360	5	〃	0.358	1.8	—
S3	〃	100	5	〃	0.100	0.5	—
S4	D10	2040	6	0.560	1.142	6.9	
S5	〃	120	5	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	930	5	〃	0.521	2.6	┘
D13						13.6	kg
D10						9.8	kg
鉄筋						23.4	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

鉄筋表 (起点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	6	0.995	1.413	8.5	—
S2	〃	100	7	〃	0.100	0.7	—
S3	〃	360	7	〃	0.358	2.5	—
S4	D10	2040	6	0.560	1.142	6.9	
S5	〃	120	5	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	220	5	〃	0.123	0.6	┘
S7	〃	130	5	〃	0.073	0.4	┘
D13						11.7	kg
D10						8.2	kg
鉄筋						19.9	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

鉄筋表 (終点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	9	0.995	1.413	12.7	—
S2	〃	360	4	〃	0.358	1.4	—
S3	〃	180	4	〃	0.179	0.7	—
S4	D10	2040	7	0.560	1.142	8.0	
S5	〃	120	4	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	1130	4	〃	0.633	2.5	┘
D13						14.8	kg
D10						10.8	kg
鉄筋						25.6	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

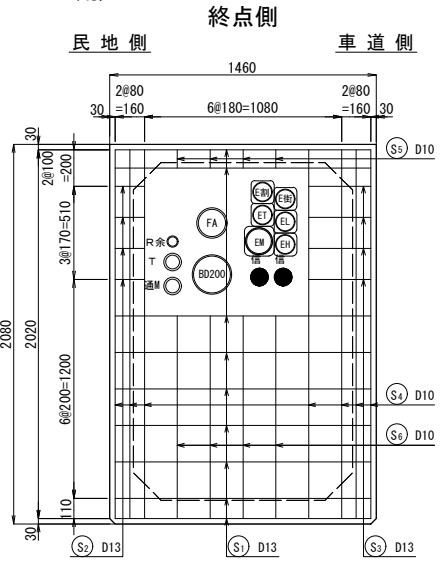
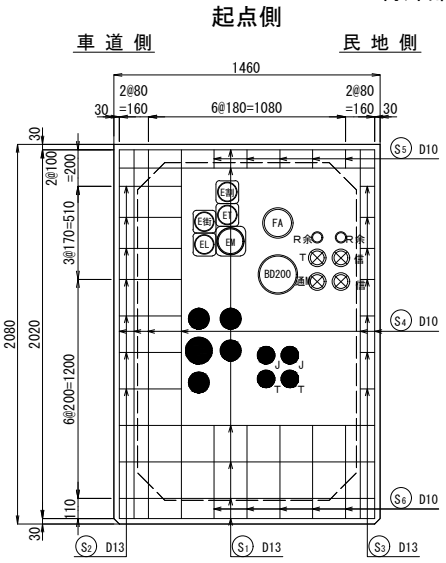
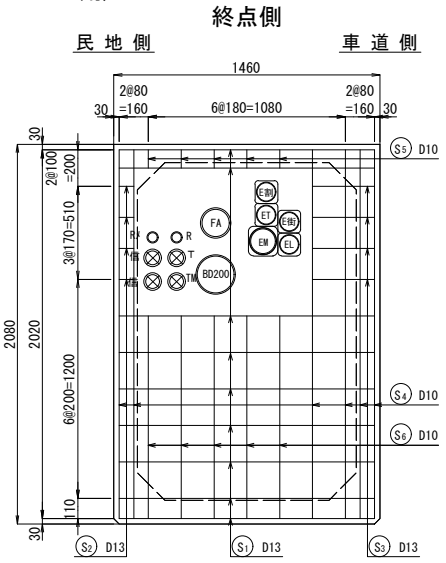
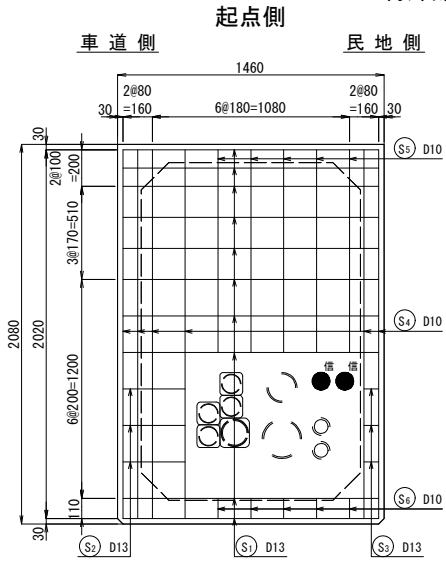
(上り線)

U1

特殊部Ⅰ型(箱型1200×1800用)

U2

特殊部Ⅰ型(箱型1200×1800用)



電力/車道側		通信/民地側	
記号	種別	記号	企業者
EL	低圧	T	N T T
EL	高圧	TK	TOKAIコミュニケーションズ
EM	メンテナンス管	J	J C O M
ET	保安通信	KD	K D D I
		TM, 通M	メンテナンス管
		R	道路管理者
		信	信号配管

※管種の⊗はφ75のダクトスリーブを示す。
※管種の●は連系管又は引込管を示す。
※管種の∪は将来設置予定箇所を示す。
※管種の○は設置済箇所を示す。

鉄筋表 (起点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	10	0.995	1.413	14.1	—
S2	〃	360	3	〃	0.358	1.1	—
S3	〃	100	3	〃	0.100	0.3	—
S4	D10	2040	6	0.560	1.142	6.9	
S5	〃	1130	5	〃	0.633	3.2	┘
S6	〃	130	5	〃	0.073	0.4	┘
D13						15.5	kg
D10						10.5	kg
鉄筋						26.0	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

鉄筋表 (終点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	9	0.995	1.413	12.7	—
S2	〃	100	4	〃	0.100	0.4	—
S3	〃	360	4	〃	0.358	1.4	—
S4	D10	2040	6	0.560	1.142	6.9	
S5	〃	120	5	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	1130	5	〃	0.633	3.2	┘
D13						14.5	kg
D10						10.4	kg
鉄筋						24.9	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

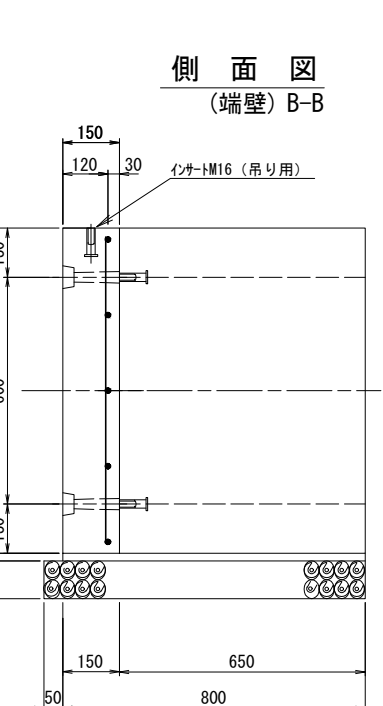
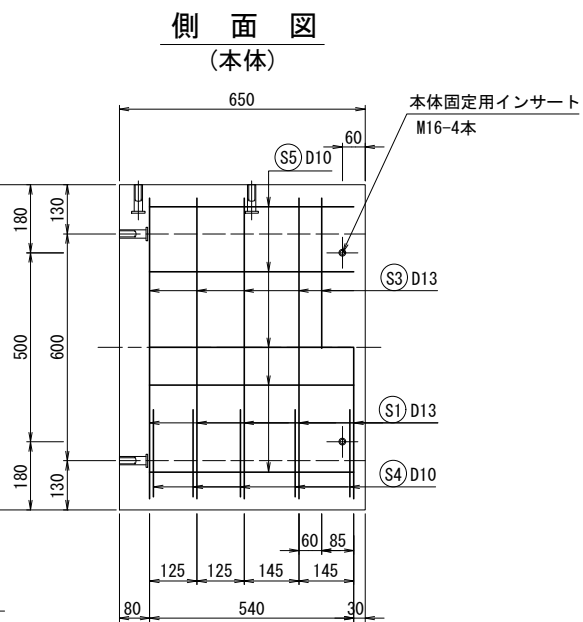
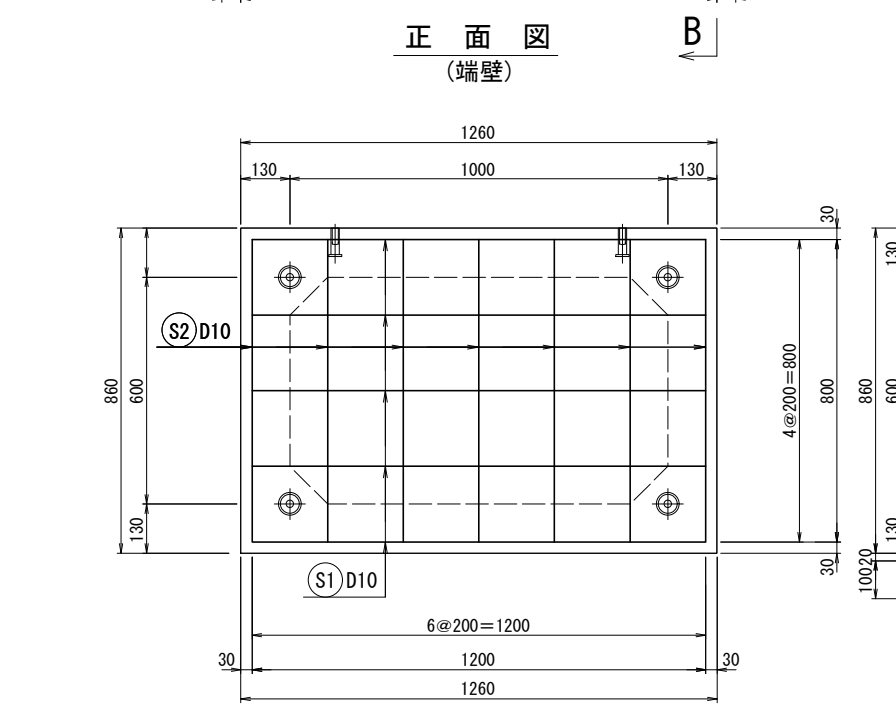
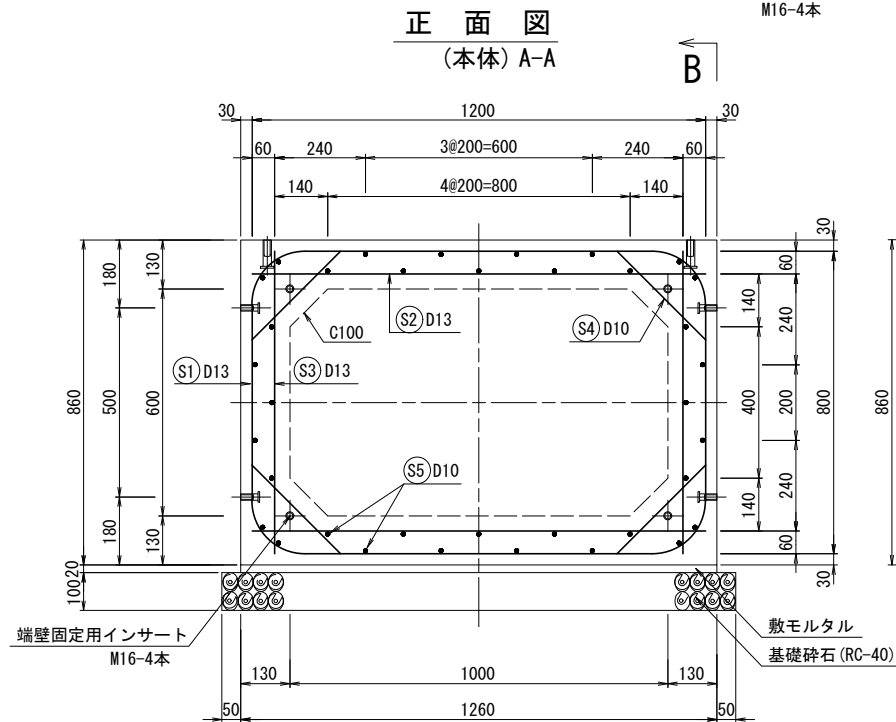
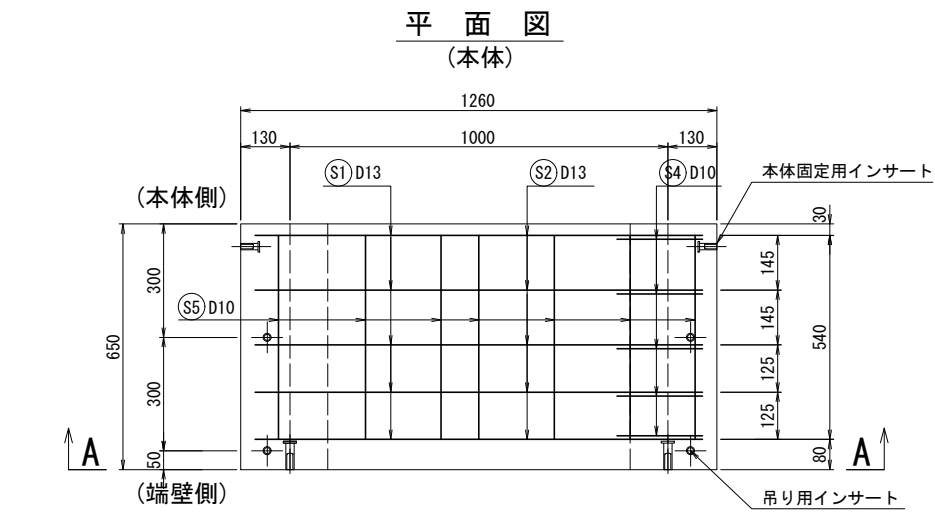
鉄筋表 (起点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	6	0.995	1.413	8.5	—
S2	〃	360	7	〃	0.358	2.5	—
S3	〃	100	7	〃	0.100	0.7	—
S4	D10	2040	6	0.560	1.142	6.9	
S5	〃	120	5	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	530	5	〃	0.297	1.5	┘
D13						11.5	kg
D10						8.7	kg
鉄筋						20.4	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

鉄筋表 (終点側)							
符号	径	1本当り長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D13	1420	9	0.995	1.413	12.7	—
S2	〃	180	4	〃	0.179	0.7	—
S3	〃	360	4	〃	0.358	1.4	—
S4	D10	2040	7	0.560	1.142	8.0	
S5	〃	120	4	〃	0.067	0.3	┘
S6	〃	1130	4	〃	0.633	2.5	┘
D13						14.8	kg
D10						10.8	kg
鉄筋						25.6	kg
コンクリート						0.456	m ³
総質量						1140	kg

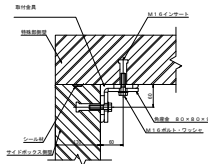
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号 八王子南IC大船寺田地区改良補装その1工事		
図 面 名	端壁配筋図		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 81
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

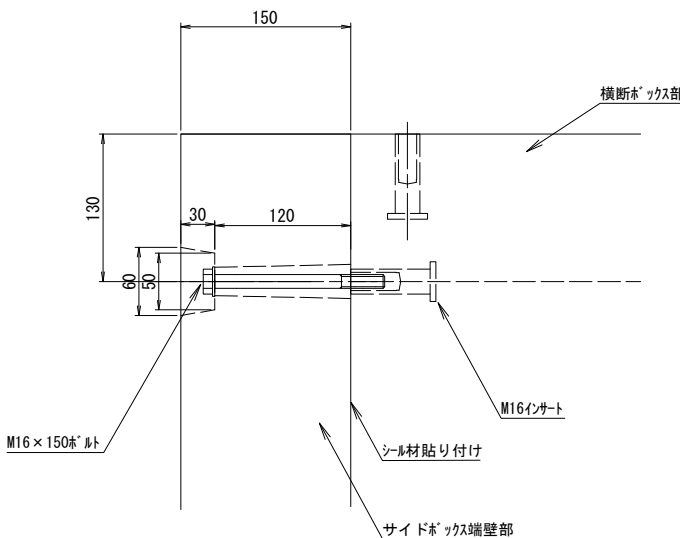
サイドボックス構造・配筋図
道路横断用(1000×600×650)



特殊部本体取付詳細図 S=1:3



横断ブロック取付詳細図 S=1:3



設計条件

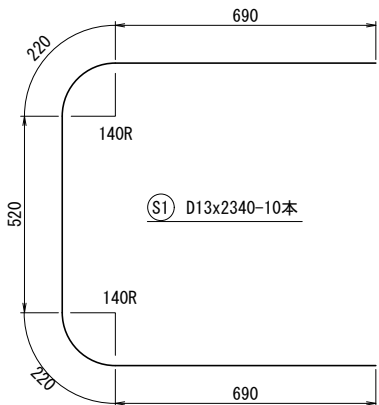
設計荷重	活荷重	1輪 100 kN (T-25仕様)
	衝撃	i = 0.4
構造型式	工場製品鉄筋コンクリート箱形断面	
内空寸法 (幅×高さ×長さ)	1000x600x650	
土の単位重量	$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$Ka = 0.5$	
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
	鉄筋	SD295
参考重量	本体	818 kg
	端壁	408 kg

鉄筋表 (本体)

符号	径	1本当りの長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当りの重量 (kg)	重量 (kg)	形状
S1	D13	2340	10	0.995	2.328	23.3	□
S2	〃	1200	10	〃	1.194	11.9	—
S3	〃	800	10	〃	0.796	8.0	
S4	D10	380	20	0.560	0.213	4.3	∖
S5	〃	570	36	〃	0.319	11.5	—
D13						43.2	kg
D10						15.8	〃
鉄筋						59.0	kg

鉄筋加工図

(曲げ加工のみ)



本体材料表

種別	規格	数量
インサート (本体固定用)	メッキ仕上げ M16×50	4 個
〃 (端壁固定用)	メッキ仕上げ M16×75	4 〃
〃 (吊り用)	メッキ仕上げ M16×75	4 〃
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×40	8 〃
取付金具、角座金	メッキ仕上げ L-100×100×10×100	4 組
シール材	20/30×20	3.8 m
敷モルタル	1:3	0.020 m ³
基礎砕石	RC-40	0.116 m ³

端壁材料表

種別	規格	数量
インサート (吊り用)	メッキ仕上げ M16×75	4 個
六角ボルト、ワッシャー	メッキ仕上げ M16×150	4 〃
シール材	10/20×15	3.8 m

鉄筋表 (端壁)

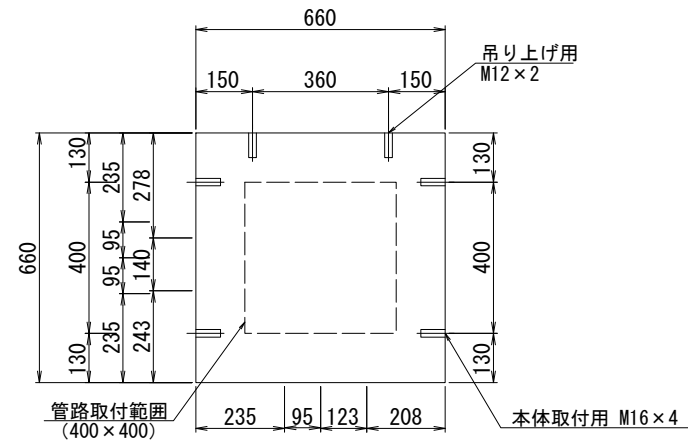
符号	径	1本当りの長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当りの重量 (kg)	重量 (kg)	形状
S1	D10	1200	5	0.560	0.672	3.4	—
S2	〃	800	7	〃	0.448	3.1	
鉄筋						7.2	kg

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

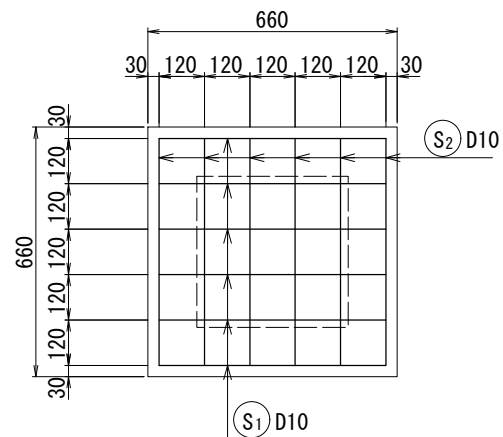
工事名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	サイドボックス構造・配筋図		
縮尺	図示	図面番号	92 の 82
年月日	令和8年4月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

ダクトブロック構造・配筋図
道路横断用(開口寸法 400×400)

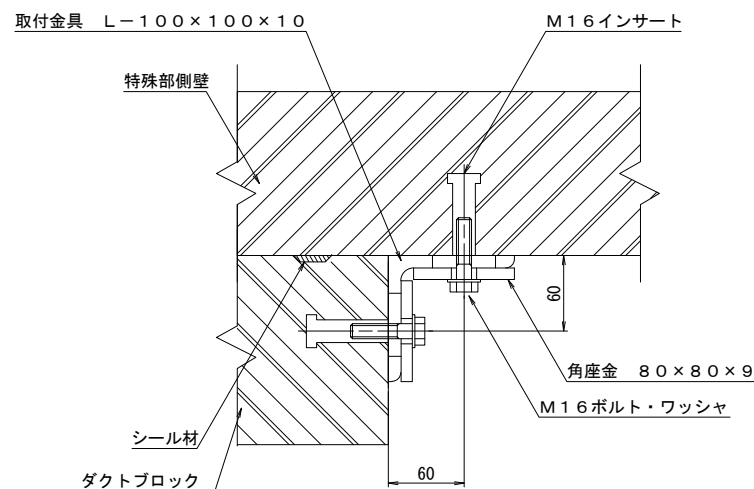
構造図 S=1:10



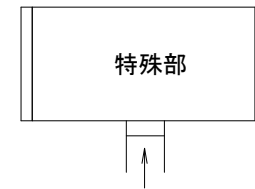
配筋図



取付詳細図 S = 1 : 3



※参考図 特殊部の外側から見たる



設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 50 kN
構造形状	工場製品 鉄筋コンクリートスラブ	
寸法 (幅×高×厚)	660×660×150	
土の単位重量	$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$	
土圧係数	$K_0 = 0.5$	
使用材料	コンクリート 鉄 筋	設計基準強度 $f'_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$ SD295
参考重量 (1 枚当り)	165 kg	

材料表

種 別	規 格	数量
ナット（取付金具用）	SUS304 M16	4個
ナット（吊上げ用）	メッキ仕上げ M12	2個
六角ボルト・ワッシャー（取付金具用）	メッキ仕上げ M16	4個
取付金具、角座金	メッキ仕上げ L-100×100×10×100	4個
シール材	10／20×15	2.4m

鉄筋表(1枚当り)

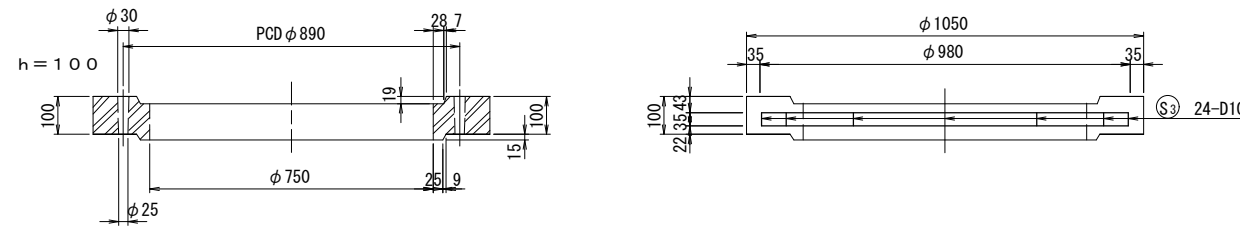
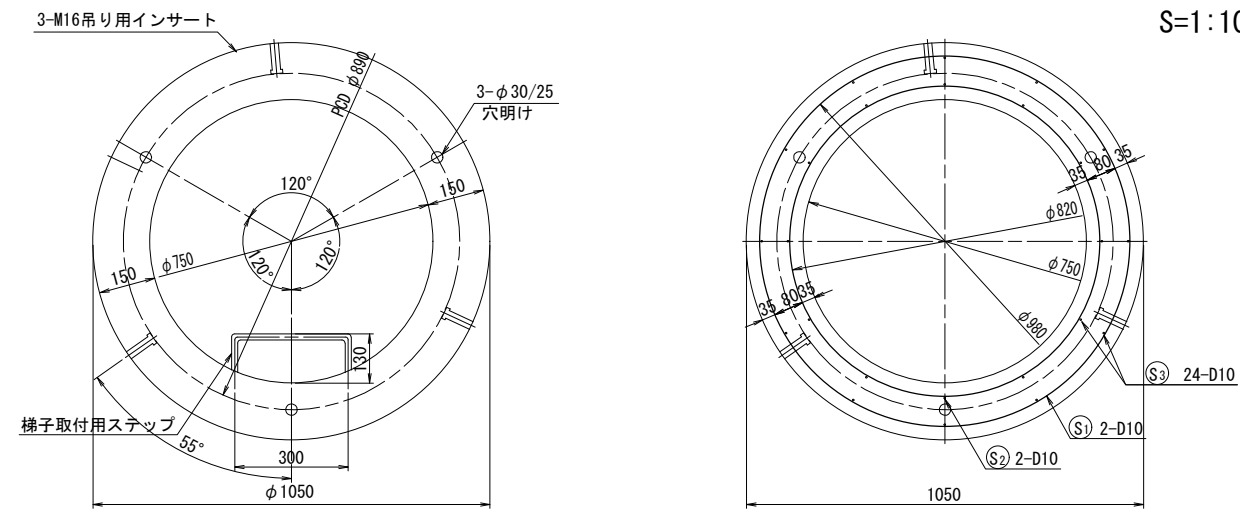
符号	径	1本当りの長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当りの質量 (kg)	質量 (kg)	形状
S1	D10	620	6	0.560	0.347	2.1	——
S2	〃	620	6	〃	0.347	2.1	
鉄筋合計 D10						4.2	
コンクリート						0.066 m ³	

工 事 名	R8国道20号八王子南IC大船寺田地区改良舗装等の1工事		
図 面 名	ダクトブロック構造・配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	92 の 83
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

蓋高調整材構造・配筋図
(調整リング φ750用)

S=1:10

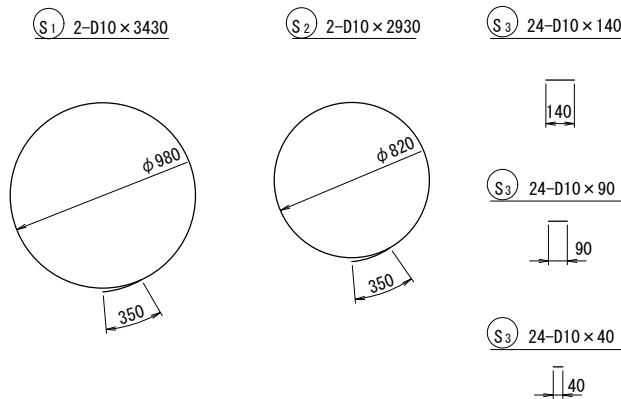


設計仕様

構造形式		工場製品鉄筋コンクリート調整ブロック
使用材料	コンクリート	設計基準強度 $f'_{ck} = 40\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD295

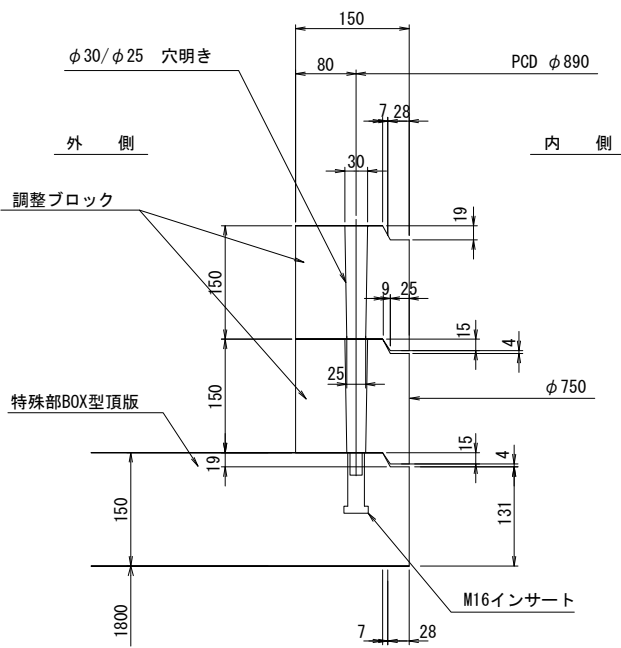
鉄筋加工図

S=1:20



調整ブロックの接合部詳細図

S=1:5



h=100
調整ブロック 材料表

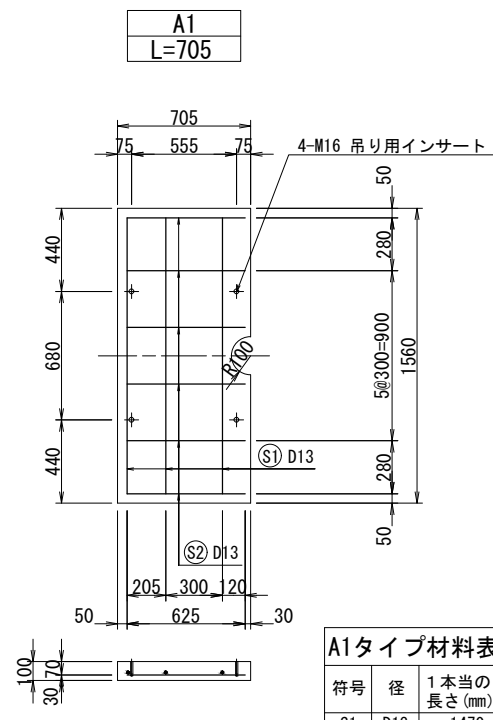
鉄筋表							1個当り
符号	径	1本当り長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量(kg)	重量(kg)	
S1	D10	3430	2	0.560	1.921	3.8	
S2	"	2930	2	"	1.641	3.3	
S3	"	40	24	"	0.022	0.5	
鉄筋重量					7.6	kg	
コンクリートの体積					0.042	m ³	
参考重量					110	kg	
吊り用インサート			M16		3	個	

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

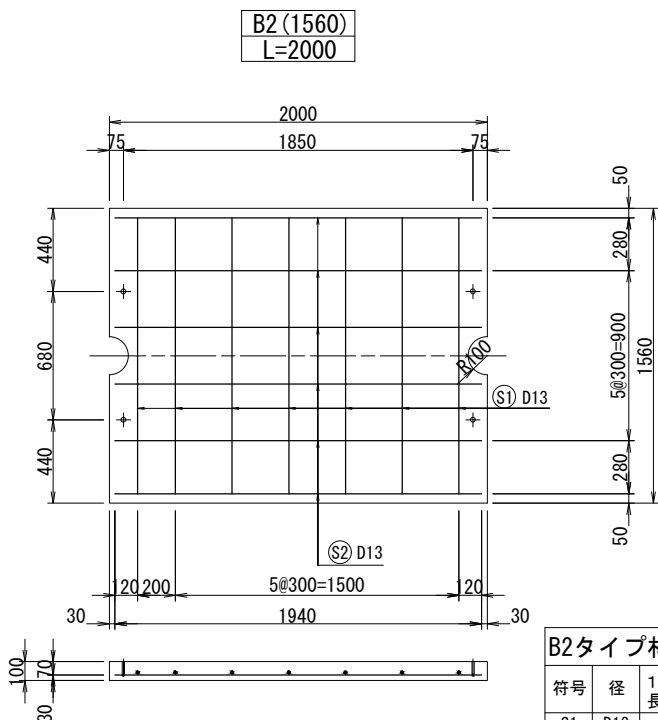
工 事 名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	蓋高調整材構造・配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	92 の 84
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

敷板構造・配筋図(1) S=1:20
特殊部 I 型用 (W=1560) (特殊部本体L=3500(A部:1500, B部2000))

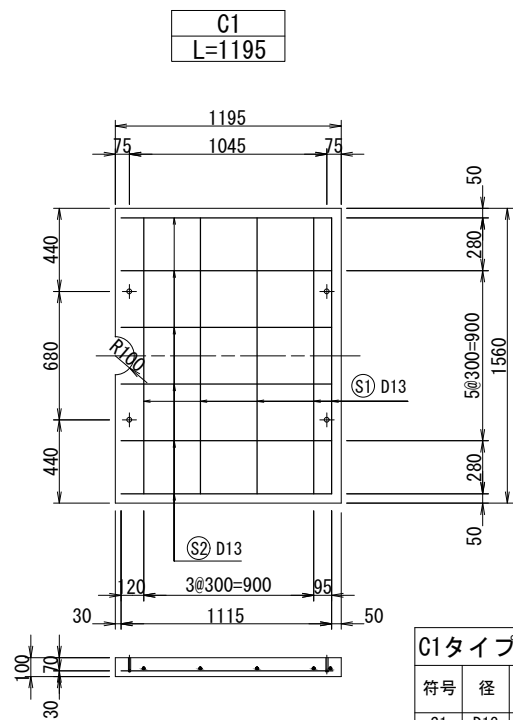
設置箇所: D1, U1



A1タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当たり質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	3	1.463	4.4
S2	D13	625	0.995	6	0.622	3.7
合計鉄筋量					8.1 kg	
コンクリート					0.108 m³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					271 kg	



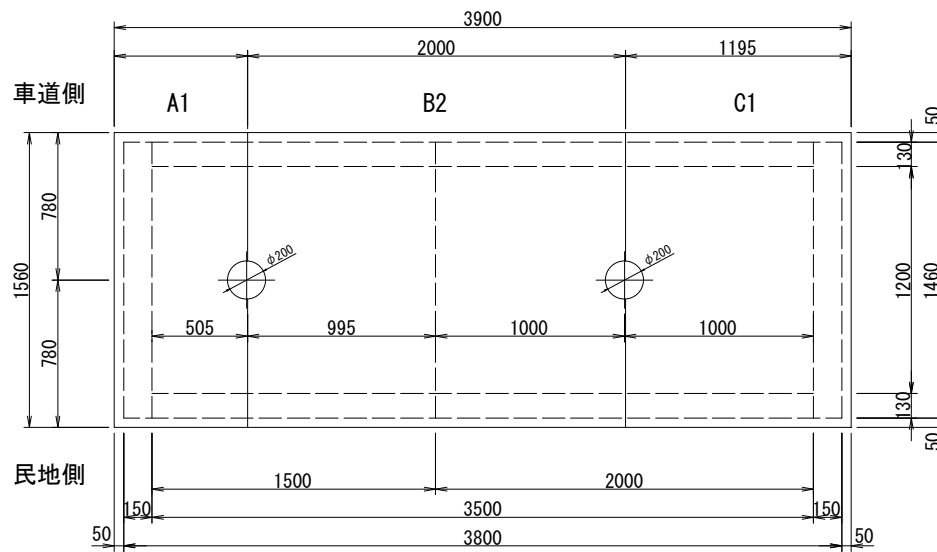
B2タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当たり質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	7	1.463	10.2
S2	D13	1940	0.995	6	1.930	11.6
合計鉄筋量					21.8 kg	
コンクリート					0.309 m³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					772 kg	



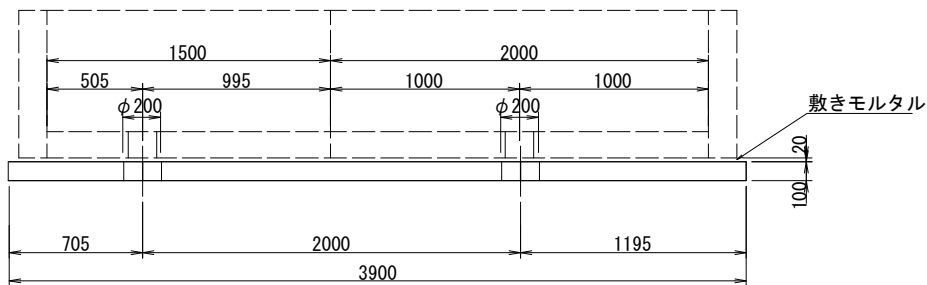
C1タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当たり質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	5	1.463	7.3
S2	D13	1120	0.995	6	1.114	6.7
合計鉄筋量					14.0 kg	
コンクリート					0.185 m³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					462 kg	

規格形状図(特殊部 L=3500の場合)※A部1500, B部2000

平面



側面



設計仕様

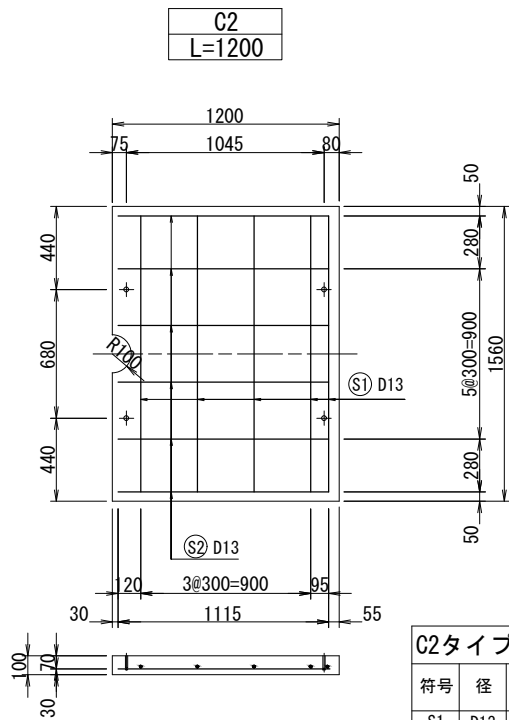
構 造 形 式	工場製品鉄筋コンクリートスラブ
使 用 材 料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上 鉄 筋 SD295

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

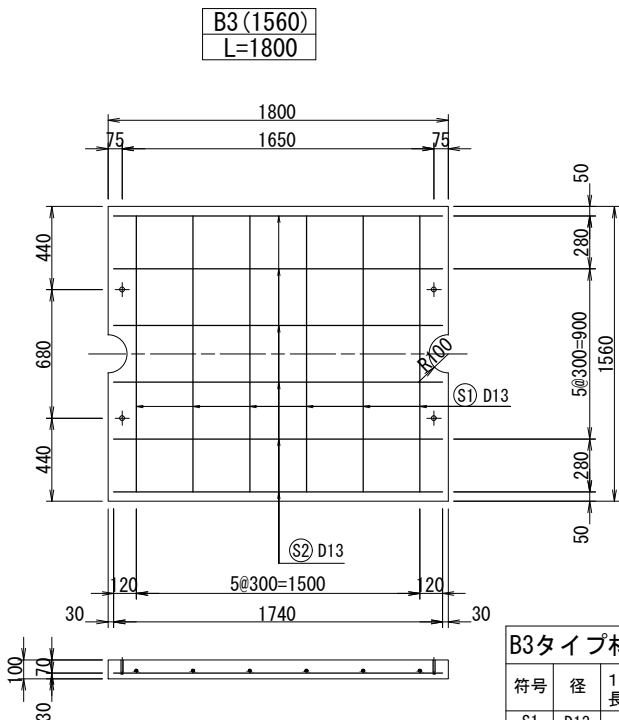
工 事 名	R8国道20号八王子南IC大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	敷板構造・配筋図(1)		
縮 尺	1:20	図面番号	92 の 85
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

敷板構造・配筋図(2) S=1:20
特殊部 I 型用 (W=1560) (特殊部本体L=3800)

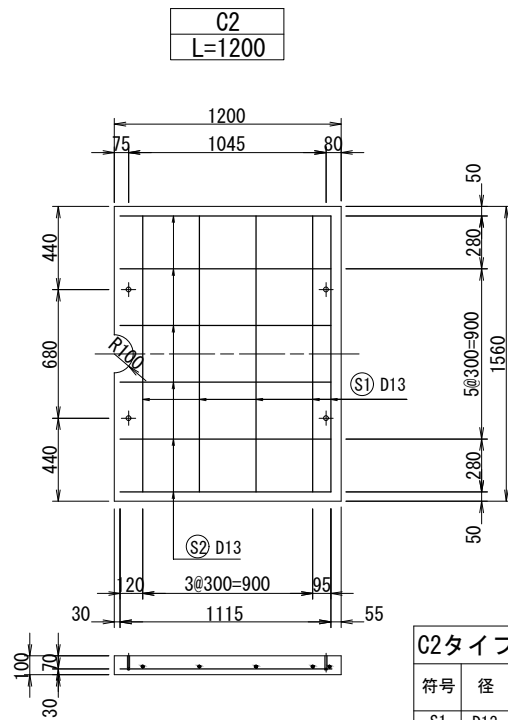
設置箇所: D2, U2



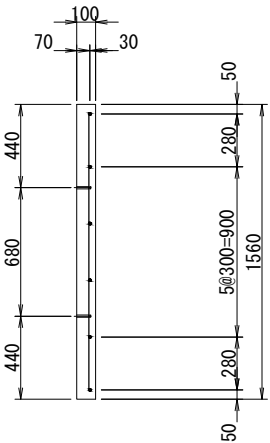
C2タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当り質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	5	1.463	7.3
S2	D13	1120	0.995	6	1.114	6.7
合計鉄筋量					14.0 kg	
コンクリート					0.186 m ³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					464 kg	



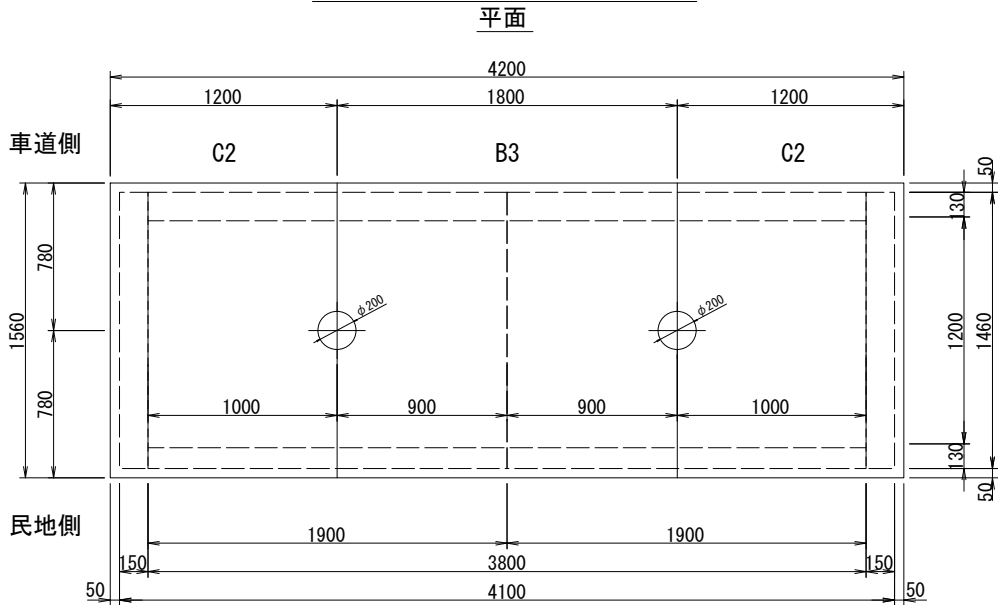
B3タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当り質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	6	1.463	8.8
S2	D13	1740	0.995	6	1.731	10.4
合計鉄筋量					19.2 kg	
コンクリート					0.278 m ³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					695 kg	



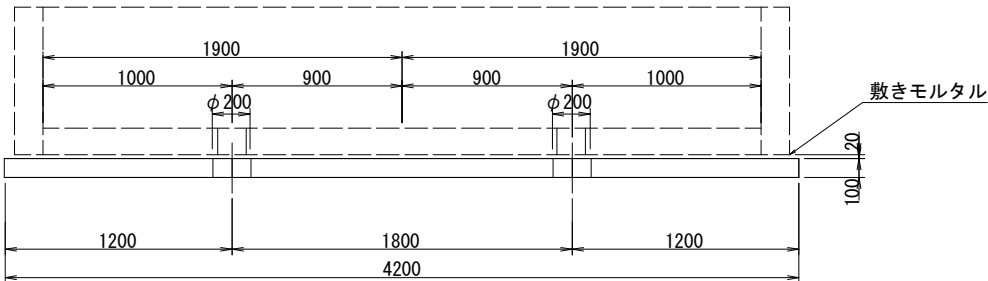
C2タイプ材料表		W=1560				
符号	径	1本当の長さ(mm)	単位当り質量(kg)	本数	1本当り質量(kg)	質量(kg)
S1	D13	1470	0.995	5	1.463	7.3
S2	D13	1120	0.995	6	1.114	6.7
合計鉄筋量					14.0 kg	
コンクリート					0.186 m ³	
吊り用インサート					4本	
参考重量					464 kg	



規格形状図(特殊部 L=3800の場合)



側面



設計仕様

構造形式	工場製品鉄筋コンクリートスラブ
使用材料	コンクリート 設計基準強度 $f'_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上 鉄筋 SD295

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8国道20号八王子南邸大船寺田地区改良舗装その1工事		
図面名	敷板構造・配筋図(2)		
縮尺	1:20	図面番号	92 の 86
年月日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

鑄鉄蓋構造図
 φ750歩道用

設置箇所：D1, 2, U1, 2

設計条件

設計荷重	
活荷重	1輪 50kN
衝撃	i=0.1

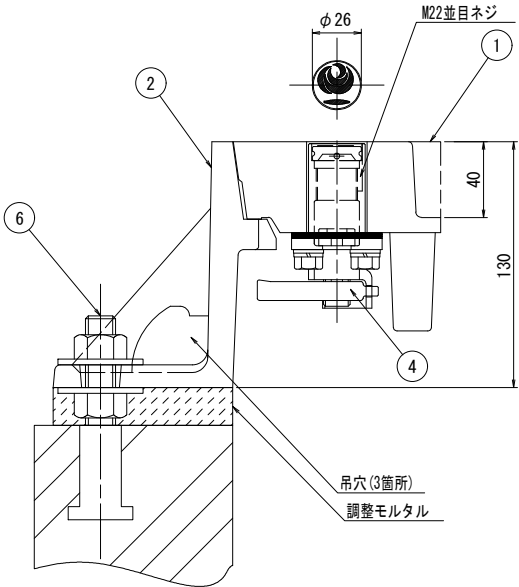
材料表

部番	部 品 名	数量	材 質	備 考
1	上蓋	1	FCD700	防錆樹脂塗装
2	受枠	1	FCD600	防錆樹脂塗装
3	蝶番金物	1	FCD450	防錆樹脂塗装
4	シリンダー錠挿入型ロック装置	1	SCS13	
5	ゴムキャップ	1	CR	
6	高さ調整ボルト M16 (N2, W2)	3	SUS304相当	
7	国土交通省マーク	1	FC200	防錆樹脂塗装

参考組質量

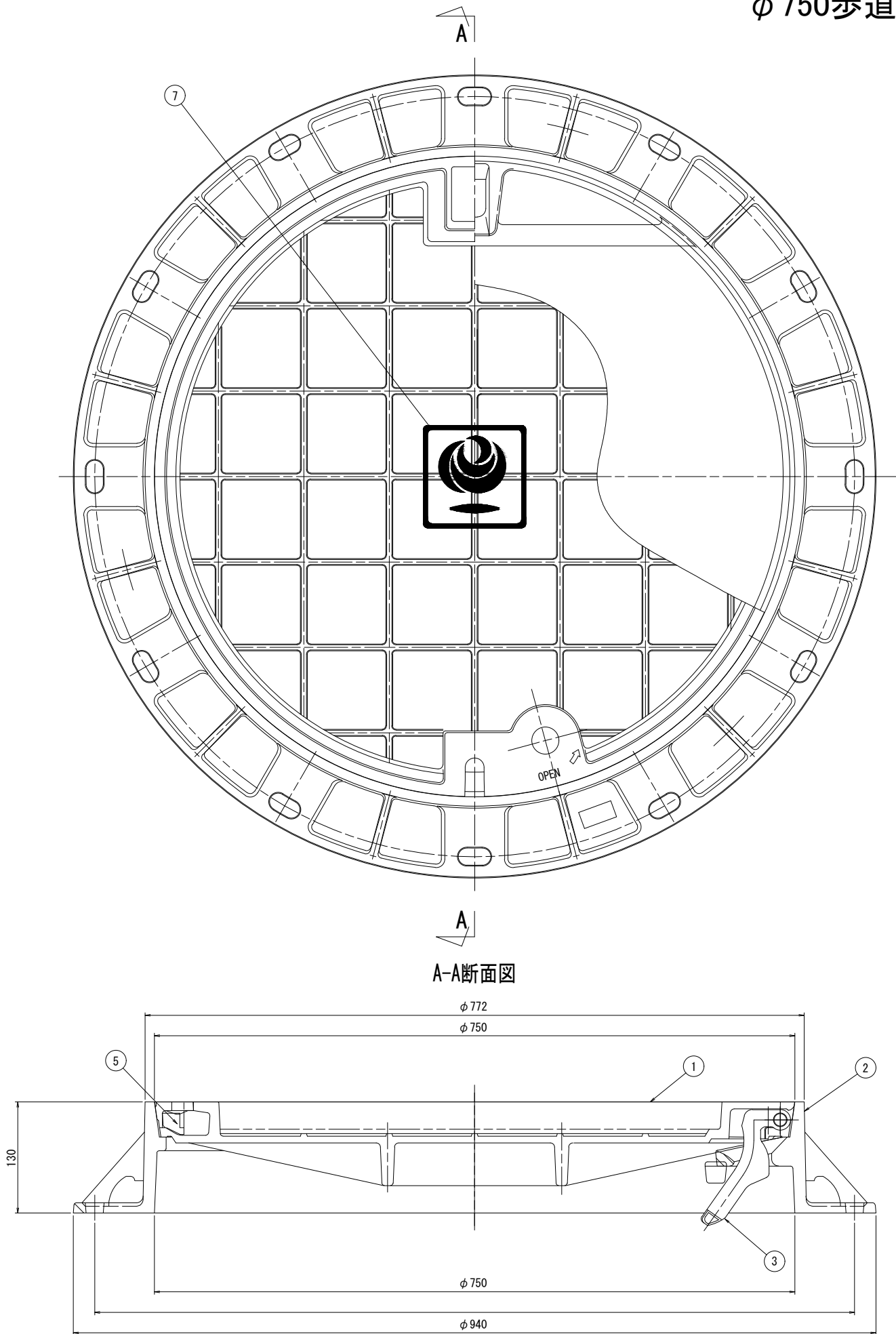
仮舗装無	100 kg
仮舗装有	140 kg

ロック装置部 詳細 S=1:2



錠穴詳細
四角
Ⓢ

⑦ 国土交通省マーク



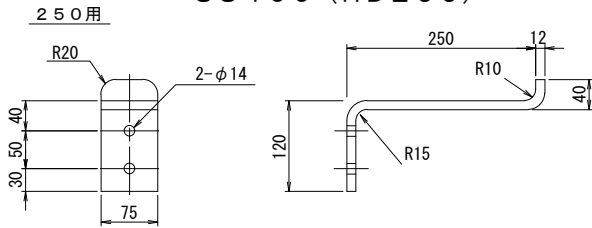
注) 仮舗装をする場合は、シート等にて縁切りを行う。
本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります。

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

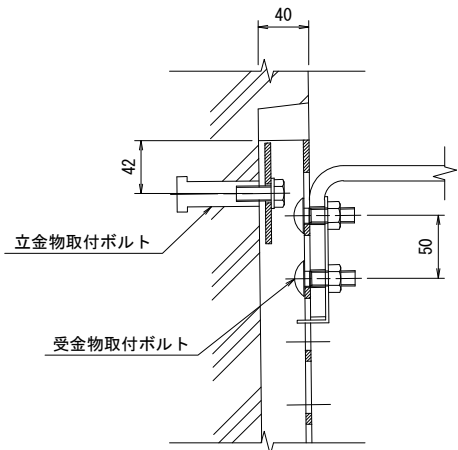
工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	鑄鉄蓋構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	92 の 87
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

立金物等詳細図
(特殊部BOXタイプ用) (H=1800, 1600, 1500用)

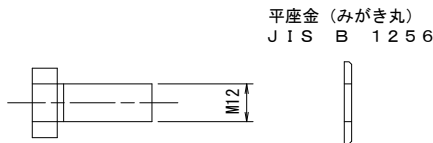
ケーブル受け金物詳細図
SS400 (HDZ55)



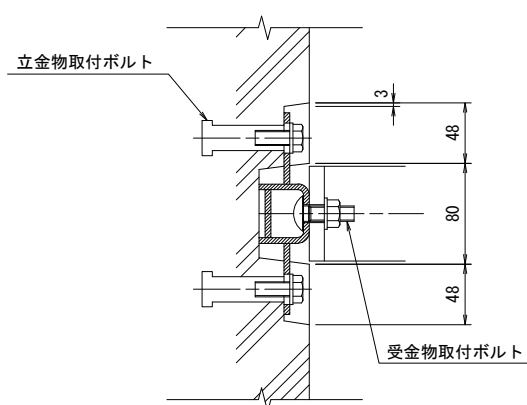
立金物Aタイプ取付部詳細図 S=1:3



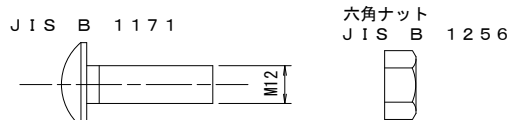
立金物取付ボルト



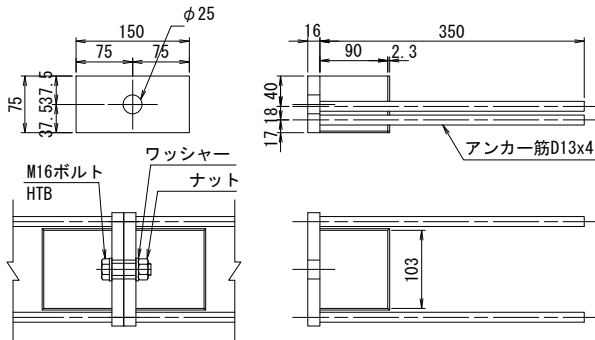
立金物Bタイプ取付部詳細図 S=1:3



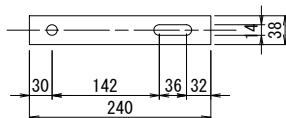
受金物取付ボルト
角根丸頭ボルト (小形)



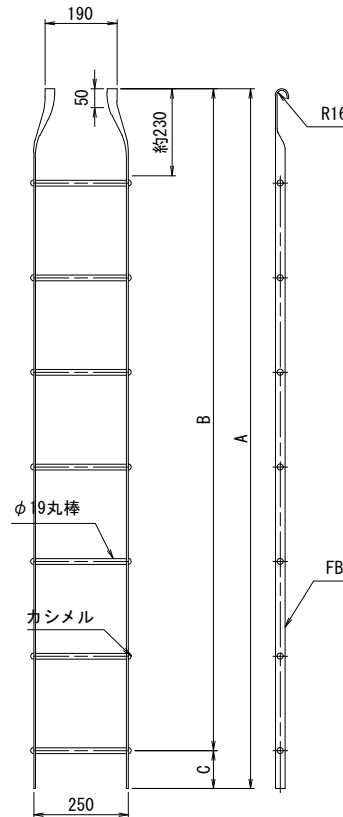
連結金物詳細図 BOX用
SS400 (HDZ55)



離脱防止用プレート詳細図
SS400 (HDZ55) t=4.5

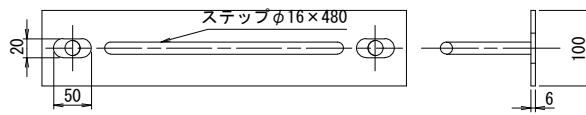


マンホール昇降用ハシゴ S=1:10
SS400, HDZ55

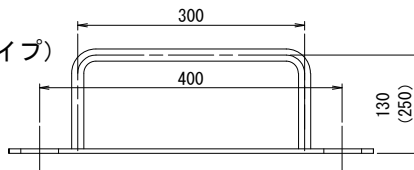


呼び名	A	B	C
BOX型 H-1800用	2100	8#250=2000	100
BOX型 H-1600用	1800	7#250=1750	50
BOX型 H-1500用	1700	6#250=1500	200

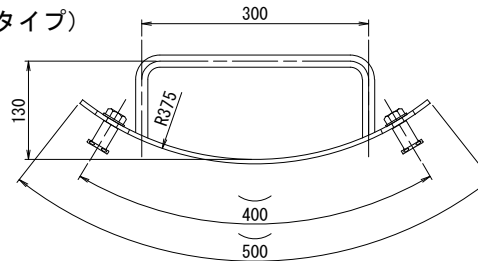
ハシゴ用ステップ BOX用
SS400 (HDZ55)



(フラットタイプ)

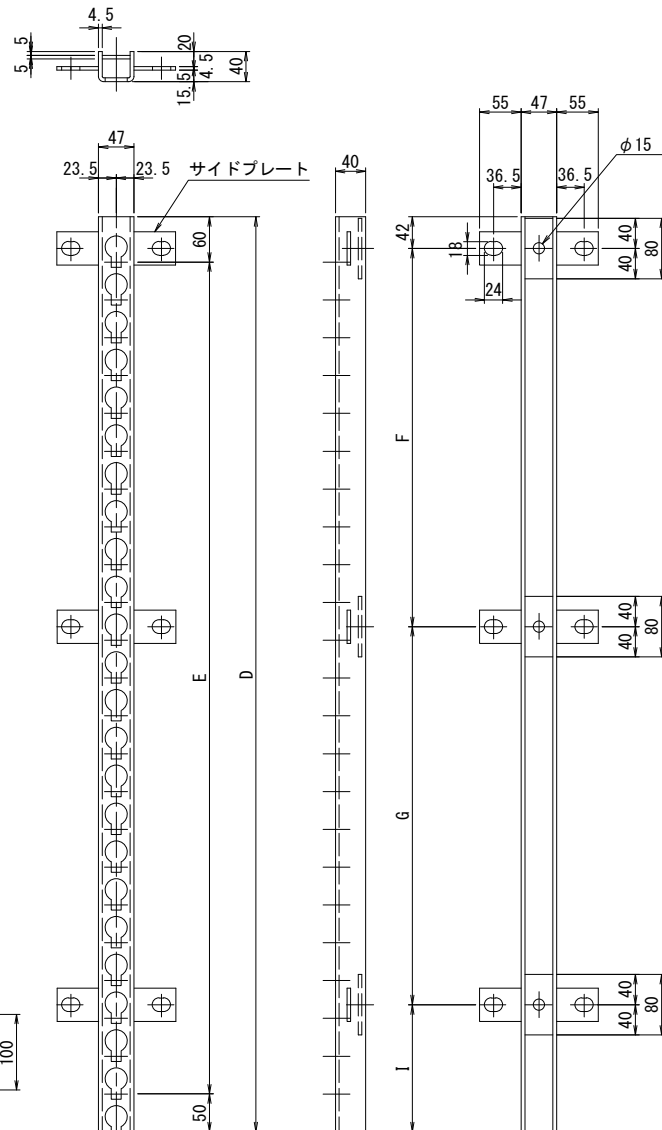


(Rタイプ)



立金物詳細図
SS400, HDZ45

注) Aタイプはサイドプレート無し
Bタイプはサイドプレート付き



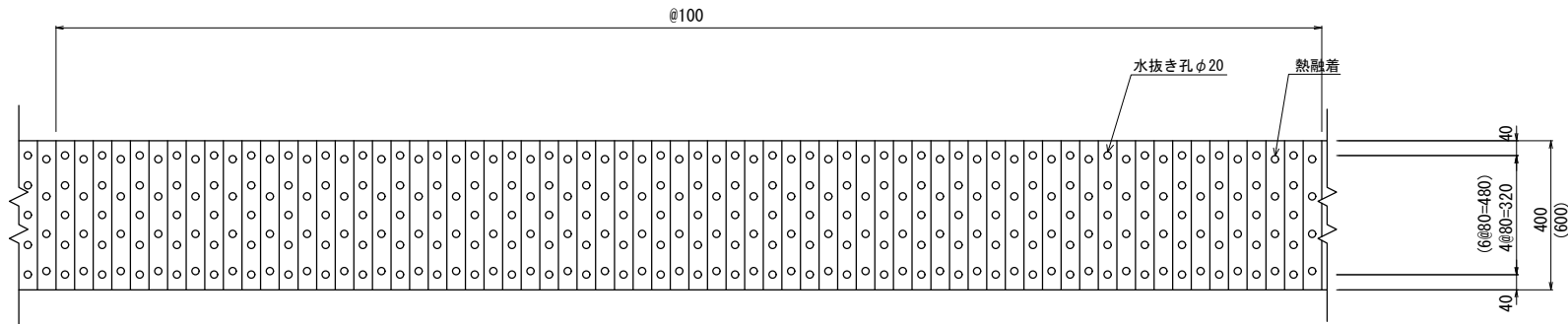
H	D	E	F	G	I
1800	1610	30#50=1500	500	800	268

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

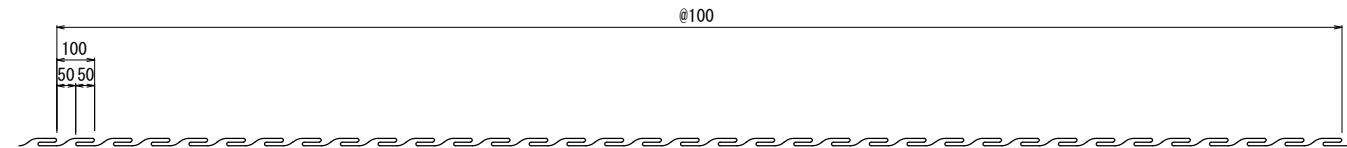
工 事 名	R8国道20号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	立金物等詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	92 の 88
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

埋設シート・防護板詳細図 S=1:10

平面図

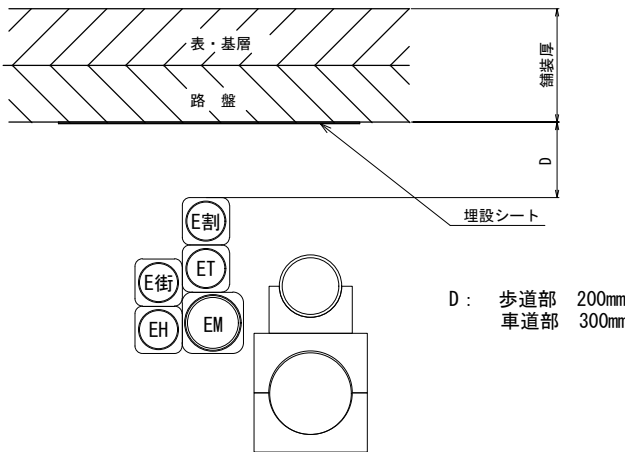


断面図



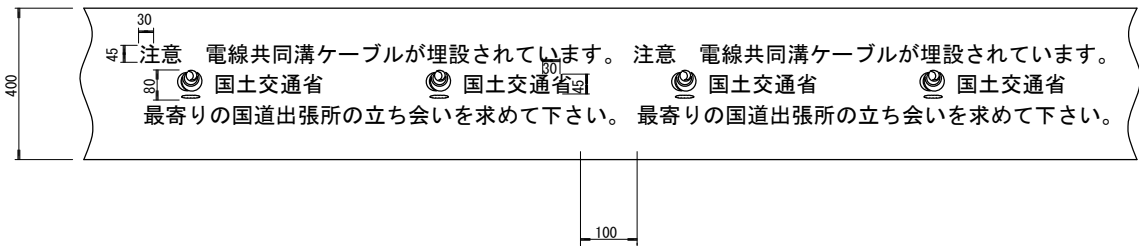
※ () 内は幅600の値

埋設シート設置位置図

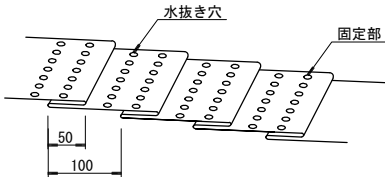


- ・埋設シートは管路の外側に合わせて 400mm、600mmを組合せて布設する。
- ・埋設位置は、歩道部では管上20cm、車道部では管上30cmを標準とする。
(現場条件によりやむを得ない場合は、管上10cm)

文字表示詳細図

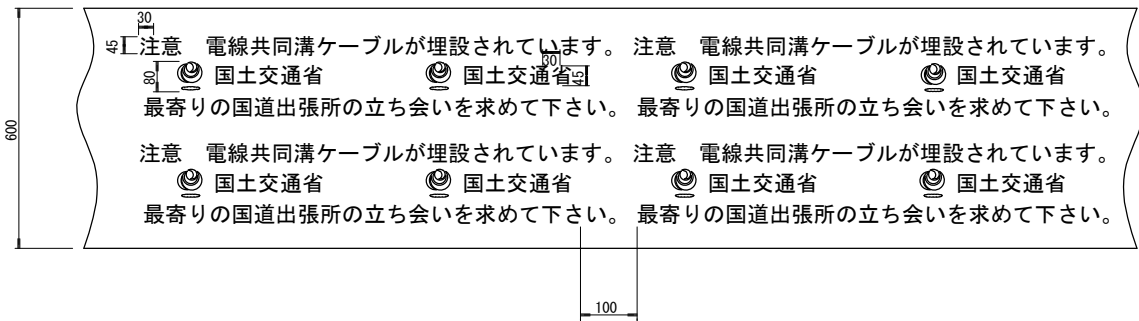


折込構造図



備考

1. 材質：ポリエチレンクロス
2. 折込倍率は、2倍とする。
3. 色は、地色をピンクとし、文字色を黒とする。
4. 1巻の長さは、50mを標準寸法とする。
5. 文字は、フィルムに裏面印刷とする。
6. 表示寸法は、標準寸法とする。
7. 表示文字は、実際の字体とは多少異なります。
8. 折込みの固定寸法は、ミシン掛けとする。
9. 水抜き穴の径は、約φ20mmとし、シート巾に対し400mmは5ヶ所、600mmは7ヶ所設ける物とする。



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	埋設シート詳細図		
縮 尺	1:10	図面番号	92 の 89
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名	セントラルコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(1)

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	摘 要
舗装		式	1	
道路土工【側道部】		式	1	
掘削工		式	1	
掘削	土砂 オブ ンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	m3	2,500	
路体盛土工		式	1	
路体(築堤)盛土	4.0m以上	m3	400	
路体(築堤)盛土(中分盛土)	2.5m未満	m3	40	
路体(築堤)盛土(中分盛土)	4.0m以上	m3	300	
路体(築堤)盛土(歩道盛土)	2.5m未満	m3	2	
路体(築堤)盛土(歩道盛土)	2.5m以上4.0m未満	m3	30	
路体(築堤)盛土(路帯外盛土)	2.5m未満	m3	40	
路床盛土工		式	1	
路床盛土	4.0m以上	m3	120	
残土処理工		式	1	
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,810	
土質改良	パ ック攪拌 改良材フロンパ ック 添加量60kg/m3	m3	1,810	
残土等処分		m3	1,810	
擁壁工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂	式	1	
埋戻し	土砂	式	1	
基面整正		式	1	
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1	
重力式擁壁【第2号小型擁壁】	1mを超え2m未満 18-8-25(高炉)	m3	59	
裏込め排水【第2号小型擁壁】	RC-40	m3	15	
重力式擁壁【重力式擁壁】	2m以上5m以下 18-8-25(高炉)	m3	45	
裏込め排水【重力式擁壁】	RC-40	m3	5	
舗装工		式	1	
アスファルト舗装工(ICT)		式	1	
下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 200mm	m2	4,140	
上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	再生粒度調整砕石 RM-40 仕上り厚 150mm	m2	4,140	
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(40) 仕上り厚 80mm	m2	4,140	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm3.0m超	m2	4,140	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm3.0m超	m2	4,140	
アスファルト舗装工(歩道舗装)		式	1	
フィルター層	再生砂 仕上り厚 100mm	m2	2,400	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上り厚 100mm	m2	2,400	
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm1.4m以上	m2	2,400	
排水構造物工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂	式	1	
埋戻し	1.0m以上4.0m未満	式	1	

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	摘 要
埋戻し	1.0m未満	式	1	
基面整正		式	1	
側溝工		式	1	
L形側溝(標準タイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	21	
L形側溝(切下げタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	11	
L形側溝(すり付けタイプ)	幅 77.5 c m 高さ 25 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	
L形側溝(B)	幅 87 c m 高さ 15 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	67	
L形側溝(C)	幅 69.8 c m 高さ 6 c m 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	8	
管(函)渠型側溝(スリット型側溝)	300×300	m	208	
管(函)渠型側溝(スリット型側溝)	300×700	m	31	
管(函)渠型側溝(街渠縦断管)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	465	
管(函)渠型側溝(街渠縦断管)	300×400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	7	
管(函)渠型側溝(街渠縦断管)	300×500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	10	
管(函)渠型側溝(街渠縦断管集水部)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	12	
管(函)渠型側溝(中分用)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	95	
プ レキャストU型側溝(U型側溝蓋無し)	PU1-300×300	m	24	
プ レキャストU型側溝(U型側溝蓋付き)	PU2-300×300	m	17	
プ レキャストU型側溝(U型側溝蓋付き)	PU-2-300×400	m	32	
プ レキャストU型側溝	PU1-300×700	m	19	
U型水路	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	4	
U型水路(蓋付き)	800×800 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	17	
1号函渠工	18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	129	
管渠工		式	1	
ヒューム管(B形管)(P1-RC1-D300)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	27	
ヒューム管(B形管)(P1-RC1-D400)	外圧管1種 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	10	
鉄筋コンクリート台付管	D300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	70	
鉄筋コンクリート台付管	D400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	57	
鉄筋コンクリート台付管	D450 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	23	
鉄筋コンクリート台付管	D500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	5	
鉄筋コンクリート台付管	D600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	9	
鉄筋コンクリート台付管(CSB φ 400)	D400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	11	
集水桝・マンホール工		式	1	
現場打ち集水桝(G1-B500-L500-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	
現場打ち集水桝(G1-B500-L700-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	3	
現場打ち集水桝(G1-B500-L700-H800)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	3	
現場打ち集水桝(G1-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	数量総括表(1)		
縮 尺	一	図面番号	92 の 90
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(2)

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	摘 要
現場打ち集水桝(G1-B600-L700-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B600-L700-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B700-L700-H1700)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B800-L800-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G1-B800-L800-H1800)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	
現場打ち集水桝(G2-B500-L500-H500)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B500-L500-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B600-L600-H700)	現場打材 18-8-25(高炉)W/C=指定なし 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B600-L600-H900)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B600-L600-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	
現場打ち集水桝(G2-B600-L600-H1200)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B600-L600-H1600)	現場打材 18-8-25(高炉)法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B800-L800-H950)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B800-L800-H1000)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
現場打ち集水桝(G2-B800-L800-H1400)	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	1	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ街渠桝(A)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	8	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ街渠桝(A)	300×400 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	7	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ街渠桝(A)	300×500 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	1	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ街渠桝(A)	500×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	1	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ街渠桝(C)	300×300 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	箇所	1	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ集水桝	300×300	箇所	1	
ﾌﾞﾚｯｷｽﾄ集水桝	300×400	箇所	1	
1号人孔	H=2.6m	箇所	1	
縁石工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂	式	1	
埋戻し	土砂	式	1	
基面整正		式	1	
縁石工		式	1	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(1)(一般部)	B種(180/230×250×600) 両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	362	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(2)(一般部)	B種(180/205×250×600) 片面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	47	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(3)(一般部)	B種(180/205×250×600) 片面	m	99	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(4)(一般部)	B種(180/230×250×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	103	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(出入部)	B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(すり付け部)	B種(180/230×250～216/230×70×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	1	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(擁壁部)	B種(180/230×250×600)両面 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	3	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ(中分部)	C種(180/210×300×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	368	
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A種(120×120×600) 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	250	
植樹ﾌﾞﾛｯｸ	150×180×600 18-8-25(高炉)W/C=指定なし	m	357	
防護柵工		式	1	
防止柵工		式	1	

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎ﾌﾞﾛｯｸ, 鋼管基礎	基礎ﾌﾞﾛｯｸ □200 H450	基	186	
金網・支柱(立入防止柵)	H=2.0m	m	370	
転落(横断)防止柵(擁壁設置用)	柵高 1.1m コンクリート建込	m	80	
区画線工		式	1	
区画線工		式	1	
熔融式区画線(外側線-境界線)	熔融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	710	
熔融式区画線(外側線-境界線)	熔融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	280	
熔融式区画線(外側線-境界線ﾄﾞｯﾄ)	熔融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	36	
熔融式区画線(外側線-境界線ﾄﾞｯﾄ)	熔融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	6	
熔融式区画線(ｾﾞﾌﾞﾗｰ-停止線-横断)	熔融式手動 ｾﾞﾌﾞﾗｰ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m	580	
熔融式区画線(矢印・文字)	熔融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無	m	210	
構造物撤去工		式	1	
作業土工		式	1	
床掘り	土砂	式	1	
埋戻し	土砂	式	1	
構造物取壊し工		式	1	
コンクリート構造物取壊し(排水構造物)	無筋構造物 機械施工	m3	0.3	
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	式	1	
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 舗装版厚 15 c m	m2	3,750	
排水構造物撤去工		式	1	
ヒューム管撤去	400mm	式	1	
暗渠排水管撤去【塩ビ管φ300】	撤去	式	1	
マンホール撤去(再利用)H=2.4m	2000Kg/基以下	式	1	
鉄筋コンクリート台付管(再利用CSB)		m	16	
運搬処理工		式	1	
殻運搬	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	475	
殻運搬(排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.3	
廃ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ運搬	廃ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ	m3	1	
殻処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	475	
殻処分(排水構造物)	コンクリート殻(無筋)	m3	0.3	
廃ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ処分	廃ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ	m3	1	
仮設工【電線共同溝】		式	1	
土留・仮締切工		式	1	
軽量鋼矢板	LSP-2型(t=4mm)	m	65	
軽量鋼矢板賃料	LSP-2型(t=4mm)	式	1	
舗装版撤去工		式	1	
舗装版破砕工		式	1	

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南DP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	数量総括表(2)		
縮 尺	一	図面番号	92 の 91
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(3)

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	摘 要
般処分	アスファルト般	m3	5	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	式	1	
舗装版破碎	アスファルト 15cm以下	m2	51	
舗装工【電線共同溝】		式	1	
アスファルト舗装工		式	1	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシャー RC-40 仕上り厚 300mm	m2	51	
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-40 仕上り厚 250mm	m2	51	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm1.4m未満 (1層 当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	51	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) 舗装厚 50mm1.4m未満 (1層 当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	51	
開削土工【電線共同溝】		式	1	
掘削工		式	1	
開削掘削	土砂	式	1	
埋戻し工		式	1	
埋戻し・締固め	流用土 土砂	式	1	
埋戻し・締固め	再生砂 中埋砂	式	1	
電線共同溝工		式	1	
管路工(管路部)		式	1	
埋設管路(1)	FEP 径 130mm	m	58	
埋設管路(2)	FEP 径 100mm	m	58	
埋設管路(3)	PV 径 75mm	m	153	
埋設管路(4)	PV 径 50mm	m	419	
埋設表示シート(1)	W=600mm 2倍 水抜き穴有	m	31	
埋設表示シート(2)	W=400mm 2倍 水抜き穴有	m	117	
プラスチック工(特殊部)		式	1	
特殊部I型【D1】【U1】	BOX 1200×1800×3500 道路横断部	個	2	
特殊部I型【D2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個	1	
特殊部I型【U2】	BOX 1200×1800×3800 道路横断部	個	1	
仮設工		式	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員		式	1	

工 事 名	R 8 国道 2 0 号八王子南BP大船寺田地区改良舗装その1工事		
図 面 名	数量総括表(3)		
縮 尺	一	図面番号	92 の 92
年 月 日	令和 8 年 4 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		